HDD NETWORK MUSIC RECEIVER SYSTEM

X-AM1

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

本書の使いかた

■ 本機の取扱説明書の種類と内容

① 取扱説明書（本書）

本機のすべての接続と設定、および操作方法を説明しています。

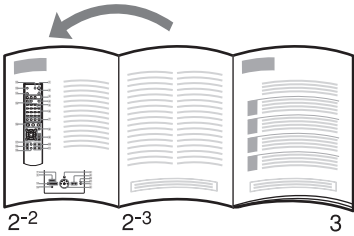
② 接続／設定ガイド

本機をお使いいただくために必要な最低限の接続と設定を説明しています。また、ネットワーク設に必要な項目と入力内容を説明しています。
まずはこれをお読みになり、必要な接続と設定を行ってください。

③ エニーミュージックご案内

“エニーミュージック”のサービスの内容について説明します。

■ 取扱説明書（本書）の使いかた

- 操作説明をご覧になるときは、「各部の名前とはたらき」（2-2ページ）を開いたままにしてボタンの位置などを確認すると便利です。

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じはたらきをします。

必ずお読みください

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃、振動などに弱いため、下記を必ず守ってご使用ください。詳しくは、198ページをご覧ください。
- 衝撃を与えない。
- コンセントをさしたまま本機を動かさない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録音、再生中は、本機を動かしたり、コンセントを抜かない。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設をしない。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

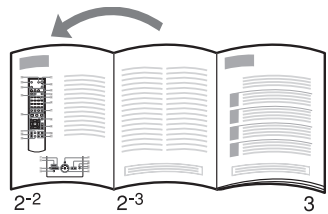
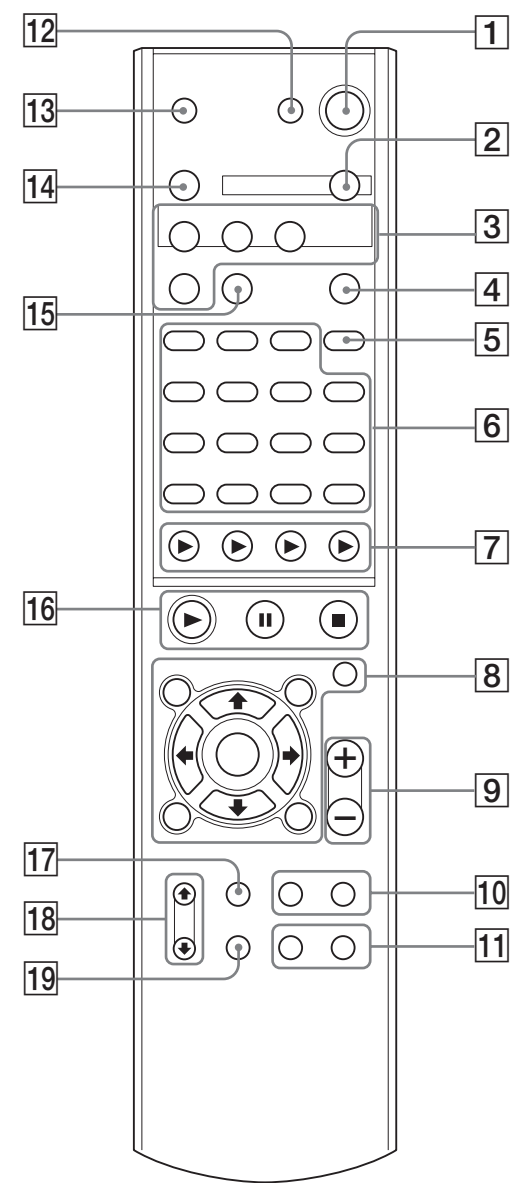
本機のハードディスクに記録されたデータは、通常の使用において壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、本機のバックアップ機能を使用して、外部に接続した別売りのUSBハードディスクに、またはWindowsのファイル共有で、定期的にバックアップをとってください。
ハードディスク内のデータが壊れたことによる一切の責任を弊社は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名前とはたらき

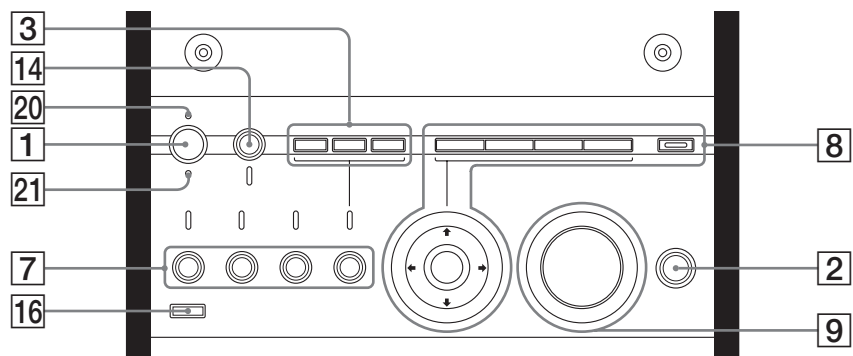
このページを開いたまま、他のページを見ることができます。

リモコン／本体上面

1 I/⏻（電源）ボタン
電源を入れます（24ページ）。

2 ANY MUSICボタン
ファンクションをANY MUSICに切り換えます。ANY MUSICに切り換えたときは、本体のランプが点灯します。

3 HDD録音／転送ボタン
HDDへの録音や転送（チェックイン）、"メモリースティック"／Net MD機器への転送（チェックアウト）時に使います。次のボタンがあります。
HDD録音一時停止ボタン❚❚（リモコンのみ）
HDD録音開始●ボタン
HDD録音停止■ボタン
転送ボタン

4 表示切換ボタン
時刻表示や情報表示を切り換えます。

5 リストボタン
リスト画面とチューニング画面、またはサムネイル画面（静止画のみ）を切り換えます（15ページ）。

6 数字／文字入力ボタン
再生時の曲番の指定や文字入力に使います。

7 **ダイレクトプレイボタン**
ファンクションの切り換えと音楽再生を一度に行います。再生中に本体のボタンを押すと、一時停止します。音楽再生／一時停止中は、本体のファンクションのランプが点灯します（再生中は緑点灯、一時停止中はオレンジ点灯）。次のボタンがあります。
CD▷（本体では▷/❚❚）ボタン（14ページ）
HDD▷（本体では▷/❚❚）ボタン（14ページ）
メモリースティック▷（本体では▷/❚❚）ボタン（14ページ）
MD▷（本体では▷/❚❚）ボタン（14ページ）

8 **メニュー操作ボタン**
メニューを選んで決定します。次のボタンがあります。
↑/↓/←/→ボタン
決定ボタン（本体では十字スティック）
ファンクションボタン
ツールボタン
タイマーボタン
設定ボタン
戻るボタン

9 **本体：音量つまみ**
リモコン：音量+/−ボタン
音量を調節します。

10 **選局+/−、I◀◀/▶▶Iボタン**
ラジオ局のプリセット番号の選択や、曲の頭出しに使います。

11 **◀◀/▶▶ボタン**
曲の早送り／早戻しに使います。

12 **スリープボタン**
スリープタイマーの設定／確認に使います（184ページ）。

13 **消音ボタン**
音声を消します。

14 **FM/AMボタン**
FM/AMファンクションの選択と、バンドの切り換えを行います。選択中は、本体のランプが緑点灯します。

15 **削除ボタン**
各ファンクションで削除を行うときに使います。

16 **ファンクション共通操作用ボタン**
各ファンクション共通で使うボタンです。次のボタンがあります。
共通▷（再生）ボタン
共通❚❚（一時停止）ボタン
共通■（停止）ボタン

17 **イコライザーボタン**
イコライザーを切り換えます（194ページ）。

18 **アルバム/グループ↑/↓ボタン**
アルバムやグループを選びます。

19 **P.BASSボタン**
重低音を強調します
（195ページ）。

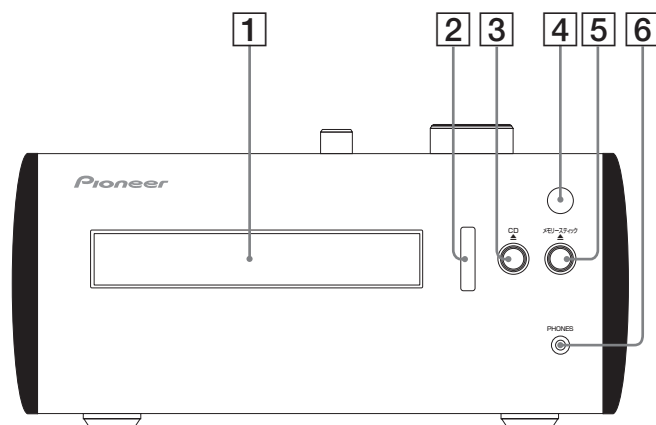
20 **スタンバイ／オンランプ**
点灯の色によって本機の電源の状態を表します（24ページ）。

21 **タイマーランプ**
タイマーの設定中に点灯します（180ページ）。

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じはたらきをします。

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面

本文中はリモコンを使った操作説明が主体になっています。

1 ディスクトレイ（72ページ）

2 メモリースティックスロット（89ページ）

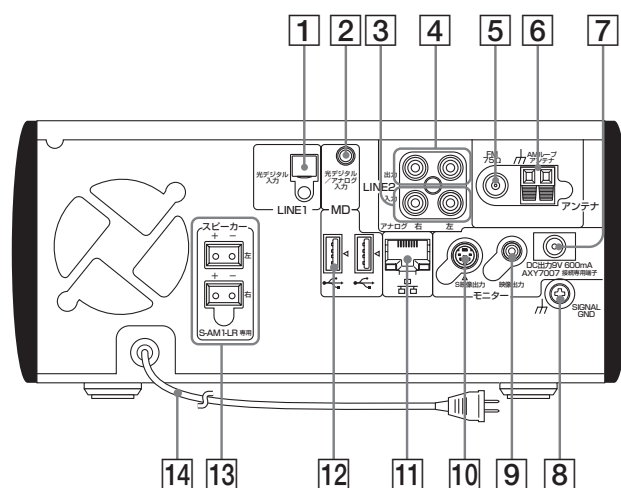
3 CD⏏（イジェクト）ボタン（72ページ）

4 リモコン受光部

5 メモリースティック⏏（イジェクト）ボタン（89ページ）

6 PHONES端子

ヘッドホンをつなぎます。

本体後面

1 デジタル入力端子（26ページ）

2 MD入力端子（光デジタル／アナログ兼用）（26ページ）

3 アナログ入力端子（26ページ）

4 アナログ出力端子（26ページ）

5 FMアンテナ端子（22ページ）

6 AMアンテナ端子（22ページ）

7 DC出力端子（LCDモニター専用）（22ページ）

8 SIGNAL GND端子（23ページ）

9 モニター出力（ビデオ）端子（22ページ）

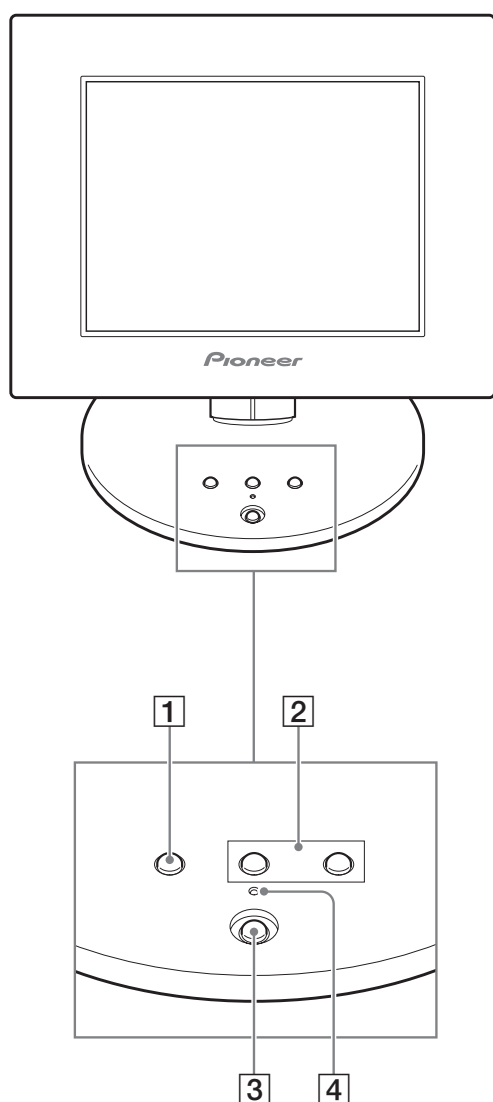
10 モニター出力（Sビデオ）端子（22ページ）

11 ネットワーク端子（30～32ページ）

12 USB端子（26ページ）

13 スピーカー端子（S-AM1-LR専用）（22ページ）

14 電源コード（24ページ）

LCDモニター

1 **メニューボタン**

調整メニューを表示／切り換え／消去します。

2 **＋／－ボタン**

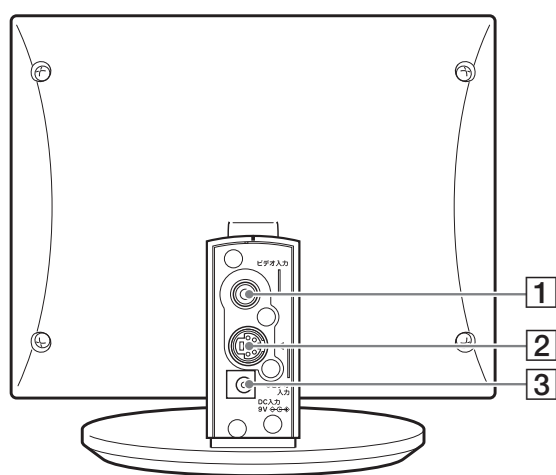
調整メニューが表示されているときに押すと、選択されている項目を調整できます。調整メニューが表示されていないときに押すと、画面の明るさを調整できます。

3 **I/⏻（電源）ボタン**

LCDモニターの電源を入／待機状態にします。
本体の電源の入／切に合わせて、LCDモニターの電源も自動的に入／待機状態になります。

- 本体の電源が入っているときは、LCDモニターの I/⏻（電源）ランプが緑色に点灯します。
- 待機状態では、I/⏻（電源）ランプが赤色に点灯します。

4 **I/⏻（電源）ランプ**

通常表示時は緑色に点灯し、待機時は赤色に点灯します。

1 **ビデオ入力端子**

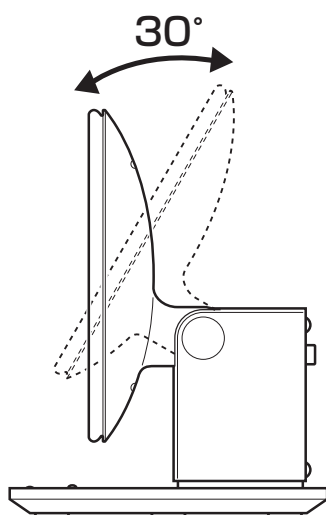
別売りの映像コードを使って、本体のビデオモニター出力端子につなぐこともできます。

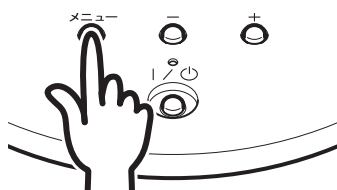
2 **Sビデオ入力端子**

付属のS映像コードを使って、本体のSビデオ出力端子につなぎます。

3 **DC入力端子**

付属の専用電源(DC)コードを使って、本体のDC出力端子につなぎます。

LCDモニター部をお好みの角度に調節できます。

ご注意

- 必ず枠の部分を持って調節してください。液晶パネル部を持つと破損の原因となります。

入力信号の種類（Sビデオ／ビデオ）を切り換えたり、画面の明るさや色あいを調整します。

1 調整したい項目が表示されるまで、メニューボタンをくり返し押す。メニューボタンを押すたびに、調整メニューが以下のように切り換わります。

→[入力] → [色あい] → [コントラスト]
（調整メニュー非表示）← [明るさ]←

2 ＋、または－ボタンを押して調整する。

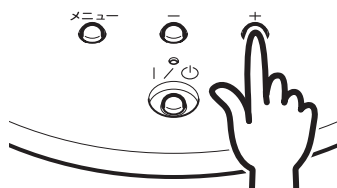
［入力］の場合：

＋／－ボタンを押すたびに[Sビデオ]と[ビデオ]が切り換わります。

［色合い］、［コントラスト］、［明るさ］の場合：

＋／－ボタンを押すたびに数値が増減します。

3 その他の項目も調整したいときは、手順1、2をくり返して調整する。

4 完了したら、調整メニューが消えるまでメニューボタンをくり返し押す。

ちょっと一言

［明るさ］は、調整メニューを表示せずに、直接＋／－ボタンを押して調整することもできます。

目次

• “エニ ーミュージック”について詳しくは、別紙の「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

HDD（ハードディスク）

CD

“メモリースティック”

次のページにつづく

目次（つづき）

• “エニ ーミュージック” について詳しくは、別紙の「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

タイマーメニュー／設定メニュー／システムソフトの更新／音質調整

その他

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

使用環境

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト 50/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

次のページにつづく

⚠ 注意

設置

● 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

● 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災·感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

● アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
  - ● 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
  - ● BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取りつけてください。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

● お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(＋)マイナス(ー)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

● 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ファンクションの選びかた

ファンクションをボタンでダイレクトに選ぶ

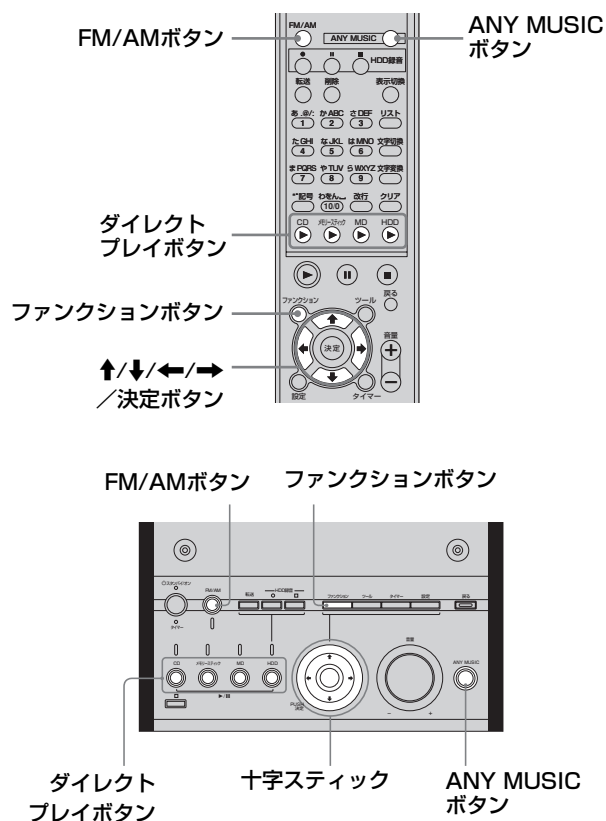
「CD」（ミュージック）、「HDD」、「メモリースティック」（ミュージック）または「MD」の場合

それぞれのダイレクトプレイボタンを押す。

「FM/AM」の場合

FM/AMボタンを押す。

「ANY MUSIC」の場合

ANY MUSICボタンを押す。

ファンクションをメニューで選ぶ

1 ファンクションボタンを押す。ファンクションメニューが表示されます。

2 ↑/↓/←/→ボタン（本体では十字スティック）でファンクションを選び、決定ボタン（本体では十字スティック）を押す。
選んだファンクションに切り換わります。

途中でやめる（メニューで選んだときのみ）

決定ボタンを押す前にファンクションまたは戻るボタンを押す。

ちょっと一言

- 「CD」または「メモリースティック」を選んだときは、サブファンクション（「ミュージック」と「フォト」）のメニューが表示されます。使用したいサブファンクションを選んでください。
- 「CD」の場合、音楽CDのディスクが挿入されているときは、本機がディスクの種類を判別し、自動的にサブファンクションを「ミュージック」で選びます。

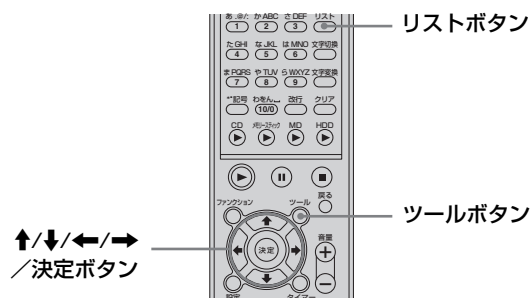
メイン画面の使いかた

メイン画面には、リスト画面、チューニング画面およびサムネイル画面（静止画のみ）の3種類あり、選ばれたファンクションにより、切り換えて表示できます。
それぞれの画面でできる操作は、ほとんど同じです。

ご注意

以下のファンクションはメイン画面が1画面のため切り換えられません。

－ANY MUSIC	－FM/AM
－WEBブラウザ	－メール
－LINE2	－LINE1

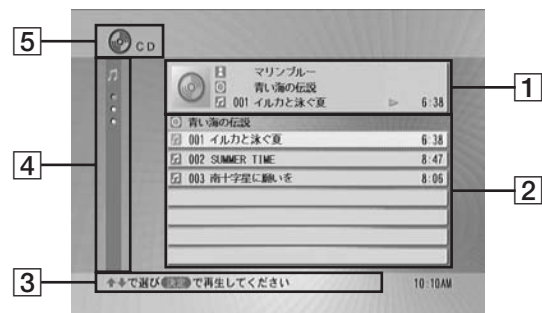
メイン画面を切り換える

リストボタンを押す。

押すたびにリスト画面とチューニング画面（静止画のときはサムネイル画面）が切り換わります。

ちょっと一言

以下の方法でもメイン画面を切り換えられます。
ツールボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで「表示」－「リスト表示」－「ON」：リスト画面または「OFF」：チューニング画面を選び、決定ボタンを押す。

リスト画面

アルバム、曲、静止画などを一覧表示します。

1 カレント情報エリア
選んだアルバムや曲、静止画の情報が表示されます。

2 リストエリア
アルバムや曲、静止画の情報が一覧表示されます。

3 ガイド／ステータスエリア
ボタン操作のガイドや、現在の状態を表示します。

4 階層表示エリア
アルバム階層やトラック階層、静止画階層が表示されます。

5 タイトルエリア
現在のファンクション名が表示されます。

次のページにつづく

メイン画面の使い方（つづき）

チューニング画面

アルバムや曲を1件ずつ表示します。

1 ビジュアライザーエリア
CD（ミュージック）、HDD、“メモリースティック”（ミュージック）、MDファンクションのとき、再生音にあわせて映像（ビジュアライザー）が表示されます。

2 カレント情報エリア
アルバムや曲の情報が表示されます。

3 ガイド／ステータスエリア
ボタン操作のガイドや、現在の状態を表示します。

4 階層表示エリア
アルバム階層やトラック階層、静止画階層が表示されます。

5 タイトルエリア

現在のファンクション名が表示されます。

サムネイル画面

静止画などを画像の一覧（サムネイル）で表示します。

1 サムネイルエリア
静止画のサムネイルが表示されます。

2 ガイド／ステータスエリア
ボタン操作のガイドや、現在の状態を表示します。

3 階層表示エリア
アルバム階層や、静止画階層が表示されます。

4 タイトルエリア
現在のファンクション名が表示されます。

こんなことができます

本機は、ブロードバンドネットワークを使った総合音楽サービス“エニ ーミュージック”に対応したネットワークオーディオシステムです。“エニ ーミュージック”からダウンロードした音楽をハードディスクに保存し、本機で再生したり、マジックゲート対応“メモリースティック”やNet MDに転送して持ち出すことができます。
CDやラジオも楽しめます。デジタルカメラで撮った静止画を保存することもできます。また、ブロードバンド接続により、メールの送受信やインターネット*も利用できます。
コンパクトなボディーに多機能を凝縮、新しいライフスタイルを提案する製品です。

* インターネットのサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。WEBサイトによっては、本機で正しく表示されないことがあります。また、本機の機能は、インターネット上の各WEBサイトが提供するサービスの利用を保証するものではありません。

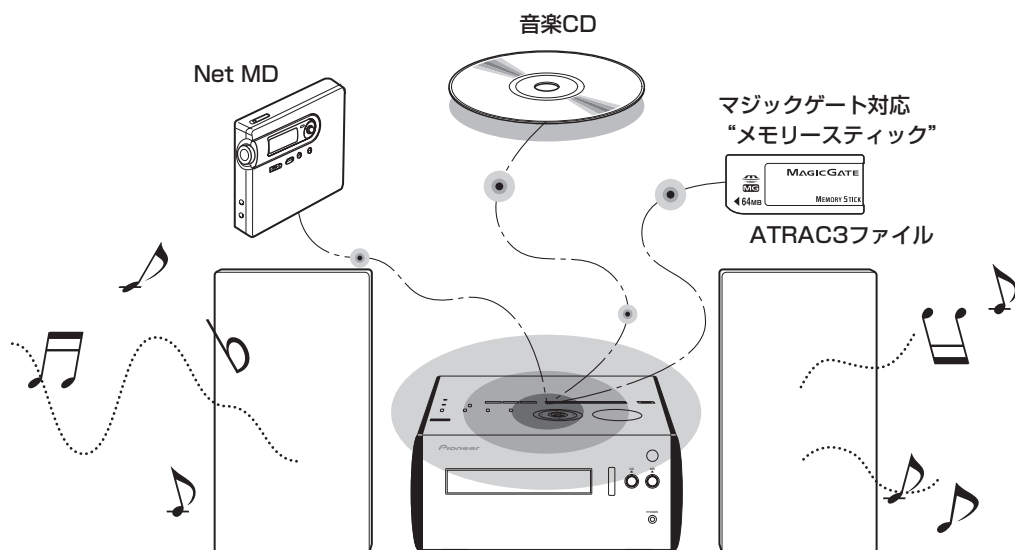
音楽を聞く

● “エニ ーミュージック” ●●●▶ 使ってみるには 45ページ

“エニ ーミュージック”とは、ブロードバンドネットワークを使った総合音楽サービスです。“エニ ーミュージック”を使うと、パソコンなしで音楽をダウンロードでき、本機のハードディスクに保存して楽しめます。

● HDD ●●●▶ 使ってみるには 47ページ

ハードディスクに好きな音楽を保存して、ジュークボックスとして楽しめます。Net MDやマジックゲート対応“メモリースティック”と音楽をやり取りすることもできます。

次のページにつづく

CD（ミュージック）

●●●▶ 使ってみるには 71ページ

音楽CDの再生はもちろん、音楽CDから好きな音楽をHDDに保存したり、CD-R/RWに記録したMP3ファイルを再生することができます。

“メモリースティック”（ミュージック）

●●●▶ 使ってみるには 87ページ

HDD内にあるお気に入りの音楽をマジックゲート対応“メモリースティック”に転送して、別の機器で楽しめます。また、“メモリースティック”内のMP3ファイルを再生できます。

FM/AM（ラジオ）

●●●▶ 使ってみるには 111ページ

FMラジオ／AMラジオを受信できます。ラジオの音声を本機のHDDに録音することもできます。

MD

●●●▶ 使ってみるには 121ページ

本機の後面にあるUSB端子、MD入力端子とNet MD機器をつないで、MDの再生／編集ができます。HDD内の音楽の転送もできます。

静止画を見る

● フォトアルバム

●●●▶ 使ってみるには　133ページ

大切な思い出の静止画を整理できます。CD-R/RWや“メモリースティック”の静止画も取り込めます。また、スライドショーも楽しめます。

● “メモリースティック”（フォト）

●●●▶ 使ってみるには　103ページ

デジタルカメラで撮影し“メモリースティック”に保存した静止画を、フォトアルバムに保存できます。また、フォトアルバム内の静止画を、“メモリースティック”にコピーすることもできます。“メモリースティック”内の静止画を見ることはもちろん、スライドショーも楽しめます。

● CD（フォト）

●●●▶ 使ってみるには　80ページ

CD-R/RWに保存された静止画をフォトアルバムに保存できます。CD-R/RW内の静止画を見ることはもちろん、スライドショーも楽しめます。

インターネットやメールを楽しむ

● WEBブラウザ（インターネット）

●●●▶ 使ってみるには　151ページ

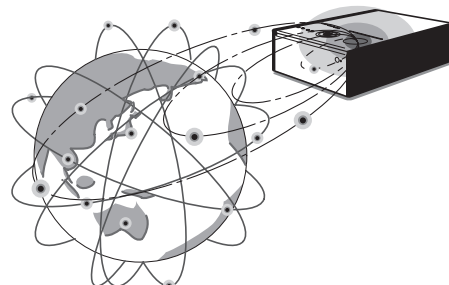
本機をADSLやケーブルテレビインターネット、FTTHのブロードバンド回線につないで、ディスプレイ画面でインターネット*が楽しめます。本機専用のホームページに接続して、本機についての情報やサービスが受けられます。

* インターネットのサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。WEBサイトによっては、本機で正しく表示されないことがあります。また、本機の機能は、インターネット上の各WEBサイトが提供するサービスの利用を保障するものではありません。

● メール

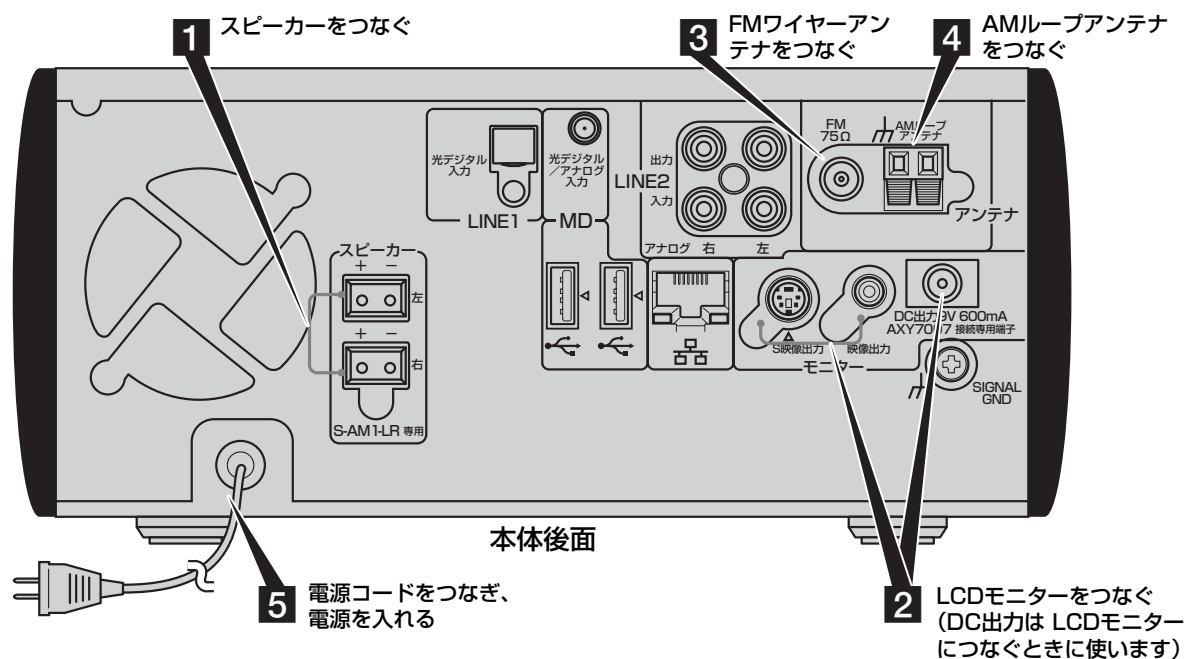
●●●▶ 使ってみるには　159ページ

本機をADSLやケーブルテレビインターネット、FTTHのブロードバンド回線につないで、ディスプレイ画面でメール**が楽しめます。メールにファイル***を添付してやり取りすることができます。

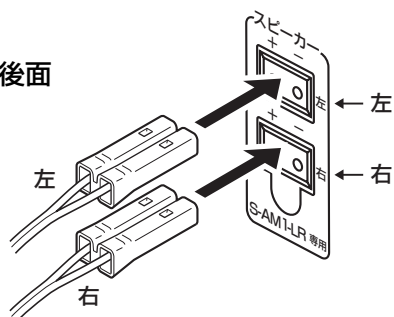
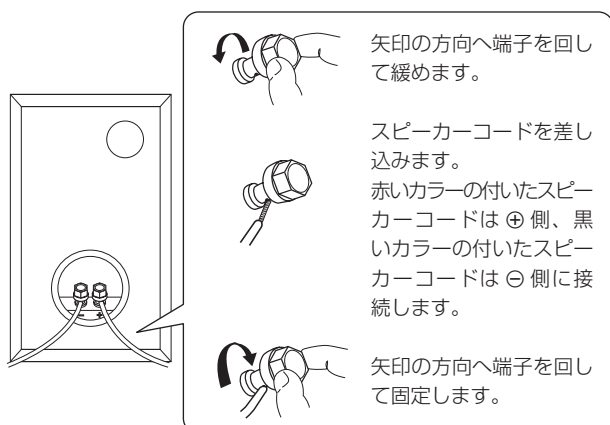
** インターネットのサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。
*** 本機で開くことができるファイル形式には制限があります。

接続と準備

この章では、本機の接続と準備、および別売りの機器との接続について説明します。
別売りの機器との接続については、「MD（Net MD)」（121ページ)、「外部入力」(173ページ）もあわせてご覧ください。

準備1：本機をつなぐ

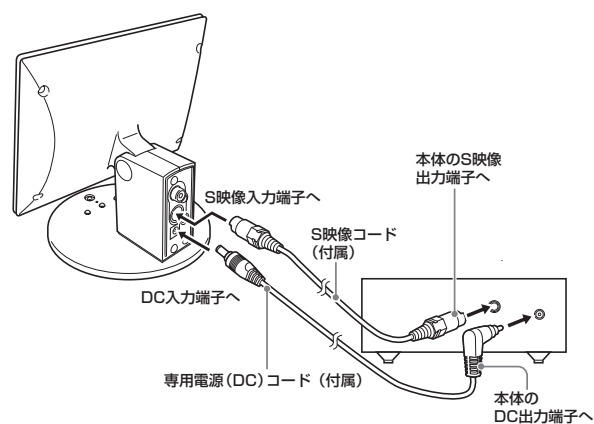
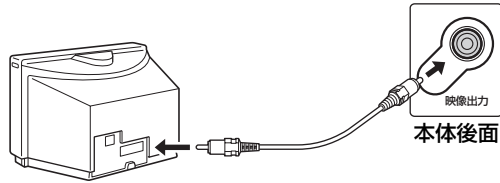
付属のアンテナやコードを1～5の順につなぎます。
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。
Net MD機器など別売り機器の接続については、26、122、174ページをご覧ください。

1 スピーカーをつなぐ。

スピーカー端子にスピーカーコードをつなぐ。

本体後面

スピーカー後面

ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ受信時の雑音の原因になります。
- 右端子につないだスピーカーを向かって右へ、左端子につないだスピーカーを向かって左へ置いてください。

2 LCDモニターをつなぐ。

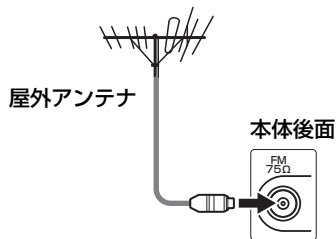
付属のS映像コードを2のSビデオ端子に接続し、本体のDC出力端子とLCDモニターのDC入力端子を、付属のDCケーブルでつなぎます。

LCDモニター（AXY7007）以外のディスプレイをつなぐ場合。
本体のビデオ映像出力端子とLCDモニター（AXY7007）以外のディスプレイの映像入力端子とを、市販のビデオ映像ケーブルでつなぎます。

ご注意
- 接続機器の電源を切った状態でつないでください。
- コネクターは必ず奥まで差し込んでください。斜めに差し込むと故障の原因となることがあります。

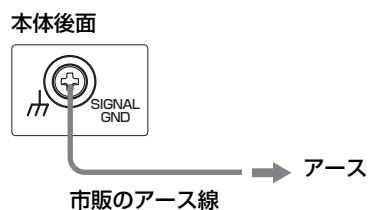
3 FMワイヤーアンテナをつなぐ。

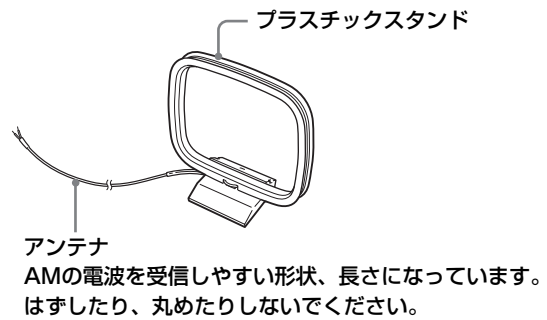
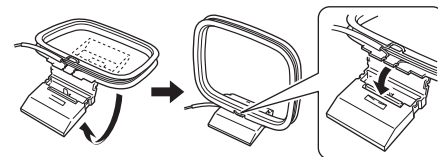
本機のFMアンテナ端子に、FMワイヤーアンテナをつなぐ。

ご注意
- FMワイヤーアンテナは束ねたまま使わないでください。
- FMワイヤーアンテナをつないだあとは、できるだけ水平に張ってください。

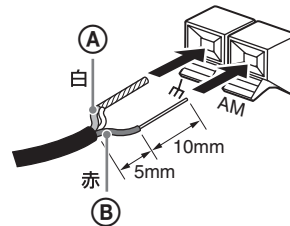
FMワイヤーアンテナ

FMの受信状態が良くないときは
以下のように、市販の75Ω同軸ケーブルを使って、本機と屋外アンテナをつなぎます。

AMの受信状態が良くないときは

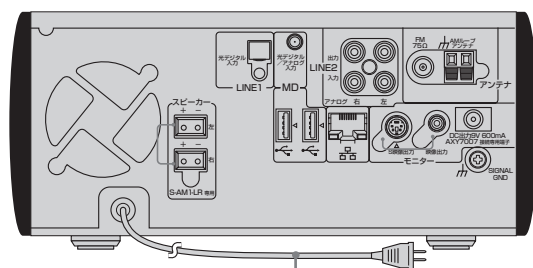
以下のように、市販のアース線を本機のSIGNAL GND端子につなぎます。

ご注意
屋外アンテナをつなぐときは、落雷を防ぐために市販のアース線（ビニール電線）をアース端子（⏚）につなぎ、もう一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めます。または鋼管製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。

4 AMループアンテナをつなぐ。

1 ループになっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。
2 スタンド状に組み立てる。
台を起こし、溝にはめます。

3 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。
4 アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認する。

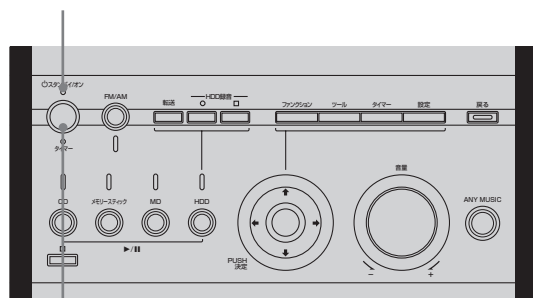
ご注意
- 雑音の原因になるため、AMループアンテナは本機や他のAV機器の近くに置かないでください。
- 付属のAMループアンテナをつなぐときは、白いコードⒶを⏚マークのある端子に、赤いコードⒷをもう一方の端子につないでください。

次のページにつづく

5 電源コードをつなぎ、電源を入れる。

すべての機器をつないだあと、以下の手順で本機の電源を入れます。

本体後面

電源コード

本体上面

スタンバイ/オンランプ

I/⏻（電源）ボタン

1 本体の電源コードを、コンセントにつなぐ。

> ⚠注意
>
> **自動的に本体の電源が入り、本機の初期設定が始まります。完了するまでしばらくお待ちください。**
> **初期設定が完了すると自動的に本体の電源が切れます。**

電源の入れかた

本体のスタンバイ/オンランプが赤点灯のときに本体のI/⏻（電源）ボタンを押す。

本体とLCDモニターの電源が入り、モニター画面にチューナーのメイン画面が表示され、本体のスタンバイ／オンランプが緑点灯します。

LCDモニター（AXY7007）を付属のDCケーブルでつないでいれば、本体の電源を入れるとLCDモニターの電源も連動して入ります。

ディスプレイ画面に時間合わせ画面が表示された場合は、「準備2：時計を合わせる」（25ページ）に進んでください。

ご注意

- タイマー録音の動作中は、LCDモニターの電源は連動して入りません。リモコンまたは本体のいずれかのI/⏻（電源）ボタンを押してください。
- LCDモニターの電源が連動して入らないときは、LCDモニター側で電源を入れてください。
- スタンバイ/オンランプがオレンジ点灯のときは、I/⏻（電源）ボタンを押しても電源は入りません。スタンバイ/オンランプが赤点灯になるまでお待ちください。

> ⚠注意
>
> **初期設定中に本機の電源を切らないでください。**
> **故障の原因になります。**

スピーカーのグリルの着脱

このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1 はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルの下側をはずします。

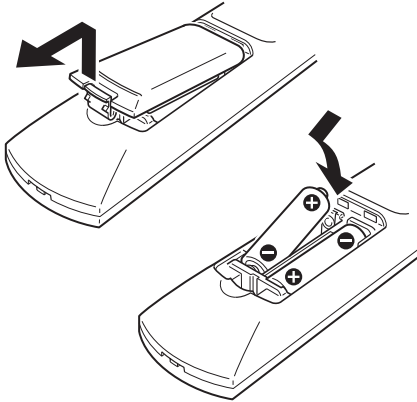
2 同じように、グリル上側を手前に引っぱると、グリルは本体からはずれます。

3 取り付けるときは、グリル上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

- スピーカーを保護するため、グリルははずしたままにしないでください。

リモコンを準備する

付属の乾電池を入れる。

乾電池は、⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池（R6、付属）2個を入れてください。

ちょっと一言

リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

付属のリモコンは本機専用です。他機には使用できません。

⚠注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください

乾電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

乾電池を長時間使用しないとき、使い切ったときは、リモコンから取り出しておいてください

乾電池を入れたままにしておくと、放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

準備2：時計を合わせる

本機を正しくお使いいただくためにも、時計を合わせておく必要があります。

ディスプレイ画面に時間合わせ画面が表示された場合

「設定メニュー」の章の「時計を合わせる」－「手動で合わせる」（185ページ）の手順2に進んでください。

ご注意

日付や時刻が間違っていると、タイマー録音などの機能を正しく使えません。

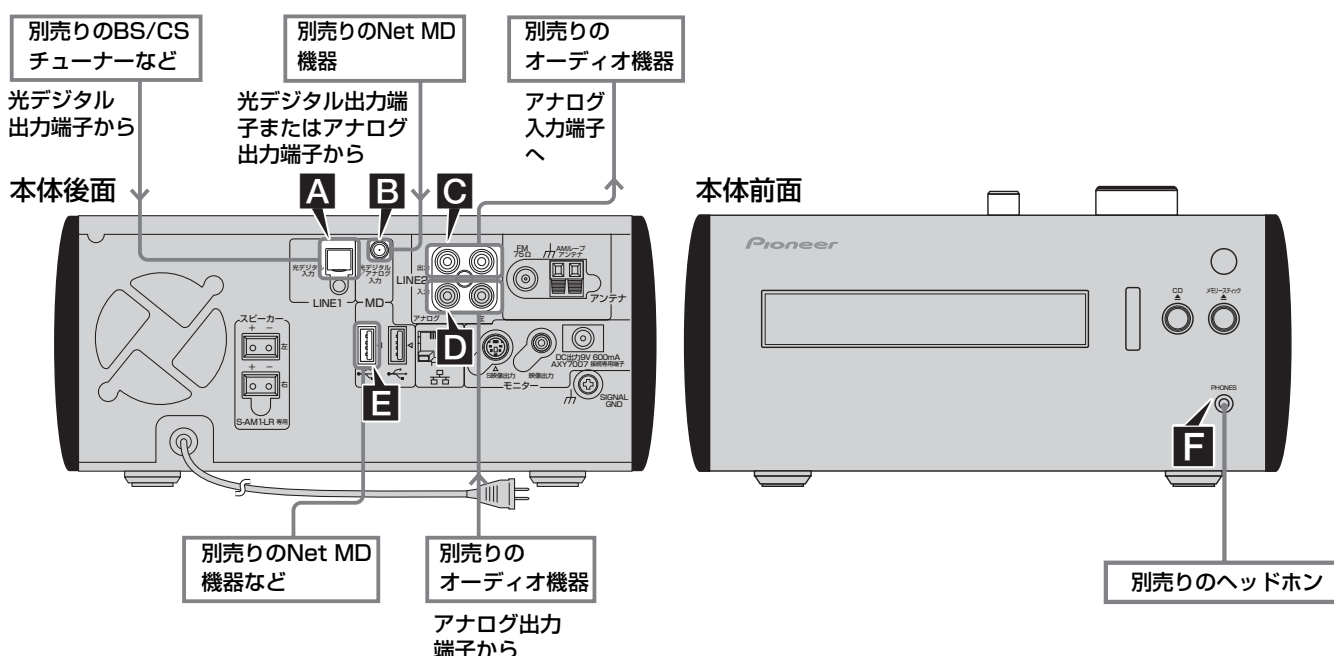
準備3：ラジオの放送局（周波数）を設定する

詳しくは、「FM/AM」の章の「ラジオ局（周波数）を登録する」（114ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

あらかじめ“エニーミュージック”を利用するための登録を行っておくと、“エニーミュージック”のサービスを利用して、FMラジオの放送局の設定を自動的に行うことができます。詳しくは「インターネットの接続と準備」（27 ページ）をご覧ください。

別売りの機器をつなぐ

「MD（Net MD）」（121ページ）、「外部入力」（173 ページ）、およびつなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。検証済みの別売り機器などの情報は、本機のWEBブラウザファンクションから本機専用のホームページ上でご覧ください。

A デジタル入力端子

光デジタル接続コード（角形、別売り）を使って、別売りのデジタル機器（BSデジタル／デジタルCSチューナーなど）をつなぎます。本機でBS／CSデジタルラジオ番組などのデジタル録音、再生ができます。

B MD入力端子（光デジタル／アナログ兼用）

光デジタル接続コード（光ミニプラグ、別売り）または音声接続コード（ステレオミニプラグ、別売り）を使って、別売りのNet MD機器をつなぎます。本機でNet MD機器の音声を再生できます。

ご注意

- 本機のMD 入力端子とアナログ出力端子を同じ機器につなげないでください。
- ポータブルのNet MD 機器のリモコンについているヘッドホン端子にはつながないでください。音声に雑音が入ることがあります。

C アナログ出力端子

音声接続コード（別売り）を使って、別売りのオーディオ機器（MDデッキ、カセットデッキなど）をつなぎます。本機からアナログ音声が出力されます。

D アナログ入力端子

音声接続コード（別売り）を使って、別売りのオーディオ機器（MDデッキ、カセットデッキなど）をつなぎます。本機でアナログ音声を再生、録音できます。

E USB端子

USBケーブル（別売り）*を使って、別売りのNet MD機器をつなぎます。Net MD機器と本機の間で音楽データの転送ができます。

* 別売りのNet MD機器に付属のUSBケーブルをお使いください。

ご注意

本機に接続できるNet MD機器は１台のみです。

F PHONES端子

別売りのヘッドホンをつなぎます。

インターネットの接続と準備

この章では、インターネットの接続や設定のしかた、
およびインターネット上のサービスをご利用いただく
ための登録方法について説明します。

準備1：インターネット回線につなぐ

本機は、ADSL回線やケーブルテレビインターネット、FTTHなどを使ってインターネットに接続できます。本機の回線をつなぐ前に、ADSLやケーブルテレビインターネット、FTTHなどのサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。
本機をネットワークに接続することで、インターネットやメールはもちろん、Any Musicの多彩なサービスを楽しむことができます。
また、「システムソフトの更新」により、機能のアップグレードも可能になります。
ここでは、お客さまがお使いのネットワーク環境に適した接続・設定方法を説明いたします。

ご注意

- ここでは、すでにブロードバンド環境でパソコンなどをご利用の方を対象とした標準的な接続・設定例について説明しています。
  お客様のご使用になる環境によっては、正しく動作しない場合がありますのでご了承ください。
- お使いのモデムやルータ、ハブの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ネットワークケーブルとはイーサネットケーブルまたはLANケーブルのことを指しており、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。接続形態により、使用するケーブルの種類が違いますので、ご注意ください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用のADSL回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダにお問い合わせください。
- ADSLモデムやケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダにお問い合わせください。ADSL回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
- 一部のインターネット接続サービスでは、本機をご利用できないことがあります。
- 無線LAN接続はご使用の環境によっては十分な性能が発揮できない場合があります。その場合は有線での接続をおすすめします。

ちょっと一言

- ブロードバンドルータとは、ADSL回線やケーブルテレビ回線に対応したルータです。このような機器を使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。
  ルータの接続や設定について詳しくは、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- LAN側のポートが1つのブロードバンドルータをお使いの場合は、ハブが必要です。

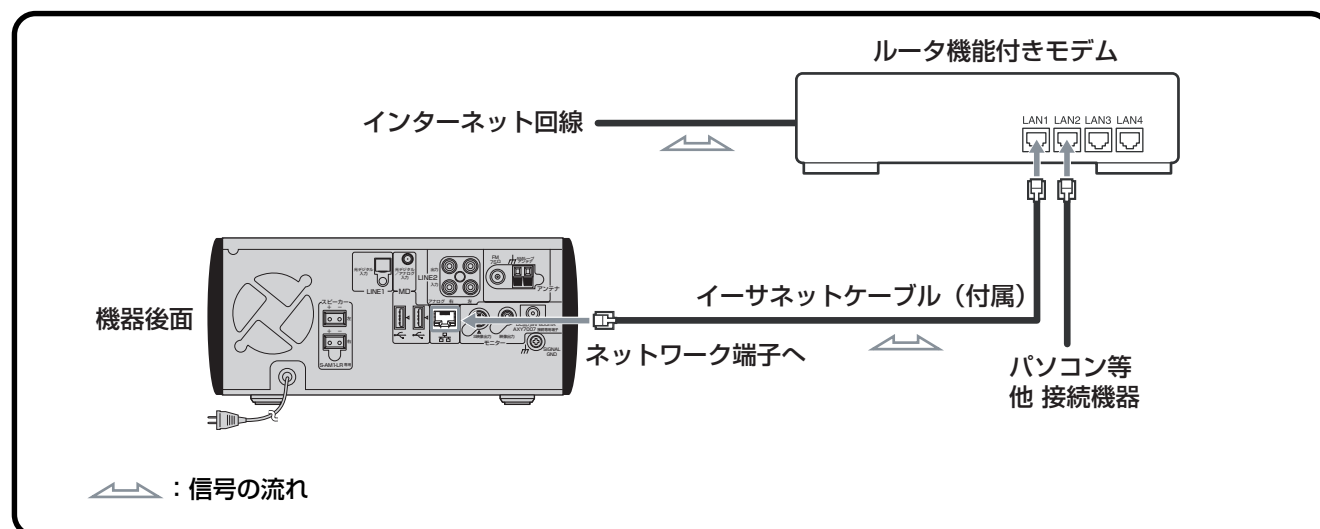
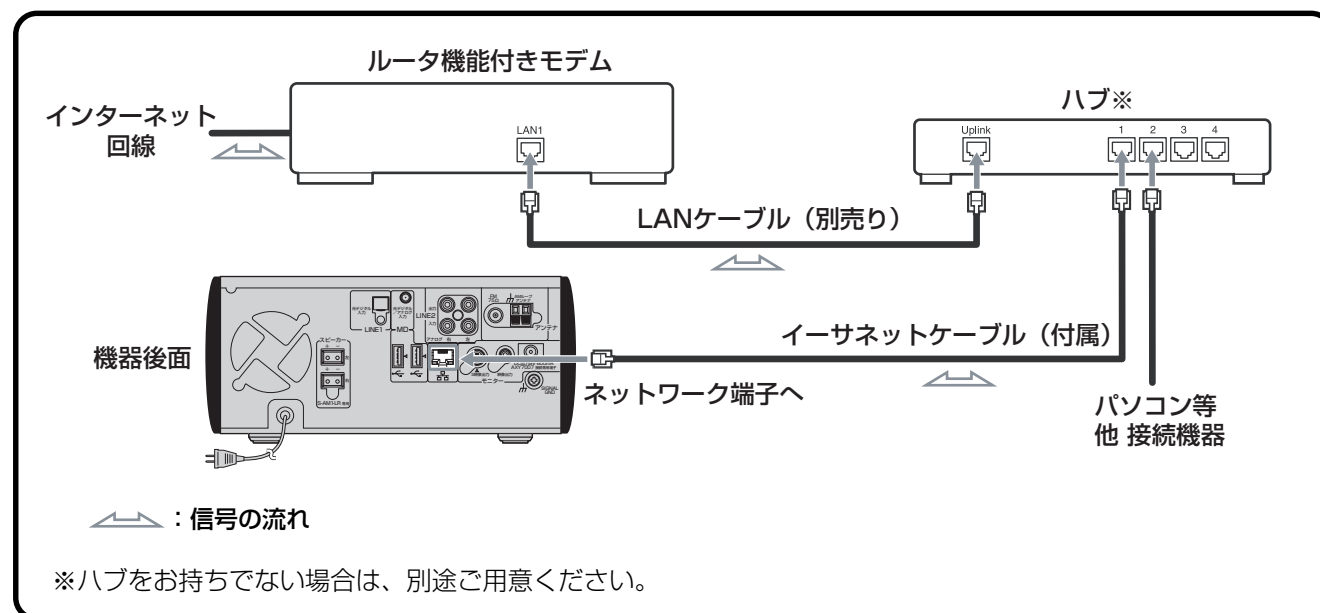
室内で、「モデム」またはブロードバンド
「ルータ」を使用していますか？
ブロードバンドルータを
使用している
ルータ機能の
ないモデムを
使用している
いずれも使用していない
ご使用のルータの「ポート」*1に、
本機をつなぐための空きがありますか？
ある
ない
接続のしかたは
31ページ
接続図Ⓒ
接続のしかたは
31ページ
接続図Ⓓ
※ ハブが必要です。
お持ちでない場合は
別途ご用意ください。
お部屋の「LANコネクタ」に、
本機をつなぐための空きがありますか？
ある
ない
複数の端末を使用できる
契約ですか？
はい
いいえ
接続のしかたは
32ページ
接続図Ⓕ
複数の端末を使用できる契約へ
変更が可能ですか？
はい
いいえ
接続のしかたは
31ページ
接続図Ⓔ
※ ルータが必要です。
お持ちでない場合は
別途ご用意ください。
接続のしかたは
32ページ
接続図Ⓕ
ルータ接続が許可されていますか？
はい
いいえ
接続のしかたは
32ページ
接続図Ⓖ
本機をご利用になるには、ルータ
経由で接続する必要があります。
マンション等にお住まいの場合は、
管理会社にご相談いただくなどし
て、ルータ接続可能なISP（イン
ターネットサービスプロバイダ）
への変更をお願いいたします。

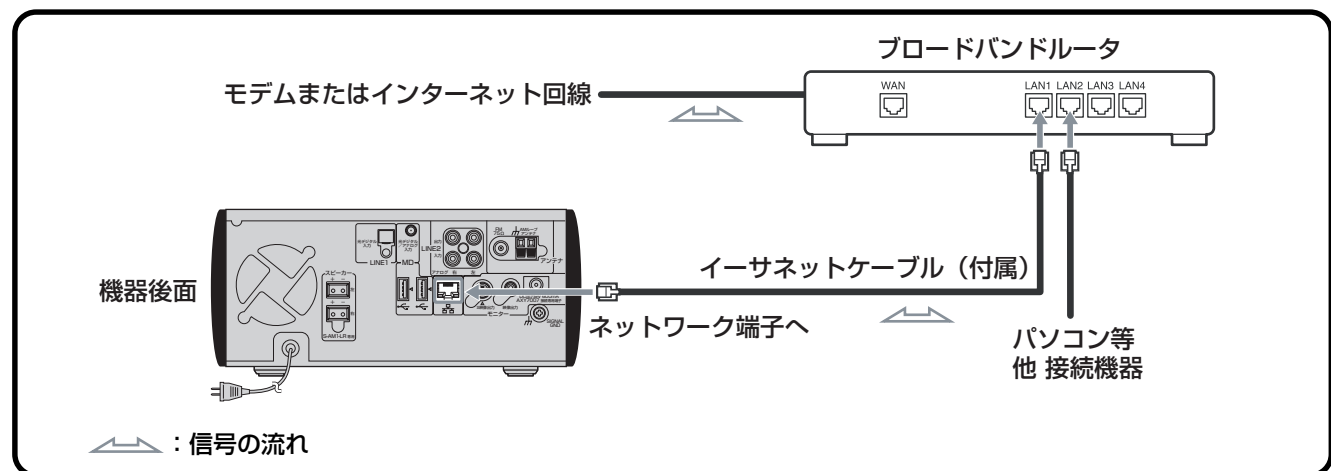
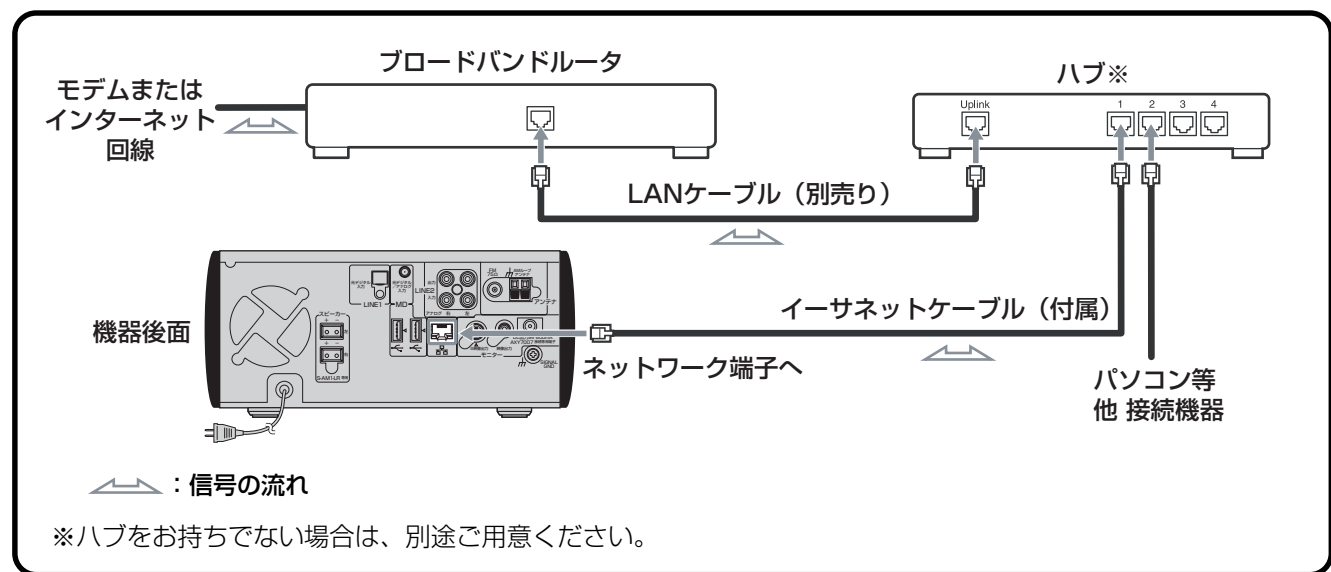
次のページにつづく

準備1：インターネット回線につなぐ（つづき）

接続のしかた

ルータ機能付きモデムを使用している場合

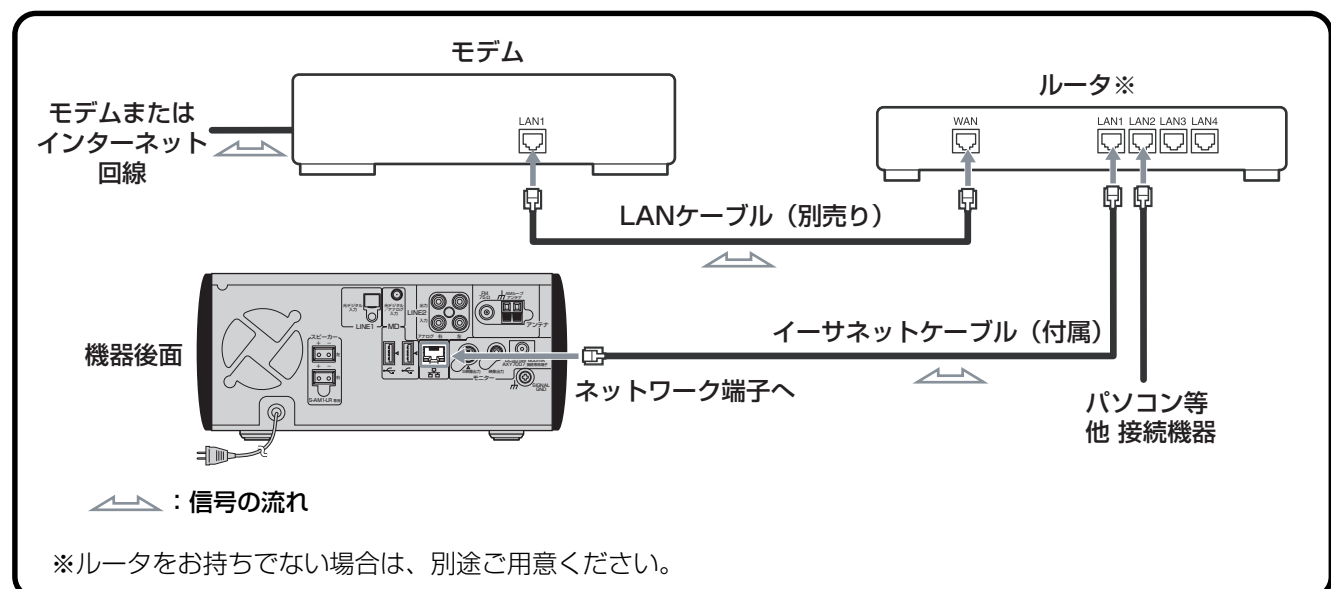
接続図Ⓐ：モデムの「ポート」に、本機をつなぐための空きがあるとき

接続図Ⓑ：モデムの「ポート」に、本機をつなぐための空きがないとき

ブロードバンドルータを使用している場合

接続図Ⓒ：ルータの「ポート」に、本機をつなぐための空きがあるとき

接続図Ⓓ：ルータの「ポート」に、本機をつなぐための空きがないとき

※ハブをお持ちでない場合は、別途ご用意ください。

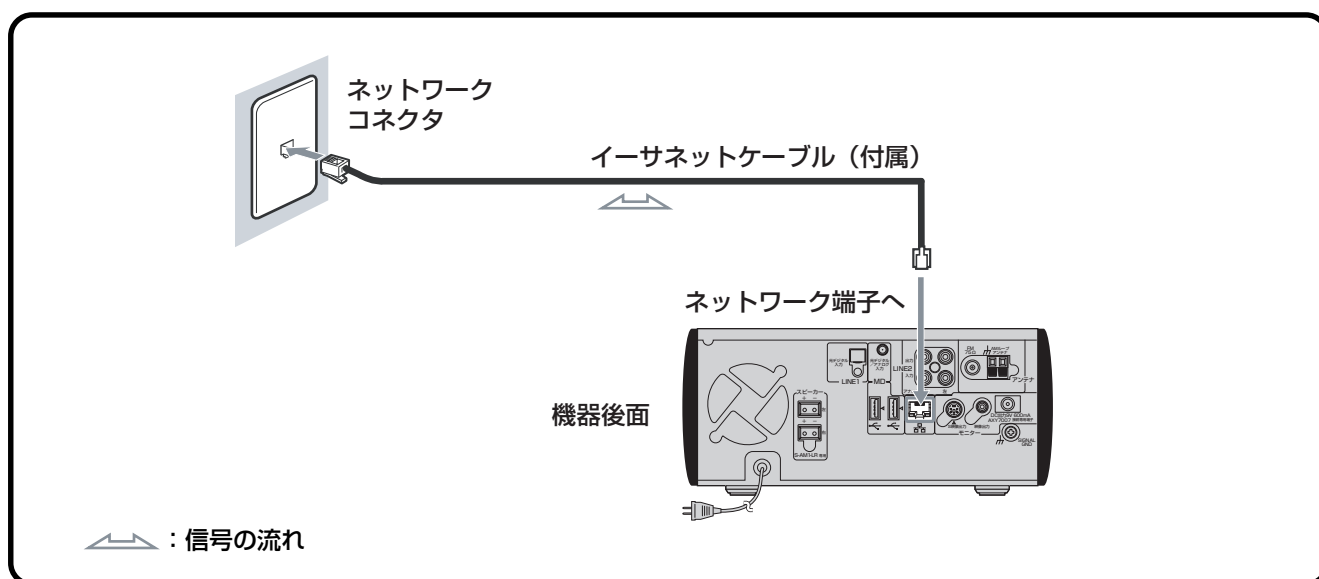
ルータ機能のないモデムを使用している場合

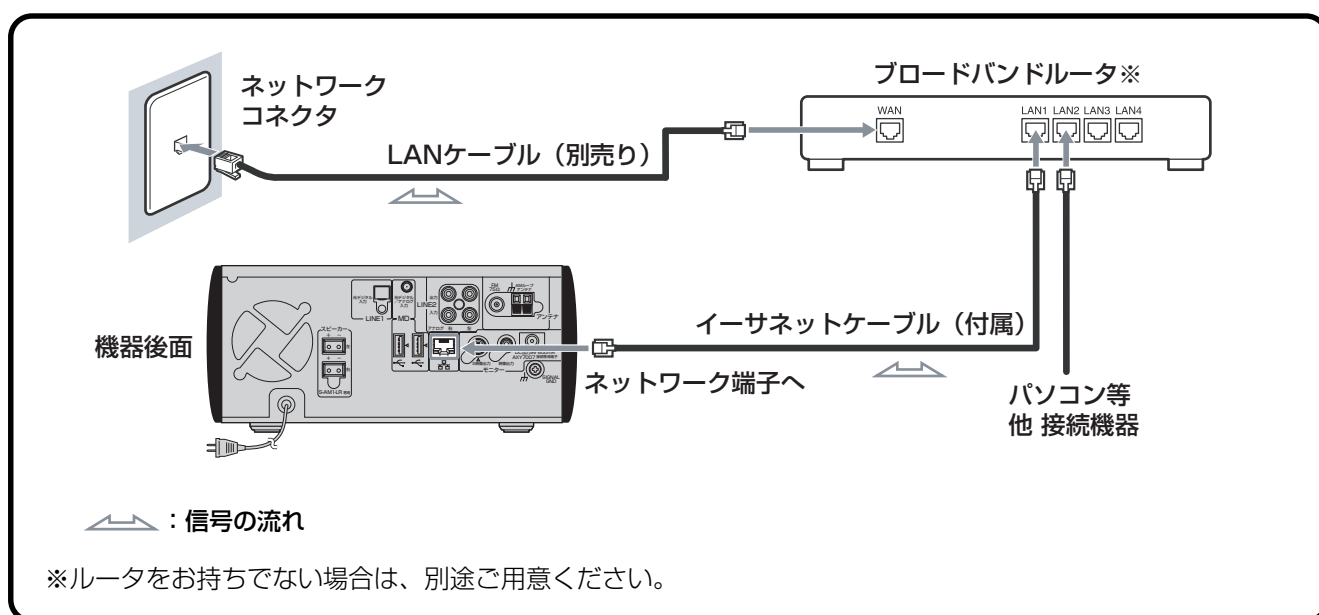
接続図Ⓔ：

※ルータをお持ちでない場合は、別途ご用意ください。

次のページにつづく

準備1：インターネット回線につなぐ（つづき）

モデムやブロードバンドルータを使用していないが、部屋の「LANコネクタ」に本機をつなぐための空きがある場合

接続図Ⓕ：複数の端末を使用できる契約の場合

接続図Ⓖ：複数の端末を使用できる契約ではないが、ルータ接続は許可されている場合

※ルータをお持ちでない場合は、別途ご用意ください。

準備2：ネットワーク設定をする

本機をインターネット用の回線に接続したら、回線の設定をします。
お使いのブロードバンドルーターの設定状況に合わせた値（英数字）を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目が異なります。詳しくは、別紙「接続／設定ガイド」、またはご利用のプロバイダからの資料などをご覧ください。

IPアドレス

インターネットに接続するコンピュータに割り当てられる固有の番号です。通常は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。
（例：192.168.xxx.xxx）

サブネットマスク

ネットワークを区切るために、コンピュータに割り当てるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。
（例：255.255.xxx.xxx）

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやブロードバンドルーターなどの機器のことです。IPアドレスで特定されています。（例：192.168.xxx.xxx）

DNSサーバアドレス（プライマリ／セカンダリ）

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバで、IPアドレスで特定されています。
お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバ」、「DNS1/DNS2」、「DNSサーバ」、「ドメインサーバ」などと呼ばれます。
（例：192.168.xxx.xxx）

名前（表示名）

ご自分が送るメールの差出人の欄にこの名前が表示されます。通常はご自分の名前を入力します。

メールアカウント

メールの送信者が利用者本人であることを確認するための設定です。（例：taro）

メールパスワード

メールの送受信者が利用者本人であることを確認するためのパスワードです。
プロバイダから指定されたパスワードを入力します。詳しくは、ご利用のプロバイダからの資料などをご覧ください。入力した文字は、秘密保持のため＊で表示されます。

送信元メールアドレス

メールを受信した人（相手）に対して、メールを送信した人（自分）のメールアドレスとして表示します。
（例：taro@xxx.ne.jp）

返信先メールアドレス

メールを受信した人（相手）がそのメールに返信するときに、メールの返信先（自分）のメールアドレスとして表示します。入力は必須ではありません。（例：taro@xxx.ne.jp）

受信メールサーバ（POP3）

メール受信用のサーバを指定します。
（例：pop.xxx.ne.jp）

送信メールサーバ（SMTP）

メール送信用のサーバを指定します。
（例：mail.xxx.ne.jp）

受信メールをサーバに残す／残さない

同じメールを他の機器（パソコンなど）でも受信したい場合は［残す］を選びます。お買い上げ時には［残さない］に設定されています。

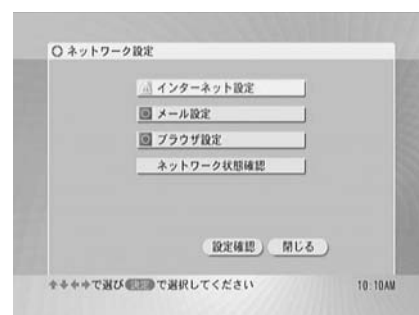
プロキシ

お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。本機の代わりに目的のサーバにアクセスし、ファイアーウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて本機にデータを送ってくれる中継サーバのことです。データをキャッシュする機能があるため、同じデータは高速に転送されます。
（例：proxy.xxx.ne.jp）
この設定は「ANY MUSIC」および「WEBブラウザ」ファンクションなど、本機のネットワーク機能に対して有効です。

ポート

プロキシ用のポート番号です。お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。
コンピュータ上で動いているたくさんのアプリケーションの中から通信先のアプリケーションを特定するために必要な情報のことです。ブラウザ、メールなど決められた番号があります。
（例：80）

1　設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［ネットワーク設定］を選び、決定ボタンを押す。

「ネットワーク設定を確認中です」というメッセージが表示されたあと、ネットワーク設定画面が表示され、正しく設定されている項目の先頭に○マークが付きます。

以降、⚠マークの項目を設定します。
最初に「インターネット設定」をします。

インターネットの接続と準備

次のページにつづく

インターネット設定をする

2 **↑/↓ボタンで［インターネット設定］を選び、決定ボタンを押す。**

インターネット設定画面が表示されます。

3 **［イーサネット速度］が［自動］に設定されていることを確認する。**

ブロードバンドルーターやハブとうまく接続できない場合は

1 ↑/↓ボタンで［イーサネット速度］を選び、決定ボタンを押す。
プルダウンメニューが表示されます。

2 ↑/↓ボタンで［100Mbps］または［10Mbps］を選び、決定ボタンを押す。

4 **［DHCP］が［全て自動設定］に設定されていることを確認する。**

この設定にしておくと、IPアドレスが自動的に取得されます。
ご利用のプロバイダーによっては、手動で設定する必要があります。このときは、次の手順で設定してください。

DHCPの設定を手動で設定するには

1 ↑/↓ボタンで［DHCP］を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンで［DNSのみ手動設定］または［全て手動設定］を選び、決定ボタンを押す。
⚠マークの項目を設定します。

3 ↑/↓ボタンで項目（［DNSのみ手動設定］を選んだときは別紙「接続／設定ガイド」の⑥～⑦、［全て手動設定］を選んだときは別紙「接続／設定ガイド」の③～⑦）を選び、決定ボタンを押す。

4 ←/→ボタンでカーソルを合わせ、↑/↓ボタンで数値を選び、決定ボタンを押す。

5 **↑/↓ボタンで［設定反映］を選び、決定ボタンを押す。**

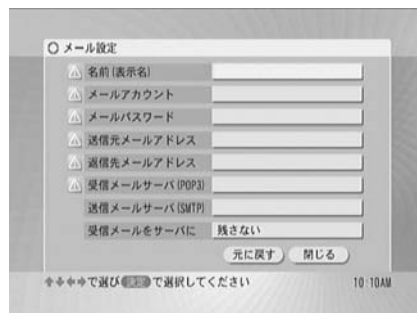
設定の反映が行われます。

6 **←/→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。**

ネットワーク設定画面に戻ります。
続けて「メール設定」をします。

メール設定をする

7 **↑/↓ボタンで［メール設定］を選び、決定ボタンを押す。**

メール設定画面が表示されます。

8 **↑/↓ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。
［受信メールをサーバに残す／残さない］を選んだときは、プルダウンメニューが表示されます。

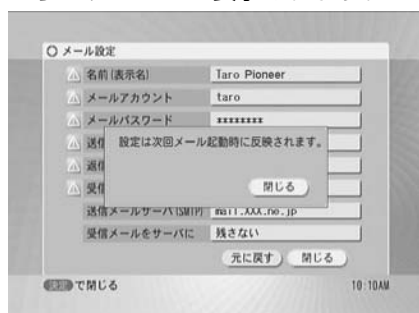
9 **文字を入力し、決定ボタンを押す。［受信メールをサーバに残す／残さない］を選んだときは、↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

10 **手順8から9をくり返し、各設定項目（別紙「接続／設定ガイド」⑧～⑮）を設定する。**

準備2：ネットワーク設定をする（つづき）

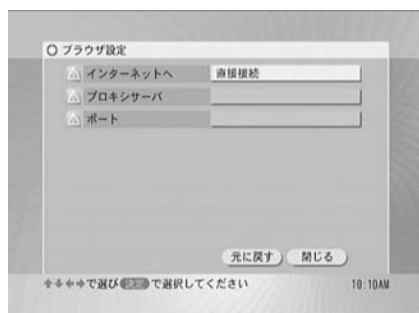
11 入力が終わったら、⬆/⬇/⬅/➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。

「設定は次回メール起動時に反映されます。」というメッセージが表示されます。

12 決定ボタンを押す。

ネットワーク設定画面に戻ります。
続けて「ブラウザ設定」をします。

ブラウザ設定をする

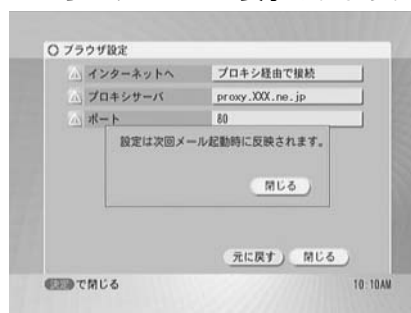
13 ⬆/⬇ボタンで［ブラウザ設定］を選び、決定ボタンを押す。

ブラウザ設定画面が表示されます。

14 ［インターネットへ］が［直接接続］に設定されていることを確認する。

ブラウザをプロキシサーバ経由で接続するには

1 決定ボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［プロキシ経由で接続］を選び、もう一度決定ボタンを押す。
2 ⬆/⬇ボタンで項目（別紙「接続／設定ガイド」⑰～⑱）を選び、決定ボタンを押す。
3 文字を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

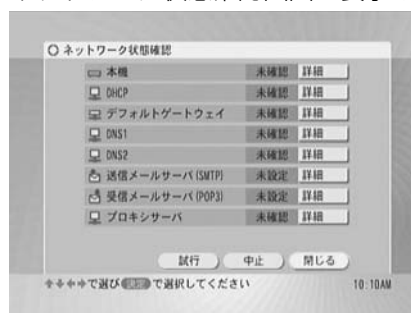
15 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。

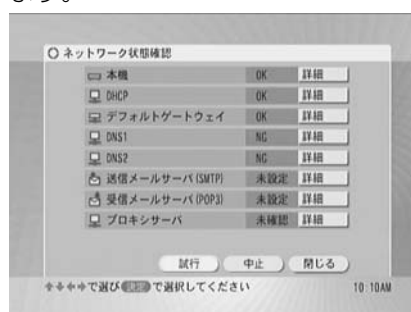
「設定は次回ブラウザ起動時に反映されます。」というメッセージが表示されます。

16 決定ボタンを押す。

ネットワーク設定画面に戻ります。
最後に「ネットワーク状態確認」をします。

ネットワーク状態確認をする

17 ⬆/⬇ボタンで［ネットワーク状態確認］を選び、決定ボタンを押す。

ネットワーク状態確認画面が表示されます。

18 ⬅/➡ボタンで［試行］を選び、決定ボタンを押す。

ネットワーク状態の確認が始まります。
確認が終わると［OK］または［NG］が表示されます。

すべての接続に［OK］が表示されたときは
手順23に進む。

［NG］が表示されたときは
手順19に進む。

19 **↑/↓/→ボタンで［NG］－［詳細］を選び、決定ボタンを押す。**
想定される原因が表示されます。

20 **画面の指示にしたがって接続や設定をやり直す。**

21 **すべての接続に［OK］と表示されるまで、手順18から20をくり返す。**
社内LANなど、一部の環境では、接続や設定が正しくても［NG］と表示されることがあります。このときは、ご使用のネットワークの管理者などにお問い合わせください。

22 **↑/↓/←/→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。**
ネットワーク設定画面に戻ります。

23 **↑/↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**
ネットワーク設定画面が閉じます。

手順の途中でやめる

↑/↓/←/→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ネットワーク状態確認を途中でやめる

↑/↓/←/→ボタンで［中止］を選び、決定ボタンを押す。

設定を変更前の状態に戻す

インターネット設定、メール設定、ブラウザ設定の途中で↑/↓/←/→ボタンを押して［元に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

WEBサイトに接続する

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**
本機専用のホームページが表示されます。
このホームページから、サポート情報やアップグレード情報などの製品に関する情報を見ることができます。

2 **↑/↓ボタンで［お知らせ］を選び、決定ボタンを押す。**
設定が正しいと、お知らせ画面が表示されます。

準備3：“エニーミュージック”を利用するための登録をする

エニーミュージック（株）が運営・提供する“エニーミュージック”で提供される各種サービスをご利用いただくための登録を行います。
登録の操作など詳しくは、別冊「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

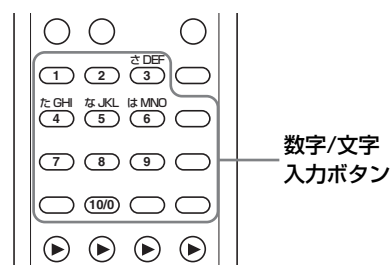
文字を入力する

この章では、本機のリモコンを使った文字入力のしかたについて説明します。
文字入力には予測変換機能を使う方法と、使わない方法があり、切り換えることができます。

予測変換機能（POBox）とは？

文字入力には、本機に付属のリモコンを使用します。本機に付属のリモコンでは予測変換（POBox*）機能が使えます。予測変換機能とは、入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、一覧表示で選んだ単語から文脈を予測していく機能です。さらに、よく使う単語も学習しますので、リモコン操作の回数が減り便利です。
一覧表示の使いかたは2通りあり、組み合わせて使うと便利です。

① 単語の最初の1文字を入力すると、その文字で始まる単語が候補表示エリアに表示されます。
② 候補表示エリアから単語を選ぶと、その単語から予測される次の単語が候補表示エリアに表示されます。

例として「富士山に登った」と入力してみます。

1 はMNO 6 を3回押して「ふ」を入力する。
「ふ」「ぶ」「ぷ」から始まる単語が候補表示エリアに表示されます。
「富士山」がすぐに見つからない場合でも、順に さDEF 3 を2回押して「し」、さDEF 3 を1回押して「さ」と入力していくと、「富士山」が候補表示エリアに表示されます。

2 候補表示エリアから「富士山」を選ぶ。
「富士山」に続くと予測される単語が候補表示エリアに表示されます。

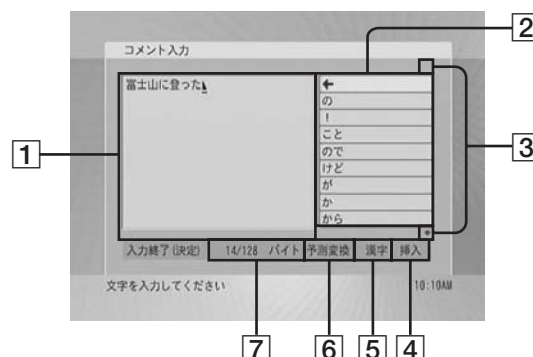
3 候補表示エリアから「に」を選ぶ。
「に」に続くと予測される単語が候補表示エリアに表示されます。

4 なJKL 5 を5回押して「の」を入力し、「登った」を選ぶ。
「登った」がすぐに見つからない場合でも、順に はMNO 6 を5回押して「ほ」、たGHI 4 を3回押して「つ」、たGHI 4 を1回押しして「た」と入力すると候補表示エリアに表示される確率が高くなります。

ご注意

- 候補表示エリアに表示される単語は、使用状況により異なります。
- 予測変換機能を使わずに文字を入力したいときは、本機の設定を変更してください（40ページ）。

* POBoxはPredictive Operation Based On eXampleの略です。

文字入力画面の各部の名前とはたらき

1 文字入力エリア
入力した文字が表示されます。

2 候補表示エリア
予測候補を一覧表示します。

3 スクロールアイコン
候補表示エリアに予測候補を表示しきれないときに表示されます。（画面は下方向のスクロールアイコンのみが表示された例です。）

4 入力モードの表示エリア
上書き ： 上書きモードで入力します。
挿入 ： 挿入モードで入力します。

5 入力文字種類の表示エリア
文字切換ボタンで入力する文字の種類を切り換えます。ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。使用中の入力画面により、入力できる文字の種類は異なります。

6 変換状態の表示エリア

→［漢字］→［全カナ］→［全英］→［全数］
←［半数］←［半英］←［半カナ］←

予測変換 ： 予測変換機能を使って入力します。
予測変換 ： 予測変換機能を使っている状態で候補表示エリアに表示されない単語があるときに、入力した文字を、文字変換ボタンを押して単語や漢字に変換している状態です。
（空欄） ： 予測変換機能を使わずに入力します。

7 入力バイト数の表示エリア
［入力済みバイト数／入力可能最大バイト数］を表示します。
使用中の入力画面により、入力できる最大文字数は異なります。

文字入力数とバイト数について

半角英字・数字 1文字：1バイト
半角カタカナ 1文字：2バイト
全角 1文字：2バイト （例）YAMADA太郎：10バイト

文字を入力する

携帯電話と同じ感覚で文字を入力できます。予測変換機能を使うと、さらに手早く入力できます。

ご注意

文字入力時、入力可能な総バイト数を超えた場合は、文字の入力は行われません。

変換方法を切り換える（予測変換切換）

文字入力画面が表示されている状態でツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［予測変換］－［ON］または［OFF］を選び、決定ボタンを押す。

予測変換 ON	予測変換に切り換わります。
予測変換 OFF	通常変換に切り換わります。

現在の変換方法は、変換状態の表示エリアに表示されます（38ページ）。

ちょっと一言

予測変換と通常変換は、入力文字種類が［漢字］のときのみ有効です。

入力文字種類を切り換える

文字切換ボタンをくり返し押して、文字の種類を選ぶ。

ボタンを押すたびに、入力文字種類の表示エリアの表示が以下のように切り換わります。

表示	入力文字種類
漢字	漢字／ひらがな
全カナ	全角カタカナ
全英	全角英字
全数	全角数字
半カナ	半角カタカナ
半英	半角英字
半数	半角数字

詳しくは、「入力文字種類とリモコンボタンの割り当て」（44ページ）をご覧ください。

ご注意

使用中の入力画面により、入力できる文字の種類は異なります。

入力モード（上書き／挿入）を切り換える

文字を入力する際、カーソルの位置に文字を上書きするか挿入するかを設定します。

ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［挿入モード］または［上書きモード］を選び、決定ボタンを押す。

挿入モード	挿入モードに切り換わります。
上書きモード	上書きモードに切り換わります。

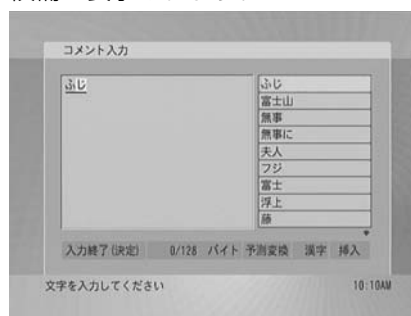
漢字を入力する

予測変換を使って入力する

1 **変換方法を予測変換に切り換える（左記）。**

2 **入力文字種類を［漢字］に切り換える（左記）。**

3 **入力したい文字が割り当てられているボタン（あ（行）、か（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。**

選んだ文字が表示され、候補表示エリアに予測候補が表示されます。

ボタンに割り当てられている文字について詳しくは、「入力文字種類とリモコンボタンの割り当て」（44ページ）をご覧ください。

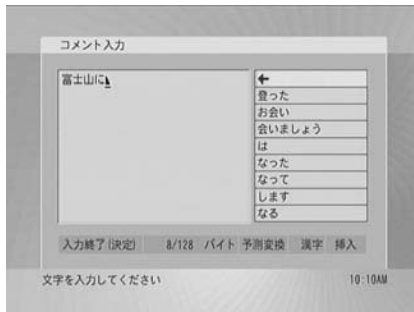
次のページにつづく

文字を入力する（つづき）

4 **候補表示エリアに希望の予測候補が表示されるまで文字を入力する。**

文字を入力するたびに候補表示エリアに表示される単語が絞られます。
⬅ボタンでカーソルを左に移動すると、カーソル位置までの文字から選ばれた候補が表示されます。

5 **⬆/⬇ボタンで希望の予測候補を選び、決定ボタンを押す。**

文字が確定され、候補表示エリアに検索候補が表示されます。

6 **⬆/⬇ボタンで希望の検索候補を選び、決定ボタンを押す。**

文字が確定され、候補表示エリアに次の検索候補が表示されます。

検索候補に目的の候補がないときは
⬆ボタンで［⬅］を選び、決定ボタンを押す。
または、戻るもしくは⬅ボタンを押す。
候補表示が消え、文字入力エリアにカーソルが戻ります。

予測変換機能を使って入力した文字を通常変換する

希望の語句が予測候補に表示されない場合、一時的に通常変換に切り換えます。

1 文字を入力し、文字変換ボタンを押す。
2 ⬆/⬇ボタンで候補表示エリアから希望の漢字候補を選び、決定ボタンを押す。
通常変換をやめるには、戻るボタンを押します。

予測候補を選ばずに文字入力エリアに戻る

戻るボタンを押す。
候補を選んでいない状態で戻るボタンを押すと、未確定文字がすべて削除されます。

予測変換を使わずに入力する

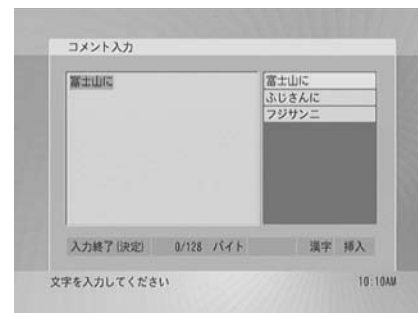
1 **変換方法を通常変換に切り換える（39ページ）。**

2 **入力文字種類を［漢字］に切り換える（39ページ）。**

3 **入力したい文字が割り当てられているボタン（あ（行）、か（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。**

選んだ文字が表示されます。

4 **文字変換ボタンを押す。**

候補表示エリアに漢字候補が表示されます。

5 **⬆/⬇ボタンで希望の漢字候補を選び、決定ボタンを押す。**

文字が確定されます。
確定は文節ごとに行います。確定された文節は自動的に学習されるので、予測変換でも利用できるようになります。

漢字変換をやめる

手順5で戻るボタンを押す。

ひらがなのまま確定する

手順3のあとで決定ボタンを押す。

文節を変換する

長い文章を一度に変換したとき、希望通りの文節で区切られない場合があります。このような場合、文節の区切りを変更できます。

1 未確定の状態で⬅/➡ボタンを押し、文節の区切りを変更する。
2 文字変換ボタンを押す。
文字を確定すると、本機は区切り位置を学習します。

その他の操作をする

こんなときは	操作
カーソルを移動する	↑/↓/←/→ボタンを押す。
大文字または小文字を入力する（「や」「ゃ」、「A」「a」など）	入力したい文字（ひらがな／カタカナ／英字）が割り当てられているボタンをくり返し押す。 詳しくは、「入力文字種類とリモコンボタンの割り当て」（44ページ）をご覧ください。
濁点文字または半濁点文字を入力する（「が」、「ぱ」など）	濁点または半濁点をつけたい文字を入力したあとに記号ボタンを押す。 ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。 → 通常文字 → 濁点文字 → 半濁点文字 →
逆の順序で文字を表示する	文字が未確定の状態で改行ボタンを押す。
改行する*	確定した文字の右側にカーソルを置き、改行ボタンを押す。

* 使用中の入力画面により、改行できない場合があります。

区点コードを使って入力する

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は、「区点コード表」（205ページ）を使って入力します。

1 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［区点コード入力］を選び、決定ボタンを押す。**
区点コード入力画面が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**
区点コードの4桁目が選ばれます。

3 **↑/↓ボタンで区点コードの4桁目を入力し、→ボタンを押す。**
3桁目に移動します。

4 **手順3をくり返し、3桁目、2桁目、1桁目を入力する。**
間違えて入力したときは、←ボタンで戻り、入力し直します。

5 **決定ボタンを押す。**

6 **→ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。**
入力したコードの文字が確定され、文字入力エリアに戻ります。

手順の途中でやめる

文字入力画面が表示されるまで戻るボタンをくり返し押す。

ご注意
ファンクションによっては、入力できない区点コードがあります。詳しくは、「区点コード表」（205ページ）をご覧ください。

カタカナ・英数字を入力する

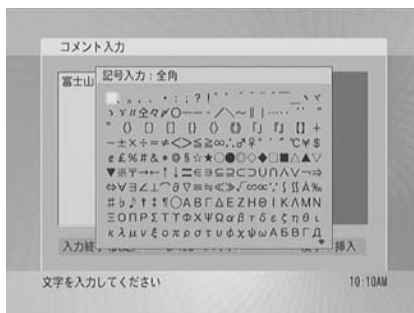
1 **入力文字種類を切り換える（39ページ）。**

2 **カタカナや英字を入力するには**
入力したい文字が割り当てられているボタン（あ（行）、か（行）、ABC、DEFなど）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
選んだ文字が表示されます。
詳しくは、「入力文字種類とリモコンボタンの割り当て」（44ページ）をご覧ください。

数字を入力するには
数字ボタンを押す。
押したボタンの数字が表示されます。
詳しくは、「入力文字種類とリモコンボタンの割り当て」（44ページ）をご覧ください。

記号（＄など）を入力する

記号は半角記号と全角記号の2種類あります。

1 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［記号文字入力］－［全角］または［半角］を選び、決定ボタンを押す。**
全角または半角の記号入力画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンで希望の記号を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ記号が確定され、文字入力エリアに戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

文字を削除する

1文字を削除する

↑/↓/←/→ボタンで削除したい文字にカーソルを置き、クリアボタンを押す。

カーソルより後ろの文字をすべて削除する

↑/↓/←/→ボタンで削除したい文字列の先頭の文字にカーソルを置き、クリアボタンを長く押す。

すべての文字を削除する

↑/↓/←/→ボタンで削除したい文字列の先頭または最後尾にカーソルを置き、クリアボタンを長く押す。

選んだ文章を他の場所にも使う

文章をコピー（複写）またはカット（切り取り）して他の場所に貼り付けられます。似た文章や同じ文章をくり返し入力する必要がなく便利です。単語だけでなく、文章もコピーして貼り付けられます。

1 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［コピー］または［切り取り］を選び、決定ボタンを押す。**

2 **↑/↓/←/→ボタンでコピーまたはカットしたい単語または文章の始点の文字を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ文字が青くなります。

3 **↑/↓/←/→ボタンでコピーまたはカットしたい単語または文章の終点の文字を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ単語または文章が一時的に保存されます。
［切り取り］を選んだときは、選んだ単語または文章が削除されます。

4 **↑/↓/←/→ボタンで貼り付けたい位置にカーソルを置く。**

5 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［貼り付け］を選び、決定ボタンを押す。**
一時的に保存された単語または文章がカーソル位置に挿入されます。
上書きモードに設定されている場合でも、上書きされず挿入されます。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ちょっと一言

選択範囲は始点と終点の文字を含みます。

ご注意

文章が入力されていないと、手順1で［コピー］または［切り取り］を選ぶことはできません。

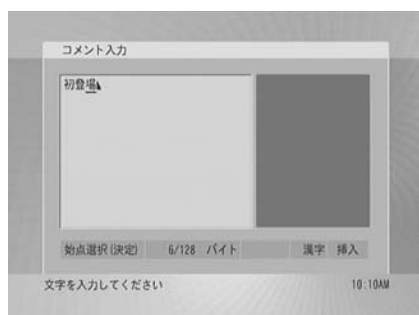
よく使う語句を辞書に登録する

あらかじめよく使う単語を辞書に登録しておけば、早く候補表示エリアに表示され便利です。

ちょっと一言

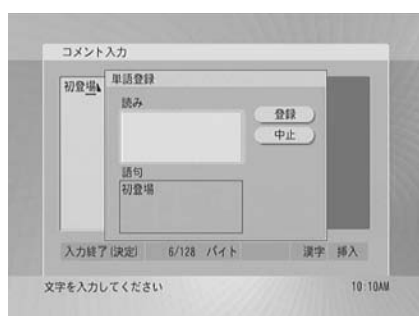
辞書に登録した語句は、予測変換・通常変換の両方に使えます。

1 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［辞書編集］－［登録］を選び、決定ボタンを押す。

文章が入力されていないと［登録］を選べません。

2 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで辞書に登録したい単語または文章の始点の文字を選び、決定ボタンを押す。

選んだ文字が青くなります。

3 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで辞書に登録したい単語または文章の終点の文字を選び、決定ボタンを押す。

単語登録画面が表示されます。

4 決定ボタンを押す。

カーソルが表示されます。

5 ［読み］の欄にひらがなで読みを入力 し、決定ボタンを押す。

6 ➡ボタンで［登録］を選び、決定ボタンを押す。

辞書に登録され、文字入力エリアに戻ります。
指定した範囲の文章がスペースや改行のみの場合は登録できません。

手順の途中でやめる

⬆/⬇/➡ボタンで［中止］を選び、決定ボタンを押す。
または、戻るボタンを押す。

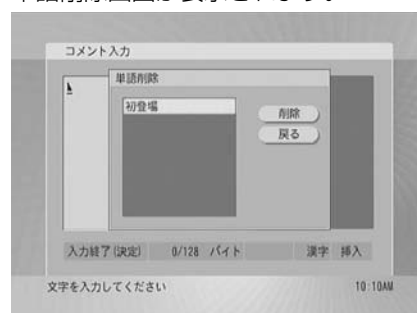
ちょっと一言

- 選択範囲は始点と終点の文字を含みます。
- 辞書に登録した語句は、変換候補を選ぶときに優先的に表示されます。

ご注意

登録できる単語数は最大300件です。登録が300件を超えると古いものから順に削除されます。

辞書に登録した単語または文章を削除する

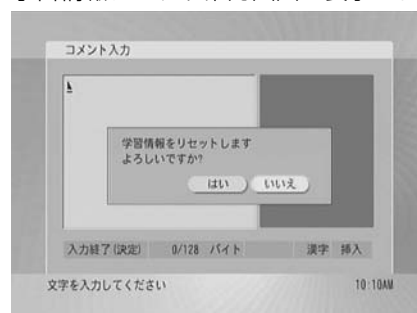
1 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［辞書編集］－［削除］を選び、決定ボタンを押す。
単語削除画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで削除したい単語または文章を選ぶ。

3 ⬅/➡ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。
削除確認画面が表示されます。

4 ⬅/➡ボタンで［はい］または［いいえ］を選び、決定ボタンを押す。
選んだ単語または文章が削除されます。

学習情報をリセットする

予測変換と通常変換の学習情報（よく使う単語やフレーズなどの情報）をすべて削除します。

1 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［学習情報リセット］を選び、決定ボタンを押す。
学習情報リセット確認画面が表示されます。

2 ⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
学習情報がすべて削除されます。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。または、手順2で［いいえ］を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

学習情報をリセットしても、辞書登録の内容は削除されません。

入力文字種類と リモコンボタンの割り当て

各入力文字種類ごとに割り当てられている文字や記号は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>文字種類
ボタン</th><th>漢字／ひらがな</th><th>全角カタカナ
半角カタカナ</th><th>全角英字
半角英字</th><th>全角数字
半角数字</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td rowspan="2">アイウエオァィゥェォ</td><td><全角>
．＠／：ー＿～1</td><td rowspan="2">1</td></tr>
<tr><td><半角>
.@/:-_~1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコヵ（全角のみ）ヶ（全角のみ）</td><td>ａｂｃＡＢＣ２</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>ｄｅｆＤＥＦ３</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>ｇｈｉ ＧＨＩ４</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>ｊｋｌＪＫＬ５</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>ｍｎｏＭＮＯ６</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>ｐｑｒｓＰＱＲＳ７</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>ｔｕｖＴＵＶ８</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>ｗｘｙｚＷＸＹＺ９</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わをんゎ全角スペース</td><td>ワヲンヮ（全角のみ）スペース</td><td>スペース０</td><td>0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">゛ 。 記号</td><td rowspan="2">濁音、半濁音
、。ー（長音）・！？</td><td><全角>濁音、半濁音
、。ー（長音）・！？</td><td><全角>
！？ー，”＿～</td><td rowspan="2">＊</td></tr>
<tr><td><半角>
ﾞ ﾟ､｡-（長音）･!?｢｣</td><td><半角>
!?-,ｺ;()ﾓ&¥</td></tr>
<tr><td>改行 *</td><td colspan="4">改行を入力します。</td></tr>
</table>

* 文字が未確定の状態で改行ボタンを押すと、文字が割り当てられているボタンを押したときとは逆の順序で文字が表示されます。

ANY MUSIC

“エニーミュージック”とは、ブロードバンドネットワークを使った総合音楽サービス（有料）です。
“エニーミュージック”を使うと、パソコンを使わずに音楽をダウンロードでき、本機のハードディスクに保存して楽しめます。
詳しくは、別紙「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

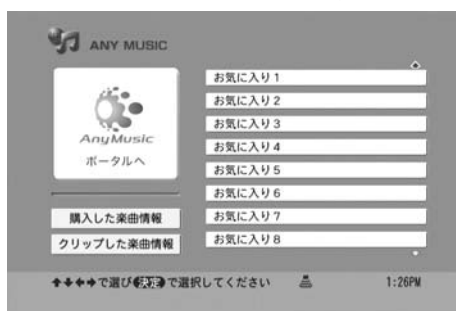
ご注意

今後、新たに“エニーミュージック”から提供されるサービスや機能によっては、本機で対応できないことがあります。

ANY MUSICメイン画面について

ここでは、ANY MUSICメイン画面でできることについて説明します。詳しくは、別紙「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

1 ANY MUSICボタンを押す、または、ファンクションメニューボタンを押し、↑/↓ボタンで［ANY MUSIC］を選び、決定ボタンを押す。

ANY MUSICメイン画面が表示されます。

2 ↑/↓/←/→ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

選んだ項目によって、次のようになります。

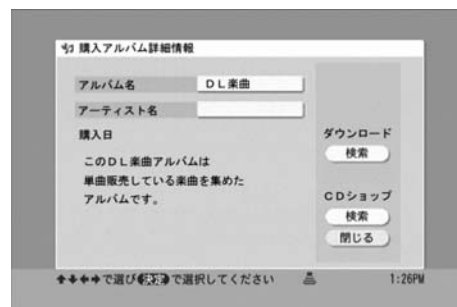
- ［Any Musicポータルへ］
  “エニーミュージック”ポータルサイトのトップページに接続します。
- ［購入した楽曲情報］
  “エニーミュージック”で購入したアルバムや曲の一覧を表示します。
  購入アルバムリスト画面を表示中に↑/↓ボタンでアルバムを選び、決定ボタンを押すと、購入楽曲画面が表示されます。

- ［クリップした楽曲情報］
  チューナーファンクションでクリップした曲の一覧を表示します。
- ［お気に入り］
  ブックマークをつけたページの一覧を表示します。

購入したアルバムや曲、クリップした曲、およびお気に入りの詳細情報を見る

1 ↑/↓ボタンで詳細情報を見たい項目を選ぶ。

2 ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［詳細情報］を選び、決定ボタンを押す。

詳細情報画面が表示されます。

詳細情報画面を閉じるには、↑/↓/→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

クリップした曲やお気に入りを削除する

1 削除する対象を選び、削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］—［削除］を選び、決定ボタンを押す。

2 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

購入アルバムリストでは、1曲単位で購入した曲も1つのアルバムとして表示されます。

ご注意

ネットワークの状況などにより操作ができなくなったときは、ANY MUSICボタンを押してください。メイン画面に戻ります。

HDD

（ハードディスク）

この章では、HDDの使いかたを説明します。HDDでは、次のことができます。

- “エニーミュージック”で購入した曲などを、HDDに取り込む（購入した曲はDLフォルダ、DLアルバムに保存される）
- CDの曲をHDDに録音して再生、編集する
- マジックゲート対応“メモリースティック”の曲をHDDに取り込む
- HDD内の曲を“メモリースティック”やNet MD機器などに転送したり（チェックアウト）、転送した曲をHDDに戻す（チェックイン）
- 好きな曲を集めてお気に入りリストを作成、編集する
- フォルダやアルバム、曲に名前をつける
- HDD内の曲をフォルダ順やアーティスト順、ジャンル順などに並べ替える
- HDD内のアルバムや曲をキーワードで検索する

転送（チェックイン／チェックアウト）とは？

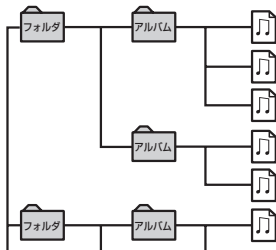
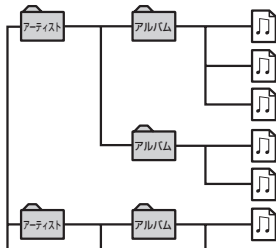
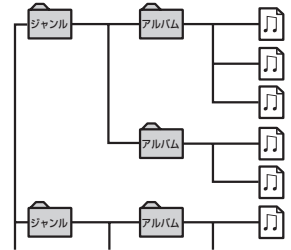
本機のHDDからマジックゲート対応“メモリースティック”やNet MD機器などの外部メディアに音楽データを転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを本機のHDDに戻すことを「チェックイン」と言います（本機からチェックアウトしたデータを他のパソコンなどにチェックインすることはできません）。一度チェックアウトしたデータをチェックインにより本機のHDDに戻したあと、再びチェックアウトすることもできます。チェックアウトできる回数は著作権の保護のため、制限があります。詳しくは、「転送できる回数を確認する」（68ページ）をご覧ください。

表示モードを切り換える

フォルダ別、アーティスト別やジャンル別などに並べ替えて表示できます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

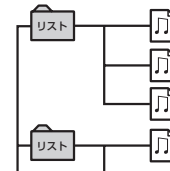
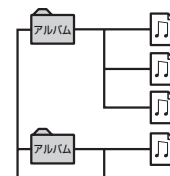
2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［(モードの種類)］を選び、決定ボタンを押す。**

・**フォルダ（お買い上げ時の設定）**
HDD内のフォルダ一覧が表示されます。
フォルダ階層、アルバム階層、トラック階層の3階層があります。

・**アーティスト**
HDD内のアルバムに登録されているアーティスト一覧が表示されます。
アーティスト階層、アルバム階層、トラック階層の3階層があります。

・**ジャンル**
HDD内のアルバムに登録されているジャンル一覧が表示されます。
ジャンル階層、アルバム階層、トラック階層の3階層があります。

・**ランキング**
トラック階層の1階層のみです。

アクセストップ50
HDD内の曲一覧が、再生した回数の多い順に50曲まで表示されます。

アクセスボトム50
HDD内の曲一覧が、再生した回数の少ない順に50曲まで表示されます。

最近聴いた曲50
HDD内の曲一覧が、最近再生した順に50曲まで表示されます。

・**お気に入りリスト**
お気に入りに登録されている曲一覧がリストごとに表示されます。
リスト階層とトラック階層の2階層があります。

・**ANY MUSIC**
“エニーミュージック”で購入した曲のみが表示されます。
アルバム階層、トラック階層の2階層があります。
アルバム階層の先頭のアルバムには、曲単位で購入した曲が集められます。

ご注意
モードは停止中のみ切り換えられます。

曲を聞く

HDDに録音した曲、“エニーミュージック”で購入した曲、またはマジックゲート対応“メモリースティック”から移動したフォルダやアルバム内の曲を聞きます。

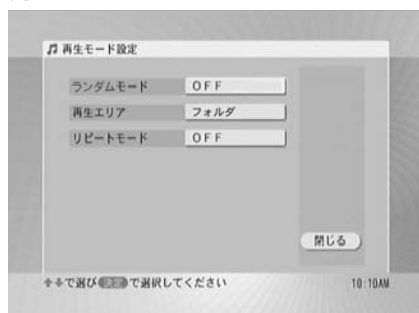
1　ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2　画面の表示方法を変更したいときは、表示方法を切り換える。

詳しくは、「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

3　ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［設定］－［再生モード設定］を選び、決定ボタンを押す。

再生モード設定画面が表示されます。

4　ランダムモード、再生エリア、リピートモードを選ぶ。

⬆/⬇ボタンで選び、決定ボタンで決定します。
（◆：お買い上げ時の設定）

・ランダムモード

停止中に選びます。

◆OFF	現在の表示モードの曲順で再生します。
ON	順を変えて再生します。

・再生エリア

停止中に選びます。表示モードによって再生する範囲が異なります。
（◆：お買い上げ時の設定）

フォルダモードのとき

◆すべて	HDDのすべての曲を再生します。
フォルダ	現在選ばれているフォルダのすべての曲を再生します。
アルバム	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生します。

アーティストモードのとき

◆すべて	HDDのすべての曲を再生します。
アーティスト	現在選ばれているアーティストのすべての曲を再生します。
アルバム	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生します。

ジャンルモードのとき

◆すべて	HDDのすべての曲を再生します。
ジャンル	現在選ばれているジャンルのすべての曲を再生します。
アルバム	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生します。

ランキングモードのとき*

◆すべて	リストのすべての曲を再生します。

*［すべて］のみ表示します。選択できません。

お気に入りリストモードのとき

◆すべて	お気に入り登録されているすべての曲を再生します。
リスト	現在選ばれているリストのすべての曲を再生します。

次のページにつづく

ANY MUSICモードのとき

アルバム	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生します。
◆すべて	“エニーミュージック”で購入したすべての曲を再生します。

・リピートモード

◆OFF	リピート再生しません。
ON	再生エリアで設定した範囲内のすべての曲をくり返します。
トラック	1曲だけをくり返し再生します。

5 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

メイン画面に戻ります。カレント情報エリアに次のように点灯します。（説明のない項目では何も点灯しません）。

- ランダムモード
  ［ON］：RANDOM
- 再生エリア（表示モードによって下記のように点灯します。）

－ フォルダ：

－ アーティスト：

－ ジャンル：

－ リスト：

－ アルバム：

各表示モードで「すべて」を選んでいる場合は、 ALL のように「ALL」がつきます。

- リピートモード
  ［ON］：REPEAT
  ［トラック］：REPEAT 1

6 **⬆/⬇/⬅/➡または⏮/⏭ボタンで聞きたいフォルダまたはアルバム、曲などを選ぶ。**

7 **共通▷ボタンを押す。**

再生が始まります。

設定を途中でやめる

戻るボタンを押す。
変更した設定はそのまま残ります。

その他の操作をする

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。 もう一度押すか、共通▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
アルバムを選ぶ	アルバム/グループ⬆またはアルバム/グループ⬇ボタンでアルバムを選ぶ。
フォルダ、アルバム、曲を選んで再生する*	⬆/⬇/⬅/➡または⏮/⏭ボタンで曲を選び、共通▷ボタンを押す。
音を聞きながら曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
時間表示を見ながら曲中の聞きたいところを探す	一時停止中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離し、❚❚または共通▷ボタンを押す。
直前に聞いていた曲から再生する	ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［設定］－［リジューム再生設定］－［ON］を選び、決定ボタンを押す。 カレント情報エリアにリジューム再生アイコンRが表示されます。 電源を切ったり、ファンクションを切り換えても、その直前に聞いていた曲から再生します。
消音する	消音ボタンを押す。 消音アイコンが表示されます。 もう一度押すか、音量＋/－ボタン（音量つまみ）で音量を調節すると、音が出ます。
音量を調節する	音量＋/－ボタン（音量つまみ）を調整する。

＊ リスト画面（15ページ）で再生中は、⬆/⬇/⬅/➡ボタンで曲を選び、決定ボタンを押すとその曲の再生が始まります。
また、手順2で切り換えた表示モードによって選べる内容が異なります。詳しくは、「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

ご注意

- 数秒の曲が連続している場合、◀◀/▶▶ボタンで聞きたいところを探せないことがあります。
- 再生する範囲によって、聞きたいところを探す範囲が変わります（49ページ）。
- 音楽配信サービスによる曲の利用条件で回数制限がある場合、または再生期間制限がある場合、再生できる期間を過ぎると再生できません（再生が停止します）。利用条件は、詳細情報で確認できます（51ページ）。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

1　曲番の数字ボタン（1〜9、0）を押す。
　トラック番号入力画面が表示され、曲番を直接入力できます。

　10以降の数字を入力するときは、数字ボタンを順に押します。
　（例）曲番124：［1］→［2］→［4］

2　決定ボタンを押す。
　メイン画面に戻り、選んだ曲番の再生が始まります。
　途中でやめるには、戻るボタンを押します。

ご注意
トラック階層以外の階層では、数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

時間表示を切り換える

表示切換ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［時間表示］を選び、↑/↓ボタンで［経過時間］または［残り時間］を選び、決定ボタンを押す。
（◆：お買い上げ時の設定）

◆経過時間	再生中または一時停止中の曲の再生経過時間を表示します。
残り時間	再生中または一時停止中の曲の残り時間を表示します。

ご注意
停止中は時間表示を切り換えられません。

アルバムや曲の情報を見る。

1　ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。
　メイン画面が表示されます。

2　↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たいアルバムまたは曲を選ぶ。

3　ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［詳細情報］－［アルバム］または［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。
　アルバムまたはトラックの詳細情報画面が表示されます。

　タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、↑/↓ボタンで［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］を選び、決定ボタンを押します。

　画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
　詳細情報画面に戻るには、決定または戻るボタンを押します。

　詳細情報画面を閉じるには、↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

HDDに録音する

CDから録音する

詳しくは、「CD（ミュージック）」の章の「CDをHDDに録音する」（78ページ）をご覧ください。

別売りの機器から録音する

詳しくは、「外部入力」の章の「別売りの機器の音声を録音する」（175ページ）をご覧ください。

FM/AMチューナーから録音する

詳しくは、「FM/AM（ラジオ）」の章の「ラジオをHDDに録音する」（117ページ）をご覧ください。

マジックゲート対応 "メモリースティック" から移動する

詳しくは、「"メモリースティック"（ミュージック）」の章の「HDDに曲を移動する（ATRAC3モードのみ）」（100ページ）をご覧ください。

フォルダ／アルバム／曲を編集する

フォルダ／アルバム／リストを作る

新しいフォルダやアルバムを作って曲を録音、移動することができます。また、新しいお気に入りリストを作って曲を登録することもできます。
フォルダは200まで、アルバムは2,000まで、お気に入りリストは1,000まで作ることができます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 フォルダを作るには

ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。

フォルダモードに切り換わります。

アルバムを作るには

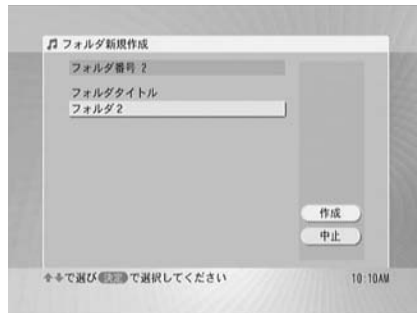
1 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。
   フォルダモードに切り換わります。
2 ↑/↓ボタンでアルバムを作りたいフォルダを選び、→ボタンを押す。

リストを作るには

ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［お気に入りリスト］を選び、決定ボタンを押す。

お気に入りリストモードに切り換わります。
お気に入りリストについては、「好きな曲を登録する（お気に入りリスト）」（62ページ）をご覧ください。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［新規作成］を選び、決定ボタンを押す。**

新規作成画面が表示されます。

ご注意

新しいフォルダ／アルバム／リストは、停止中のみ作成できます。

4 **←ボタンを押す。**

タイトル入力エリアに移動します。

5 **決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

6 **名前を入力する。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

7 **→ボタンを押す。**

ボタンエリアに移動します。

8 **↑/↓ボタンで［作成］を選び、決定ボタンを押す。**

新しいフォルダまたはアルバム、リストが作成され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。
新規作成は行われません。

ちょっと一言

- フォルダ名やアルバム名、リスト名を入力しないと、以下のようにタイトルが自動でつきます。
  - －フォルダ名：フォルダ＊＊（＊＊はHDD内のフォルダ数+1の番号）
  - －アルバム名：アルバム＊＊（＊＊は現在選択しているフォルダ内のアルバム数+1の番号）
  - －リスト名：お気に入りリスト＊＊（＊＊はHDD内のお気に入りリスト数+1の番号）
- 新しいフォルダやアルバム、リストは、HDD内の以下の場所に追加されます。
  - －フォルダ：最後のフォルダの後ろ
  - －アルバム：現在選択しているフォルダ内の最後のアルバムの後ろ
  - －リスト：最後のお気に入りリストの後ろ

名前をつける

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号、ひらがな、カタカナ、漢字を使って、フォルダやアルバム、曲に名前をつけたり、アルバムや曲にアーティスト名やジャンル名をつけられます。それぞれの名前に最大510文字（半角）まで入力できます。
再生中または再生一時停止中、停止中に行います。

ここでの手順はフォルダモードでの操作です。以下のモードでも操作できます。
－アーティストモード
－ジャンルモード
－お気に入りリストモード
モードの切り換えかたについては、「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

フォルダ／リストに名前をつける

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

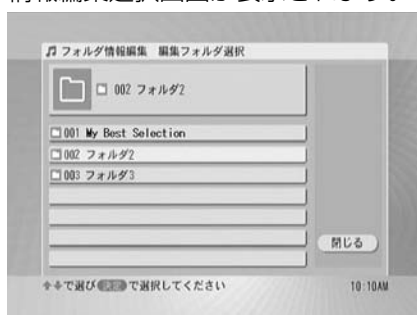
2 **名前をつける対象（フォルダまたはリスト）を選ぶ。**

対象	操作
フォルダ	手順3に進む。
リスト	表示モードをお気に入りリストモードに切り換える（48ページ）。 お気に入りリストについては、「好きな曲を登録する（お気に入りリスト）」（62ページ）をご覧ください。

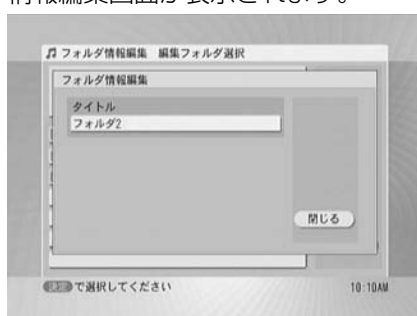
HDD（ハードディスク）

次のページにつづく

フォルダ／アルバム／曲を編集する（つづき）

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［編集］－［情報編集］を選び、決定ボタンを押す。**

情報編集選択画面が表示されます。

4 **↑/↓ボタンで名前をつけたいフォルダまたはリストを選び、決定ボタンを押す。**

情報編集画面が表示されます。

5 **決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

6 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

7 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

情報編集選択画面に戻ります。

8 **続けて他のフォルダやアルバム、曲に名前をつけるときは、手順4から7をくり返す。**

9 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ちょっと一言

再生中にフォルダまたはリストに名前をつける場合、手順3で決定ボタンを押すと、再生が止まります。

ご注意

- フォルダにアーティスト名やジャンル名をつけることはできません。
- “エニーミュージック”で購入した曲を保存するDLフォルダは編集できません。

アルバム／曲に名前やアーティスト名、ジャンル名をつける

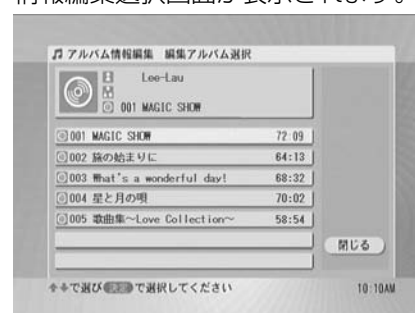
1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**

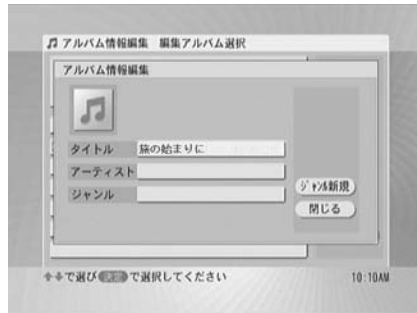
メイン画面が表示されます。

2 **名前やアーティスト名、ジャンル名をつける対象（アルバムまたは曲）を選ぶ。**

対象	操作
アルバム	↑/↓ボタンで名前をつけたいアルバムのあるフォルダを選び、➡ボタンを押す。
曲	↑/↓/➡ボタンで名前をつけたい曲のあるアルバムを選び、➡ボタンを押す。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［編集］－［情報編集］を選び、決定ボタンを押す。**

情報編集選択画面が表示されます。

4 ⬆/⬇ボタンで名前やアーティスト名、ジャンル名をつけたいアルバムまたは曲を選び、決定ボタンを押す。

情報編集画面が表示されます。

5 名前またはアーティスト名をつけるには

1 ⬆/⬇ボタンで［タイトル］または［アーティスト］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
2 名前やアーティスト名を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

ジャンル名をつけるには

ジャンルの一覧から選ぶときは

1 ⬆/⬇ボタンで［ジャンル］を選び、決定ボタンを押す。
既存のジャンルの一覧が表示されます。
2 ⬆/⬇ボタンでジャンル名を選び、決定ボタンを押す。

つけたいジャンル名がないときは

1 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。
2 ⬆/⬇ボタンで［ジャンル新規］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
3 ジャンル名を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

情報編集選択画面に戻ります。

7 続けて他のアルバムまたは曲に名前やアーティスト名、ジャンル名などをつけるときは、手順4から6をくり返す。

8 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

名前やアーティスト名、ジャンル名を変更する

手順2からやり直す。

曲を聞きながら名前やアーティスト名、ジャンル名をつける曲を選ぶ

手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ちょっと一言

再生中にアルバムに名前やアーティスト名、ジャンル名をつける場合、手順3で決定ボタンを押すと、再生が止まります。

ご注意

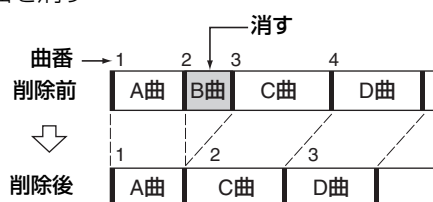
- お気に入りリストモードでは、曲に名前やアーティスト名、ジャンル名をつけられません。
- アーティストモードのとき、手順5でアルバムのアーティスト名を変更すると、アルバムが別のアーティストに移動して、情報編集選択画面に戻ります。
- ジャンルモードのとき、手順5でアルバムのジャンル名を変更すると、アルバムが別のジャンルに移り、情報編集選択画面に戻ります。
- DLフォルダ、DLアルバムおよび“エニーミュージック”で購入した曲は、編集できません。

次のページにつづく

フォルダ／アルバム／曲を編集する（つづき）

フォルダ／アルバム／曲／リストを消す

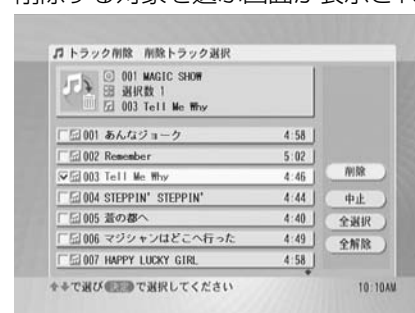
消したいフォルダやアルバム、曲、リストを選ぶだけで、ハードディスクに保存されているフォルダやアルバム、曲、リストをかんたんに消せます。
一度消すと元には戻せないので、よく確認してから消してください。
曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）B曲を消す

ここでの手順はフォルダモードでの操作です。他のモードでも操作できます。モードの切り換えかたについては、「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **削除する対象（アルバムまたは曲、リスト）を選ぶ。**

対象	操作
フォルダ	手順3に進む。
アルバム	↑/↓ボタンで削除したいアルバムのあるフォルダを選び、→ボタンを押す。
曲	↑/↓/→ボタンで削除したい曲のあるアルバムを選び、→ボタンを押す。
リスト	表示モードをお気に入りリストモードに切り換える（48ページ）。 お気に入りリストについては、「好きな曲を登録する（お気に入りリスト）」（62ページ）をご覧ください。
お気に入りリストに登録された曲	1 表示モードをお気に入りリストモードに切り換える（48ページ）。 2 ↑/↓ボタンで削除したい曲のあるリストを選び、→ボタンを押す。 お気に入りリストについては、「好きな曲を登録する（お気に入りリスト）」（62ページ）をご覧ください。

3 **削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［削除］を選び、決定ボタンを押す。**
削除する対象を選ぶ画面が表示されます。

4 削除するフォルダまたはアルバム、曲、リストを選ぶ。

選択されているフォルダまたはアルバム、曲、リストを削除するには
手順5に進む。

削除するフォルダまたはアルバム、曲、リストを変更するには

1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ↑/↓ボタンで削除したいフォルダまたはアルバム、曲、リストを選び、決定ボタンを押す。
選んだフォルダまたはアルバム、曲、リストにチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のフォルダまたはアルバム、曲、リストを選ぶには、この手順をくり返します。

すべてのフォルダまたはアルバム、曲、リストを選ぶには
↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 削除ボタンを押す。または→ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。

削除を確認する画面が表示されます。

6 フォルダまたはアルバム、曲を削除するには

←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
選んだフォルダまたはアルバム、曲が削除され、メイン画面に戻ります。

リストを削除するには
←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
選んだリストが削除され、メイン画面に戻ります。

お気に入りリストに登録している曲を削除するには
↑/↓ボタンで［トラックを削除する］または［リストへの登録を削除する］を選び、決定ボタンを押す。

トラックを削除する	アルバム、お気に入りリストの両方から曲を削除します。
リストへの登録削除する	お気に入りリストからのみを曲を削除します。

選んだ曲が削除され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる
戻るボタンを押す。

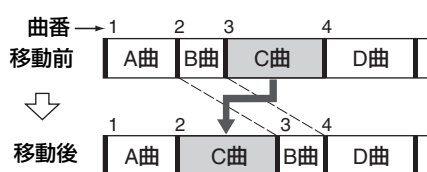
曲を聞きながら削除する曲を選ぶ
手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ご注意
- 削除が終了するまでは、本機の電源を切らないでください。
- "エニーミュージック" で購入した曲を保存するDLフォルダ／DLアルバムは削除できません。
- ANY MUSICモードの「DL楽曲」アルバムは削除できません。

次のページにつづく

フォルダ／アルバム／曲／リストを移動する

フォルダやアルバム、曲、リストを好きな位置に移動させて、フォルダ順やアルバム順、曲順、リスト順を変えられます。曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

例）C曲をB曲の前に移動する

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **表示モードを切り換える。**

フォルダまたはアルバム、曲を移動するときは
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。
フォルダモードに切り換わります。

リストまたはリストに登録している曲を移動するときは
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［お気に入りリスト］を選び、決定ボタンを押す。
お気に入りリストモードに切り換わります。
お気に入りリストについては、「好きな曲を登録する（お気に入りリスト）」（62ページ）をご覧ください。

3 **移動する対象（アルバムまたは曲）を選ぶ。**

対象	操作
フォルダ	手順4に進む。
アルバム	↑/↓ボタンで移動したいアルバムのあるフォルダを選び、→ボタンを押す。
曲	↑/↓/→ボタンで移動したい曲のあるアルバムを選び、→ボタンを押す。
リスト	手順4に進む。
お気に入りリストに登録された曲	↑/↓ボタンで移動したい曲のあるリストを選び、→ボタンを押す。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［移動］を選び、決定ボタンを押す。**
移動する対象を選ぶ画面が表示されます。

5 **移動するフォルダまたはアルバム、曲、リストを選ぶ。**

選択されているフォルダまたはアルバム、曲、リストを移動するには
手順6に進む。

移動するフォルダまたはアルバム、曲、リストを変更するには

1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。
2 ↑/↓ボタンで移動したいフォルダまたはアルバム、曲、リストを選び、決定ボタンを押す。
選んだフォルダまたはアルバム、曲、リストにチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のフォルダまたはアルバム、曲、リストを選ぶには、この手順をくり返します。
3 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのフォルダまたはアルバム、曲、リストを選ぶには

↑/↓/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

↑/↓/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

6 **↑/↓ボタンで［選択決定］を選び、決定ボタンを押す。**

移動先選択画面が表示されます。

7 **↑/↓/⬅/➡ボタンで移動先を選び、決定ボタンを押す。**

移動確認画面が表示されます。

8 **⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**

選んだフォルダまたはアルバム、曲、リストが移動し、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら移動する曲を選ぶ

手順5で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ちょっと一言

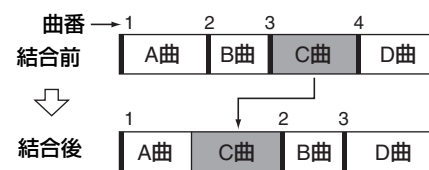
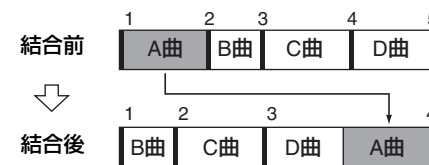
移動先のフォルダやアルバム、リストに曲が入っている、入っていないに関わらず、以下のとおり移動できます。
－アルバム：別のフォルダへ
－曲：同じフォルダ内の別のアルバムへ／別のフォルダ内のアルバムへ
－お気に入りリストの曲：別のお気に入りリストへ

ご注意

- アルバム内の曲をお気に入りリストに、お気に入りリスト内の曲をアルバムに移動することはできません。
- アルバムを移動してお気に入りリストを作成することはできません。同様に、お気に入りリストを移動してアルバムを作成することはできません。
- フォルダやアルバムを移動しても、フォルダ内やアルバム内の曲順は変わりません。
- "エニーミュージック"で購入した曲を保存するDLフォルダ／DLアルバムは移動できません。

曲をつなぐ

2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順につけ直されます。

例）A曲にC曲を合わせる

例）D曲にA曲を合わせる

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［モード切り換え］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**

フォルダモードに切り換わります。

3 **↑/↓/➡ボタンでつなぎたい曲のあるアルバムを選び、➡ボタンを押す。**

次のページにつづく

フォルダ／アルバム／曲を編集する（つづき）

4 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［結合］を選び、決定ボタンを押す。**

結合トラック選択画面が表示されます。

5 **⬆/⬇ボタンで前につなぎたい曲を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ曲にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。

6 **⬆/⬇ボタンで後ろにつなぎたい曲を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ曲にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。

7 **➡ボタンを押す。**

ボタンエリアに移動します。

8 **⬆/⬇ボタンで［結合］を選び、決定ボタンを押す。**

つながる場所の前後のリハーサル再生が始まります。

9 **正しくつながっていたら、⬅/➡ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**

チェックマークをつけた順に曲がつながり、メイン画面に戻ります。

曲を聞きながらつなぐ曲を選ぶ

手順5と6で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

つなぎたい曲を選び直す（手順の途中でやめる）

手順9で戻るボタンを押す。または⬅/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。

つなぎたい2曲の順番を変える

手順9で⬅/➡ボタンを押して［入れ替え］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずす

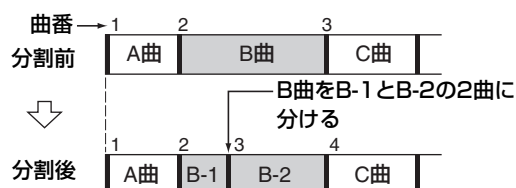
手順6で⬆/⬇/➡ボタンで［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 前側につないだ曲名が、つないだあとの曲名になります。
- 何度も編集をくり返すと、つなげない曲ができる場合があります。これはハードディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。
- 結合後つないだ曲の合計演奏時間が120分を超えてしまう場合、その2曲はつなげません。
- 1曲につなげない2曲を選んだ場合、つなげないことをお知らせするメッセージが表示されます。以下のような曲を選んだときは1曲につなげません。
  －フォーマットが異なる2曲（例：PCMとATRAC3）
  －ATRAC3の曲でビットレートが異なる2曲（例：105kbpsと132kbps）
  －マジックゲート対応“メモリースティック”やNet MDに転送している曲
  －再生制限がある曲
- お気に入りリストに登録している曲をつなぐと、登録しているすべてのお気に入りリストからその曲が自動的に消えます。
- “エニーミュージック”で購入した曲はつなぐことができません。

曲を分ける

1曲を分割して2曲にします。分けた曲以降の曲番は、頭から順につけ直されます。

例）B曲を2つに分ける

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［モード切り換え］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。

フォルダモードに切り換わります。

3 ⬆/⬇/➡ボタンで分けたい曲のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

4 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［分割］を選び、決定ボタンを押す。

分割トラック選択画面が表示されます。

5 曲を聞きながら分割する位置を決めるには

1 ⬆/⬇ボタンで分けたい曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。

2 分割したい位置で、決定ボタンを押す。
分割位置調整画面が表示され、決定ボタンを押した位置からくり返し再生します。

曲の最初から分割する位置を探すには

⬆/⬇ボタンで分けたい曲を選び、決定ボタンを押す。

分割位置調整画面が表示され、曲の最初からくり返し再生します。

6 決定ボタンを押し、⬆/⬇/⬅/➡ボタンで曲を分ける位置を調節し、もう一度決定ボタンを押す。

位置を変更すると、分ける位置から後ろの2秒間をくり返し再生します。

7 ➡ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

8 ⬆/⬇ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。

曲が分かれ、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

- 分割位置調整画面に表示される時間は目安です。曲を分けるときにくり返し再生される位置が、実際の分割位置となります。
- 曲の先頭付近または最後付近では曲を分けられません。
- 編集後HDDの全曲数が20,000曲を超えてしまう場合は、曲を分けられません。
- お気に入りリスト内の曲を分けることはできません。
- お気に入りリストに登録している曲を分けると、登録しているすべてのお気に入りリストからその曲が自動的に消えます。
- マジックゲート対応“メモリースティック”やNet MDに転送している曲は分けられません。
- 再生制限がある曲は分けられません。
- “エニーミュージック”で購入した曲は分けられません。

次のページにつづく

好きな曲を登録する（お気に入りリスト）

HDDの曲をお気に入りリストに登録することによって、好きな曲だけを集めて聞くことができます。詳しくは、「フォルダ／アルバム／リストを作る」（52ページ）をご覧ください。
お気に入りリストに登録できる曲数は、最大10,000曲です。

ここでの手順はフォルダモードでの操作です。
以下の表示モードでも操作できます。
－アーティストモード
－ジャンルモード
－ランキングモード
－ANY MUSICモード
また、ここで登録したお気に入りリストも、表示モードの1つとなります。モードの切り換えかたについては、「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **⬆/⬇/➡ボタンでお気に入りリストに登録したい曲のあるアルバムを選び、➡ボタンを押す。**

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［お気に入りに登録］を選び、決定ボタンを押す。**
お気に入り登録トラック選択画面が表示されます。

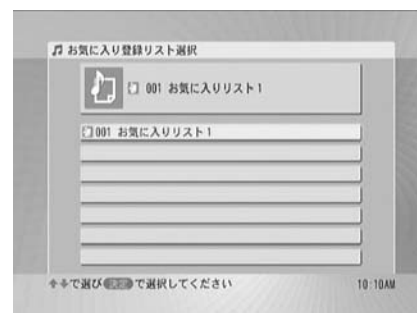
4 **お気に入りに登録する曲を選ぶ。**

選択されている曲を登録するには
手順5に進む。

登録する曲を変更するには
1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。
2 ⬆/⬇ボタンでお気に入りリストに登録したい曲を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曲にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他の曲を選ぶには、この手順をくり返します。
3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべての曲を選ぶには
⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 **⬆/⬇ボタンで［選択決定］を選び、決定ボタンを押す。**
お気に入り登録リスト選択画面が表示されます。

6 **⬆/⬇ボタンで登録先リストを選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

7 **⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ曲がお気に入りリストに登録され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら登録する曲を選ぶ

手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

リストに登録した曲を確認する（表示モードを「お気に入りリスト」にする）

詳しくは「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

リストに名前をつける

詳しくは、「名前をつける」（53ページ）をご覧ください。

リストを消す

詳しくは、「フォルダ／アルバム／曲／リストを消す」（56ページ）をご覧ください。

リストを移動する

詳しくは、「フォルダ／アルバム／曲／リストを移動する」（58ページ）をご覧ください。

ご注意

お気に入りリストに登録している曲を削除したり、結合したり、分割したりすると、登録しているすべてのお気に入りリストからその曲が自動的に消えます。

曲のデータ形式を変換する（フォーマット変換）

HDD内のPCM形式の曲をATRAC3形式に変換します。

ここでの手順はフォルダモードでの操作です。他のモードでも操作できます。モードの切り換えかたについては、「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **⬆/⬇/➡ボタンで変換したい曲のあるアルバムを選び、➡ボタンを押す。**

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［フォーマット変換］を選び、決定ボタンを押す。**
フォーマット変換する曲を選ぶ画面が表示されます。

4 **変換する曲を選ぶ。**

選択されている曲を変換するには
手順5に進む。

変換する曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。
2 ⬆/⬇ボタンで変換したい曲を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曲にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。続けて他の曲を選ぶには、この手順をくり返します。
3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべての曲を選ぶには
⬆/⬇/➡ボタンで［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
⬆/⬇/➡ボタンで［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 **⬆/⬇ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**
フォーマット変換するときのビットレートを選択する画面が表示されます。

次のページにつづく

6 ↑/↓ボタンで［ビットレート］を選び、決定ボタンを押す。
プルダウンメニューが表示されます。

7 ↑/↓ボタンでビットレートを選び、決定ボタンを押す。
数字が大きいほど高音質で変換しますが、必要なハードディスクの容量が大きくなります。
（◆：お買い上げ時の設定）

66kbps
105kbps
◆132kbps

8 ↑/↓/←/→ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。
データ形式が変換され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら変換する曲を選ぶ

手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ご注意

- 一度にフォーマット変換できるのは99曲までです。
- ATRAC3形式の曲は選択できません。

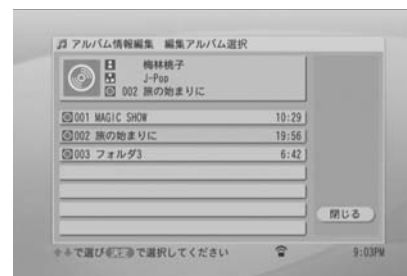
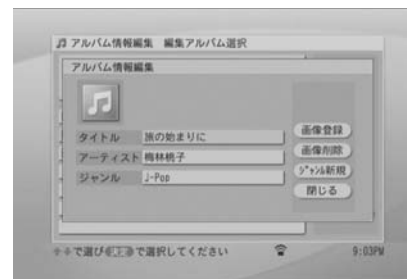
アルバム、曲、リストに画像を登録する

フォトアルバムに保存されている画像をコピーして、アルバムや曲、リストに登録することができます。また、アルバムに登録されている画像を同アルバム内の曲にコピーしたり、逆に曲に登録されている画像をアルバムにコピーすることもできます。登録された画像は、カレント表示エリアに表示されます。
フォトアルバムについては、「フォトアルバム」の章（133ページ）をご覧ください。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

2 画像を登録する対象（アルバムまたは曲、リスト）を選ぶ。

対象	操作
アルバム	↑/↓ボタンで画像を登録したいアルバムのあるフォルダを選び、→ボタンを押す。
曲	↑/↓/→ボタンで画像を登録したい曲のあるアルバムを選び、→ボタンを押す。
リスト	表示モードをお気に入りリストモードに切り換える（48ページ）。お気に入りリストについては、「好きな曲を登録する（お気に入りリスト）」（62ページ）をご覧ください。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［情報編集］を選び、決定ボタンを押す。
画像を登録する対象を選ぶ画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで画像を登録したいアルバムまたは曲、リストを選び、決定ボタンを押す。
情報編集画面が表示されます。

5 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

6 ↑/↓ボタンで［画像登録］を選び、決定ボタンを押す。

画像元選択画面が表示されます。

7 ↑/↓ボタンで［フォトアルバムから選択する］を選び、決定ボタンを押す。

画像選択画面が表示されます。

8 ↑/↓/←/→ボタンで登録したい画像を選び、決定ボタンを押す。

画像登録確認画面が表示されます。

9 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

画像が登録され、情報編集画面に戻ります。

登録した画像を削除するには

1 ↑/↓ボタンで［画像削除］を選び、決定ボタンを押す。

2 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
画像が削除され、情報編集画面に戻ります。

10 ↑/↓ボタンで［閉じる］を選び、決定、または戻るボタンを押す。

情報編集選択画面に戻り、情報エリアに登録した画像が表示されます。

11 →ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

- 再生など一部の操作中に手順6～8を行うと、ごくまれに音飛びする場合があります。
- ANY MUSICモードではこの機能は使えません。

登録されている画像をコピーして登録する

アルバムに登録済みの画像を曲に登録する

1 手順4で曲を選び、決定ボタンを押す。

2 手順7で［アルバムの画像を登録する］を選び、決定ボタンを押す。
アルバムの画像がコピーされ、曲に登録されます。

曲に登録済みの画像をアルバムに登録する

1 手順4でアルバムを選び、決定ボタンを押す。

2 手順7で［トラックの画像から選択する］を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓ボタンで曲を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、決定ボタンを押す。
曲の画像がコピーされ、アルバムに登録されます。

Net MD機器やマジックゲート対応“メモリースティック”へ曲を転送する（チェックアウト）

本機のHDDに保存されているATRAC3形式の音楽データをNet MD機器（131ページ）やマジックゲート対応“メモリースティック”（99ページ）に転送できます。

ここでの手順はフォルダモードでの操作です。他のモードでも操作できます。モードの切り換えかたについては「表示モードを切り換える」（48ページ）をご覧ください。

ご注意

- ［LPステレオ録音］で転送したMDは、LPステレオ（MDLP）に対応しているMDプレーヤーでのみ再生できます。LPステレオ（MDLP）に対応していないMDプレーヤーで再生する場合は、手順6で［ステレオ録音］を選択して転送してください。
- MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしておいてください。開いた状態では編集できません。

1 **Net MD機器をUSB端子につなぎ、MDを挿入する（122ページ）。または、マジックゲート対応“メモリースティック”を挿入する（89ページ）。**

Net MD機器によっては、Net MD機器側でNet MD機能を使用できるように設定する必要があります。詳しくは、Net MD機器の取扱説明書をご確認ください。

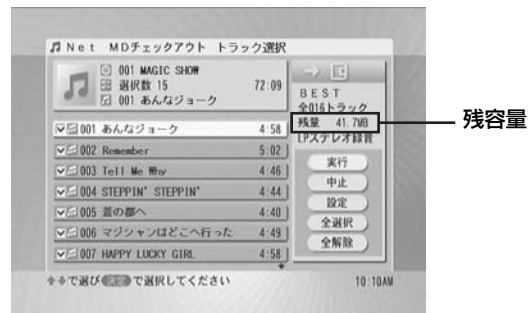
2 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

3 **↑/↓/←/→ボタンで転送したいアルバムまたは曲を選ぶ。**

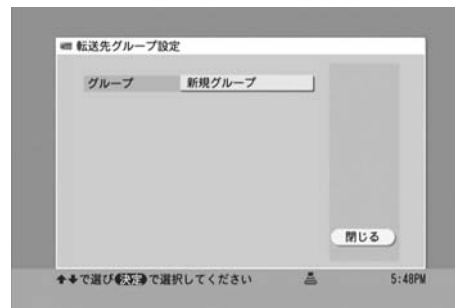
4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［転送］－［メモリースティック］または［MD］を選び、決定ボタンを押す。**

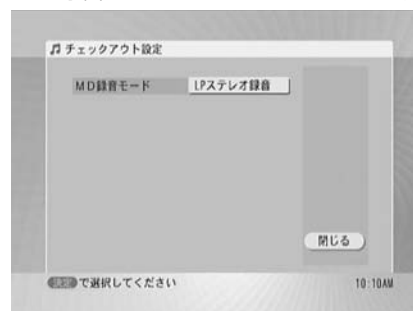
メモリースティック	マジックゲート対応“メモリースティック”に転送します。
MD	Net MD機器に転送します。

転送する曲を選ぶ画面が表示されます。

転送先の残容量が表示されます。

5 **↑/↓ボタンで［設定］を選び、決定ボタンを押す。**

マジックゲート対応“メモリースティック”の場合

転送先のグループを設定する画面が表示されます。

MDの場合

MD録音モードを設定する画面が表示されます。

6

1 **決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。

2 **↑/↓ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。**

（◆：お買い上げ時の設定）

・**マジックゲート対応“メモリースティック”の場合**

◆新規グループ	選ばれている曲を、新しくグループを作って録音します。
転送先グループ（マジックゲート対応“メモリースティック”内の既存グループ）	選ばれている曲を、マジックゲート対応“メモリースティツク”に既にあるグループに録音します。

・**MDの場合（MD録音モード）**

◆LPステレオ録音	長時間ステレオ録音します。転送する曲のビットレートが132kbpsまたは105kbpsの場合はLP2ステレオで、66kbpsの場合はLP4ステレオで録音されます。
ステレオ録音	ステレオ録音します。LPステレオ（MDLP）に対応していないMDプレーヤーでも再生できます。転送には演奏時間と同程度の時間がかかります。

7

➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。
転送する曲を選ぶ画面に戻ります。

8

転送する曲を選ぶ。

選択されている曲を転送するには
手順9に進む。

転送する曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ↑/↓ボタンで転送したい曲を選び、決定ボタンを押す。
転送する曲にチェックマークをつけます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他の曲を選ぶには、この手順をくり返します。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべての曲を選ぶには
↑/↓/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

9

転送ボタンを押す。または、↑/↓ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。
転送が始まります。
転送が終わると、メイン画面に戻ります。

転送ボタンを使って転送する

手順4の代わりに転送ボタンを押す。
ただし、転送先はあらかじめ以下の手順にしたがって設定しておきます。

1 ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［設定］－［転送ボタン設定］を選び、決定ボタンを押す。
2 もう一度決定ボタンを押す。
プルダウンメニューが表示されます。
3 ↑/↓ボタンで転送先を選び、決定ボタンを押す。
4 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。
または戻るボタンを押す。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

転送を途中で止める

戻るボタンを押す。
ただし、転送が始まると途中で止められない場合もあります。

ご注意

- PCM形式の曲は転送できません。ATRAC3形式に変換してください（63ページ）。
- マジックゲート対応“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときや、MDの誤消去防止つまみが開いた状態のときは、転送できません。
- Net MD機器への転送中は、MDのイジェクト（取り出し）ボタンを押したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。本機およびNet MD機器が正しく動作しなくなることがあります。

Net MD機器や“マジックゲート メモリースティック”へ曲を転送する（チェックアウト）（つづき）

転送できる回数を確認する

ツールメニューの［詳細情報］－［トラック］で［残り転送回数］を確認します（51ページ）。
メイン画面のリストや転送トラック選択画面で曲番の前に表示される記号でも、転送できる回数を確認できます。

記号	意味
♬	あと3回以上転送できます。
♫	あと2回転送できます。
♪	あと1回転送できます。
𝄽	転送できません。
P	転送用のフォーマット変換が行われていない曲（PCM形式の音楽ファイル）です。フォーマット変換を行うと、♬ などの転送回数を示す記号に変わります。
	“エニーミュージック”からダウンロードした曲です。

ご注意

- EMDサービス（Electronic Music Distribution：インターネットなどを利用したデジタル音楽コンテンツ配信サービス）の“エニーミュージック”からダウンロードした曲は、著作権情報によって再生が制限されていることがあります。
- 1秒未満の曲をNet MDに転送することはできません。

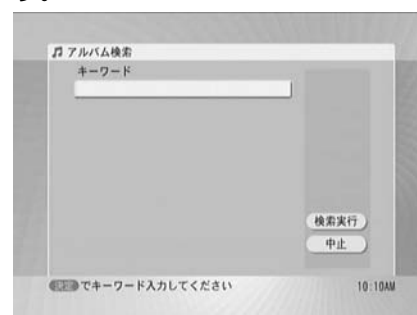
HDDに曲を戻す（チェックイン）

Net MD機器からHDDに曲を戻すには、「Net MD」の章の「HDDに曲を転送し戻す（チェックイン）」（131ページ）をご覧ください。
マジックゲート対応“メモリースティック”からHDDに曲を転送し戻すには、「“メモリースティック”（ミュージック）」の章の「HDDに曲を転送し戻す（チェックイン）」（99ページ）をご覧ください。

HDDに録音した曲を探す

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**
フォルダモードに切り換わります。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［検索］－［アルバム］または［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。**
アルバムまたはトラック検索画面が表示されます。

ご注意
再生中または一時停止中は検索できません。停止中のみ検索できます。

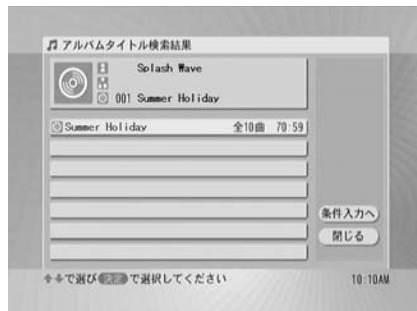
4 **決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

5 **キーワード（検索するアルバムまたは曲の名前）を入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 ➡ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

7 ⬆/⬇ボタンで［検索実行］を選び、決定ボタンを押す。

検索が終わるとタイトル検索結果画面が表示されます。

検索したアルバムまたは曲を表示するには、⬆/⬇ボタンでアルバムまたは曲を選び、決定ボタンを押します。
アルバムまたはトラック検索画面に戻るには、⬆/⬇/➡ボタンで［条件入力へ］を選び、決定ボタンを押します。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

CD

この章では、CDファンクションについて説明します。CDファンクションにはミュージックとフォトの2つがあり、それぞれ次のことができます。

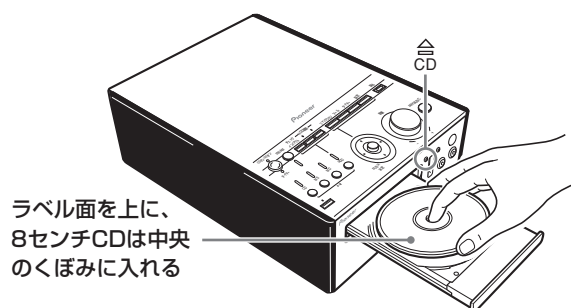
CD（ミュージック）

- 音楽CDを再生する
- CD-R／RWに録音されたMP3ファイルを再生する
- CDDB（音楽CD情報データベース）から、音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などの情報を取得する
- CDの音声を本機のHDDに録音する

CD（フォト）

- デジタルカメラで撮った写真など、CD-R／RWに保存された静止画を本機のフォトアルバムで保存、管理する（PHOTO CDを除く）
- 静止画を1枚ずつ表示する
- 静止画を自動的に次々と切り換えてスライドショーをする

ディスクを入れる

1 本体のCD⏏ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる。

2 もう一度CD⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

ディスクを取り出す

本体のCD⏏ボタンを押す。

ご注意

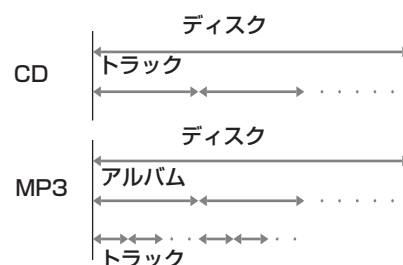
ディスクトレイを指で強く押して閉めると故障の原因になります。トレイは必ず本体のCD⏏ボタンを押して閉めてください。

CD（ミュージック）

再生できるディスクについて

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
音楽CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R/RW（音楽データ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable　COMPACT disc Recordable
CD-R/RW（MP3ファイル）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable　COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable

ディスクに関する用語の説明

- **アルバム**
  MP3音声を記録しているデータCDの中の単位の1つです。
- **トラック**
  CD、MP3に記録されている曲の区切り（1曲分）をトラックといいます。それぞれのトラックに順につけられた番号をトラック番号といいます。

- **MP3**
  「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格です。本機はMPEG-1 Audio Layer3（サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz）の再生に対応しています。詳しくは「MP3音声について」（75ページ）をご覧ください。

再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- CD-ROM（PHOTO CDを含む）（MP3ファイルは再生可能）
- 音楽用CDフォーマット、ISO9660*レベル1、2またはJolietに準拠したフォーマット以外で記録されたCD-R/RW
- CD-EXTRAのデータ部分
- Combined CDのデータ部分
- スーパーオーディオCD（ハイブリッドディスクのHDレイヤー）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星形など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- リングなどのアクセサリーが取り付けられたディスク

* 国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット

CD-R/RW再生時のご注意

- 拡張子「.MP3」が付いていないMP3形式のファイルは、再生できません。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」がついていると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

曲を聞く

CDを聞く（通常再生／ランダム再生／リピート再生）

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**

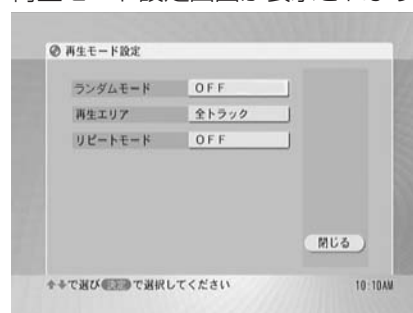
メイン画面が表示されます。音楽CDを通常再生するときは、手順5に進みます。

MP3音声を聞くには

MP3音声が記録されたディスクを入れると、自動的にMP3モードに切り換わります。切り換わらないときは、次の操作を行ってください。
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［MP3］を選び、決定ボタンを押す。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［再生モード設定］を選び、決定ボタンを押す。**

再生モード設定画面が表示されます。

次のページにつづく

曲を聞く（つづき）

3 ランダムモード、再生エリア（MP3音声のみ）、リピートモードを選ぶ。

↑/↓ボタンで選び、決定ボタンで決定します。
（◆：お買い上げ時の設定）

・ランダムモード
停止中に選びます。

◆OFF	ディスクの通りの曲順で再生します。
ON	曲順を変えて再生します。

・再生エリア（MP3音声のみ）
停止中に選びます。

アルバム	現在選ばれているアルバムのすべての曲を再生します。
◆すべて	データCDのすべての曲を再生します。

・リピートモード

◆OFF	リピート再生しません。
ON	CDのすべての曲を再生します。MP3音声のときは、再生エリアで設定した範囲内のすべての曲をくり返します。
トラック	1曲だけをくり返し再生します。

4 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

メイン画面に戻ります。カレント情報エリアに次のように点灯します（説明のない項目では何も点灯しません）。

- ランダムモード
  ［ON］：RANDOM
- 再生エリア（MP3のみ）
  — アルバム：◎
  — すべて：◎ALL
- リピートモード
  ［ON］：REPEAT
  ［トラック］：REPEAT 1

5 共通▷ボタンを押す。

再生が始まります。

設定を途中でやめる

戻るボタンを押す。
変更した設定はそのまま残ります。

その他の操作をする

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。
アルバムを選ぶ（MP3音声のみ）	アルバム/グループ↑またはアルバム/グループ↓ボタンでアルバムを選ぶ。
曲を選んで再生する*	↑/↓（MP3音声では↑/↓/⬅/➡）または⏮/⏭ボタンで曲を選び、共通▷ボタンを押す。
音を聞きながら曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
時間表示を見ながら曲中の聞きたいところを探す	一時停止中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離し、❚❚または共通▷ボタンを押す。
消音する	消音ボタンを押す。
音量を調節する	音量＋/－ボタン（音量つまみ）を調整する。

* リスト画面（15ページ）で再生中は、↑/↓（MP3音声では↑/↓/⬅/➡）ボタンで曲を選び、決定ボタンを押すとその曲の再生が始まります。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

曲番の数字ボタン（1〜9、0）を押したあと、決定ボタンを押す。
詳しくは51ページをご覧ください。

ご注意

- MP3音声の数秒の曲が連続している場合、◀◀/▶▶ボタンで聞きたいところを探せないことがあります。
- MP3音声の場合、アルバム階層では数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

時間表示を切り換える

表示切換ボタンを押す。
詳しくは、「HDD」の「時間表示を切り換える」（51ページ）をご覧ください。

MP3音声について

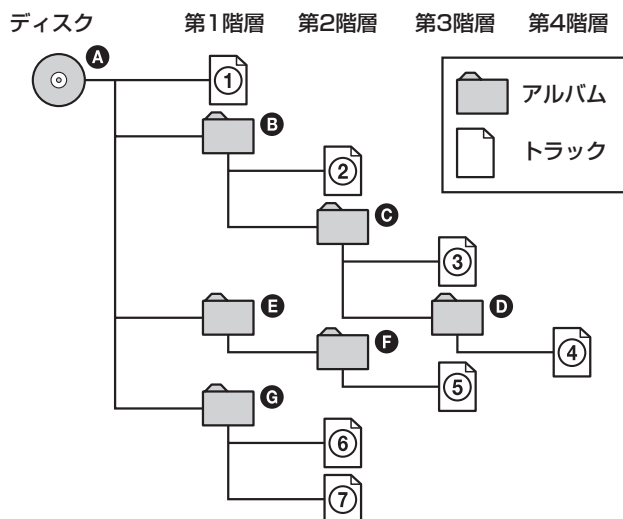
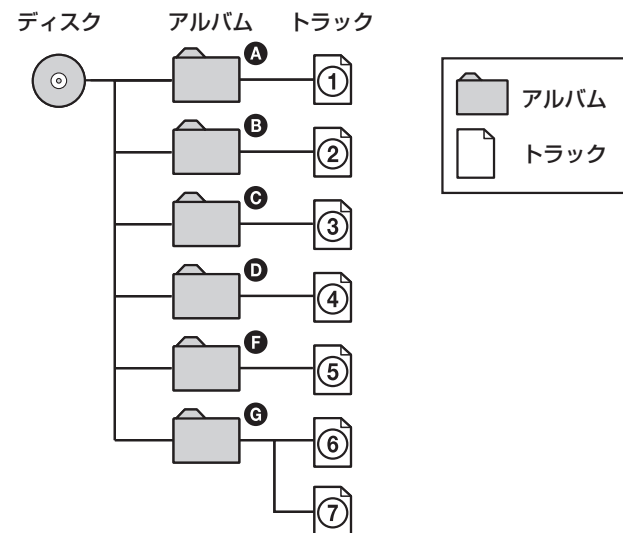
本機はCD-R/RWディスク（データCD）に記録されたMP3音声を再生できます。
ディスクは、ISO9660のレベル1、2またはJoliet準拠で記録されたものが再生可能です。本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できますが、CD-EXTRAのデータ部分に記録されたMP3音声は再生できません。
記録方式について詳しくは、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機はサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzに対応しています。それ以外の数値で作成された音声をご使用になると、再生が停止したり、大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れがあります。
- MP3形式以外のファイルに「.MP3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録された音声には対応していません。
- 以下の場合、MP3の再生経過時間、または、再生残量時間が実際と異なることがあります。
  — VBR（可変ビットレート）のMP3音声を再生したとき
  — 早送り、早戻しをしたとき
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットとCD-ROMフォーマットのセッションの構成により、MP3音声が再生できない場合があります。

MP3音声の階層と再生順序

データCDに記録されたアルバムやトラック（MP3音声）は以下の階層になっており、
①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます（例：Ⓑの中にⒸがあるので、②の次は⑥、⑦ではなく③が優先されます。）。
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：Ⓔ）はリスト画面に表示されません。

■ 実際の階層

■ 本機での見えかた

ちょっと一言

多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。ディスクにアルバムを記録するときは第2階層までにすることをおすすめします。

ご注意

- MP3音声を記録したときの書き込み用ソフトウェアによっては、上図の順で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。

次のページにつづく

情報を見る

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［CD］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

MP3音声の曲の詳細情報を見るには（停止中のみ）ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［モード切り換え］－［MP3］を選び、決定ボタンを押す。

MP3モードに切り換わります。

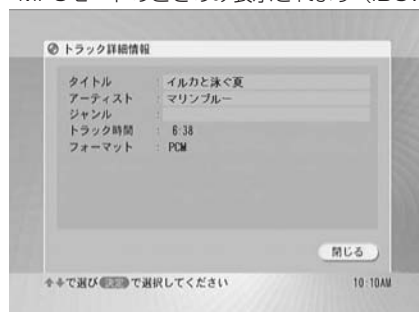
2 ディスク（音楽CD）の詳細情報を見るには手順3に進む。

曲の詳細情報を見るには⬆/⬇/⬅/➡ボタンで詳細情報を見たい曲を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［詳細情報］－［アルバム］または［トラック］、［トラック（ID3）］を選び、決定ボタンを押す。

アルバム*	ディスクの詳細情報（アルバム詳細情報画面）を表示します。
トラック*	選んだ曲の詳細情報（トラック詳細情報画面）を表示します。
トラック（ID3）**	選んだMP3音声の曲のID3タグ情報（トラック（ID3）詳細情報画面）を表示します。

* 音楽CDモードのときのみ表示されます。

** MP3モードのときのみ表示されます（ID3v1に対応）。

タイトルまたはアーティスト、ジャンル、アルバム名***の全文を見るには、⬆/⬇ボタンで［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］、［アルバム名］***を選び、決定ボタンを押します。
画面をスクロールするには、⬆/⬇ボタンを押します。
詳細情報画面に戻るには、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。
詳細情報画面を閉じるには、⬇ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

*** トラック（ID3）詳細情報画面のときのみ表示されます。

CDDB（音楽CD情報データベース）から楽曲情報を取り込む

CDDB（Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠）は、インターネット上のサーバに存在する音楽CDに関するデータベースにアクセスし、音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などの情報を読み込めるサービスです。このサービスをご利用いただくには、あらかじめ「インターネットの接続と準備」（27ページ）をすませておいてください。
本機にはあらかじめ、発売されている一部の音楽CDの情報が入っています。
データCDの情報を読み込むことはできません。

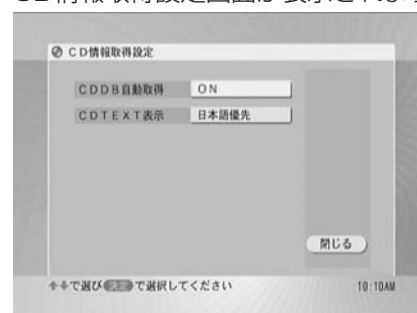
楽曲情報を取り込む設定をする

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［CD］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［設定］－［CD情報取得設定］を選び、決定ボタンを押す。**

CD情報取得設定画面が表示されます。

3

1 ⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

2 ⬆/⬇ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。

（◆：お買い上げ時の設定）

・CDDB自動取得

◆ON	CDを入れると自動的にCDDBから楽曲情報を取得します。
OFF	CDDBから楽曲情報を自動的に取得しません。

・CD TEXT表示*

◆日本語優先	CD TEXTのテキスト情報を日本語優先で表示します。
英語優先	CD TEXTのテキスト情報を英語優先で表示します。

* CDDBから楽曲情報を取得しなかった場合、CD TEXTが表示されます。

4

➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

メイン画面に戻ります。

ご注意

MP3モード、および本機にディスクが入っていないときは設定できません。

楽曲情報を取り込む

1

ファンクションボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［CD］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2

CDを入れる。

［CDDB自動取得］を［ON］に設定しているときは

CD情報検索結果が表示されます。

［CDDB自動取得］を［OFF］に設定しているときは

ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［CD情報取得］を選び、決定ボタンを押す。

CD情報検索結果が表示されます。取り込みたい楽曲情報がないときは、［OFF］に設定してください。

違う楽曲情報を取得するには

CD情報検索結果画面から⬆/⬇ボタンで［ネット検索］を選び、決定ボタンを押す。

楽曲情報の検索が開始され、楽曲情報があった場合、CD情報検索結果画面に取得結果が表示されます。違う楽曲情報がなく、同じ楽曲情報のみの場合も、取得結果として表示されます。

この機能を使う前に、「インターネットの接続と準備」（27ページ）をすませておいてください。

3

取得結果が複数表示された場合は、以下の操作をする。

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで楽曲情報を取り込みたいアルバムを選ぶ。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

アルバムのトラック情報を見るには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンでトラック情報を見たいアルバムを選ぶ。

3 決定ボタンを押す。
トラック一覧画面が表示されます。

4

共通▷ボタンを押す。または、⬆/⬇ボタンで［取得］を選び、決定ボタンを押す。

CDDBから楽曲情報が取り込まれます。

▷ボタンを押した場合は、すぐにCDの再生が始まります。

［取得］を選んで決定ボタンを押した場合は、メイン画面に戻ります。

ちょっと一言

本機では、直前に取得したCD1枚分の楽曲情報を保持しています。

ご注意

［CDDB自動取得］を［ON］に設定しているときは、CDDBからの最初の楽曲情報が自動的に取り込まれます。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。または、➡/⬆/⬇ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。

CDDBから楽曲情報は取り込みません。

楽曲情報の取得をやりなおすには

ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［CD情報取得］を選び、決定ボタンを押す。

CD情報検索結果画面が表示されます。

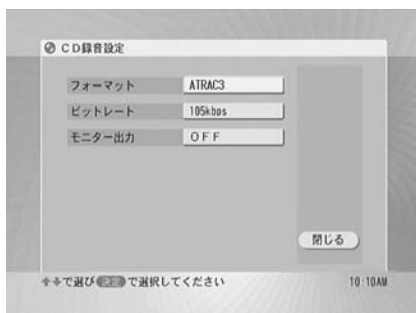
CDをHDDに録音する

音楽CDの音声をHDDに録音します。
CD-R/RWに記録したMP3ファイルなどデータCDの音声は、HDDに録音できません。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **CDを入れる。**
本機のCD情報取得設定で、CDDB自動取得を［ON］にしていると（77ページ）、ファンクションを切り換えたときにCD情報検索結果画面が表示されます。

録音設定をする

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［録音設定］を選び、決定ボタンを押す。**
CD録音設定画面が表示されます。

4
1 **↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。
2 **↑/↓ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。**

（◆：お買い上げ時の設定）

・フォーマット

◆ATRAC3	データを10分の1以下に圧縮するので、PCMに比べて長時間の録音が可能な音声圧縮フォーマットです。
PCM	CDの音楽データを圧縮せずにそのまま本機に取り込みます。必要なハードディスクの容量が大きくなります。Net MD機器や"メモリースティック"に転送（チェックアウト）できません。

・ビットレート
数字が大きいほど高音質で録音しますが、必要なハードディスクの容量が大きくなります（ATRAC3のときのみ有効）。

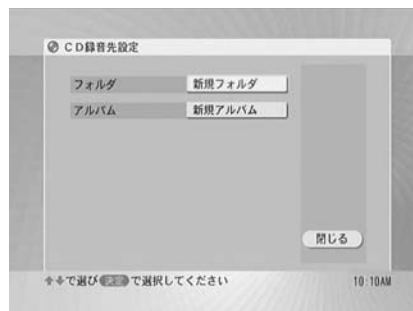
66kbps
105kbps
◆132kbps

・モニター音再生

◆OFF	録音中に音を出しません。約8倍速で録音します。
ON	音を聞きながら録音できます。約6倍速で録音します。

5 **→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**
メイン画面に戻ります。

録音先を変更する

6 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［録音先設定］を選び、決定ボタンを押す。**
CD録音先設定画面が表示されます。

7 ⬆/⬇ボタンで［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。

プルダウンメニューが表示されます。

8 ⬆/⬇ボタンで録音先にしたいフォルダを選び、決定ボタンを押す。

新しくフォルダを作り、その中に録音するには［新規フォルダ］を選びます。

9 ⬆/⬇ボタンで［アルバム］を選び、決定ボタンを押す。

プルダウンメニューが表示されます。

10 ⬆/⬇ボタンで録音先にしたいアルバムを選び、決定ボタンを押す。

新しくアルバムを作り、その中に録音するには［新規アルバム］を選びます。

11 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

メイン画面に戻ります。

録音する曲を選ぶ

12 HDD録音開始●ボタンを押す。

CD録音トラック選択画面が表示されます。

13 録音する曲を選ぶ。

選択されている曲を録音するには

手順14に進む。

録音する曲を変更するには

⬆/⬇ボタンで録音する曲、しない曲を選び、決定ボタンを押す。

録音する曲にチェックマークをつけます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他の曲を選ぶには、この手順をくり返します。

すべての曲を選ぶには

ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［トラック選択］－［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［トラック選択］－［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

録音を始める

14 HDD録音開始●ボタンを押す。

CD録音画面が表示され、ハードディスクへの録音が始まります。
録音が終わると自動的にメイン画面に戻ります。

設定を途中でやめる

CD録音トラック選択画面で戻る、またはHDD録音停止■ボタンを押す。

録音を止める

HDD録音停止■ボタンを押す。

HDDに録音した曲を確認する

1. ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。
2. ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで録音した曲を選び、共通▷ボタンを押す。
   曲の選びかたなど詳しくは、「HDD」の章の「曲を聞く」（49ページ）をご覧ください。

ご注意

- 手順4で［モニター音再生］を［ON］にしたときは、録音中に次のボタンが使えません。
  ⬆/⬇、ファンクション、設定、タイマー、スリープ
- CD規格に準拠していないディスクや、傷や汚れの多いディスクなどは、本機で録音できなかったり、録音された音に雑音や音飛びが入る場合があります。

CD（フォト）

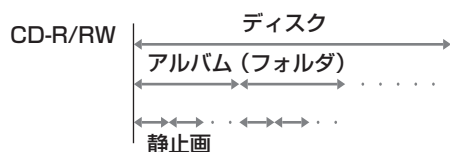
表示できるディスクについて

本機で再生できるディスクは以下のものです。本機で表示できる画像については、「表示できる画像について」（134ページ）をご覧ください。

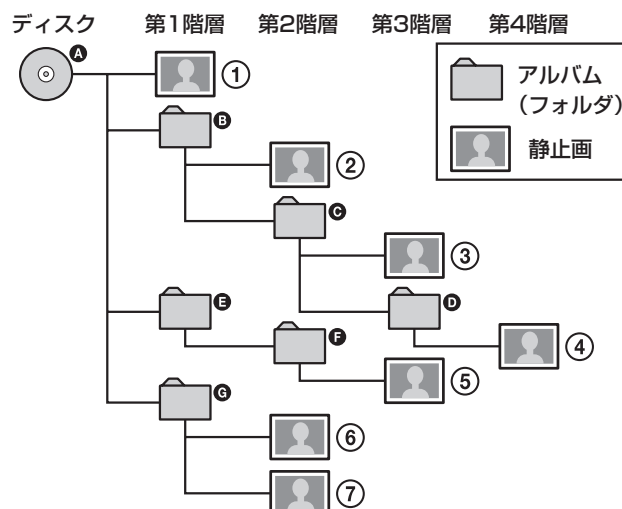
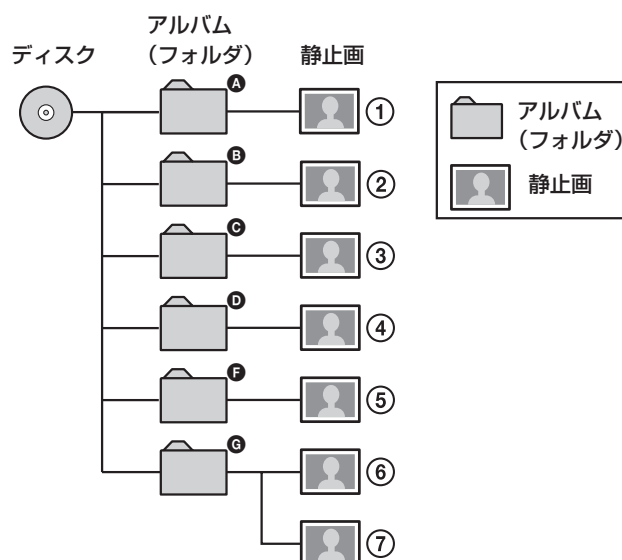
ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
CD-R/RW （静止画データ）	COMPACT disc ReWritable　COMPACT disc Recordable

ディスクに関する用語の説明

アルバム（フォルダ）

静止画ファイルを記録しているデータCDの中の単位の1つです。

静止画の階層と再生順序

データCDに記録されたアルバム（フォルダ）や静止画は以下の階層になっており、
①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
アルバム（フォルダ）がサブアルバム（サブフォルダ）を含んでいるときは、サブアルバム（サブフォルダ）に含まれる静止画の再生が優先されます（例：Ⓑの中にⒸがあるので、②の次は⑥、⑦ではなく③が優先されます。）。
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。静止画を直下に含まないアルバム（例：Ⓔ）はリスト画面に表示されません。

■ 実際の階層

■ 本機での見えかた

ご注意

画像の入っていないフォルダは認識されません。

再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- CD-ROM（PHOTO CDを含む）
- CD-EXTRAのデータ部分
- Combined CDのデータ部分
- ISO9660***レベル1、2またはJolietに準拠したフォーマット以外で記録されたCD-R/RW
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星形など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

*** 国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット

静止画を見る

本機ではCD-R/RW内のフォルダはアルバムとして表示されます。ただし、静止画の入っていないフォルダはアルバムとして認識されないため、画面上に表示されません。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンで見たい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**
静止画階層が表示されます。

3 **↑/↓/←/→ボタンで見たい静止画を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ静止画が全画面表示されます。

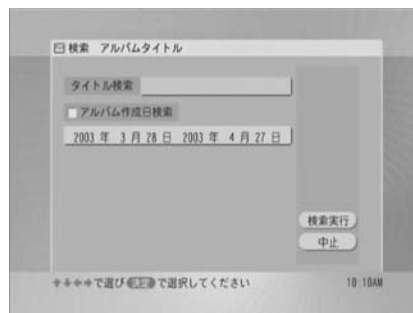
詳しい操作については、「フォトアルバム」の「その他の操作をする」（135ページ）をご覧ください。

ご注意
記録される画像の枚数などによっては、CD（フォト）ファンクションにしてメイン画面に画像が一覧表示されるまでに時間がかかることがあります。

検索して表示する

CD-R/RW内のアルバムや静止画を、タイトルや日付で検索できます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［検索］－［(検索方法)］－［アルバム］または［画像］を選び、決定ボタンを押す。**
検索方法はタイトル、または日付から選びます。
検索画面が表示されます。

3 **タイトルで検索するには**
1 ↑/↓ボタンで［タイトル検索］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
2 タイトルを入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

日付で検索するには
手順4に進む。

4 **↑/↓ボタンで［アルバム作成日検索］（アルバムを検索するとき）または［撮影日検索］（静止画を検索するとき）を選び、決定ボタンを押す。**
［アルバム作成日検索］または［撮影日検索］にチェックマークをつけます。

5 **↑/↓ボタンで年月日の項目を選び、決定ボタンを押す。**

6 ←/→ボタンで検索したい年／月／日の範囲を選び、↑/↓ボタンで合わせ、決定、または戻るボタンを押す。

年、月、日を順に合わせていきます。

7 →ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

8 ↑/↓ボタンで［検索実行］を選び、決定ボタンを押す。

検索が始まり、検索条件に合うアルバムまたは静止画が表示されます。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

静止画階層では、アルバムの検索はできません。

表示順を並べ替える（ソートする）

CD-R/RW内のアルバムや静止画を、タイトル、日付などの条件順にそれぞれ並べ替えて表示できます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 アルバムを並べ替える（ソートする）には

手順3に進む。

静止画を並べ替える（ソートする）には

↑/↓/←/→ボタンで表示したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［ソート］－［(条件)］を選び、決定ボタンを押す。

条件は以下の中から選びます。

タイトル順、日付順*

* アルバム階層時はアルバム作成日順、静止画階層時は撮影日順に表示されます。

選んだ条件順に表示されます。

ちょっと一言

- 一度並べ替える（ソートする）と、階層ごとに常にその順番で表示されます。
- 同じ条件で再び並べ替える（ソートする）と、逆順で表示されます。
- ソートの条件は、電源を切っても記憶されています。

アルバムや静止画の詳細情報を見る

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

2 詳細情報を見る対象（アルバムまたは静止画）を選ぶ。

対象	操作
アルバム	↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たいアルバムを選ぶ。
静止画	アルバムを選んだあと決定ボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たい静止画を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［詳細情報表示］を選び、決定ボタンを押す。
アルバムまたは静止画の詳細情報画面が表示されます。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
詳細情報画面を閉じるには、決定、または戻るボタンを押します。

ご注意

情報が取得できなかった項目は、何も表示されません。

静止画をフォトアルバムにコピーする

CD-R/RWの静止画を本機のフォトアルバムに最大5,000枚までコピーできます。
ハードディスクの残容量や静止画のファイル形式、サイズにより5,000枚以下の場合もあります。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［CD］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **アルバムをコピーするには**
手順3に進む。

静止画をコピーするには
↑/↓/←/→ボタンで表示したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［コピー］を選び、決定ボタンを押す。**
コピー画面が表示されます。

4 **コピーするアルバムまたは静止画を選ぶ。**

選択されているアルバムまたは静止画を選ぶには
手順5に進む。

コピーするアルバムまたは静止画を変更するには

1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ↑/↓ボタンでコピーしたいアルバムまたは静止画を選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバムまたは静止画にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
アルバムと静止画を一緒に選ぶことはできません。
続けて他のアルバムまたは静止画を選ぶには、この手順をくり返します。

3 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのアルバムまたは静止画を選ぶには
↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 **↑/↓ボタンで［コピー］を選び、決定ボタンを押す。**
コピー確認画面が表示されます。

6 **←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
フォトアルバムに自動的に作成された新規フォルダに静止画がコピーされ、メイン画面に戻ります。

次のページにつづく

静止画をフォトアルバムにコピーする（つづき）

設定を途中でやめる

手順4から5の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

変更した設定は、変更する前の状態に戻ります。

コピー開始後にコピーを止める

戻るボタンを押す。

途中までコピーは行われています。

ご注意

コピーが終了するまでは、CD-R/RWを取り出さないでください。

フォトアルバムにコピーした静止画を確認する

ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

静止画の見かたについて詳しくは、「フォトアルバム」の章の「静止画を見る」（135ページ）をご覧ください。

スライドショーを楽しむ

CD-R/RW内のすべての静止画または特定のアルバム内の静止画を、次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。

スライドショーでは、静止画は画像サイズ640×480で表示されます。画像サイズ640×480に満たないものは、その静止画の大きさで表示されます。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［CD］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **⬆/⬇/⬅/➡ボタンでアルバムを選んで決定ボタンを押し、共通▷ボタンを押す。**

スライドショーが始まります。

スライドショーをする範囲を設定する

手順1で以下の操作を行います。

CD-R/RWに保存されているすべての静止画を表示するには

アルバム階層が表示されていることを確認し、⬆/⬇/⬅/➡ボタンでスライドショーの最初に表示させたい静止画の入ったアルバムを選ぶ。

特定のアルバム内のすべての静止画を表示するには

⬆/⬇/⬅/➡ボタンでスライドショーをしたいアルバムを選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバム内の静止画（静止画階層）が表示されていることを確認します。
詳しい操作については、「フォトアルバム」の章の「静止画を見る」の「その他の操作をする」（135ページ）をご覧ください。
アルバム階層でスライドショーを始めると、CD-R/RWに保存されているすべての静止画を、選んだアルバムの最初から表示します。静止画階層でスライドショーを始めると、選んだアルバム内のすべての静止画を選んだ静止画から表示します。
詳しい操作については、「フォトアルバム」の章の「表示時間設定／繰り返し設定／画像属性表示を設定する」（140ページ）、「その他の操作をする」（141ページ）をご覧ください。

“メモリースティック”

この章では、“メモリースティック”ファンクションについて説明します。
“メモリースティック”ファンクションには、ミュージックとフォトの2つがあり、それぞれ次のことができます。

“メモリースティック”(ミュージック)

- “メモリースティック”に記録された、ATRAC3またはMP3の曲を聞く
- 本機のHDDから“メモリースティック”へ曲を転送したり(チェックアウト)、転送した曲をHDDに戻す(チェックイン)
- “メモリースティック”の曲をHDDへ移動させる
- グループ、曲に名前をつける

“メモリースティック”(フォト)

- デジタルカメラで撮った静止画を本機のフォトアルバム(ハードディスク)に転送して保存、管理する
- 静止画を1枚ずつ表示する
- 静止画を自動的に次々と切り換えてスライドショーをする

“メモリースティック” について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。

本機では、別売りの“メモリースティック”に記録された音声を再生したり静止画を表示できます。
“メモリースティック”にはいくつかの種類があります。本機で使用できる“メモリースティック”は以下のとおりです。
また、記録に使用した“メモリースティック”対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

“メモリースティック”＊の種類	ATRAC3	MP3	フォト
“メモリースティック”	×	○	○
マジックゲート＊＊対応“メモリースティック”	○	○	○
“メモリースティックPRO”＊＊＊	×	○	○

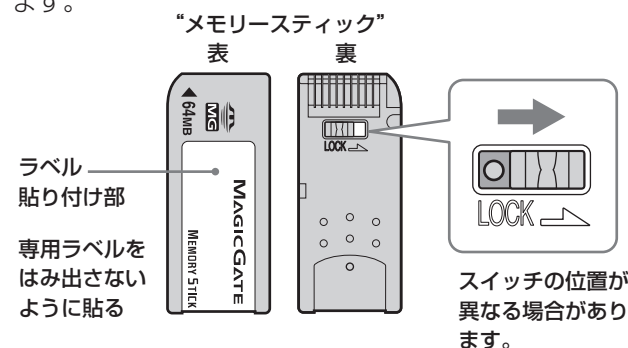
＊　デュオサイズを含みます。
＊＊　“マジックゲート メモリースティック”および“メモリースティック”（マジックゲート／高速データ転送対応）のことです。
マジックゲートは、“メモリースティック”と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。
マジックゲートを搭載した機器（本機など）と“メモリースティック”の間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。
＊＊＊　本機で動作確認されている“メモリースティックPRO”は1GBまでです。

ご注意

本機では、高速データ転送には対応していません。

“メモリースティック” ご使用時のご注意

記録されている音楽や静止画を誤って消さないためには

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」にします。ただし、再生・表示以外の操作はできなくなります。

以下の場合、“メモリースティック”に保存されているファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
- ファイルを読み込み／書き込み中に、“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

取り扱いについて

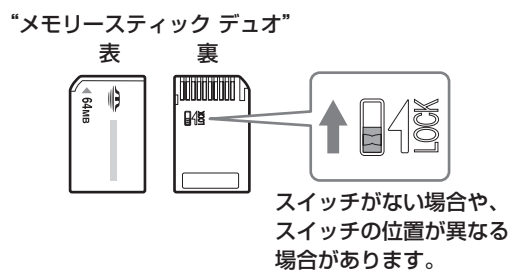
以下のことを守ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れる。
- 本機を持ち運んだり、保管する際は、“メモリースティック”を取り出す。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしない。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない。
- 分解したり、改造したりしない。
- 水にぬらさない。

使用場所について

以下の場所での使用や保存は避けてください。
- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

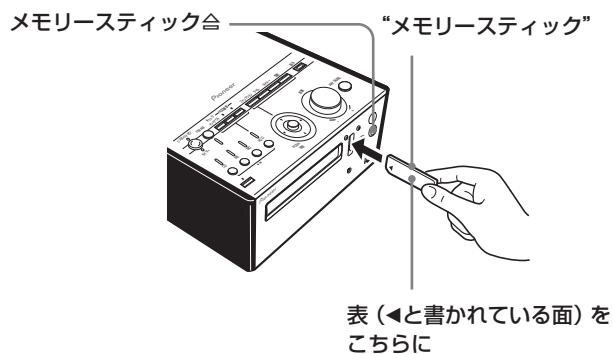
“メモリースティック デュオ” ご使用時のご注意

記録されている音楽や静止画を誤って消さないためには（誤消去防止スイッチ付き “メモリースティック デュオ” のみ）

誤消去防止スイッチをスライドさせて、「LOCK」にします。
ただし、再生・表示以外の操作はできなくなります。

“メモリースティック デュオ” アダプターに取り付けると、本機でも “メモリースティック デュオ” を使えます。
以下の場合、“メモリースティック デュオ” が壊れたり、本機のメモリースティックスロットが破損したりすることがあります。

- “メモリースティック デュオ” アダプターを取り付けずに、“メモリースティック デュオ” を入れた場合
- 逆向きに無理に入れた場合

“メモリースティック” を挿入する

“メモリースティック” を挿入する。

“メモリースティック” を取り出す

本体のメモリースティック⏏ボタンを押す。

ご注意

- 本機の電源が入っていないと、“メモリースティック” を挿入することはできません。必ず本機の電源を入れてから挿入してください。
- “メモリースティック” は表裏に注意しながら、◀の向きに入れてください。逆向きに無理に入れるとメモリースティックスロットが破損することがあります。
- 故障の原因となりますのでメモリースティックスロットには “メモリースティック” 以外の異物を入れないでください。
- 変形した “メモリースティック”、変形した “メモリースティック デュオ” アダプターは使用しないでください。
- “メモリースティック” を取り出すときは、無理に引っ張り出さないでください。“メモリースティック” が破損することがあります。

“メモリースティック”（ミュージック）

曲を聞く

ATRAC3音声／MP3音声を聞く

マジックゲート対応“メモリースティック”に記録されているATRAC3 音声、MP3（MPEG Audio Layer 3）音声、または“メモリースティック”に記録されているMP3音声を聞くことができます。

ご注意

本機はATRAC3plus形式に対応していません。他の機器でATRAC3plus形式で記録された曲は、本機では再生時にスキップされます。

MP3音声についてのご注意

- 本機はMPEG-1 Audio Layer 3（サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz）の再生に対応しています。それ以外の数値で作成された音声をご使用になると大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れもあります。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」がついていると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録された音声には対応していません。
- 以下の場合、MP3の再生経過時間、または再生残量時間が実際と異なることがあります。
  - VBR（可変ビットレート）のMP3音声を再生したとき
  - 早送り、早戻しをしたとき

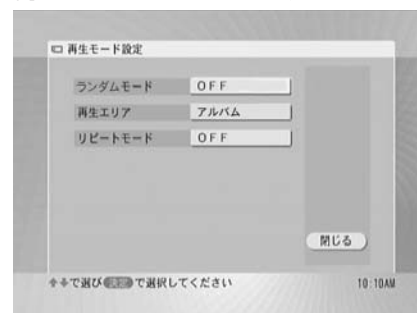
1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［ATRAC3］または［MP3］を選び、決定ボタンを押す。**

ATRAC3モードまたはMP3モードに切り換わります。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［再生モード設定］を選び、決定ボタンを押す。**

再生モード設定画面が表示されます。

4 **再生モード、再生エリア、リピートモードを選ぶ。**

↑/↓ボタンで選び、決定ボタンで決定します。
（◆：お買い上げ時の設定）

・ランダムモード

停止中に選びます。

◆OFF	“メモリースティック”に記録されている通りの曲順で再生します。
ON	曲順を変えて再生します。

・再生エリア

停止中に選びます。

グループ（ATRAC3）またはアルバム（MP3）	現在選ばれているグループ（ATRAC3）またはアルバム（MP3）のすべての曲を再生します。
◆すべて	“メモリースティック”のすべての曲を再生します。

・リピートモード

◆OFF	リピート再生しません。
ON	再生エリアで設定した範囲内のすべての曲をくり返し再生します。
トラック	1曲だけをくり返し再生します。

5 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

メイン画面に戻ります。カレント情報エリアに次のように点灯します。

- ランダムモード
  ［ON］：RANDOM
- 再生エリア（ATRAC3）
  ーすべて：
  グループ：ALL
- 再生エリア（MP3）
  すべて：◎ALL
  アルバム：◎
- リピートモード
  ［トラック］：REPEAT 1
  ［ON］：REPEAT

設定を途中でやめる

戻るボタンを押す。
変更した設定はそのまま残ります。

6 ⬆/⬇または⏮/⏭ボタンで聞きたいグループ（ATRAC3）、アルバム（MP3）または曲を選ぶ。

7 共通▷ボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作をする

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	⏸ボタンを押す。
アルバム（MP3）またはグループ（ATRAC3）を選ぶ	アルバム/グループ⬆またはアルバム/グループ⬇ボタンで、アルバムまたはグループを選ぶ。
曲を選んで再生する*	⬆/⬇/⬅/➡または⏮/⏭ボタンで曲を選び、共通▷ボタンを押す。
音を聞きながら曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
時間表示を見ながら曲中の聞きたいところを探す	一時停止中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離し、⏸または共通▷ボタンを押す。
消音する	消音ボタンを押す。
音量を調節する	音量＋/－ボタン（音量つまみ）を調整する。

* リスト画面（15ページ）で再生中は、⬆/⬇/⬅/➡ボタンで曲を選び、決定ボタンを押すとその曲の再生が始まります。

ご注意

音楽配信サービスによる曲の利用条件で回数制限がある場合、または再生期間制限がある場合、再生できる期間を過ぎると再生できません（再生が停止します）。利用条件は、詳細情報で確認できます（93ページ）。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

1 曲番の数字ボタン（1～9、0）を押したあと、決定ボタンを押す。
  詳しくは51ページをご覧ください。

ご注意

- MP3音声の数秒の曲が連続している場合、◀◀/▶▶ボタンで聞きたいところを探せないことがあります。
- グループ階層、アルバム階層では数字ボタンを使って曲番を選ぶことはできません。

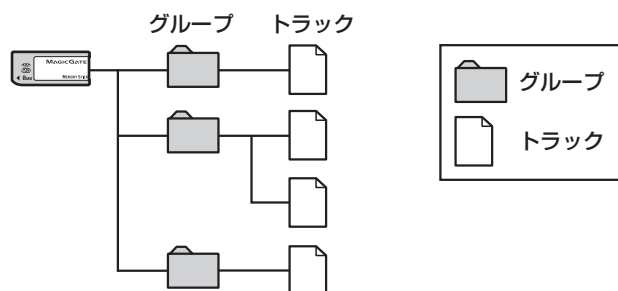
時間表示を切り換える

表示切換ボタンを押す。
詳しくは51ページをご覧ください。

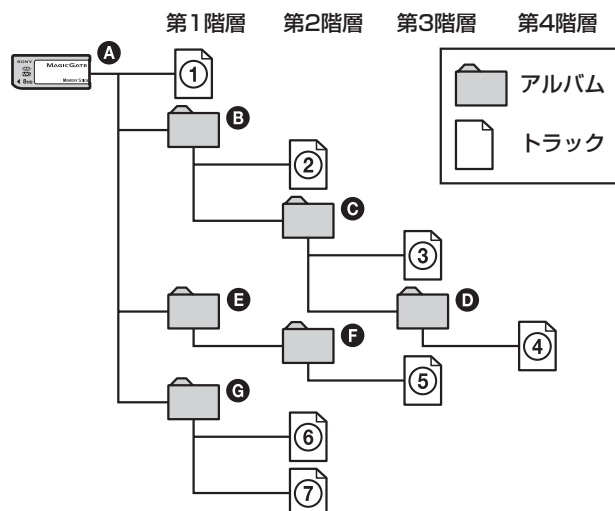
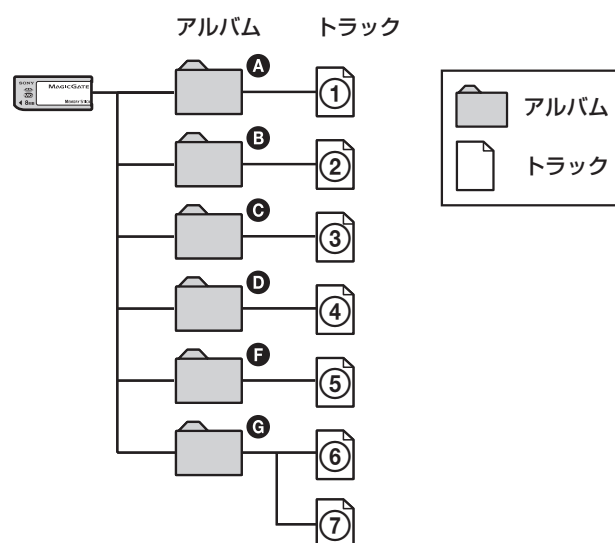
次のページにつづく

曲を聞く（つづき）

ATRAC3音声の階層

マジックゲート対応“メモリースティック”に記録されたATRAC3音声は、グループとトラックの2階層になっています。
トラックは必ずグループの中に保存されます。

MP3音声の階層と再生順序

“メモリースティック”に記録されたアルバムやトラック（MP3音声）は以下のようになっており、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます（例：Ⓑの中にⒸがあるので、②の次は⑥、⑦ではなく③が優先されます。）。
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：Ⓔ）はリスト画面に表示されません。

■ 実際の構造

■ 本機での見えかた

ちょっと一言

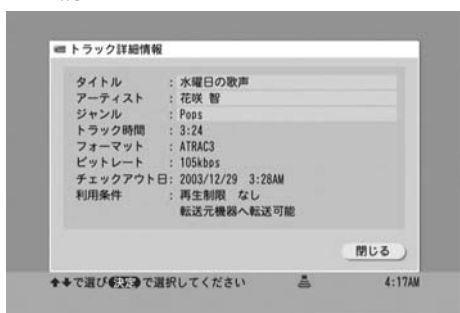
“メモリースティック”に多くの階層や複雑な構成でMP3音声を記録すると、再生開始までに時間がかかることがあります。“メモリースティック”にアルバムを記録するときは第2階層までにすることをおすすめします。

ご注意

“メモリースティック”に記録されたMP3の曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。

グループや曲の情報を見る

ATRAC3ではグループや曲、MP3では曲の情報を見ることができます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。
2 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［ATRAC3］または［MP3］を選び、決定ボタンを押す。
ATRAC3モードまたはMP3モードに切り換わります。
3 グループ（ATRAC3のみ）の詳細情報を見るには手順4に進む。
曲の詳細情報を見るには
↑/↓ボタンで詳細情報を見たい曲を選ぶ。
4 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［詳細情報］－［グループ］（ATRAC3のみ）または［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。
詳細情報画面が表示されます。

タイトルまたはアーティスト、ジャンルの全文を見るには、↑/↓ボタンで［タイトル］または［アーティスト］、［ジャンル］を選び、決定ボタンを押します。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
詳細情報画面に戻るには、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。
詳細情報画面を閉じるには、↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

編集する

編集機能は、ATRAC3モードのときのみ実行できます。MP3モードではアルバムや曲を編集することはできません。

ご注意
“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、編集できません。

グループを作る

新しいグループを作ってから、その中に曲を移動します。曲の移動については、「グループや曲を移動する」（95ページ）をご覧ください。

グループ機能とは？

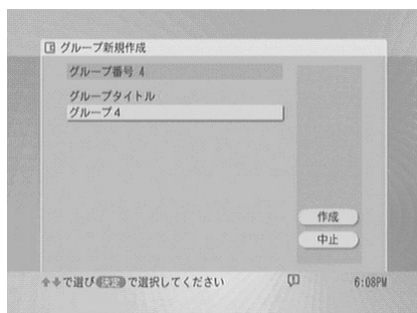
1枚のマジックゲート対応“メモリースティック”の中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。例えば、マジックゲート対応“メモリースティック”の中の曲を「Rock」と「Pops」というグループに分けて好きなグループの曲だけ聞いたり、新しい曲をグループに追加したりできます。
400グループまで作ることができます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［モード切り換え］－［ATRAC3］を選び、決定ボタンを押す。**
ATRAC3モードに切り換わります。

編集する（つづき）

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［グループ新規作成］を選び、決定ボタンを押す。**

グループ新規作成画面が表示されます。

4 **⬅ボタンを押してリストエリアに移動し、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

5 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 **➡ボタンを押す。**

ボタンエリアに移動します。

7 **⬆/⬇ボタンで［作成］を選び、決定ボタンを押す。**

新しいグループが作成され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

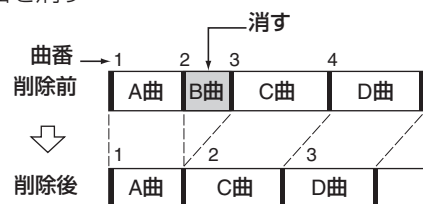
戻るボタンを押す。
グループは作成されません。

ちょっと一言

- グループ名を入力しないと、グループ名は全角の場合「グループ＊＊」、（＊＊はマジックゲート対応 “メモリースティック” 内のグループ数＋1の番号）と表示されます。
- 新しいグループは、停止中にのみ作ることができます。
- 新しいグループは、マジックゲート対応 “メモリースティック” 内のグループの一番後ろに追加されます。
- 以下の場合、自動的にグループが作成され、マジックゲート対応 “メモリースティック” 内のすべての曲は、自動的に作成されたグループ内に移動します。
  - －グループが存在しないマジックゲート対応 “メモリースティック” を本機に挿入した場合
  - －グループ機能に対応していない機器またはソフトウェアで曲の転送や編集を行った場合
  - －グループ機能に関連するファイルが壊れていたり消去された場合
  - －“メモリースティック” に空き容量がないと、グループは作成されません。

グループや曲を消す

消したいグループや曲を選ぶだけで、マジックゲート対応 “メモリースティック” に保存されているグループや曲をかんたんに消せます。
一度消すと元には戻せないので、よく確認してから消してください。
曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）B曲を消す

ご注意

グループを削除すると、グループ内の曲も削除されます。

1 **「グループを作る」（93ページ）の手順1と2を行う。**

2 **削除する対象（グループまたは曲）を選ぶ。**

対象	操作
グループ	手順3に進む。
曲	⬆/⬇ボタンで消したい曲のあるグループを選び、➡または決定ボタンを押す。

3 削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［削除］を選び、決定ボタンを押す。

削除する対象を選ぶ画面が表示されます。

4 削除するグループまたは曲を選ぶ。

選択されているグループまたは曲を削除するには

手順5に進む。

削除するグループまたは曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで削除したいグループまたは曲を選び、決定ボタンを押す。
削除するグループまたは曲にチェックマークをつけます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のグループまたは曲を選ぶには、この手順をくり返します。

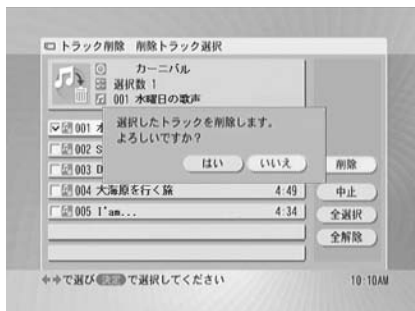
すべてのグループまたは曲を選ぶには

⬆/⬇ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 削除ボタンを押す。または、➡ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。

削除確認画面が表示されます。

6 グループまたは曲を削除するには

⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

選んだグループまたは曲が削除され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら削除する曲を選ぶ

手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。

選んだ曲の再生が始まります。

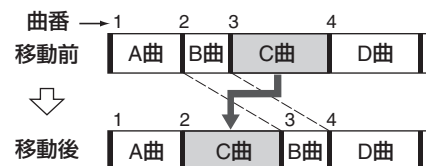
■ボタンを押すと再生が止まります。

ご注意

削除が終了するまでは、本機の電源を切らないでください。

グループや曲を移動する

グループ順やグループ内の曲順を変えたり、曲を他のグループに移動させたりできます。曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

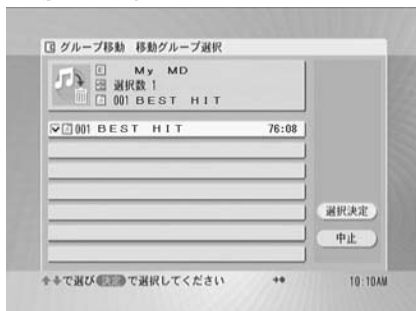
例）C曲をB曲の前に移動する

1 「グループを作る」（93ページ）の手順1と2を行う。

2 移動する対象（グループまたは曲）を選ぶ。

対象	操作
グループ	手順3に進む。
曲	⬆/⬇ボタンで移動したい曲のあるグループを選び、➡または決定ボタンを押す。

次のページにつづく

3 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［移動］を選び、決定ボタンを押す。

移動する対象を選ぶ画面が表示されます。

4 移動するグループまたは曲を選ぶ。

選択されているグループまたは曲を移動するには

手順5に進む。

移動するグループまたは曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで移動したいグループまたは曲を選び、決定ボタンを押す。
移動するグループまたは曲にチェックマークをつけます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のグループまたは曲を選ぶには、この手順をくり返します。

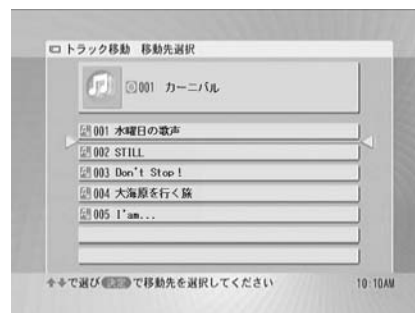
3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべての曲を選ぶには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

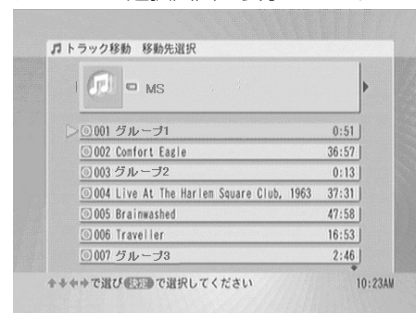
5 ⬆/⬇ボタンで［選択決定］を選び、決定ボタンを押す。

移動先選択画面が表示されます。

6 移動先を選ぶ。

グループの移動先を選ぶ、または、グループ内で曲の移動先を選ぶには

⬆/⬇ボタンで移動先を選び、決定ボタンを押す。
移動を確認する画面が表示されます。

曲を他のグループに移動するには

1 ⬅ボタンを押す。
グループの選択画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで移動先のグループを選び、決定ボタンを押す。

3 ⬆/⬇ボタンで移動先を選び、決定ボタンを押す。
移動を確認する画面が表示されます。

7 ⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

選んだグループまたは曲が移動し、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら移動する曲を選ぶ

手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

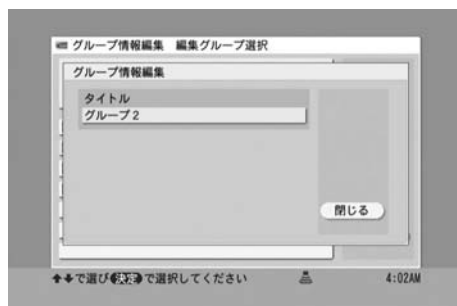
名前をつける

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号、ひらがな、カタカナ、漢字を使って、グループ、曲に名前をつけたり、曲にアーティスト名やジャンル名をつけられます。それぞれの名前に最大510文字（半角）まで入力できます。
再生中または再生一時停止中、停止中に行います。

グループに名前をつける

1 **「グループを作る」（93ページ）の手順1と2を行う。**

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［編集］－［情報編集］－［グループ］を選び、決定ボタンを押す。**
編集グループ選択画面が表示されます。

3 **↑/↓ボタンで名前をつけたいグループを選び、決定ボタンを押す。**
グループ情報編集画面が表示されます。

4 **決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

5 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 **続けて他のグループに名前をつけるときは、手順3から5をくり返す。**

7 **↑/↓/➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**
メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

名前を変更する

手順2からやり直す。

ちょっと一言

再生中にグループに名前をつける場合、手順2で決定ボタンを押すと、再生が止まります。

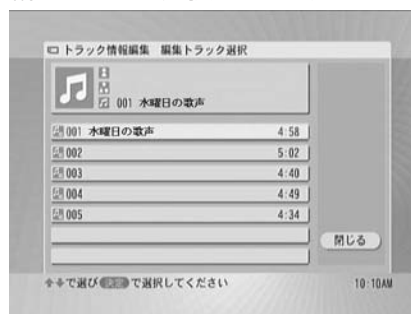
曲に名前やアーティスト名、ジャンルをつける

1 **「グループを作る」（93ページ）の手順1と2を行う。**

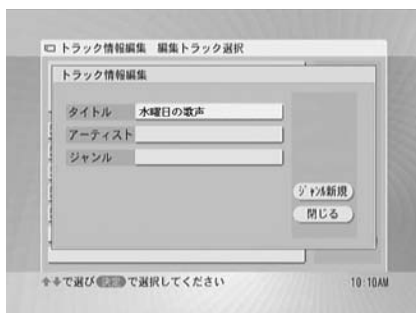
2 **↑/↓/➡ボタンで名前やアーティスト名、ジャンルをつけたい曲のあるグループを選び、➡または決定ボタンを押す。**

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［編集］－［情報編集］－［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。**
編集トラック選択画面が表示されます。

“メモリースティック”（ミュージック）

次のページにつづく

編集する（つづき）

4 **⬆/⬇ボタンで名前やアーティスト名、ジャンルをつけたい曲を選び、決定ボタンを押す。**

トラック情報編集画面が表示されます。

5 **名前またはアーティスト名をつけるには**

1 ⬆/⬇ボタンで［タイトル］または［アーティスト］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
2 名前やアーティスト名を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

ジャンル名をつけるには

ジャンルの一覧から選ぶときは

1 ⬆/⬇ボタンで［ジャンル］を選び、決定ボタンを押す。
既存のジャンルの一覧が表示されます。
2 ⬆/⬇ボタンでジャンル名を選び、決定ボタンを押す。

つけたいジャンル名がないときは

1 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。
2 ⬆/⬇ボタンで［ジャンル新規］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
3 ジャンル名を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 **⬆/⬇ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

編集トラック選択画面に戻ります。

7 **続けて他の曲に名前やアーティスト名、ジャンルをつけるときは、手順4から6をくり返す。**

8 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

名前やアーティスト名、ジャンルを変更する

手順4からやり直す。

曲を聞きながら名前やアーティスト名、ジャンルをつける曲を選ぶ

手順4で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ちょっと一言

再生中に名前やアーティスト名、ジャンルをつける場合、手順3で決定ボタンを押すと、曲の先頭から再生されます。

HDDを使って曲を転送する
（チェックイン／チェックアウト）

本機のHDDに保存されている音楽データをマジックゲート対応“メモリースティック”に転送（チェックアウト）したり、本機からマジックゲート対応“メモリースティック”に転送した音楽データをHDDに戻したり（チェックイン）できます。

転送（チェックイン／チェックアウト）とは？

詳しくは、「HDD」の章の「転送（チェックイン／チェックアウト）とは？」（47ページ）をご覧ください。

HDDから曲を転送する（チェックアウト）

詳しくは、「HDD」の章の「Net MD機器やマジックゲート対応“メモリースティック”へ曲を転送する（チェックアウト）」（66ページ）をご覧ください。

HDDに曲を転送し戻す（チェックイン）

ご注意

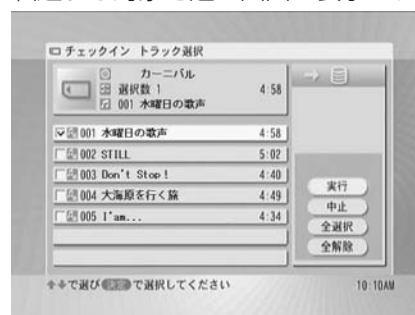
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、チェックイン／チェックアウトできません。
- 他の機器で転送した曲は転送し戻す（チェックイン）ことはできません。
- MP3モードでは転送し戻す（チェックイン）ことはできません。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［メモリースティック］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［モード切り換え］－［ATRAC3］を選び、決定ボタンを押す。**
ATRAC3モードに切り換わります。

3 **転送する対象（グループまたは曲）を選ぶ。**

対象	操作
グループ	手順4に進む。
曲	↑/↓ボタンで転送したい曲のあるグループを選び、➡または決定ボタンを押す。

4 **転送ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［転送（チェックイン)］を選び、決定ボタンを押す。**
転送する対象を選ぶ画面が表示されます。

5 **転送するグループまたは曲を選ぶ。**

選択されているグループまたは曲を転送するには
手順6に進む。

転送するグループまたは曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ↑/↓ボタンで転送したいグループまたは曲を選び、決定ボタンを押す。
転送するグループまたは曲にチェックマークをつけます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のグループまたは曲を選ぶには、この手順をくり返します。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのグループまたは曲を選ぶには
↑/↓/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

HDDを使って曲を転送する（チェックイン／チェックアウト）（つづき）

6 **↑/↓ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**
転送が始まります。
転送が終わると自動的にメイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

曲の転送がすでに開始している場合は、途中でやめられないことがあります。

HDDに曲を移動する（ATRAC3モードのみ）

マジックゲート対応“メモリースティック”に保存されている音楽データを本機のHDDに移動できます。

ご注意

- マジックゲート対応“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、HDDへの移動はできません。
- 移動できる音楽データは、利用条件が「HDDに移動可能」になっている曲です。利用条件は、詳細情報で確認できます（89ページ）。
- MP3モードでは移動できません。
- マジックゲート対応“メモリースティック”の空き容量が足りないときは、HDDへの移動はできません。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［メモリースティック］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［モード切り換え］－［ATRAC3］を選び、決定ボタンを押す。**
ATRAC3モードに切り換わります。

3 **HDDに移動する対象（グループまたは曲）を選ぶ。**

対象	操作
グループ	手順4に進む。
曲	↑/↓ボタンで移動したい曲のあるグループを選び、➡または決定ボタンを押す。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［HDDへの移動］を選び、決定ボタンを押す。**

HDDに移動する対象を選ぶ画面が表示されます。

5 **移動するグループまたは曲を選ぶ。**

選択されているグループまたは曲を移動するには
手順6に進む。

移動するグループまたは曲を変更するには

1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

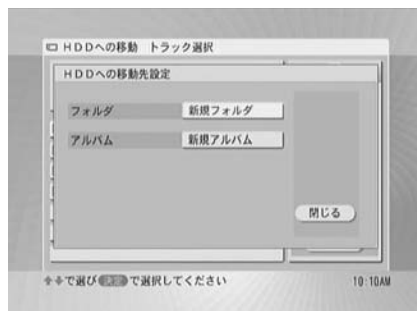
2 ↑/↓ボタンで移動したいグループまたは曲を選び、決定ボタンを押す。
移動するグループまたは曲にチェックマークをつけます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のグループまたは曲を選ぶには、この手順をくり返します。

3 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべての曲を選ぶには
↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

6 **↑/↓ボタンで［設定］を選び、決定ボタンを押す。**

HDDへの移動先設定画面が表示されます。

7 **↑/↓ボタンで［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**

プルダウンメニューが表示されます。

8 **↑/↓ボタンで移動したいフォルダを選び、決定ボタンを押す。**

新しくフォルダを作り、その中に移動するには［新規フォルダ］を選びます。

9 **↑/↓ボタンで［アルバム］を選び、決定ボタンを押す。**

プルダウンメニューが表示されます。

10 **↑/↓ボタンで移動したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

新しくアルバムを作り、その中に移動するには［新規アルバム］を選びます。

11 **→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

HDDへの移動トラック選択画面に戻ります。

12 **↑/↓ボタンで［移動実行］を選び、決定ボタンを押す。**

HDDへの移動が始まります。
移動が終わると自動的にメイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

“メモリースティック”を初期化する

“メモリースティック”（ミュージック）ファンクションで表示されるATRAC3の曲を消したり（オーディオ初期化）、“メモリースティック”に記録されているすべてのデータを消す（メディア初期化）ことができます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［ミュージック］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［初期化］－［オーディオ］または［メディア］を選び、決定ボタンを押す。

オーディオ	“メモリースティック”（ミュージック）ファンクションで表示されるすべての曲を消します（ATRAC3のみ）。（オーディオ初期化）
メディア	“メモリースティック”に記録されているすべてのデータを消します。（メディア初期化）

オーディオまたはメディアの初期化を行うかを確認する画面が表示されます。

3 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

初期化が実行され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順3で［いいえ］を選ぶ。または、戻るボタンを押す。

ご注意

- “メモリースティック”（ミュージック）ファンクションでメディア初期化を行うと、“メモリースティック”に記録されているデータはすべて消去されます。“メモリースティック”（フォト）ファンクションで記録したデータや、本機以外で記録したデータも消去されます。初期化する前に、必ず内容を確認してください。
- “メモリースティック”（ミュージック）ファンクションでオーディオ初期化を行うと、“メモリースティック”に記録されている、以下のフォルダ内のデータが初期化されます。パソコンなどで“メモリースティック”をご使用の際は、以下のフォルダ内にファイルを置かないでください。
  － HIFIフォルダ
  － CONTROLフォルダ
- 必要なとき以外は“メモリースティック”を初期化しないでください。
- “メモリースティック”をパソコンで初期化すると、その“メモリースティック”は本機で使えなくなる場合があります。その場合は、本機で初期化し直してください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、初期化できません。

“メモリースティック”(フォト)

表示できる画像について

本機では、以下の画像ファイル形式に対応しています。
- JPEG形式(JPEG/Exif JPEG)
- TIFF形式(TIFF/Multipage TIFF*)
- PNG形式
- GIF形式(GIF/Animation GIF**)
- BMP形式

* 本機では先頭の静止画のみ表示されます。静止画を“メモリースティック”から本機のフォトアルバムへ移動またはコピーすると、ページごとに1枚の静止画として変換されます。

** 本機ではAnimation GIF形式の画像ファイルを編集できません。

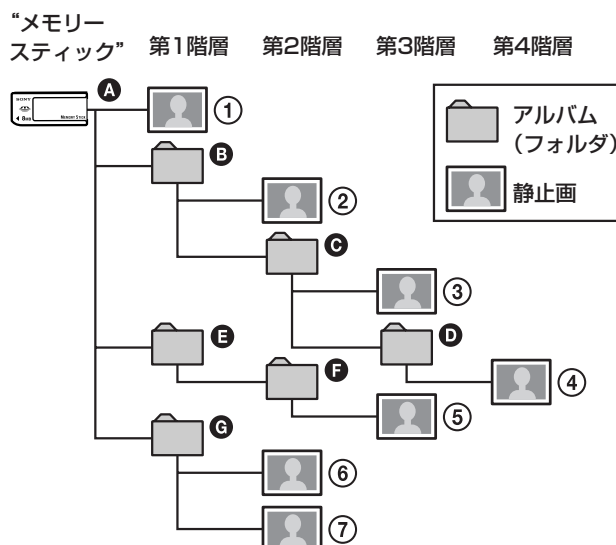
“メモリースティック”に静止画をコピーする場合、Animation GIF形式の画像ファイル以外はすべてExif JPEG形式に変換されます。

本機はDCF*に準拠した画像を表示できます。移動またはコピー先がDCF準拠していない画像のときは、画面右下に![]が表示されます。

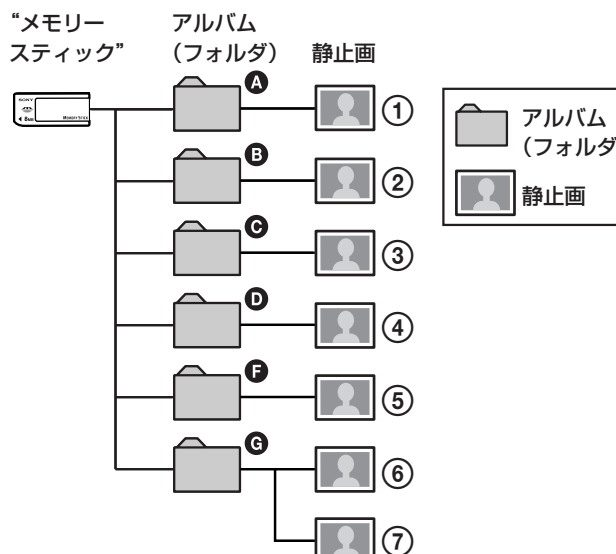
* DCFとは、主としてデジタルカメラの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用し合うことを目的として制定された(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

静止画の階層と表示順序

“メモリースティック”に記録されたアルバム(フォルダ)や静止画は以下の階層になっており、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順序に表示します。
アルバム(フォルダ)がサブアルバム(サブフォルダ)を含んでいるときは、サブアルバム(サブフォルダ)に含まれる静止画の表示が優先されます(例:Ⓑの中にⒸがあるので、②の次は⑥、⑦ではなく③が優先されます。)。
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。静止画を直下に含まないアルバム(例:Ⓔ)はリスト画面に表示されません。
ファイル名が同一でファイル形式の異なった複数の静止画が同じフォルダに保存されている場合は、JPEG形式の静止画が優先して表示されます。

■ 実際の階層

■ 本機での見えかた

“メモリースティック”(フォト)

次のページにつづく

静止画を見る

本機では“メモリースティック”内のフォルダはアルバムとして表示されます。ただし、静止画の入っていないフォルダはアルバムとして認識されないため、画面上に表示されません。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンで見たい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**
静止画階層が表示されます。

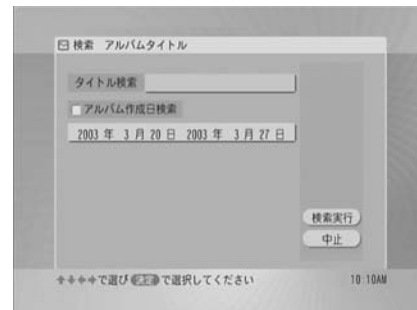
3 **↑/↓/←/→ボタンで見たい静止画を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ静止画が全画面表示されます。

詳しい操作については、「フォトアルバム」の「その他の操作をする」（135ページ）をご覧ください。

検索して表示する

“メモリースティック”内のアルバムや静止画を、タイトルや日付で検索できます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［検索］－［(検索方法)］－［アルバム］または［画像］を選び、決定ボタンを押す。**
検索方法はタイトル、または日付けから選びます。
検索画面が表示されます。

3 **タイトルで検索するには**

1 ↑/↓ボタンで［タイトル検索］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

2 タイトルを入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

日付で検索するには
手順4に進む。

4 **↑/↓ボタンで［アルバム作成日検索］（アルバムを検索するとき）または［撮影日検索］（静止画を検索するとき）を選び、決定ボタンを押す。**
［アルバム作成日検索］または［撮影日検索］にチェックマークをつけます。

5 **↑/↓ボタンで年月日の項目を選び、決定ボタンを押す。**

6 **←/→ボタンで検索したい年／月／日の範囲を選び、↑/↓ボタンで合わせ、決定、または戻るボタンを押す。**
年、月、日を順に合わせていきます。

7 **→ボタンを押す。**
ボタンエリアに移動します。

8 **↑/↓ボタンで［検索実行］を選び、決定ボタンを押す。**
検索が始まり、検索条件に合うアルバムまたは静止画が表示されます。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

静止画階層では、アルバムの検索はできません。

表示順を並べ替える（ソートする）

“メモリースティック”内のアルバムや静止画を、タイトル、日付などの条件順にそれぞれ並べ替えて表示できます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **アルバムを並べ替える（ソートする）には**

手順3に進む。

静止画を並べ替える（ソートする）には

↑/↓/←/→ボタンで表示したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［ソート］－［(条件)］を選び、決定ボタンを押す。**

条件は以下の中から選びます。

タイトル順、日付順*

* アルバム階層時はアルバム作成日順、画像階層時は撮影日順に表示されます。

選んだ条件順に表示されます。

ちょっと一言

- 一度並べ替える（ソートする）と、階層ごとに常にその順番で表示されます。
- 同じ条件で再び並べ替える（ソートする）と、逆順で表示されます。
- ソートの条件は、電源を切っても記憶されています。

アルバムや静止画の詳細情報を見る

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 詳細情報を見る対象（アルバムまたは静止画）を選ぶ。

対象	操作
アルバム	↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たいアルバムを選ぶ。
静止画	アルバムを選んだあと決定ボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たい静止画を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［詳細情報表示］を選び、決定ボタンを押す。

アルバムまたは静止画の詳細情報画面が表示されます。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
アルバムまたは静止画の詳細情報画面を閉じるには、決定、または戻るボタンを押します。

ご注意

情報が取得できなかった項目は、何も表示されません。

“メモリースティック”（フォト）

次のページにつづく

“メモリースティック”を編集する

アルバムを作る

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **アルバム階層が表示されていることを確認する。**
静止画階層が表示されているときは、←ボタンでアルバム階層を表示させます。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［アルバム作成］を選び、決定ボタンを押す。**
新しいアルバムが作られます。

ちょっと一言
- アルバム名は「DCIM/＊＊＊MSDCF（＊＊＊は101から999までの数字）」と表示されます。
- 新しいアルバムは“メモリースティック”内の最後のアルバムの後ろに追加されます。

ご注意
- 静止画階層では、アルバムの作成はできません。
- 新規作成したアルバムに静止画を入れないまま、他のファンクションに移動したり、“メモリースティック”を取り出したりするとそのアルバムは消えてしまいます。

静止画を取り込む

フォトアルバムの静止画を、“メモリースティック”に取り込むことができます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［画像取り込み］を選び、決定ボタンを押す。**
画像取り込み先選択画面が表示されます。

3 **↑/↓ボタンで静止画の取り込み先を選び、決定ボタンを押す。**

このアルバムに取り込む	現在のアルバムの中に取り込みます。
新規アルバムを作成して取り込む	新しくアルバムを作り、その中に取り込みます。
中止	メイン画面に戻ります。

画像取り込み画面が表示されます。

4 **←ボタンを押す。**
リストエリアに移動します。

5 **↑/↓ボタンで取り込みたい静止画を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ静止画にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。

すべての静止画を選ぶには
↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

6 **手順5をくり返す。**

7 **→ボタンを押す。**
ボタンエリアに移動します。

8 **↑/↓ボタンで［取り込み］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ静止画が取り込まれ、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる
手順3から8の間で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意
- “メモリースティック”の空き容量が足りないときは、手順8の操作後エラーメッセージが表示されます。空き容量のある“メモリースティック”をお使いください。
- “メモリースティック”が誤消去防止状態になっているときは、手順2でメッセージが表示されます。“メモリースティック”を取り出し、誤消去防止スイッチをスライドさせて「LOCK」をはずしてください。
- 取り込みが終了するまでは、“メモリースティック”を取り出さないでください。
- “メモリースティック”（フォト）ファンクションの「画像取り込み」では、フォトアルバム内の静止画のみを取り込めます。以下の画像を“メモリースティック”に取り込みたい場合は、一度フォトアルバムに取り込んだあと（またはコピーしたあと）に、“メモリースティック”へ取り込んで（もしくはコピーして）ください。
  - ホームページ上の静止画
  - メールに添付された静止画
  - CD-R/RWの静止画

静止画を保護する（プロテクト設定）

大切な静止画を間違って消去しないように、静止画を保護（プロテクト設定）します。

ご注意
静止画が保護（プロテクト設定）されていても、“メモリースティック”を初期化（110ページ）すると消去されます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンで保護したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓/←/→ボタンで保護したい静止画を選ぶ。**

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［プロテクト］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ静止画が保護（プロテクト設定）されます。

5 **リストボタンを押してリスト画面に切り換える。**
保護された静止画にo━が表示されます。

保護（プロテクト設定）を解除する

もう一度手順4を行う。
o━が消えます。

削除する

消したいアルバムや静止画を選ぶだけで、“メモリースティック”に保存したアルバムや静止画をかんたんに消せます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **アルバムを削除するには**
手順3に進む。

静止画を削除するには
↑/↓/←/→ボタンで削除したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

3 **削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［削除］を選び、決定ボタンを押す。**
削除画面が表示されます。

次のページにつづく

“メモリースティック” を編集する（つづき）

4 **削除するアルバムまたは静止画を選ぶ。**

選択されているアルバムまたは静止画を選ぶには

手順5に進む。

削除するアルバムまたは静止画を変更するには

1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ↑/↓ボタンで削除したいアルバムまたは静止画を選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバムまたは静止画にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
アルバムと静止画を一緒に選ぶことはできません。
プロテクト設定されている静止画は削除できません。プロテクト設定を解除してから削除してください。
続けて他のアルバムまたは静止画を選ぶには、この手順をくり返します。

3 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

5 **↑/↓ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。**

削除確認画面が表示されます。

6 **←ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**

選んだアルバムまたは静止画が削除され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順4から5の間で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

“メモリースティック” に保存されているすべてのアルバムを削除する

1 アルバム階層が表示されていることを確認する。

2 手順4で↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。
すべてのアルバムにチェックマークがつきます。

3 ↑ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。
削除確認画面が表示されます。

4 ←ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
すべてのアルバムが削除されます。ただし、プロテクト設定されている静止画は削除されません。プロテクト設定を解除してから削除してください。

チェックマークをすべてはずす

手順4で↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

スライドショー中、または全画面表示のときに削除ボタンを押すと、画像削除画面が表示されます。

移動／コピーをする

アルバムや静止画を本機のフォトアルバムに移動またはコピーできます。また、静止画を“メモリースティック”内のアルバムに移動またはコピーできます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **アルバムを移動またはコピーするには**

手順3に進む。

静止画を移動またはコピーするには

↑/↓/←/→ボタンで移動またはコピーしたい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［移動］または［コピー］を選び、決定ボタンを押す。**

移動またはコピー画面が表示されます。

4 移動またはコピーしたいアルバムまたは静止画を選ぶ。

選択されているアルバムまたは静止画を選ぶには

手順5に進む。

移動またはコピーしたいアルバムまたは静止画を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで移動またはコピーしたいアルバムまたは静止画を選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバムまたは静止画にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
アルバムと静止画を一緒に選ぶことはできません。
移動する場合、プロテクト設定されている静止画はコピーのみ行われます（移動はされません）。プロテクト設定を解除してから移動してください。
続けて他のアルバムまたは静止画を選ぶには、この手順をくり返します。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのアルバムまたは静止画を選ぶには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。
すべてのアルバムまたは静止画にチェックマークがつきます。ただし、プロテクト設定されている静止画はコピーのみ行われます（移動はされません）。プロテクト設定を解除してから移動してください。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 ⬆/⬇ボタンで［移動］または［コピー］を選び、決定ボタンを押す。

アルバムの場合は、確認画面が表示されます。手順7に進んでください。
静止画の場合は、移動またはコピー先選択画面が表示されます。

6 移動またはコピー先を選ぶ。

静止画をフォトアルバムへ移動またはコピーするには

⬆/⬇ボタンで［フォトアルバムへ移動（またはコピー）する］を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

静止画を"メモリースティック"内のアルバムへ移動またはコピーするには

1 ⬆/⬇ボタンで［メモリースティックへ移動（またはコピー）する］を選び、決定ボタンを押す。

2 ⬆/⬇ボタンで移動またはコピー先を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

7 ⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

アルバムまたは静止画が移動またはコピーされ、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順4から5の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意

- 移動またはコピーが終了するまでは、"メモリースティック"を取り出さないでください。
- "メモリースティック"内では、DCF準拠していないアルバムに対して移動またはコピーできません。

フォトアルバムにコピーした静止画を確認する

ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで「フォトアルバム」を選び、決定ボタンを押す。
静止画の見かたについて詳しくは、「フォトアルバム」の章の「静止画を見る」（135ページ）をご覧ください。

スライドショーを楽しむ

“メモリースティック”内のすべての静止画または特定のアルバム内の静止画を次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。
スライドショーでは、静止画は画像サイズ640×480で表示されます。画像サイズ640×480に満たないものは、その静止画の大きさで表示されます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/⬅/➡ボタンでアルバムを選んで共通▷ボタンを押す。**
スライドショーが始まります。

スライドショーをする範囲を設定する。
手順1で以下の操作を行います。

“メモリースティック”に保存されているすべての静止画を表示するには
アルバム階層が表示されていることを確認し、↑/↓/⬅/➡ボタンでスライドショーの最初に表示させたい静止画の入ったアルバムを選ぶ。

特定のアルバム内のすべての静止画を表示するには
↑/↓/⬅/➡ボタンでスライドショーをしたいアルバムを選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバム内の静止画（静止画階層）が表示されていることを確認します。
（詳しくは、135ページ「その他の操作をする」をご覧ください。）

アルバム階層でスライドショーを始めると、“メモリースティック”に保存されているすべての静止画を、選んだアルバムの最初から表示します。静止画階層でスライドショーを始めると、選んだアルバム内のすべての静止画を選んだ静止画から表示します。

“メモリースティック”を初期化する

“メモリースティック”に記録されているすべてのデータを消します。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［メモリースティック］－［フォト］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/➡ボタンで［編集］－［メディア初期化］を選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

3 **⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
“メモリースティック”が初期化されます。

手順の途中でやめる

手順3で［いいえ］を選ぶ。または、戻るボタンを押す。

ご注意
- “メモリースティック”（フォト）ファンクションでメディア初期化を行うと、“メモリースティック”に記録されているデータはすべて消去されます。“メモリースティック”（ミュージック）ファンクションで記録したデータや、本機以外で記録したデータも消去されます。初期化する前に、必ず内容を確認してください。
- 必要なとき以外は“メモリースティック”を初期化しないでください。
- “メモリースティック”をパソコンで初期化すると、その“メモリースティック”は本機で使えなくなる場合があります。その場合は、“メモリースティック”に記録されているデータをパソコンなどでバックアップをとったうえで本機で初期化し直してください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にしているときは、初期化できません。

FM/AM

（ラジオ）

この章では、ラジオ放送を受信するためのFM/AMについて説明します。
FM/AMでは、次のことができます。

• FM／AMのラジオ放送を受信する
• ラジオ放送を本機のHDDに録音する

また、"エニーミュージック" に入会すると、ネットワークを使ったNow on Air機能で放送中の情報（オンエア情報）を見たり、楽曲情報を保存（クリップ）することができます。
"エニーミュージック" について詳しくは、別紙「エニーミュージックご案内」および
http://www.anymusic.jpをご覧ください。

FMラジオ／AMラジオを聞く

あらかじめラジオ局を登録して聞くときは（プリセットチューニング）、「ラジオ局（周波数）を登録する」（114ページ）をご覧になり、ラジオ局を登録しておいてください。

1　FM/AMボタンを押す。または、ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［FM/AM］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2　FMまたはAMを選ぶ。

FM/AMボタンを押し［FM］/［AM］を切り換える。または、↑/↓ボタンで［FM］または［AM］を選び、➡または決定ボタンを押す。
ラジオ局階層バーが表示されます。

3　ラジオ局を選ぶ。

あらかじめ登録してあるラジオ局を聞くには（プリセットチューニング）

選局＋/－ボタンで聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。

"エニーミュージック" に入会していると、プリセットチューニングで放送中の情報（オンエア情報）を提供しているFMを受信しているときに、Now on Air機能によりオンエア情報が表示されます。

詳しくは、「放送中の情報（オンエア情報）を表示・保存する（Now on Air）」（113ページ）をご覧ください。

自動で受信して聞くには（オートチューニング）

周波数表示が自動的に変わるまで◀◀/▶▶ボタンを押し続ける。

自動的にオートチューニングモードに切り換わったあと周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります。
周波数表示が変わっていく間に、■ボタンを押すと止まります。

手動で受信して聞くには（マニュアルチューニング）

◀◀/▶▶ボタンをくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる。

◀◀/▶▶ボタンを押すと、自動的にマニュアルチューニングモードに切り換わります。

その他の操作をする

こんなときは	操作
消音する	消音ボタンを押す。
音量を調節する	音量＋/－ボタン（音量つまみ）を調整する。

ラジオ局の詳細情報を見る

1 「FMラジオ／AMラジオを聞く」（左記）の手順1と2を行う。
2 選局＋/－ボタンで詳細情報を見たいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。
3 ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［詳細情報］を選び、決定ボタンを押す。
　ラジオ局詳細情報画面が表示されます。

ラジオ局名の全文を見るには、↑/↓ボタンで［ラジオ局名］を選び、決定ボタンを押します。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
ラジオ局詳細情報画面に戻るには、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

ラジオ局詳細情報画面を閉じるには、↑/↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

ちょっと一言

• モードは、以下の方法でも切り換えられます。
手順2のあとでツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［モード切り換え］－［(モードの種類)］を選び、決定ボタンを押す。

（◆：お買い上げ時の設定）

プリセット	プリセットチューニングモードに切り換わります。
◆オート	オートチューニングモードに切り換わります。
マニュアル	マニュアルチューニングモードに切り換わります。

• FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［設定］－［FM モード設定］－［常時モノラル］を選び、決定ボタンを押します。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。元に戻すときは、同様の操作で［自動ステレオ］を選び、決定ボタンを押します。
• 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、アンテナの向きや置き場所、張る位置を変えてみてください。それでも受信状態がよくならないときは、市販の屋外アンテナの使用をおすすめします（23ページ）。

“エニーミュージック”への接続時に「Any Musicに接続できません」などのメッセージが表示されたときは

ユーザーID、パスワードを保存していないか、または“エニーミュージック”への認証に失敗した可能性があります。画面の指示にしたがって操作してください。
再認証するには、以下の操作を行ってください。

1 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［Any Musicに接続］を選び、決定ボタンを押す。
認証を行う画面が表示されます。
2 ⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
［ユーザーIDとパスワードを］を選んだときは、プルダウンメニューが表示されるので、［保存する］または［保存しない］を選びます。
3 文字を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。
4 手順2と3をくり返して、必要な項目を入力する。
5 入力が終わったら、⬆/⬇/⬅/➡ボタンで［接続］を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

ユーザーID、パスワードを保存する設定にしていても、本機の電源コードを抜くと、ユーザーID、パスワードは失われます。

放送中の情報（オンエア情報）を表示・保存する（Now on Air）

放送中の情報を見たり、楽曲情報を本機に保存（クリップ）しておくことができます。
この機能を利用するためには“エニーミュージック”の登録が必要です。詳しくは、別紙「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

オンエア情報を見る

プリセットチューニングでFM放送を受信中、オンエア情報が取得できるときは画面に自動的に表示されます。

表示されるオンエア情報は以下のとおりです。

• **オンエア番組情報**
番組放送開始、終了時間、番組名が表示されます。

• **オンエア楽曲情報**
オンエア開始時間、楽曲のタイトル、アーティスト名が表示されます。

• **ラジオ局からのお知らせ**
ラジオ局からのメッセージがあれば表示されます。

以下のときは、オンエア情報は表示されません。
• “エニーミュージック”に未入会のとき
• ラジオ局がNow on Air機能を提供していないとき
• AMが選ばれているとき
• オートチューニングまたはマニュアルチューニングで受信しているとき
• ネットワークの接続・設定が正しくないとき
• カレント情報エリアに[アイコン]*が表示されているとき

* マニュアルプリセットでラジオ局名を新規に入力した場合、または、オートプリセットでラジオ局名が自動的につかなかった場合は、カレント情報エリアに[アイコン]が表示されます。

次のページにつづく

FMラジオ／AMラジオを聞く（つづき）

楽曲情報を保存（クリップ）する

表示されているオンエア情報から、楽曲情報（放送局名、楽曲名、アーティスト名、オンエア日）を本機に保存しておくことができます。
保存した楽曲情報は、ANY MUSICファンクションで一覧表示したり、音楽ダウンロードやオンラインCDショップの検索キーとして利用できます。詳しくは、「ANY MUSIC」（45ページ）および別紙「エニーミュージックご案内」をご覧ください。

1 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［楽曲情報をクリップ］を選び、決定ボタンを押す。**
楽曲情報選択画面が表示されます。
この画面には、最新の楽曲を含め過去3曲分の情報が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで楽曲情報を選び、決定ボタンを押す。**
楽曲情報がクリップされ、確認の画面が表示されます。

3 **決定ボタンを押す。**
確認の画面が閉じ、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

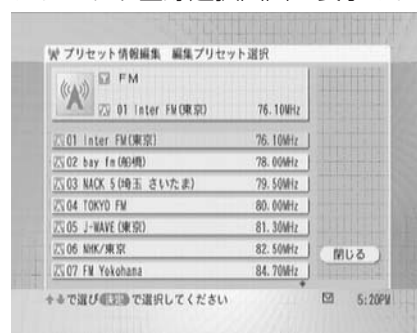
ラジオ局（周波数）を登録する

ラジオ局を自動で登録する（オートプリセット）

お住まいの地域のラジオ局を自動で登録します。

1 **FM/AMボタンを押す。または、ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［FM/AM］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **FMまたはAMを選ぶ。**
FM/AMボタンを押して［FM］/［AM］を切り換える。または、↑/↓ボタンで［FM］または［AM］を選ぶ。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［プリセット登録］を選び、決定ボタンを押す。**
プリセット登録選択画面が表示されます。

4 **→ボタンを押す。**
ボタンエリアに移動します。

5

FMの場合

1 ⬆/⬇ボタンで［オート］を選び、決定ボタンを押す。
“エニーミュージック”に入会しているかどうかで、表示される画面やこれ以降の操作が異なります。

“エニーミュージック”に未入会の場合	入会のおすすめ画面が表示されます。手順5-3に進む。
“エニーミュージック”に入会済の場合	プリセット上書確認画面が表示されます。手順5-2に進む。

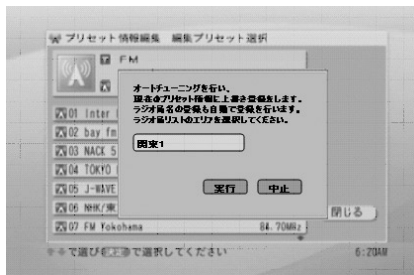
2 以下の操作をする。

“エニーミュージック”に入会する場合	⬅/➡ボタンで［はい］を選び決定ボタンを押す。以降の操作は別紙「エニーミュージックのご案内」をご覧ください。
“エニーミュージック”に入会しない場合	⬅/➡ボタンで［いいえ］を選び、決定ボタンを押す。プリセット上書確認画面が表示されます。手順5-3に進む。

3 ⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
オートプリセットが開始され、プリセット登録選択画面に戻ります。
ユーザーID、パスワード入力画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって操作してください。

“エニーミュージック”に入会済の場合は、会員登録されている住所をもとに、お住まいの地域のラジオ局リストがネットワーク経由で取得され、自動でラジオ局名がついてオンエア情報を受信できるように設定されます。

AMの場合

1 ⬆/⬇ボタンで［オート］を選び、決定ボタンを押す。
プリセット上書確認エリア選択画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンでエリアを選び、決定ボタンを押す。
プルダウンメニューが表示されます。

3 ⬆/⬇ボタンでお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。
オートプリセットが開始され、プリセット登録選択画面に戻ります。

6 **⬆/⬇ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面に戻ります。

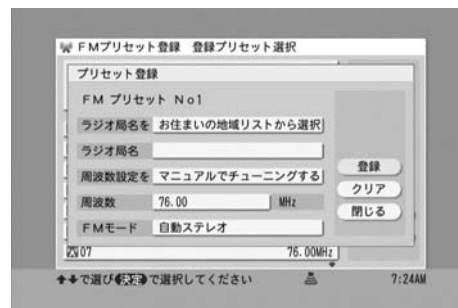
オートプリセットを途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意
ケーブルテレビを利用して本機をお使いの場合など、ラジオ局リストの周波数と受信した周波数が一致しないときは、ラジオ局名が自動でつきません。この場合はマニュアルプリセットでラジオ局名を設定してください。

ラジオ局を手動で登録する（マニュアルプリセット）

1 **「ラジオ局を自動で登録する（オートプリセット）」（114ページ）の手順1から3を行う。**

2 **⬆/⬇ボタンでプリセット番号を選び、決定ボタンを押す。**
プリセット登録画面が表示されます。

3 **⬅ボタンを押す。**
項目エリアに移動します。

4 **⬆/⬇ボタンで［ラジオ局名を］を選び、決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。

次のページにつづく

FM/AM（ラジオ）

ラジオ局（周波数）を登録する（つづき）

5 **⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**

6 **⬆/⬇ボタンで［ラジオ局名］を選び、決定ボタンを押す。**

7 **FMの場合**

1 "エニーミュージック"に入会しているかどうかで、表示される画面やこれ以降の操作が異なります。
ユーザーID、パスワード入力画面が表示されたときは、画面の指示にしたがって操作してください。

"エニーミュージック"に入会済の場合	プルダウンメニューが表示されます。手順8に進む
"エニーミュージック"に未入会の場合	入会のおすすめ画面が表示されます。手順7-2に進む。

2 以下の操作をする。

"エニーミュージック"に入会する場合	⬅/➡ボタンで［はい］を選び決定ボタンを押す。以降の操作は別紙「エニーミュージックご案内」をご覧ください。
"エニーミュージック"に入会しない場合	⬅/➡ボタンで［いいえ］を選び、決定ボタンを押す。プルダウンメニューが表示されます。手順8に進む

AMの場合

手順8へ進む。

8 **⬆/⬇ボタンでラジオ局を選び、決定ボタンを押す。**

手順5で［新規に入力する］を選んだときは、文字入力画面が表示されます。ラジオ局の名前を入力し、決定ボタンを押します。文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

9 **⬆/⬇ボタンで［周波数設定を］を選び、決定ボタンを押す。**

10 **⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**

11 **⬆/⬇ボタンで［周波数］を選び、決定ボタンを押す。**

12 **⬆/⬇ボタンで周波数を設定する。**

手順10で［オートチューニングで設定する］を選んだときは、⬆/⬇ボタンを押すと、周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります。

手順10で［マニュアルチューニングで設定する］を選んだときは、⬆/⬇ボタンで周波数を設定します。

オートチューニングで周波数表示が自動的に止まらないときは、決定ボタンを押して中断し、マニュアルチューニングでやり直してください。

13 **FMの場合**

1 ⬆/⬇ボタンで［FMモード］を選び、決定ボタンを押す。
プルダウンメニューが表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

AMの場合

手順14へ進む。

14 **➡ボタンで［登録］を選び、決定ボタンを押す。**

プリセット登録選択画面に戻ります。

15 **手順2から12をくり返し、ラジオ局を登録する。**

登録を途中でやめる

戻るボタンを押す。

ちょっと一言

FMステレオ放送をモノラル受信にして雑音を少なくするには、プリセット登録画面の［FMモード］を［常時モノラル］にします。元に戻すときは［自動ステレオ］にします。この設定はマニュアルプリセットしたラジオ局の設定として記憶されます。

ご注意

ラジオ局の名前を新規に入力したときは、"エニーミュージック"のオンエア情報（113ページ）は表示されません。

ラジオをHDDに録音する

ラジオの音声を本機のHDDに録音します。

録音設定をする

1 **FM/AMボタンを押す。または、ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［FM/AM］を選び、決定ボタンを押す。**

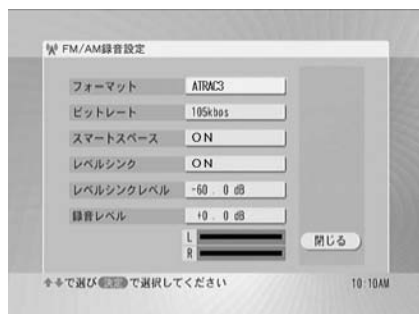
メイン画面が表示されます。

2 **ラジオ局を選ぶ。**

1 FM/AMボタンを押して［FM］/［AM］を切り換える。または、⬆/⬇ボタンで［FM］または［AM］を選び、➡または決定ボタンを押す。
ラジオ局階層バーが表示されます。

2 選局+/−ボタンでラジオ局を選ぶ。

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［設定］−［録音設定］を選び、決定ボタンを押す。**

FM/AM録音設定画面が表示されます。

4

1 ⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

2 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。

（◆：お買い上げ時の設定）

・フォーマット

◆ATRAC3	データを10分の1以下に圧縮するので、PCMに比べて長時間の録音が可能な音声圧縮フォーマットです。
PCM	ラジオの音声を圧縮せずにそのまま本機に取り込みます。必要なハードディスクの容量が大きくなります。

・ビットレート

数字が大きいほど高音質で録音しますが、必要なハードディスクの容量が大きくなります（ATRAC3のときのみ有効）。

66kbps
105kbps
◆132kbps

・スマートスペース

◆ON*	3秒以上の無音部分（ブランク）を、自動的に3秒にします。無音部分のレベル検出は、レベルシンクレベルの値で行います。
OFF	スマートスペース機能を使いません。

* スマートスペースONのときは、オートカット機能が働き、約30秒の無音部分が続いたときに録音一時停止状態になります。このとき、曲間の約3秒を残して、あとの無音部分は自動的に消去されます。オートカット機能による録音一時停止状態が約10分間続くと、録音は自動的に停止します。

・レベルシンク

◆ON*	ラジオの音声の無音部分を検出し、自動的に曲番をつけます。無音部分が1.5秒以上続いたあと、有音部分を検出したときにトラックマークを付け、曲番を1つ追加します。無音部分のレベル検出は、レベルシンクレベルの値で行います。
OFF	レベルシンク機能を使いません。

次のページにつづく

・レベルシンクレベル
入力信号の検出レベルが調節できます。
−96dB〜0dBの範囲で調節します。雑音が多く曲番をつけにくいときは設定レベルを上げると曲番をつけやすくなります。
お買い上げ時は−60.0dBに設定されています。

・録音レベル
録音するときに、お好みで録音される音の大きさが調節できます。
−96dB〜+18dBの範囲で調節します。
お買い上げ時は0.0dBに設定されています。

ご注意
- 録音設定は、録音中には設定できません。［録音レベル］のみ、録音一時停止中に設定できます。
- スマートスペース、レベルシンクは、音声の有音部分が15秒以上の場合だけ有効になります。

5 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または戻るボタンを押す。**
メイン画面に戻ります。

録音する

1 **「録音設定をする」（117ページ）の手順1と2を行う。**

2 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［設定］−［録音先設定］を選び、決定ボタンを押す。**
FM/AM録音先設定画面が表示されます。

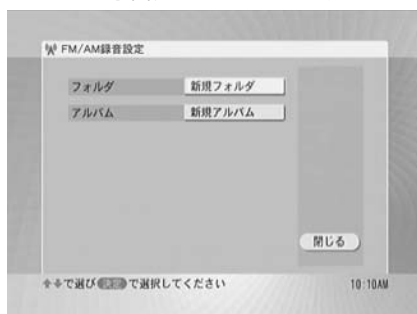
3 **⬆/⬇ボタンで［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。

4 **⬆/⬇ボタンで録音したいフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
新しくフォルダを作り、その中に録音するには［新規フォルダ］を選びます。

5 **⬆/⬇ボタンで［アルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。

6 **⬆/⬇ボタンで録音したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。**
新しくアルバムを作り、その中に録音するには［新規アルバム］を選びます。

7 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面に戻ります。

8 **HDD録音開始●ボタンを押す。**
録音が始まります。

設定を途中でやめる
戻るボタンを押す。
変更した設定はそのまま残ります。

録音を止める
HDD録音停止■ボタンを押す。

録音を一時停止する
HDD録音一時停止❚❚ボタンを押す。

録音中に好きなところに曲番をつける
HDD録音開始●ボタンを押す。
曲番をつける間隔は、最小15秒、最大30分です。

ちょっと一言
HDDに録音したラジオの音声のタイトル名は、自動的に「バンド　ラジオ局名（登録されている場合）周波数　録音開始時間（年月日時分）」になります。

HDDに録音したラジオの音声を確認する

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。

2 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで録音したラジオの音声を選び、共通▷ボタンを押す。
ラジオの音声の選びかたなど詳しくは、「HDD（ハードディスク）」の章の「曲を聞く」（49ページ）をご覧ください。

ご注意

- 録音できる1曲の長さは最大30分です。30分を超えた場合は、自動的に次の曲番がつきます。
- 録音先設定は、録音中および録音一時停止中には設定できません。
- HDDの容量が少なくなると、メッセージが表示されます。このときは、HDDファンクションで不要な曲の削除などを行い、HDDの残容量を増やしてください。

タイマーで録音する

詳しくは、「タイマーメニュー」の章の「タイマー録音する」（180ページ）をご覧ください。

MD

（Net MD）

この章では、別売りのNet MD機器の本機へのつなぎかたと操作について説明します。本機にNet MD機器をつなぐと、本機から次の操作ができます。

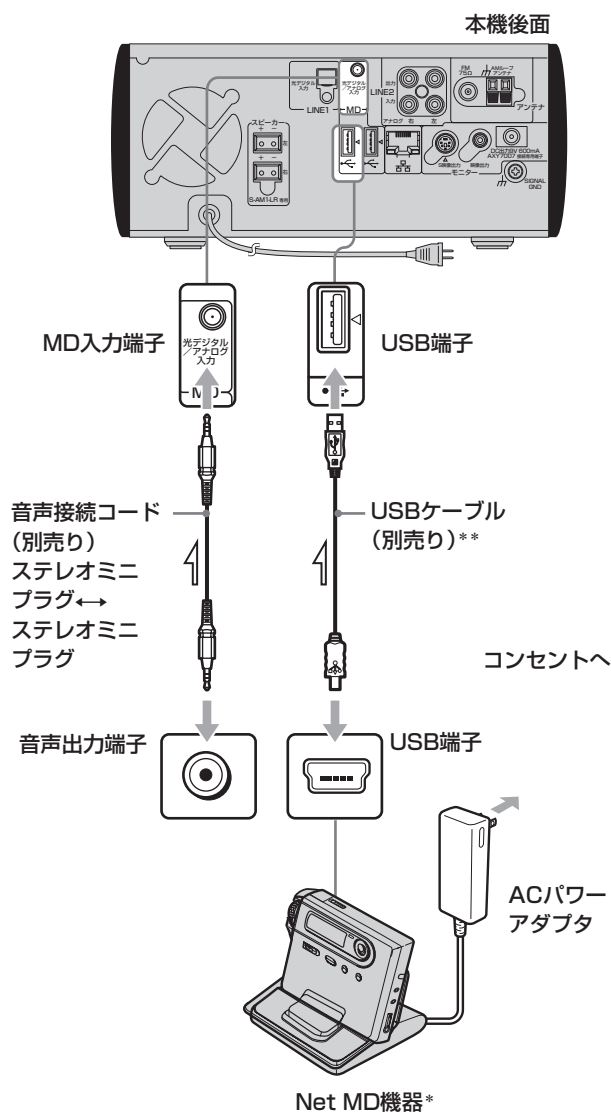
- MDを再生、編集する
- 別売りのNet MD機器のデジタル（またはアナログ）出力端子を本機のMD入力端子（光デジタル／アナログ兼用）につなぎ、本機のスピーカーおよびヘッドホン端子から音声を出力する
- 本機のHDDからMDへ曲を転送（チェックアウト）、転送した曲を本機のHDDに戻す（チェックイン）
- ディスクやグループ、曲に名前をつける
- MD内の曲やグループを編集する

ご注意

対応確認済みのNet MD機器については、本機専用のホームページでご確認ください（152ページ）。

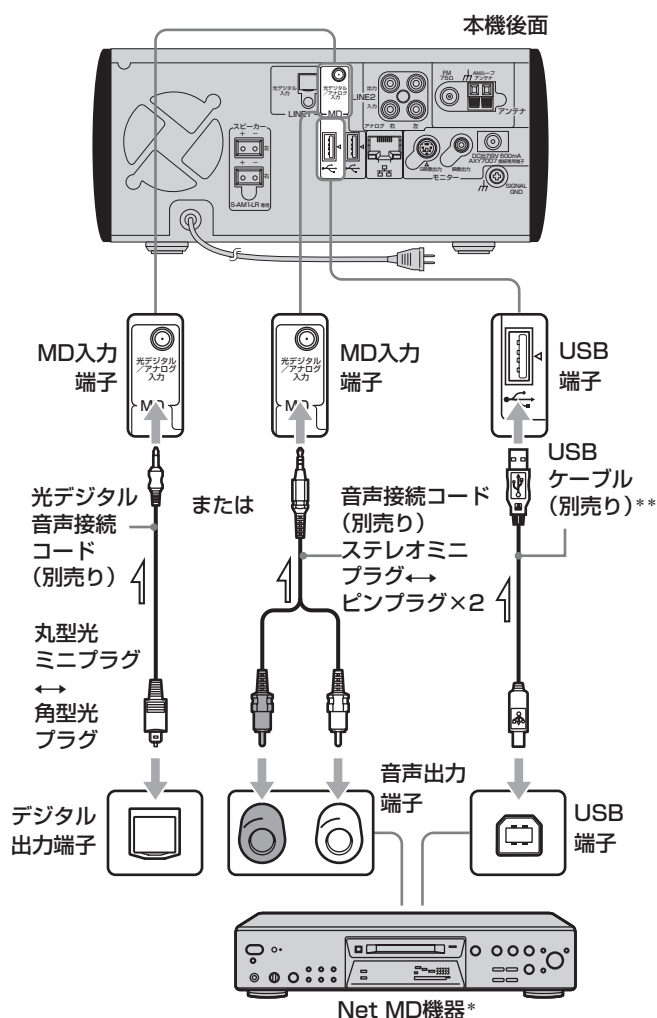
Net MD機器を つなぐ

Net MD以外のMD機器の接続については「外部入力」の章（173ページ）をご覧ください。

ポータブルのNet MD機器をつなぐ

⟶: 音声信号の流れ

ちょっと一言

- 入力信号（デジタルまたはアナログ）は、接続するケーブルによって自動的に判別されます。
- アナログ接続のときは、入力感度を調節できます（123ページ）。

据え置き型のNet MD機器をつなぐ

* Net MD機器の音声出力端子は、機器によって異なります。つなぐ前にご確認ください。

** 別売りのNet MD機器に付属のUSBケーブルをお使いください。

⟶: 音声信号の流れ

ご注意

- 本機にNet MD以外のMD機器をつないでも、本機からは操作できません。
- Net MD機器とつないでいる接続コードの抜き差しは、本機およびNet MD機器の電源を切っているときに行ってください。
- ポータブルのNet MD機器をつなぐときは、ACパワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。
  万が一、電池で使う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、チェックアウトの失敗、音楽データの破壊などについてご注意ください。
- ポータブルのNet MD機器をクレードルなどに載せて使う場合は、USBケーブルが抜けないように、安定したところに置いてください。
- 音声接続コードを使ってMD入力端子にNet MD機器をつないだときは、同じNet MD機器をアナログ出力端子につながないでください。
- ポータブルのNet MD機器のリモコンについているヘッドホン端子にはつながないでください。音声に雑音が入ることがあります。
- 本機で使用できるNet MD機器の機種は、本機専用のホームページ（152ページ）をご覧ください。

入力感度を切り換える

アナログ接続のときのみ、入力感度を切り換えることができます。デジタル接続のときはできません。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

2 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［アナログ入力感度］を選び、↑/↓ボタンで［標準］または［低］を選び、決定ボタンを押す。
（◆：お買い上げ時の設定）

◆標準	ポータブル機器向きの設定です。カレント情報エリアにアイコン が表示されます。
低	据え置き型の機器向きの設定です。

曲を聞く

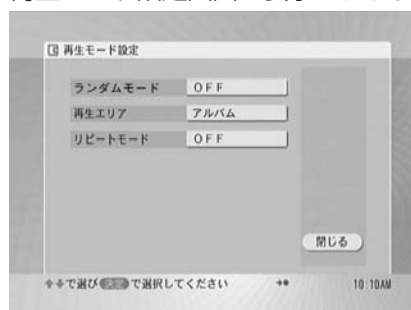
ご注意
再生または一時停止中は、MDのイジェクト（取り出し）ボタンを押したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。本機およびNet MD機器が正しく動作しなくなることがあります。

1 **本機とNet MD機器の接続を確認する。**
- 「Net MD機器をつなぐ」（122ページ）でUSBケーブルと音声接続コードを使って接続する。

2 **本機とNet MD機器の電源を入れる。**
詳しくは、「電源の入れかた」（24ページ）をご覧ください。
Net MD機器によっては、Net MD機器側でNet MD機能を使用できるように設定する必要があります。詳しくは、Net MD機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［再生モード設定］を選び、決定ボタンを押す。**
再生モード設定画面が表示されます。

次のページにつづく

5 ランダムモード、再生エリア、リピートモードを選ぶ。

⬆/⬇ボタンで選び、決定ボタンで決定します。

（◆：お買い上げ時の設定）

・ランダムモード

停止中に選びます。

◆OFF	MDに記録されている通りの曲順で再生します。
ON	曲順を変えて再生します。

・再生エリア

停止中に選びます。

◆すべて	MDのすべての曲を再生します。
グループ	現在選ばれているグループのすべての曲を再生します。

・リピートモード

停止中に選びます。

◆OFF	リピート再生しません。
ON	再生エリアで設定されている範囲内のすべての曲をくり返します。
トラック	1曲だけをくり返し再生します。

6 ➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

メイン画面に戻ります。カレント情報エリアに次のように点灯します。

- ランダムモード［ON］のとき： RANDOM
- リピートモード［トラック］のとき：REPEAT 1
- リピートモード［ON］のとき：REPEAT
- 再生エリア［グループ］のとき：

7 ⬆/⬇または⏮/⏭ボタンで聞きたいグループまたは曲を選ぶ。

8 共通▷ボタンを押す。

再生が始まります。

設定を途中でやめる

戻るボタンを押す。
変更した設定はそのまま残ります。

その他の操作をする

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。
グループを選ぶ	アルバム/グループ⬆またはアルバム/グループ⬇ボタンでグループを選ぶ。
曲を選んで再生する*	⬆/⬇または⏮/⏭ボタンで曲を選び、共通▷ボタンを押す。
音を聞きながら曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
時間表示を見ながら曲中の聞きたいところを探す	一時停止中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離し、❚❚または共通▷ボタンを押す。
消音する	消音ボタンを押す。
音量を調節する	音量＋/－ボタン（音量つまみ）を調整する。

* リスト画面（15ページ）で再生中は、⬆/⬇ボタンで曲を選び、決定ボタンを押すとその曲の再生が始まります。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

1 曲番の数字ボタン（1～9、0）を押す。
トラック番号入力画面が表示され、曲番を直接入力できます。

10以降の数字を入力するときは、数字ボタンを順に押します。
（例）曲番124：［1］ → ［2］ → ［4］

2 決定ボタンを押す。
メイン画面に戻り、選んだ曲番の再生が始まります。
途中でやめるには、戻るボタンを押します。

ご注意

- 数秒の曲が連続している場合、◀◀/▶▶ボタンで聞きたいところを探せないことがあります。
- 再生する範囲によって、聞きたいところを探す範囲が変わります（49ページ）。

時間表示を切り換える

表示切換ボタンを押す。
詳しくは、「HDD（ハードディスク）」の「時間表示を切り換える」（51ページ）をご覧ください。

タイトル表示を切り換える

ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［タイトル表示］－［全角］または［半角］を選び、決定ボタンを押す。

◆全角	全角文字で入力したタイトルが表示されます。
半角	半角文字で入力したタイトルが表示されます。

ディスクや曲の詳細情報を見る

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタン［MD］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

2 ディスクの詳細情報を見るには手順3に進む。
曲の詳細情報を見るには↑/↓ボタンで詳細情報を見たい曲を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［詳細情報］－［ディスク］または［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。
詳細情報画面が表示されます。

タイトルの全文を見るには、↑/↓ボタンで［タイトル（全角）］または［タイトル（半角）］を選び、決定ボタンを押します。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
詳細情報画面に戻るには、決定または戻るボタンを押します。
詳細情報画面を閉じるには、↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

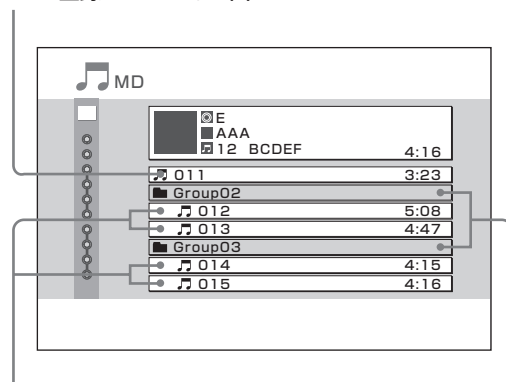
編集する

ご注意
- MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしておいてください。開いた状態では編集できません。
- 編集中は、Net MD機器のイジェクト（取り出し）ボタンを押したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。本機およびNet MD機器が正しく動作しなくなることがあります。

グループを作る

新しいグループを作ってから、その中に曲を移動します。
曲の移動については、「グループや曲を移動する」（128ページ）をご覧ください。

グループ機能とは？

1枚のMDの中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。例えば、MDの中の1曲目から5曲目を「Rock」というグループにし、6曲目から9曲目を「Pops」というグループにして好きなグループの曲だけ聞いたり、新しい曲をグループに追加したりできます。グループは99個まで作ることができます。

- MD内の曲番はグループに登録されている、いないにかかわらず連続した番号です。
- リスト画面では、グループ名は選べません。
- リスト画面では、グループに登録されている曲は1文字分下がって表示されます。

ご注意
本機のグループ機能を使って録音したMDは、他のグループ機能対応機器でもお使いいただけます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。また、グループ機能を搭載していない機器では、本機で設定したグループが認識されません。

次のページにつづく

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **停止中にツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［グループ新規作成］を選び、決定ボタンを押す。**
グループ新規作成画面が表示されます。

3 **←ボタンを押したあと、↑/↓ボタンで［グループタイトル（全角）］または［グループタイトル（半角）］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

4 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

5 **→ボタンを押したあと、↑/↓ボタンで［作成］を選び、決定ボタンを押す。**
新しいグループが作成され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

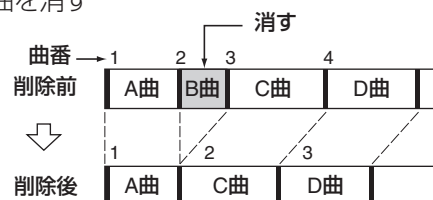
戻るボタンを押す。
グループは作成されません。

ちょっと一言

- グループ名を入力しないと、グループ名は全角の場合「グループ＊＊」、半角の場合「Group＊＊」（＊＊はMD内のグループ数＋1の番号）と表示されます。
- 新しいグループは、MD内のグループの一番後ろに追加されます。

グループや曲を消す

消したいグループや曲を選ぶだけで、MDに保存されているグループや曲をかんたんに消せます。
一度消すと元には戻せないので、よく確認してから消してください。
曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）B曲を消す

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **グループを消すには**
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［削除］－［グループ］を選び、決定ボタンを押す。
削除グループ選択画面が表示されます。

曲を消すには

ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［削除］－［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。

削除トラック選択画面が表示されます。

3 削除するグループまたは曲を選ぶ。

選択されているグループまたは曲を削除するには手順4に進む。

削除するグループまたは曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで削除したいグループまたは曲を選び、決定ボタンを押す。
選んだグループまたは曲にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のグループまたは曲を選ぶには、この手順をくり返します。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのグループまたは曲を選ぶには

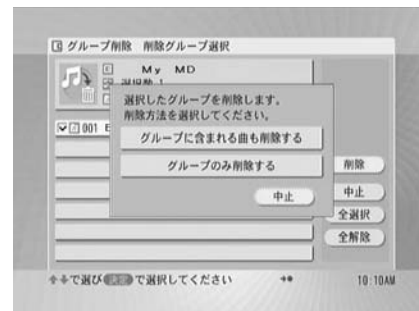
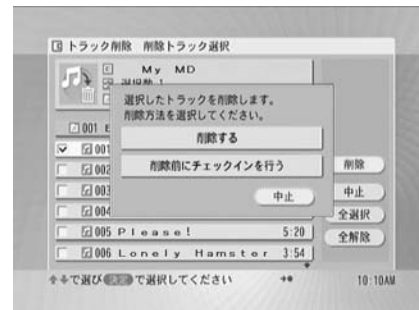
⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

4 削除ボタンを押す。

削除確認画面が表示されます。

グループを削除するとき

曲を削除するとき

5 グループを削除するには

⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

グループに含まれる曲も削除する	決定ボタンを押したあと、「曲を削除するには」（下記）に進みます。 グループとグループ内のすべての曲が削除されます。
グループのみ削除する	グループのみが削除され、グループ内の曲は削除されません。
中止	削除グループ選択画面に戻ります。

曲を削除するには

⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

削除する*	曲を削除します。
削除前に転送(チェックイン)を行う*	本機から転送した曲があるときは、本機に曲を転送し戻したあとに曲を削除します。
中止	削除トラック選択画面に戻ります。

* 他の機器から転送（チェックイン）した曲を削除すると、その曲は転送元の機器に戻せません。

次のページにつづく

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら削除する曲を選ぶ

手順3で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ご注意

- 削除が終了するまでは、本機の電源を切らないでください。
- 他の機器から転送した曲を消すと、その曲は転送元の機器に戻せません。

ディスク全体の内容を消す

ディスク全体の内容を削除します。一度消すと元には戻せないので、よく確認してから消してください。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［削除］－［ディスク］を選び、決定ボタンを押す。**
削除確認画面が表示されます。

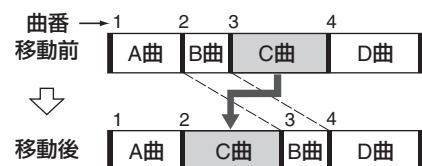
3 **↑/↓ボタンで削除方法を選び、決定ボタンを押す。**

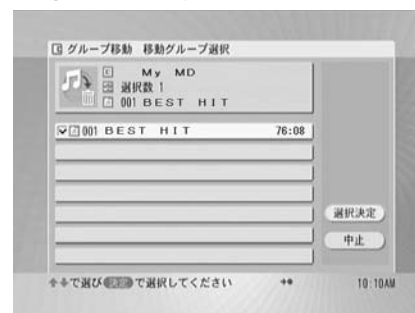
削除する*	ディスク全体の内容を削除します。
削除前に転送(チェックイン)を行う*	本機から転送した曲があるときは、本機に曲を転送し戻したあとにディスク全体の内容を削除します。
中止	削除を中止します。

* 他の機器から転送（チェックイン）した曲を削除すると、その曲は転送元の機器に戻せません。

グループや曲を移動する

グループや曲を好きな位置に移動させて、グループ順や曲順を変えられます。曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

例）C曲をB曲の前に移動する

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **グループを移動するには**
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［移動］－［グループ］を選び、決定ボタンを押す。
移動グループ選択画面が表示されます。

曲を移動するには
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［移動］－［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。
移動トラック選択画面が表示されます。

3 移動するグループまたは曲を選ぶ。

選択されているグループまたは曲を移動するには

手順4に進む。

移動するグループまたは曲を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで移動したいグループまたは曲を選び、決定ボタンを押す。
選んだグループまたは曲にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他のグループまたは曲を選ぶには、この手順をくり返します。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのグループまたは曲を選ぶには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇ボタンで［選択決定］を選び、決定ボタンを押す。

移動先選択画面が表示されます。

5 ⬆/⬇ボタンで移動先を選び、決定ボタンを押す。

移動を確認する画面または移動方法を選択する画面が表示されます。

6 移動を確認する画面が表示されたときは

⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

選んだグループまたは曲が移動し、メイン画面に戻ります。

移動方法を選択する画面が表示されたときは

この画面は、「グループの中の最終トラックの後ろ」を移動先に選んだ場合に表示されます。
⬆/⬇ボタンでグループに登録するか、しないかを選び、決定ボタンを押す。

前グループの最終トラックに移動	曲をグループに登録し、グループ内の一番後ろに移動します。
前グループの後ろにグループなしで移動	曲をグループに登録せずに、グループの後ろに移動します。
戻る	移動先選択画面に戻ります。

選んだグループまたは曲が移動し、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら移動する曲を選ぶ

手順3で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

名前をつける

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号、ひらがな、カタカナ、漢字を使って、ディスク名やグループ名、曲名をつけられます。それぞれの名前の文字数を合計して最大約1,700文字まで入力できます。

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

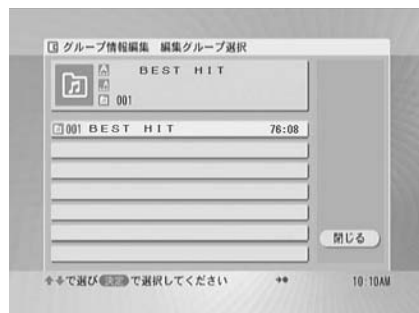
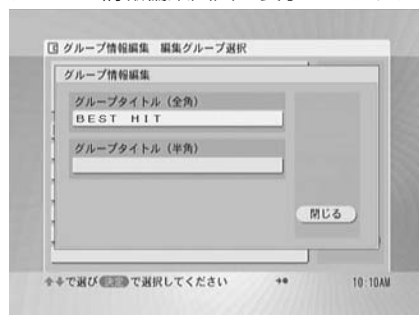
2 ディスクに名前をつけるには

ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［情報編集］－［ディスク］を選び、決定ボタンを押す。
ディスク情報編集画面が表示されます。

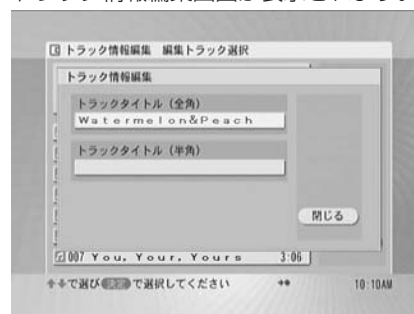
次のページにつづく

編集する（つづき）

グループに名前をつけるには

1 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［情報編集］－［グループ］を選び、決定ボタンを押す。
編集グループ選択画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで詳細情報を編集したいグループを選び、決定ボタンを押す。
グループ情報編集画面が表示されます。

曲に名前をつけるには

1 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［情報編集］－［トラック］（曲）を選び、決定ボタンを押す。
編集トラック選択画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで詳細情報を編集したい曲を選び、決定ボタンを押す。
トラック情報編集画面が表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで全角または半角を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

4 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

5 **➡ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**
メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

曲を聞きながら名前をつける曲を選ぶ

手順2で曲を選び、共通▷ボタンを押す。
選んだ曲の再生が始まります。
■ボタンを押すと再生が止まります。

ちょっと一言

再生中にディスクまたはグループに名前をつける場合、手順2で決定ボタンを押すと、再生が止まります。

HDDを使って曲を転送する（チェックイン／チェックアウト）

本機のHDDに保存されている音楽データをNet MD機器に転送（チェックアウト）したり、本機からNet MD機器に転送した音楽データをHDDに戻したり（チェックイン）できます。

転送（チェックイン／チェックアウト）とは？

詳しくは、「HDD（ハードディスク）」の章の「転送（チェックイン／チェックアウトとは？」（47ページ）をご覧ください。

ご注意

- MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしておいてください。開いた状態では編集できません。
- 編集中は、Net MD機器のイジェクト（取り出し）ボタンを押したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。本機およびNet MD機器が正しく動作しなくなることがあります。

HDDから曲を転送する（チェックアウト）

詳しくは、「HDD（ハードディスク）」の章の「Net MD機器やマジックゲート対応"メモリースティック"へ曲を転送する（チェックアウト）」（66ページ）をご覧ください。

HDDに曲を転送し戻す（チェックイン）

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［MD］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **転送ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［転送（チェックイン)］を選び、決定ボタンを押す。**
転送する曲を選ぶ画面が表示されます。

3 **転送する曲を選ぶ。**

選択されている曲を転送するには

手順4に進む。

転送する曲を変更するには

1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ↑/↓ボタンで転送したい曲を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曲にチェックマークがつきます。チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
続けて他の曲を選ぶには、この手順をくり返します。

3 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべての曲を選ぶには

↑/↓/→ボタンで［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

↑/↓/→ボタンで［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

4 **↑/↓ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**
転送が始まります。
転送が終わると自動的にメイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

曲の転送がすでに開始している場合は、途中でやめられないことがあります。

フォトアルバム

この章では、フォトアルバムの使いかたを説明します。フォトアルバムでは、次のことができます。

- 本機のハードディスクに、CD-R/RWや"メモリースティック"に保存されている静止画や、メールで送られてきた静止画を保存・管理する
- アルバムや静止画にタイトルやコメント、区分をつける
- タイトル、コメント、区分、日付などで見たい静止画をかんたんに探す
- 静止画を1枚ずつ表示する
- 静止画を自動的に次々と切り換えてスライドショーをする
- メールファンクションを利用して、フォトアルバムに保存されている静止画をメールに添付して送る。また、メールに添付されてきた静止画をフォトアルバムに取り込む

表示できる画像について

本機では、以下の画像ファイル形式に対応しています。
－ JPEG形式（JPEG/Exif JPEG）
－ TIFF形式（TIFF/Multipage TIFF*）
－ PNG形式
－ GIF形式（GIF/Animation GIF**）
－ BMP形式

* 本機では先頭の静止画のみ表示されます。静止画をCD-R/RWや"メモリースティック"から本機のフォトアルバムへ移動またはコピーすると、ページごとに1枚の静止画として変換されます。
** 本機ではAnimation GIF形式の画像ファイルを編集できません。

"メモリースティック"に静止画をコピーする場合、Animation GIF形式の画像ファイル以外はすべてExif JPEG形式に変換されます。

本機で表示できる画像の制約について

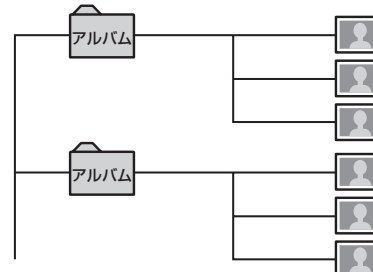
• 画像の最大サイズ：
1画像630万（6,291,456）画素***

*** この値を超えるサイズの画像を取り込んだ場合は、その画像のかわりに アイコンで表示されます。
アニメーションGIFの場合、全フレームの画像サイズの合計がこの値を超えていると、 アイコンで表示されます。

• フォトアルバム全体で取り込み可能な画像枚数：
最大5,000枚
• アルバム数：最大200アルバム
• 1アルバム内画像枚数：最大1,000枚
• 画像編集－効果(モノトーン、セピア、ノイズ除去)が可能な最大画像サイズ:400万(3,871,488)画素
• 画像編集－画質（明るさ、コントラスト、シャープネス）が可能な最大画像サイズ：
400万（3,871,488）画素
• 画像編集－回転が可能な最大画像サイズ：
400万（3,871,488）画素
• 画像編集－自動画像補正が可能な画像サイズ：
2万（20,000）画素以上 300万（3,145,728）画素以下

ご注意
画像サイズ640×480に満たないものは、その静止画の大きさで表示されます。

フォトアルバムのしくみ

フォトアルバムでは、静止画はすべてアルバムの中に保存されています。

画像アイコン一覧

画像のアイコンには以下の種類があり、それぞれの状態のときに表示されます。

アイコンの種類	表示されるとき
	取り込む前の画像のとき。
	画像取り込み中のとき。取り込みが完了すると静止画を表示。
	本機で扱えないサイズの画像、または630万画素より大きい画像のとき。
	画像ファイルが壊れている、または画像フォーマットが正しくないとき。

静止画を見る

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面が表示されます。

2 **⬆/⬇/⬅/➡ボタンで見たい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

静止画階層が表示されます。

3 **⬆/⬇/⬅/➡ボタンで見たい静止画を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ静止画が全画面表示されます。

その他の操作をする

こんなときは	操作
全画面表示で前／次の静止画を表示する	⬅/➡、⏮/⏭、または◀◀/▶▶ ボタンを押す。
1つ上の階層に戻る（アルバム階層>静止画階層>全画面表示）	戻るボタンを押す。 全画面表示から静止画階層へは、■ボタンでも戻ることができます。
別のアルバムに移る	アルバム/グループ⬆/⬇ボタンを押す。
サムネイルを1列（画像の横1列5枚分）ずつ送って表示する	⬆/⬇ボタンを押す。
サムネイルを1ページ（1列5枚×4＝20枚分）ずつ表示する	⏮/⏭ボタンを押す。

リスト画面*で操作する

左記の操作はサムネイル画面*での操作のしかたです。リスト画面では次のようになります。また、これ以降の操作も同様です。

こんなときは	操作
アルバム／静止画を選ぶ	⬆/⬇ボタンを押す。
１つ下の階層に移る（アルバム階層>静止画階層>全画面表示）	決定ボタンを押す。
1つ上の階層に戻る（アルバム階層>静止画階層>全画面表示）	戻るボタンを押す。 全画面表示から静止画階層へは、■ボタンでも戻ることができます。
別のアルバムに移る	アルバム/グループ⬆/⬇ボタンを押す。
サムネイルを1ページ（4枚分）ずつ表示する	⏮/⏭ボタンを押す。

* リスト画面、サムネイル画面について詳しくは、「表示方法（メイン画面）を切り換える」（136ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

表示方法（メイン画面）を切り換える

表示画面には、サムネイル画面とリスト画面、 全画面表示の3種類あります。目的に応じて画面を使い分けると便利です。

- サムネイル画面
  アルバム・静止画を、画像サイズ64×64のサムネイルで画像のみ一覧表示します。
- リスト画面
  アルバム・静止画を、画像サイズ64×64のサムネイルで付加情報とともに一覧表示します。
- 全画面表示
  選 んだ静止画を、画像サイズ640×480** で表示します（スライドショーの一時停止状態と同じ画面です）。

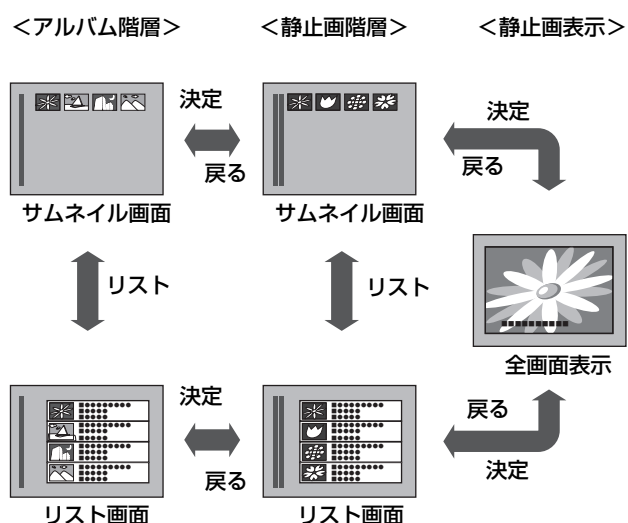
** 画像サイズ640×480に満たないものは、その静止画の大きさで表示されます。

画面について詳しくは、「メイン画面の使いかた」（15ページ）をご覧ください。

<アルバム階層> <静止画階層> <静止画表示>

サムネイル画面 ⇔（決定／戻る）サムネイル画面 →（決定）全画面表示 →（戻る）サムネイル画面

リスト画面 ⇔（決定／戻る）リスト画面 →（決定）全画面表示 →（戻る）リスト画面

サムネイル画面 ⇔（リスト）リスト画面

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 リストボタンを押す。

ボタンを押すたびに、サムネイル画面とリスト画面が切り換わります。
サムネイル画面では、同時に20までのアルバムまたは静止画サムネイルを表示します。
リスト画面では、複数のアルバムまたは静止画をいろいろな情報とともに表示します。

以下の方法でもメイン画面を切り換えられます。
ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［リスト表示］－［ON］または［OFF］を選び、決定ボタンを押す。

ON	リスト画面に切り換わります。
OFF	サムネイル画面に切り換わります。

ちょっと一言
全画面表示中に表示切換ボタンを押すと、情報の表示／非表示が切り換えられます。

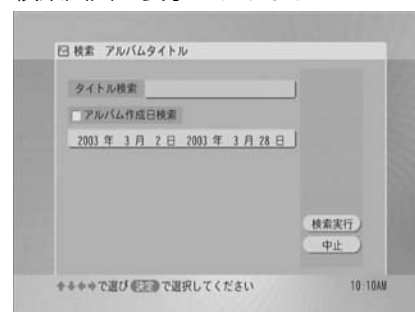
検索して表示する

フォトアルバム内のアルバムや静止画を、タイトルやコメント、アルバム区分や日付で検索できます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

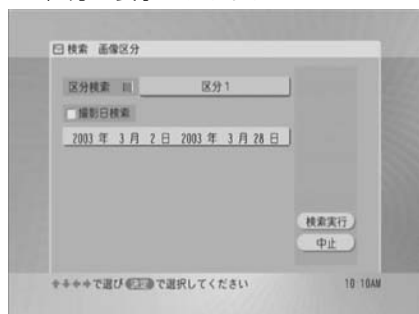
2 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［検索］－［(検索方法)］－［アルバム］または［画像］を選び、決定ボタンを押す。

検索方法は以下の中から選びます。
タイトル、コメント、区分、日付
検索画面が表示されます。

3 タイトルまたはコメントで検索するには

1 ↑/↓ボタンで［タイトル検索］または［コメント検索］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

2 タイトルまたはコメントを入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

アルバム区分で検索するには

1 ↑/↓ボタンで［区分検索］を選び、決定ボタンを押す。
区分が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで検索したい区分を選び、決定ボタンを押す。

タイトル、コメント、区分に加えて日付でも検索するには

手順4に進む。

日付だけで検索するには

手順4に進む。

4 ↑/↓ボタンで［アルバム作成日検索］（アルバムを検索するとき）または［撮影日検索］（静止画を検索するとき）を選び、決定ボタンを押す。

タイトルまたはコメント、区分検索のときは、［アルバム作成日検索］または［撮影日検索］にチェックマークがつきます。

5 ↑/↓ボタンで年／月／日の項目を選び、決定ボタンを押す。

6 ←/→ボタンで検索したい年／月／日の範囲を選び、↑/↓ボタンで合わせ、決定ボタンを押す。

年、月、日を順に合わせていきます。

7 →ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

8 ↑/↓ボタンで［検索実行］を選び、決定ボタンを押す。

検索が始まり、検索条件に合うアルバムまたは静止画が表示されます。

手順の途中でやめる

手順3から8の間で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意

静止画階層では、アルバムや区分での検索はできません。

表示順を並べ替える（ソートする）

フォトアルバム内のアルバムや静止画を、タイトル、コメント、区分、日付などの条件順にそれぞれ並べ替え表示できます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 アルバムを並べ替える（ソートする）には

手順3に進む。

静止画を並べ替える（ソートする）には

↑/↓/←/→ボタンで表示したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］－［ソート］－［(条件)］を選び、決定ボタンを押す。

条件は以下の中から選びます。
タイトル順、コメント順、区分順*、日付順、
*アルバムのみ
選んだ条件順に表示されます。

ちょっと一言

- 一度並べ替える（ソートする）と、階層ごとに常にその順番で表示されます。
- 同じ条件で再び並べ替える（ソートする）と、逆順で表示されます。

次のページにつづく

アルバムや静止画の詳細情報を見る

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

2 詳細情報を見る対象（アルバムまたは静止画）を選ぶ。

対象	操作
アルバム	↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たいアルバムを選ぶ。
静止画	アルバムを選んだあと決定ボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで詳細情報を見たい静止画を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［表示］−［詳細情報表示］を選び、決定ボタンを押す。
アルバムまたは静止画の詳細情報画面が表示されます。
画面をスクロールするには、↑/↓ボタンを押します。
アルバムまたは静止画の詳細情報画面を閉じるには、決定 、または戻るボタンを押します。

ご注意
情報が取得できなかった項目は、何も表示されません。

フォトアルバムを作る

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **アルバム階層が表示されていることを確認する。**
静止画階層が表示されているときは、戻るボタンでアルバム階層を表示させます。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［アルバム作成］を選び、決定ボタンを押す。**
新しいアルバムが作られます。

ちょっと一言
- アルバム名は「アルバム＊＊＊（最終アルバム番号+1）」と表示されます。
- 新しいアルバムはフォトアルバム内の最後のアルバムの後ろに追加されます。

ご注意
静止画階層では、アルバムの作成はできません。

静止画をフォトアルバムに保存する

CD-R/RWや“メモリースティック”の静止画やインターネットのホームページ上の静止画、メールで送られてきた静止画を本機のフォトアルバムに最大5,000枚まで保存できます。
ハードディスクの残容量や静止画のファイル形式、サイズにより、5,000枚以下の場合もあります。

CD-R/RWまたは“メモリースティック”の静止画を取り込む

フォトアルバムにCD-R/RWや“メモリースティック”の静止画を取り込めます。

1 **本機の電源を入れてから、“メモリースティック”を挿入する（89ページ）。または、CD-R/RWを入れる（72ページ）。**

2 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

3 新しくアルバムを作りその中に静止画を取り込むには

手順4に進む。

既存のアルバムに静止画を取り込むには

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで静止画を取り込みたいアルバムを選ぶ。

詳しい操作については、「静止画を見る」の「その他の操作をする」（135ページ）をご覧ください。

4 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［画像取り込み］を選び、決定ボタンを押す。

画像取り込み先選択画面が表示されます。

5 ⬆/⬇ボタンで静止画の取り込み先を選び、決定ボタンを押す。

このアルバムに取り込む	手順3で選んだアルバムの中に取り込みます。
新規アルバムを作成して取り込む	新しくアルバムを作り、その中に取り込みます。
中止	メイン画面に戻ります。

画像取り込み元選択画面が表示されます。

6 ⬆/⬇ボタンで静止画の取り込み元を選び、決定ボタンを押す。

CD	CD-R/RWに保存されている静止画を取り込みます。
メモリースティック	"メモリースティック"に保存されている静止画を取り込みます。
戻る	画像取り込み先選択画面に戻ります。

画像取り込み選択画面が表示されます。

7 ⬅ボタンを押す。

リストエリアに移動します。

8 ⬆/⬇ボタンで取り込みたい静止画を選び、決定ボタンを押す。

選んだ静止画にチェックマークがつきます。

チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。

すべての静止画を選ぶには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

9 手順8をくり返す。

10 ➡ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

11 ⬆/⬇ボタンで［取り込み］を選び、決定ボタンを押す。

選んだ静止画が取り込まれ、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5から11の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意

取り込みが終了するまでは、CD-R/RWや"メモリースティック"を取り出さないでください。

ホームページ上の静止画を保存する

詳しくは、「WEBブラウザ」の章の「ホームページ上の静止画を保存する」（156ページ）をご覧ください。

メールに添付された静止画を保存する

詳しくは、「メール」の章の「添付された静止画をフォトアルバムに保存する」（161ページ）をご覧ください。

スライドショーを楽しむ

フォトアルバム内のすべての静止画または特定のアルバム内の静止画を、次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。
スライドショーでは、静止画は画像サイズ640×480で表示されます。画像サイズ640×480に満たないものは、その静止画の大きさで表示されます。

1　ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。
メイン画面が表示されます。

2　↑/↓/←/→ボタンでアルバムを選んで共通▷ ボタンを押す。
スライドショーが始まります。

スライドショーをする範囲を設定する

手順1 で以下の操作を行います。

フォトアルバムに保存されているすべての静止画を表示するには

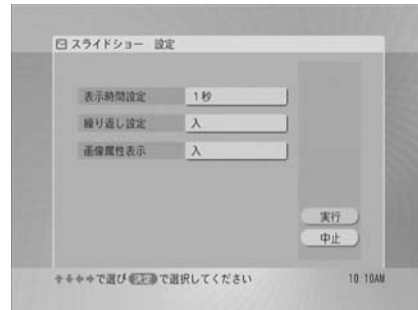
アルバム階層が表示されていることを確認し、↑/↓/←/→ボタンでスライドショーの最初に表示させたい静止画の入ったアルバムを選ぶ。

特定のアルバム内のすべての静止画を表示するには

↑/↓/←/→ボタンでスライドショーをしたいアルバムを選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバム内の静止画（静止画階層）が表示されていることを確認します。（詳しくは、135ページ「その他の操作をする」をご覧ください。）

アルバム階層でスライドショーを始めると、フォトアルバムに保存されているすべての静止画を、選んだアルバムの最初から表示します。静止画階層でスライドショーを始めると、選んだアルバム内のすべての静止画を選んだ静止画から表示します。

表示時間設定／繰り返し設定／画像属性表示を設定する

1 スライドショーをする範囲を選んだあと、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［スライドショー］を選び、決定ボタンを押す。
設定画面が表示されます。

2 ←ボタンを押す。
設定項目エリアに移動します。

3 1　↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。
2　↑/↓ボタンで設定項目を選び、決定、または戻るボタンを押す。

（◆：お買い上げ時の設定）

- **表示時間設定**
画面が切り換わる時間を変えます。
時間間隔は以下の中から選びます。
1秒、◆3秒、5秒、10秒、30秒、1分

- **繰り返し設定**
スライドショーをくり返し見ることができます。

◆ON	■または戻るボタンを押すまでスライドショーがくり返されます。
OFF	すべての静止画が表示されると最後の静止画で止まります。

- **画像属性表示***

◆ON	スライドショー中に静止画とともにタイトルと日付、再生/一時停止アイコンを表示します。
OFF	スライドショー中に静止画のみを表示します。

* スライドショー中に表示切換えボタンを押すと、画像属性表示が一時的に切り換わります。ただしこのときは、画像属性表示の設定には反映されません。

ご注意
- ［表示時間設定］の時間は目安です。
- ［繰り返し設定］を［OFF］にした場合、手順2「フォトアルバムに保存されているすべての静止画を表示するには」で先頭のアルバムを選んでください。選んだアルバム以降が表示されます。

4 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

5 ↑/↓ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。
画像が次々と自動的に切り換わって表示されます。
スライドショーが終わると、最後の静止画で止まります。
［繰り返し設定］が［ON］に設定されているときは、最初の静止画からスライドショーが始まります。
■、または戻るボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

その他の操作をする

こんなときは	操作
止める	■または戻るボタンを押す。
一時停止する	❚❚または決定ボタンを押す。もう一度押すか、共通▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
アルバムを選ぶ	アルバム/グループ↑またはアルバム/グループ↓ボタンでアルバムを選ぶ。
見たい静止画を探す	←/→、◀◀/▶▶または ◀◀/▶▶ボタンを押し、見たい静止画のところで指を離す。

設定を途中でやめる

手順4から5の間で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意

- 画像の取り込み（「画像アイコン一覧」（134ページ））が完了していない場合、次の静止画へ切り換わるのに、「表示時間設定」で選んだ時間よりも長くかかることがあります。
- スライドショーでAnimation GIF 形式の画像ファイルを表示する場合、個々の静止画に設定されているアニメーション時間で画面が切り換わります。
- スライドショー中はスクリーンセーバー機能は働きません。

フォトアルバムを編集する

好きな名前をつける

アルバムや静止画にタイトルや区分（アルバムのみ）、コメントをつけたり、日付を変更することで、フォトアルバムが整理、管理しやすくなります。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **名前をつける対象（アルバムまたは静止画）を選ぶ。**

対象	操作
アルバム	↑/↓/←/→ボタンで名前をつけたいアルバムを選ぶ。
静止画	1 ↑/↓/←/→ボタンで名前をつけたい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。 2 ↑/↓/←/→ボタンで名前をつけたい静止画を選ぶ。

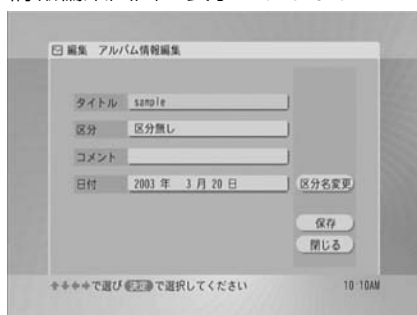
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

フォトアルバム

次のページにつづく

フォトアルバムを編集する（つづき）

3 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］—［情報変更］を選び、決定ボタンを押す。

情報編集画面が表示されます。

4 ⬆/⬇ボタンで［タイトル］を選び、決定ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

5 タイトルを入力し、決定ボタンを押す。

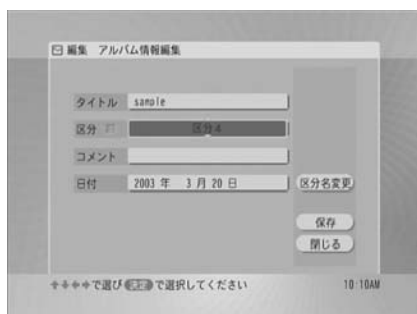
文字入力のしかたについては「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 手順2でアルバムを選んだときは

手順7に進む。

手順2で静止画を選んだときは

手順9に進む。

7 ⬆/⬇ボタンで［区分］を選び、決定ボタンを押す。

8 ⬆/⬇ボタンで希望の区分を選び、決定ボタンを押す。

9 ⬆/⬇ボタンで［コメント］を選び、決定ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

10 コメントを入力し、決定ボタンを押す。

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

11 ⬆/⬇ボタンで［日付］を選び、決定ボタンを押す。

12 ⬅/➡ボタンで年／月／日の範囲を選び、⬆/⬇ボタンで合わせ、決定ボタンを押す。

13 ➡ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

14 ⬆/⬇ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。

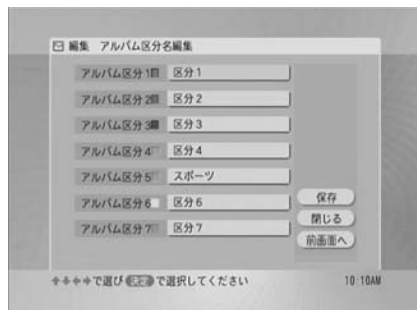
メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順4から13の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

区分名を変える

1 手順3のあとで➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで［区分名変更］を選び、決定ボタンを押す。
区分名編集画面が表示されます。

3 ⬆/⬇ボタンで変更したい区分名を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

4 区分名を変更し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

5 手順3と4をくり返す。

6 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

7 ⬆/⬇ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。
情報編集画面に戻ります。

ご注意
静止画に区分を設定することはできません。

削除する

消したいアルバムや静止画を選ぶだけで、本機に保存したアルバムや静止画をかんたんに消せます。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **アルバムを削除するには**
手順3に進む。

静止画を削除するには
⬆/⬇/⬅/➡ボタンで削除したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

3 **削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［編集］－［削除］を選び、決定ボタンを押す。**
削除画面が表示されます。

4 **削除するアルバムまたは静止画を選ぶ。**

選択されているアルバムまたは静止画を削除するには
手順5に進む。

削除するアルバムまたは静止画を変更するには

1 ⬅ボタンを押す。
リストエリアに移動します。

2 ⬆/⬇ボタンで削除したいアルバムまたは静止画を選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバムまたは静止画にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
アルバムと静止画を一緒に選ぶことはできません。
続けて他のアルバムまたは静止画を選ぶには、この手順をくり返します。

3 ➡ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

5 **⬆/⬇ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。**
削除確認画面が表示されます。

6 **⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだアルバムまたは静止画が削除され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる
手順4から5の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

次のページにつづく

本機に保存されているすべてのアルバムを削除する

1 アルバム階層が表示されていることを確認する。
2 手順4で↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。
すべてのアルバムにチェックマークがつきます。
3 ↑/↓ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。
削除確認画面が表示されます。
4 ←ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
すべてのアルバムが削除されます。

チェックマークをすべてはずす

手順4で↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言
スライドショー中または全画面表示で削除ボタンを押すと、画像削除画面が表示されます。

移動／コピーをする

アルバムや静止画を“メモリースティック”に移動またはコピーできます。また、静止画をフォトアルバム内のアルバムに移動またはコピーできます。

1 **“メモリースティック”に移動またはコピーするときは、本機の電源を入れてから、“メモリースティック”を挿入する（89ページ）。**

2 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

3 **アルバムを移動またはコピーするには**
手順4に進む。

静止画を移動またはコピーするには
↑/↓/←/→ボタンで移動またはコピーしたい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］―［移動］または［コピー］を選び、決定ボタンを押す。**
移動またはコピー画面が表示されます。

5 **移動またはコピーするアルバムまたは静止画を選ぶ。**

選択されているアルバムまたは静止画を選ぶには
手順6に進む。

移動またはコピーするアルバムまたは静止画を変更するには
1 ←ボタンを押す。
リストエリアに移動します。
2 ↑/↓ボタンで移動またはコピーしたいアルバムまたは静止画を選び、決定ボタンを押す。
選んだアルバムまたは静止画にチェックマークがつきます。
チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
アルバムと静止画を一緒に選ぶことはできません。
続けて他のアルバムまたは静止画を選ぶには、この手順をくり返します。
3 →ボタンを押す。
ボタンエリアに移動します。

すべてのアルバムまたは静止画を選ぶには
↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

6 **↑/↓ボタンで［移動］または［コピー］を選び、決定ボタンを押す。**
移動またはコピー先選択画面が表示されます。

7 移動またはコピー先を選ぶ。

アルバムまたは静止画を“メモリースティック”へ移動またはコピーするには

静止画の場合は、↑/↓ボタンで［メモリースティックへ移動（またはコピー）する］を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が表示されます。アルバムの場合は、この操作は不要です。

静止画をフォトアルバム内のアルバムへ移動またはコピーするには

1 ↑/↓ボタンで［フォトアルバムへ移動（またはコピー）する］を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンで移動またはコピー先を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

8 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

アルバムまたは静止画が移動またはコピーされ、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5から6の間で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意

- “メモリースティック”の空き容量が足りないときは、手順8の操作後エラーメッセージが表示されます。空き容量のある“メモリースティック”をお使いください。
- “メモリースティック”が誤消去防止状態になっているときは、手順8でメッセージが表示されます。“メモリースティック”を取り出し、誤消去防止スイッチをスライドさせて「LOCK」をはずしてください。
- 手順3でアルバムを選んだときは、手順7で「アルバムへ移動（またはコピー）する」を選べません。
- 移動またはコピーが終了するまでは、“メモリースティック”を取り出さないでください。

ちょっと一言

- 本機のフォトアルバムから“メモリースティック”にアルバムを移動またはコピーする場合、アルバム名は「DCIM/＊＊＊MSDCF（＊＊＊は101から999までの数字）」と表示されます。
- 本機のフォトアルバムから“メモリースティック”に静止画を移動またはコピーする場合、新しいアルバムが自動的に作成され、その中に静止画が移動またはコピーされます。アルバム名は「DCIM/＊＊＊MSDCF（＊＊＊は101から999までの数字）」と表示されます。静止画を“メモリースティック”に移動またはコピーするたびに、新しいアルバムが作成されます。

並べ替える

選んだアルバムや静止画の順番を変えられます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 アルバムを並べ替えるには

手順3に進む。

静止画を並べ替えるには

↑/↓/←/→ボタンで並べ替えたい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［並べ替え］を選び、決定ボタンを押す。

並べ替え画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで並べ替えたいアルバムまたは静止画を選び、決定ボタンを押す。

移動先選択画面が表示されます。

フォトアルバム

次のページにつづく

5 **↑/↓ボタンで移動先を選び、決定ボタンを押す。**
選んだアルバムまたは静止画が移動され、メイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

ご注意

一度に2つ以上のアルバムまたは静止画を並べ替えることはできません。

アルバムのサムネイルを変える

アルバムのサムネイルとして表示する静止画を、そのアルバム内から選べます。お買い上げ時はアルバム内の最初の静止画に設定されています。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンでサムネイルを変えたいアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓/←/→ボタンでサムネイルとして表示したい静止画を選ぶ。**
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［編集］－［アルバムサムネイル］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ静止画がアルバムサムネイルに設定され、メイン画面に戻ります。

ちょっと一言

フォトアルバムに画像を取り込んだ直後は、アルバムの先頭の静止画がそのアルバムのサムネイルとして設定されます。

静止画を編集する

回転させる

静止画を回転して向きを変えられます。
400万画素以下の静止画で回転できます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンで回転させたい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓/←/→ボタンで回転させたい静止画を選ぶ。**
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［画像編集］－［回転］を選び、決定ボタンを押す。**
回転画面が表示されます。

5 **↑/↓ボタンで回転させる角度を選び、決定ボタンを押す。**
静止画が選んだ角度（90度、180度、270度）だけ右回りに回転します。

6 **くり返し回転させるときは、手順5をくり返す。**

7 **↑/↓ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

8 **↑/↓ボタンで保存方法を選び、決定ボタンを押す。**

別画像としてアルバムに保存する	新しい静止画として編集前の静止画の後ろに保存します。
元画像に上書き保存する	上書き保存します。
戻る	回転画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5から7の間で↑/↓ボタンを押して［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ちょっと一言

90度、270度に回転した場合は、画面では縦横比が異なって表示されますが、保存された画像は、正しい縦横比になっています。

編集前の画像に戻すには

手順5から7の間で↑/↓ボタンを押して［元に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

自動画像補正機能を使う

夜間や逆光など条件の悪いところで撮影された静止画を、見やすく補正できます。
300万画素以下の静止画で、自動画像補正機能を使うことができます。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **↑/↓/←/→ボタンで自動画像補正したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓/←/→ボタンで自動画像補正したい静止画を選ぶ。**
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［画像編集］－［自動画像補正］を選び、決定ボタンを押す。**
自動画像補正画面が表示されます。

5 **↑/↓ボタンで希望の画像補正ボタンを選び、決定ボタンを押す。**
静止画が自動補正されます。
元の静止画に戻すには、↑/↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。

標準設定	撮影環境を考慮せず、一般的な補正をします。
風景	風景画像と想定して補正します。
屋内	屋内で撮影した画像と想定して補正します。
夕日	夕方に撮影した画像と想定して補正します。
夜景	夜に撮影した画像と想定して補正します。
逆光	逆光で撮影した画像と想定して補正します。
水中	水中で撮影した画像と想定して補正します。

ご注意

- 自動画像補正はフィルタ機能ではありませんので、効果を加えるものではありません。
（例）夕日
夕日を浴びて赤くなった色調を通常の色調に直します。（通常の色調の静止画を夕日を浴びたような色調にするのではありません。）
- 2万（20,000）画素以下の画像は自動補正できません。

6 **↑/↓ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

フォトアルバム

次のページにつづく

7 ↑/↓ボタンで保存方法を選び、決定ボタンを押す。

別画像としてアルバムに保存する	新しい静止画として編集前の静止画の後ろに保存します。
元画像に上書き保存する	上書き保存します。
戻る	自動画像補正画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5から6の間で↑/↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

編集前の画像に戻すには

手順5から6の間で↑/↓ボタンを押して［元に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

画質を調整する

静止画の明るさ、コントラスト、シャープネスを調整できます。
400万画素までの静止画で画質の調整ができます。

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

メイン画面が表示されます。

2 ↑/↓/←/→ボタンで画質を調整したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓/←/→ボタンで画質を調整したい静止画を選ぶ。

選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

4 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［画像編集］－［画像調整］を選び、決定ボタンを押す。

画像調整画面が表示されます。

5
1 ↑/↓ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。
2 ↑/↓ボタンで数値を調整し、決定ボタンを押す。

お買い上げ時はかっこ内の数値に設定されています。

明暗調節（0）	－100～100の範囲で、静止画の明るさを調整します。
コントラスト調節（0）	－100～100の範囲で、静止画のコントラストを調整します。
シャープネス調節（0）	0～100の範囲で、静止画のシャープネスを調整します。

6 →ボタンを押す。

ボタンエリアに移動します。

7 ↑/↓ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

8 ↑/↓ボタンで保存方法を選び、決定ボタンを押す。

別画像としてアルバムに保存する	新しい静止画として編集前の静止画の後ろに保存します。
元画像に上書き保存する	上書き保存します。
戻る	画像調整画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5から7の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

編集前の画像に戻すには

手順5から7の間で⬆/⬇ボタンを押して［元に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

効果を加える

静止画の色調をモノトーンやセピア色に変えられます。また、静止画上のノイズ（ごみ）を取り除くこともできます。
400万画素までの静止画で効果を加えることができます。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **⬆/⬇/⬅/➡ボタンで効果を加えたい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

3 **⬆/⬇/⬅/➡ボタンで効果を加えたい静止画を選ぶ。**
選択操作の詳細は、135ページをご覧ください。

4 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［画像編集］－［効果］を選び、決定ボタンを押す。**
効果画面が表示されます。

5 **⬆/⬇ボタンで希望の効果ボタンを選び、決定ボタンを押す。**
静止画に効果が加わります。
元の静止画に戻すには、⬆/⬇ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押します。

モノトーン	白黒にします。
セピア	古い写真のような色合いにします。
ノイズ除去	静止画のごみを取り除きます。

6 **⬆/⬇ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

7 **⬆/⬇ボタンで保存方法を選び、決定ボタンを押す。**

別画像としてアルバムに保存する	新しい静止画として編集前の静止画の後ろに保存します。
元画像に上書き保存する	上書き保存します。
戻る	効果画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5から6の間で⬆/⬇ボタンを押して［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

編集前の画像に戻すには

手順5から6の間で⬆/⬇ボタンを押して［元に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

編集された静止画の内部保存形式について

編集された静止画を保存すると、本機内部では"ファイル名.cimg"という独自フォーマット（非圧縮データ）で保存されます（ファイル名は詳細情報表示画面で確認できます）。
このファイルを"メモリースティック"などにコピーまたは移動すると、JPEG形式に変換されてコピーまたは移動されます。

WEBブラウザ

（インターネット）

この章では、本機でインターネットを利用するための
WEBブラウザについて説明します。
WEBブラウザでは、次のことができます。

- 本機専用のホームページに接続し、本機についての情報やサービスを受ける
- よく見るホームページをお気に入りとして登録する

ご注意

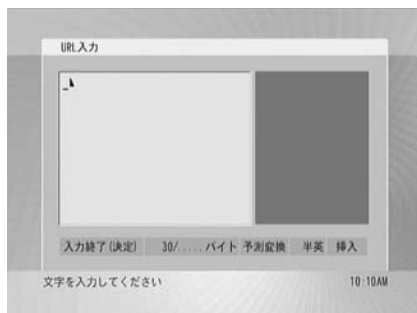
本機のWEBブラウザは、すべてのHTMLプラグインには対応していません。そのため、ページを表示できない場合があります。

ホームページを見る

「インターネットの接続と準備」（27ページ）をすませておいてください。

ちょっと一言
画面下のガイド／ステータスエリアに鍵のアイコンが表示されているページでは、個人情報などを保護するためにデータが暗号化されます。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**
本機専用のホームページが表示されます。

2 **ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［URL入力］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

3 **アドレス（URL）を入力する。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

4 **決定ボタンを押す。**
入力したアドレス（URL）のホームページの読み込み（ダウンロード）が始まります。
完了するとホームページが表示されます。

アドレス（URL）の入力を途中でやめる

戻るボタンを押す。

その他の操作をする

こんなときは	操作
リンクしたホームページを見る	⬆/⬇/⬅/➡ボタンでリンク先を選び、決定ボタンを押す。
1つ前のページに戻る	戻るボタンまたは⏮ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［戻る］を選び、決定ボタンを押す。
次のページに進む	⏭ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［進む］を選び、決定ボタンを押す。
ホームページの読み込みをやめる	■ボタンを押す。
ホームページの表示を更新する	ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［再読み込み］を選び、決定ボタンを押す。
本機専用のホームページを表示する	ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［ホームページ］を選び、決定ボタンを押す。
リンク先を順に選択する	◀◀/▶▶ボタンでリンク先を選び、決定ボタンを押す。
ホームページ上のFlashコンテンツを見る 本機のWEBブラウザには、Flash Player*が内蔵されています。	⬆/⬇/⬅/➡ボタンでFlashコンテンツを選び、決定ボタンを押す。 矢印のカーソルまたは指の形のカーソルが表示され、⬆/⬇/⬅/➡ボタンでカーソルが移動します。 指の形のカーソルが表示されたときに決定ボタンを押すと、リンク先のページに進みます。

* Flash ver.5.0まで対応しています。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。
表示されていたカーソルが消えます。

ちょっと一言
カーソルが表示されているときにツールボタンを押すと、Flashコンテンツのポップアップメニューが表示されます（コンテンツにより項目の内容は異なります）。⬆/⬇/⬅/➡ボタンで項目を選び、決定ボタンを押すと、その項目の内容が実行されます。もう一度ツールボタンを押すと、ポップアップメニューが消えます。

よく見るホームページを登録する

よく見るホームページのアドレス（URL）をお気に入りに登録できます。登録されたホームページはかんたんに選べます。また、登録したアドレスをフォルダに分けて整理できます。

アドレス（URL）をお気に入りに登録する

表示しているホームページをお気に入りに追加する

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**

本機専用のホームページ が表示されます。

2 **お気に入りに登録したいホームページを表示する。**

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［お気に入り］－［追加］を選び、決定ボタンを押す。**

表示しているホームページのアドレス（URL）がお気に入りに追加されます。

アドレス（URL）を指定して登録する

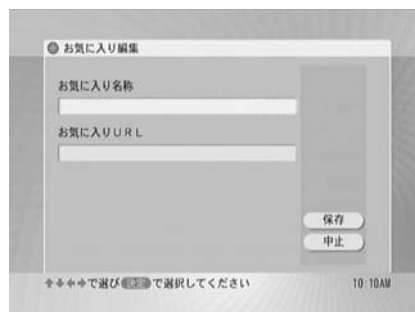
1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**

本機専用のホームページ が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［お気に入り］－［開く］を選び、決定ボタンを押す。**

お気に入り一覧画面が表示されます。

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［新規］－［お気に入り］を選び、決定ボタンを押す。**

お気に入り編集画面が表示されます。

4 **⬆/⬇ボタンで［お気に入り名称］を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

5 **お気に入りに登録するホームページの名前を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 **⬆/⬇ボタンで［お気に入りURL］を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

次のページにつづく

よく見るホームページを登録する（つづき）

7 **お気に入りに登録するホームページのアドレス（URL）を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

8 **⬆/⬇/➡ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**

アドレス（URL）がお気に入りに登録され、お気に入り一覧画面に戻ります。

登録を途中でやめる

手順4から7の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

お気に入り一覧画面を閉じる

戻るボタンを押す。

お気に入りに登録したホームページを見る

1 **「アドレス（URL）を指定して登録する」（153ページ）の手順1と2を行う。**

2 **⬆/⬇ボタンで見たいホームページのあるフォルダまたはお気に入り名称を選び、決定ボタンを押す。**

フォルダを選んだときは

⬆/⬇ボタンで見たいホームページのアドレス（URL）を選び、決定ボタンを押す。

選んだホームページが表示されます。

もう一度フォルダを選ぶには、⬅または戻るボタンを押します。

お気に入り名称を選んだときは

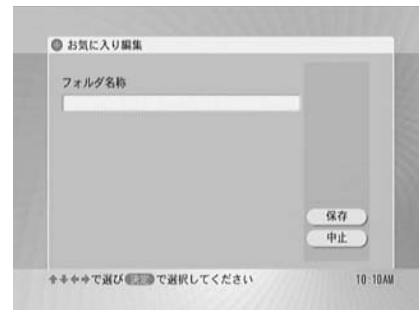
選んだホームページが表示されます。

お気に入りを整理する

フォルダを作る

1 **「アドレス（URL）を指定して登録する」（153ページ）の手順1と2を行う。**

2 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［新規］－［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**

お気に入り編集画面が表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで［フォルダ名称］を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

4 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

5 **⬆/⬇/➡ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**

新しいフォルダが作成され、お気に入り一覧画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順4から5の間で⬆/⬇/➡ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

お気に入り一覧画面を閉じる

戻るボタンを押す。

フォルダの名前を変える

1 お気に入り一覧画面で↑/↓ボタンを押してフォルダを選ぶ。
2 ツールボタンを押して、↑/↓ボタンで［編集］を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓ボタンで［フォルダ名称］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
4 新しい名前を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。
5 ↑/↓/→ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。
お気に入り一覧画面に戻ります。

ちょっと一言
- フォルダは最大7つまで作ることができます。
- フォルダの中には最大30件までのアドレス（URL）を登録できます。
- フォルダに入っていないアドレス（URL）は最大30件まで登録できます。

ご注意
フォルダの中にフォルダを作ることはできません。

お気に入りに登録したホームページを削除する

1 「アドレス（URL）を指定して登録する」（153ページ）の手順1と2を行う。

2 ↑/↓ボタンで削除したいフォルダまたはお気に入り名称を選ぶ。

3 削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。
削除確認画面が表示されます。

4 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
選んだフォルダまたはお気に入り名称が削除されます。

お気に入り一覧画面を閉じる

戻るボタンを押す。

お気に入りに登録したホームページを移動する

登録したホームページを他のフォルダに移動したり、追加したホームページをフォルダに移動できます。

1 「アドレス（URL）を指定して登録する」（153ページ）の手順1と2を行う。

2 ↑/↓/→ボタンで移動したいお気に入り名称を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［移動］ー［(移動先フォルダ名)］を選び、決定ボタンを押す。
選んだお気に入り名称が移動先に指定したフォルダの中に移動します。

お気に入り一覧画面を閉じる

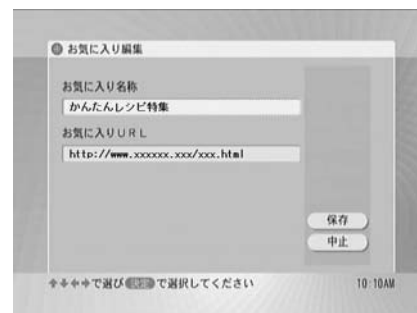
戻るボタンを押す。

お気に入りの登録内容を編集する

1 「アドレス（URL）を指定して登録する」（153ページ）の手順1と2を行う。

2 ↑/↓/→ボタンで登録内容を編集したいお気に入り名称を選ぶ。

3 ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［編集］を選び、決定ボタンを押す。
お気に入り編集画面が表示されます。

次のページにつづく

よく見るホームページを登録する（つづき）

4 **↑/↓ボタンで［お気に入り名称］または［お気に入りURL］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

5 **お気に入り名称やお気に入りURLを変更し、決定ボタンを押す。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 **↑/↓/→ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**
登録内容が変更され、お気に入り一覧画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順5で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

お気に入り一覧画面を閉じる

戻るボタンを押す。

ホームページ上の静止画を保存する

ホームページの静止画を本機のフォトアルバムに保存できます。

ご注意

ホームページに掲載されている写真、画像等のコンテンツの著作権は、通常コンテンツ提供者にあります。「私的使用」または「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で転載、複製、放送、公衆送信、販売、貸与などの利用をすることはできません。著作権者の許諾が必要です。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**
本機専用のホームページが表示されます。

2 **保存したい静止画のあるホームページを表示する。**

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［カーソルモード］－［画像選択］を選び、決定ボタンを押す。**
画像選択モードに切り換わります。
画像選択モードについて詳しくは、「表示モードを切り換える」（157ページ）をご覧ください。

4 **↑/↓/←/→ボタンで保存したい静止画を選ぶ。**

5 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［画像保存］を選び、決定ボタンを押す。**
「画像保存を受け付けました。次回フォトアルバム起動時に保存が完了します。」というメッセージが表示されます。

フォトアルバムへの保存を完了する

ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。

「新しい画像が登録されています。」というメッセージが表示され、決定ボタンを押すと、静止画の保存が完了します。
静止画の見かたについて詳しくは、「フォトアルバム」の章の「静止画を見る」（135ページ）をご覧ください。

表示モードを切り換える

本機のWEBブラウザには、通常モードと画像選択モードがあります。

- 通常モード
  画面上で↑/↓/←/→または◀◀/▶▶ボタンを押して、URLへリンクした「文字列」や「映像」を選びます。決定ボタンを押すとリンク先のホームページが表示されます。
  ファンクションメニューでWEBブラウザを選んだときは、必ず閲覧モードで表示されます。
- 画像選択モード
  画面上で↑/↓/←/→または◀◀/▶▶ボタンを押して、「JPEG画像」を選びます。選んだ画像にURLがリンクされているときは、決定ボタンを押すとリンク先のホームページが表示されます。
  画像選択モードでは、ガイド／ステータスエリアに■アイコンが表示されます。

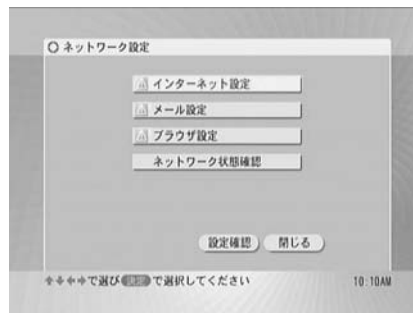
1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**
本機専用のホームページが表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［カーソルモード］－［画像選択］または［通常］を選び、決定ボタンを押す。**
表示モードが選んだモードに切り換わります。
画像選択モードでは、ガイド／ステータスエリアに■アイコンが表示されます。

ご注意

画像選択モードで操作中に警告のメッセージが表示される場合は、通常モードに切り換えてください。

WEBブラウザの設定を変更する

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［ネットワーク設定］を選び、決定ボタンを押す。**
ネットワーク設定画面が表示されます。

2 **「準備2：ネットワーク設定をする」の手順13以降（35、36ページ）を行う。**

メール

この章では、インターネットを利用したメールの使いかたを説明します。
メールでは、次のことができます。

- パソコンや携帯電話などとのメールのやり取り
- 一通のメールを複数の相手に同時に送る
- デジタルカメラで撮影した静止画を添付して、送ったり受け取ったりする
- アドレス帳でメールアドレスを管理する
- 受信したメールをフォルダに分けて整理する

ご注意

本機のメール機能をご使用になる場合は、別途インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。

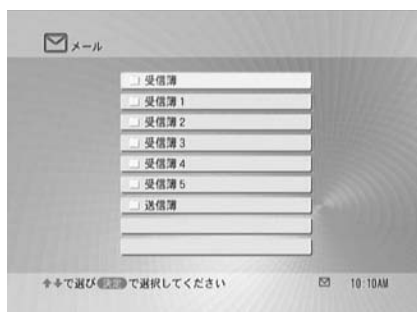
画像の取り扱いについて

本機では、以下の画像ファイル形式に対応しています。
－JPEG形式（JPEG/Exif JPEG）
－PNG形式
－GIF形式（GIF/Animation GIF）

メールを受信する

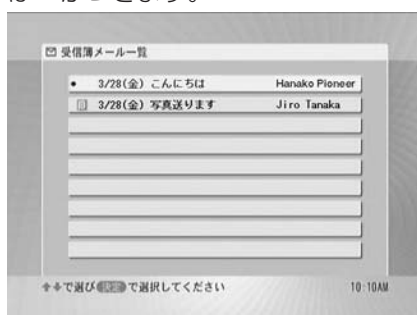
あらかじめ「インターネットの接続と準備」（27ページ）をすませておいてください。

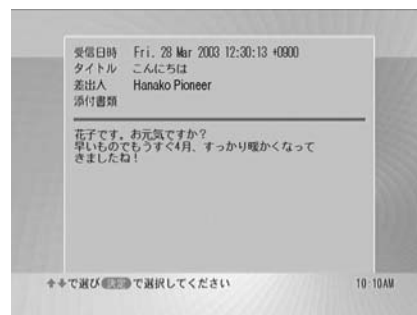
1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**

「メールを受信中です」というメッセージが表示されたあと、送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで［受信簿］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール受信］を選び、決定ボタンを押す。**

「メールを受信中です」というメッセージが表示されます。

新着メールが届いたときは、メール一覧画面に上から新しい順番に表示され、リストの左側には・がつきます。

4 **⬆/⬇ボタンで新着メールを選び、決定ボタンを押す。**

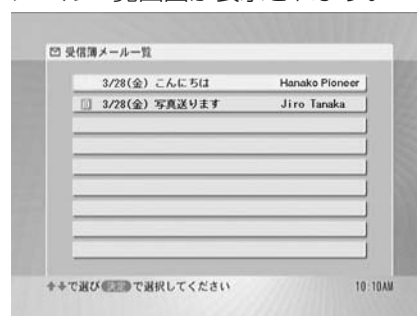
メールの内容が表示されます。

ご注意

- 受信メールに静止画などの添付書類がある場合や、受信メールの数が多い場合は、受信にしばらく時間がかかることがあります。
- 添付書類が送られてきたときは、リストの横にクリップマークが表示されます。本機で開ける添付書類には静止画の他にHTMLファイルとテキストファイルがあります。
  添付書類を開くには、⬆/⬇ボタンで［添付書類］を選び、決定ボタンを押します。
- 本機ではHTML形式のメールは正しく表示できません。

メールの一覧を見る

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**

送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで希望のフォルダを選び、決定ボタンを押す。**

メール一覧画面が表示されます。

メールの本文を見る

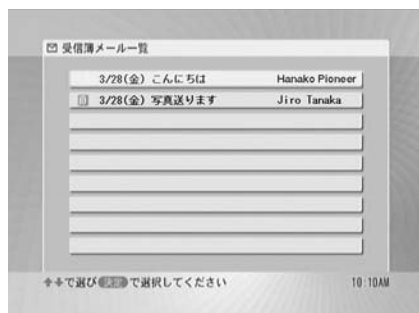
⬆/⬇ボタンで希望のメールを選び、決定ボタンを押す。

メール一覧画面に戻るには、ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール一覧へ戻る］を選び、決定ボタンを押します。

または、戻るボタンを押します。

添付された静止画を見る

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで静止画が添付されたメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
メール一覧画面が表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで静止画が添付されたメールを選び、決定ボタンを押す。**
選んだメールの内容が表示されます。

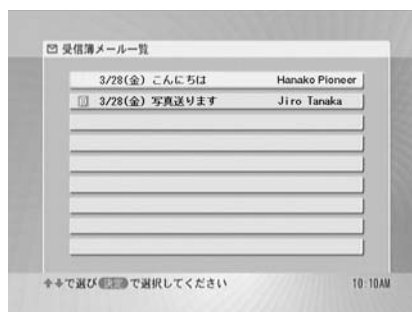
4 **⬆/⬇ボタンで［添付書類］を選び、決定ボタンを押す。**
添付された静止画が表示されます。

メール画面に戻る

ツールボタンを押し、［メールへ戻る］を選び、決定ボタンを押す。

添付された静止画をフォトアルバムに保存する

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで保存したい静止画が添付されたメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
メール一覧画面が表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで保存したい静止画が添付されたメールを選び、決定ボタンを押す。**
選んだメールの内容が表示されます。

複数の静止画が添付されているときは
⬆/⬇ボタンで保存したい静止画を選ぶ。

4 **ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［添付画像を保存］を選び、決定ボタンを押す。**
「画像保存を受け付けました。次回フォトアルバム起動時に保存が完了します。」というメッセージが表示されます。

フォトアルバムへの保存を完了する

ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［フォトアルバム］を選び、決定ボタンを押す。
「新しい画像が登録されています。」というメッセージが表示され、決定ボタンを押すと、静止画の保存が完了します。
静止画の見かたについて詳しくは、「フォトアルバム」の章の「静止画を見る」（135ページ）をご覧ください。

ご注意

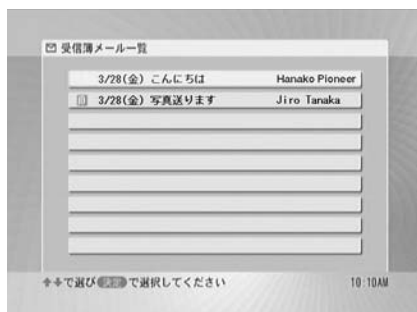
- 添付されたファイルのサイズによっては、メールの受信、表示、保存ができない場合があります。
- ファイル名に#（半角シャープ）、;（半角セミコロン）が含まれていると、ファイル名を正しく表示できません。また、フォトアルバムに保存できません。

メールを受信する（つづき）

リンクしたホームページを見る（ハイパーリンク）

メールの本文にハイパーリンクが含まれているときは、リンク先のホームページを見ることができます。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで希望のメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
メール一覧画面が表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで希望のメールを選び、決定ボタンを押す。**
選んだメールの内容が表示されます。

4 **⬆/⬇ボタンでハイパーリンクを選び、決定ボタンを押す。**
WEBブラウザ画面が表示され、ホームページの読み込み（ダウンロード）が始まります。完了するとホームページが表示されます。

表示したホームページをお気に入りに追加するには

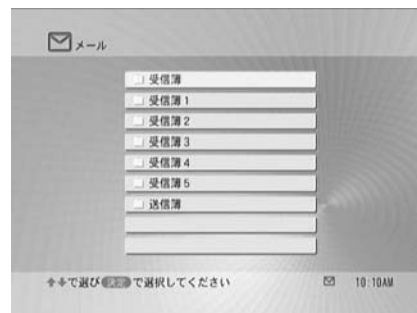
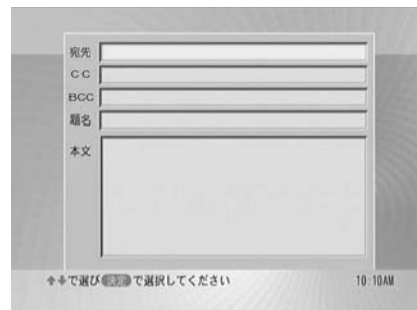
ツールボタンを押し、［お気に入りに追加］を選び、決定ボタンを押す。

ホームページを閉じる

ツールボタンを押し、［メールへ戻る］を選び、決定ボタンを押す。

メールを書いて送信する

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［新規作成］を選び、決定ボタンを押す。**
メール作成画面が表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで［宛先］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

4 **宛先を入力する。**
複数の宛先にメールを送るときは、メールアドレスの間を「,」（半角カンマ）で区切ります。宛先に入力できる文字数は、メールアドレスと「,」（半角カンマ）も含めて最大256バイト（半角256文字）です。

5 **決定ボタンを押す。**
文字入力画面が閉じます。

6 ［CC］を設定するときは、⬆/⬇ボタンで［CC］を選び、手順4を行う。

7 ［BCC］を設定するときは、⬆/⬇ボタンで［BCC］を選び、手順4を行う。

8 ⬆/⬇ボタンで［題名］を選び、決定ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

9 題名を入力し、決定ボタンを押す。

文字入力画面が閉じます。

10 ⬆/⬇ボタンで［本文］を選び、決定ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

11 本文を入力し、決定ボタンを押す。

文字入力画面が閉じます。

12 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［送信］を選び、決定ボタンを押す。

メールが送信され、メール一覧画面が表示されます。

メール作成を途中でやめる

手順12で［メール作成中止］を選ぶ。または、戻るボタンを押す。

確認のメッセージが表示され、⬅/➡ボタンで［はい］を選んで決定ボタンを押すと、作成途中のメールが削除されます。

ちょっと一言

- 「CC」はカーボンコピー（Carbon Copy：カーボン紙で複写する）の意味で、メールのコピーを送りたい宛先（「宛先」以外の人）です。「BCC」はブラインドカーボンコピー（Blind Carbon Copy）の意味で、「宛先」や「CC」の受取人にメールアドレスを知られることなくメールのコピーを送りたい宛先（「宛先」や「CC」以外の人）です。どの宛先に入力してもメールは届きますが、「宛先」と「CC」、「BCC」のどちらで受信するかで、相手の受け取りかたが異なることがあります。
- メールの本文の最後に、送信元の名前やメールアドレスなどの情報を「署名」として付けることができます（164ページ）。

ご注意

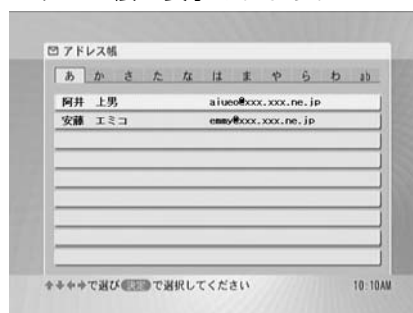
メール作成中にファンクションを切り換えたり、電源を切ると、作成中のメールは削除されます。

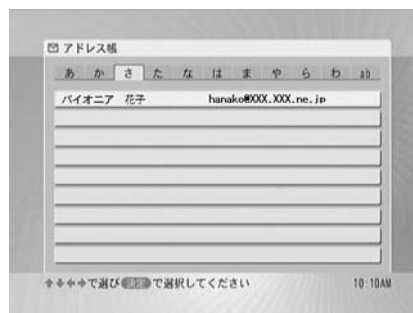
アドレス帳から登録した送り先を選ぶ

あらかじめアドレス帳にメールアドレスを登録しておいてください（169ページ）。

1 「メールを書いて送信する」（162ページ）の手順1と2を行い、⬆/⬇ボタンを押して［宛先］を選ぶ。

2 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［アドレス帳から選択］を選び、決定ボタンを押す。

アドレス帳が表示されます。

3 ⬅/➡ボタンで送り先の名前の頭文字を選ぶ。

アドレス一覧画面が表示されます。

4 ⬆/⬇ボタンで希望のメールアドレスを選び、決定ボタンを押す。

選んだメールアドレスが自動的に入力されたメール作成画面に戻ります。

5 ［CC］を設定するときは、⬆/⬇ボタンで［CC］を選び、手順2から4を行う。

6 ［BCC］を設定するときは、⬆/⬇ボタンで［BCC］を選び、手順2から4を行う。

次のページにつづく

メールの本文に署名をつけて送る

あらかじめ署名を作成して保存しておくと、メールの本文に署名を挿入することができます。署名の作成については、下記の「署名を作成する」をご覧ください。

1 「メールを書いて送信する」（162ページ）の手順1から11を行う。

2 メールの本文を書き終えたら、ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［署名挿入］を選び、決定ボタンを押す。

本文の最後に署名が挿入されます。

3 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［送信］を選び、決定ボタンを押す。

メールが送信され、メール一覧画面が表示されます。

署名を作成する

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［署名編集］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

3 署名を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。
署名が保存され、送受信簿一覧画面に戻ります。

静止画を添付して送る

フォトアルバムに保存したJPEG形式の静止画などをメールに添付して送ることができます。

1 「メールを書いて送信する」（162ページ）の手順1から11を行う。

2 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［添付画像］－［選択］を選び、決定ボタンを押す。

画像選択画面が表示されます。

3 ⬆/⬇ボタンでメールに添付したい静止画のあるアルバムを選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇ボタンでメールに添付したい静止画を選び、決定ボタンを押す。

選択画像の確認画面が表示されます。

5 ⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

選んだ静止画がメールに添付され、メール作成画面に戻ります。
ガイドエリアに「添付画像が××個あります」*と表示されます。
* ××は1 ～20 の間です。

6 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［送信］を選び、決定ボタンを押す。

メールが送信され、メール一覧画面が表示されます。

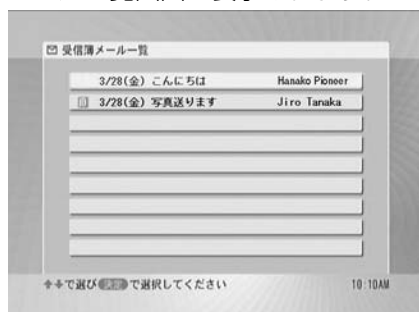
ご注意

- 本文として入力できる文字は、10,000 バイト（全角5.000 文字、半角10.000 文字）までです。
- 添付できるのは静止画のみです。
- 1 つのメールには、静止画を20 枚まで添付できます。
- 静止画のサイズによっては、添付できないことがあります。
- 画像選択画面では、メールに添付できる静止画のみ表示されます。
- 送信先のメールに表示される名前は、画像選択画面に表示される静止画の名前ではなくファイル名です。
- ファイル名が同じものは、2 つ以上添付できません。
- ファイル名に ;（半角セミコロン）が含まれていると、正しいファイル名で送信できないことがあります。
- 静止画のサイズにより、送信にしばらく時間がかかることがあります。
- 添付した静止画のサイズによっては、相手が正しく受信できないことがあります。

受信したメールに返事を書く（返信）

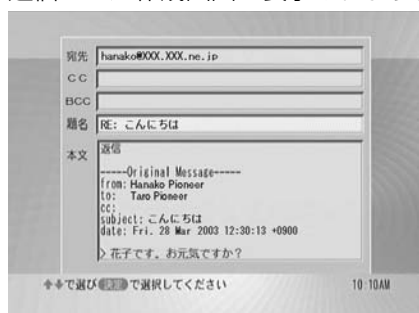
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで返信したいメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。
メール一覧画面が表示されます。

3 ⬆/⬇ボタンで返信したいメールを選ぶ。
決定ボタンを押して、選んだメールを開いた状態にしても返信できます。

4 ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［返信］－［差出人に］または［全員に］を選び、決定ボタンを押す。

差出人に	メールの差出人にのみ返信します。
全員に	メールが送られた全員に返信します。

返信メール作成画面が表示されます。

返信先のメールアドレスはすでに自動的に入力されています。
タイトルの文頭には返信を表す「RE:」が、文面の行頭には「>」（引用符）が自動的につきます。

5 ⬆/⬇ボタンで［本文］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

6 本文を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力画面が閉じます。

7 ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［送信］を選び、決定ボタンを押す。
メールが送信され、メール一覧画面が表示されます。

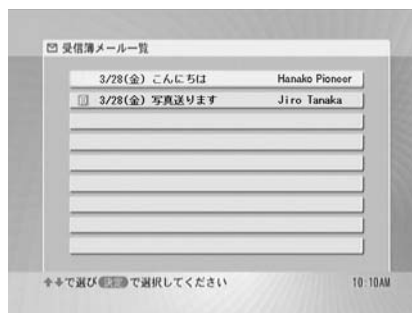
返信メールの作成を途中でやめる

手順7で「メール作成中止」を選ぶ。または、戻るボタンを押す。
確認のメッセージが表示され、⬅/➡ボタンで［はい］を選んで決定ボタンを押すと、作成途中のメールは削除されます。

受信したメールを他の人に送信する（転送）

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

1 ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで転送したいメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。
メール一覧画面が表示されます。

3 ⬆/⬇ボタンで転送したいメールを選ぶ。
決定ボタンを押して、選んだメールを開いた状態にしても転送できます。

次のページにつづく

メールを書いて送信する（つづき）

4 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［返信］－［転送］を選び、決定ボタンを押す。**

転送メール作成画面が表示されます。

元のメールの受信情報とメールの文面が自動的に入力されます。タイトルの文頭には転送を表す「FW:」が自動的につきます。

5 **↑/↓ボタンで［宛先］を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

6 **宛先を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が閉じます。

7 **［CC］を設定するときは、↑/↓ボタンで［CC］を選び、手順6を行う。**

8 **［BCC］を設定するときは、↑/↓ボタンで［BCC］を選び、手順6を行う。**

9 **文章を付け加えて転送したい場合は、↑/↓ボタンで［本文］を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。
そのまま転送するときは、手順11に進みます。

10 **本文を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が閉じます。

11 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［送信］を選び、決定ボタンを押す。**

メールが送信され、メール一覧画面が表示されます。

転送メールの作成を途中でやめる

手順11で［メール作成中止］を選ぶ。または、戻るボタンを押す。

確認のメッセージが表示され、←/→ボタンで［はい］を選んで決定ボタンを押すと、作成途中のメールは削除されます。

ちょっと一言

- 宛先は、以下の方法でも入力できます。
  1. 手順4のあとで↑/↓ボタンを押して［宛先］を選ぶ。
  2. ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［アドレス帳から選択］を選び、決定ボタンを押す。
  3. ←/→ボタンで希望のメールアドレスの頭文字を選ぶ。
  4. ↑/↓ボタンで希望のメールアドレスを選び、決定ボタンを押す。
     選んだメールアドレスが自動的に入力されたメール作成画面に戻ります。

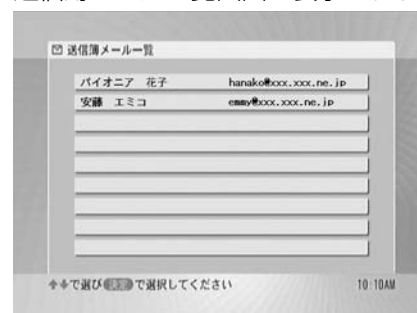
  この方法で入力するときは、あらかじめアドレス帳にメールアドレスを登録しておく必要があります（169ページ）。
- 「返信」とは、Aさんから送られたメールに対し、Aさんに返事を書くことです。
  「転送」とは、Aさんから送られたメールを、Bさんにそのまま送ることです。

送信済みメールの一覧を見る

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**

送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで［送信簿］を選び、決定ボタンを押す。**

送信簿メール一覧画面が表示されます。

メールの本文を見る

↑/↓ボタンで希望のメールを選び、決定ボタンを押す。

送信簿メール一覧画面に戻るには、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール一覧へ戻る］を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。

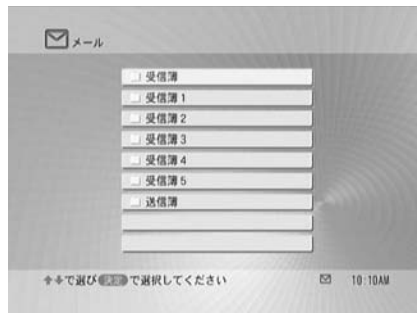
メールを整理する

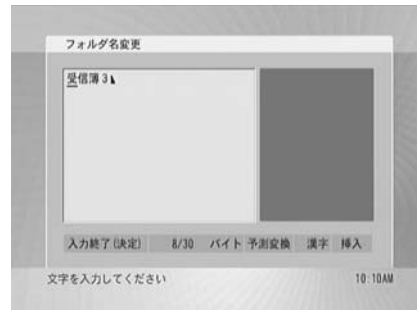
受信したメールを5つのフォルダに分けて保存できます。仕事のメールとプライベートのメールを分けたりするのに便利です。
また、本機では下記件数まで保管できます。送信簿のメールは下記件数を超えると、古いメールから自動的に削除されます。保存しておきたいメールは他のフォルダに移動してください。不要なメールは削除しておくことをおすすめします。

受信簿	100件
送信簿	50件
その他のフォルダ	各100件
	（全体で　650件）

ご注意
受信メールをサーバに「残す」設定にしていると、画面表示では100件未満でも、メールを受信できないことがあります。この場合は、パソコンなどの他機を使ってサーバに残っているメールを削除すると、再び受信できるようになります。

フォルダの名前を変える

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで名前を変えたいフォルダを選ぶ。**

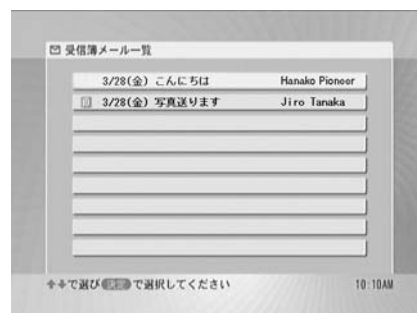
3 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォルダ名変更］を選び、決定ボタンを押す。**
フォルダ名変更画面が表示され、文字入力画面に現在のフォルダ名が表示されます。

4 **フォルダ名を入力する。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

5 **決定ボタンを押す。**
文字入力画面が閉じ、新しいフォルダ名が表示されます。

メールを移動する

受信したメールを別のフォルダに移動します。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで移動したいメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
メール一覧画面が表示されます。

メールを整理する（つづき）

3 **ツールボタンを押し、⬆/⬇/➡ボタンで［別フォルダへ移動］－［(移動先のフォルダ)］を選び、決定ボタンを押す。**

移動メール選択画面が表示されます。

4 **移動するメールを選ぶ。**

選ばれているメールを移動するには

手順5へ進む。

移動するメールを選び直すには

1　⬅ボタンを押す。
　リストエリアに移動します。
2　⬆/⬇ボタンで移動したいメールを選び、決定ボタンを押す。
　選んだメールにチェックマークがつきます。
　チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
　続けて他の移動したいメールを選ぶときは、この手順をくり返します。
3　➡ボタンを押す。
　ボタンエリアに移動します。

すべてのメールを選ぶには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには

⬆/⬇/➡ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 **⬆/⬇ボタンで［移動］を選び、決定ボタンを押す。**

移動を確認するメッセージが表示されます。

6 **⬅/➡ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**

選んだメールが移動します。

手順の途中でやめる

手順4で⬆/⬇/➡ボタンで［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意

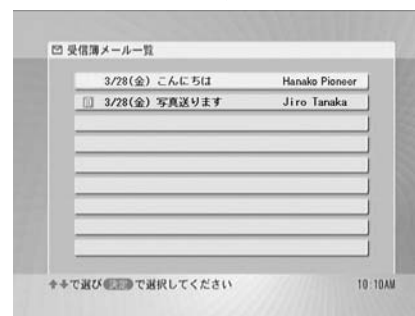
移動が完了するまでは、ファンクションを切り換えたり電源を切らないでください。

メールを削除する

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**

送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで削除したいメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。**

メール一覧画面が表示されます。

3 **削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。**

削除メール選択画面が表示されます。

4 **削除するメールを選ぶ。**

選ばれているメールを削除するには

手順5 へ進む。

削除するメールを選び直すには

1　⬅ボタンを押す。
　リストエリアに移動します。
2　⬆/⬇ボタンで削除したいメールを選び、決定ボタンを押す。
　選んだメールにチェックマークがつきます。
　チェックマークをはずすには、もう一度決定ボタンを押します。
　続けて他の削除したいメールを選ぶときは、この手順をくり返します。
3　➡ボタンを押す。
　ボタンエリアに移動します。

すべてのメールを選ぶには
↑/↓/→ボタンを押して［全選択］を選び、決定ボタンを押す。

チェックマークをすべてはずすには
↑/↓/→ボタンを押して［全解除］を選び、決定ボタンを押す。

5 **↑/↓ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。**

6 **←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだメールが削除されます。

手順の途中でやめる
手順4で↑/↓/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ご注意
削除が完了するまでは、ファンクションを切り換えたり、電源を切らないでください。

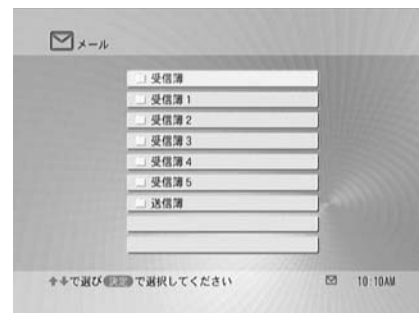
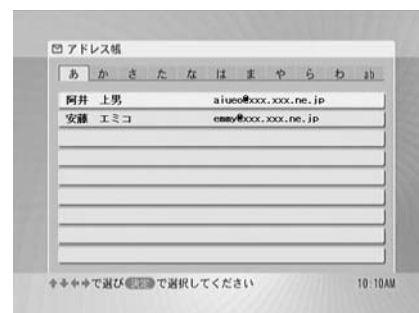
フォルダを空にする

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。
送受信簿一覧画面が表示されます。
2 ↑/↓ボタンで空にしたいフォルダを選ぶ。
3 削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［フォルダを空に］を選び、決定ボタンを押す。
削除確認画面が表示されます。
4 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
選んだフォルダ内のすべてのメールが削除され、フォルダが空になります。

アドレス帳を使う

あらかじめメールアドレスをアドレス帳に登録しておけば、メール作成時にアドレス帳から選んで自動的に入力できるので、かんたんで正確です。300人分まで登録できます。
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

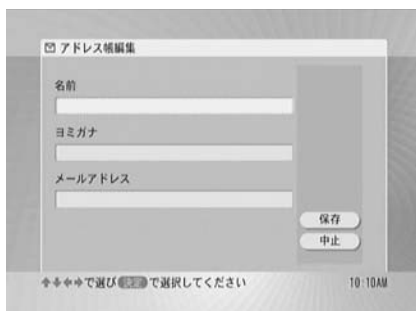
アドレスを登録／追加する

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［アドレス帳］を選び、決定ボタンを押す。**
アドレス帳が表示されます。

アドレス帳は、各種メール一覧画面からでも表示できます。

メール

次のページにつづく

アドレス帳を使う（つづき）

3 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［新規追加］を選び、決定ボタンを押す。**
アドレス帳編集画面が表示されます。

4 **↑/↓ボタンで［名前］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

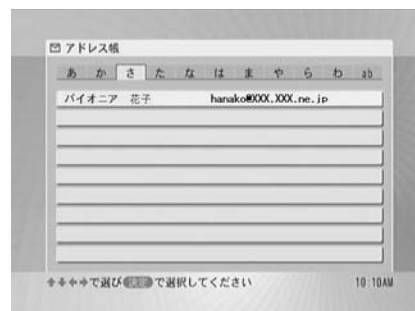
5 **名前を入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が閉じます。

6 **↑/↓ボタンで［ヨミガナ］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

7 **名前の読み仮名をカタカナで入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が閉じます。

8 **↑/↓ボタンで［メールアドレス］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。

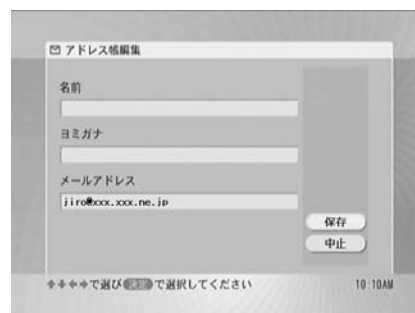
9 **メールアドレスを入力し、決定ボタンを押す。**
登録できるアドレスは1件です。

10 **↑/↓/→ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。**
メールアドレスが登録され、新しく登録されたフォルダ内のアドレス一覧画面が表示されます。

差出人をアドレス帳に追加する

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［メール］を選び、決定ボタンを押す。**
送受信簿一覧画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで希望のメールのあるフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
メール一覧画面が表示されます。

3 **↑/↓ボタンで希望のメールを選び、決定ボタンを押す。**
選んだメールの内容が表示されます。

4 **ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［アドレス帳に追加］を選び、決定ボタンを押す。**
アドレス帳編集画面が表示され、メールアドレス入力欄にメールアドレスが自動的に入力されます。

5 **↑/↓ボタンで［名前］を選び、決定ボタンを押す。**
文字入力画面が表示されます。
送信者側で名前を登録している場合は、その名前が表示されます。

6 名前を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力画面が閉じます。

7 ↑/↓ボタンで［ヨミガナ］を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

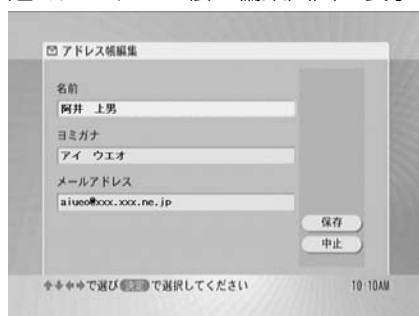
8 名前の読み仮名をカタカナで入力し、決定ボタンを押す。
読み仮名は必ず入力してください。入力しないと追加できません。

9 ↑/↓/→ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。
メールアドレスが追加され、手順3の画面に戻ります。

アドレス帳を変更する

1 「アドレスを登録／追加する」（169ページ）の手順1と2を行う。

2 ←/→ボタンで編集したいメールアドレスの頭文字を選ぶ。

3 ↑/↓ボタンで編集したいメールアドレスを選び、決定ボタンを押す。
選んだアドレス帳の編集画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。

5 文字を入力し、決定ボタンを押す。
文字入力画面が閉じます。

6 ↑/↓/→ボタンで［保存］を選び、決定ボタンを押す。
アドレス帳が変更され、アドレス一覧画面が表示されます。

手順の途中でやめる

↑/↓/→ボタンで［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

アドレスを削除する

1 「アドレスを登録／追加する」（169ページ）の手順1と2を行う。

2 ←/→ボタンで削除したいメールアドレスの頭文字を選ぶ。

3 ↑/↓ボタンで削除したいメールアドレスを選ぶ。

4 削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

5 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
選んだメールアドレスが削除され、アドレス一覧画面が表示されます。

メールの設定を変更する

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［ネットワーク設定］を選び、決定ボタンを押す。**

ネットワーク設定画面が表示されます。

2 **「準備2：ネットワーク設定をする」の手順7〜12（34ページ）を行う。**

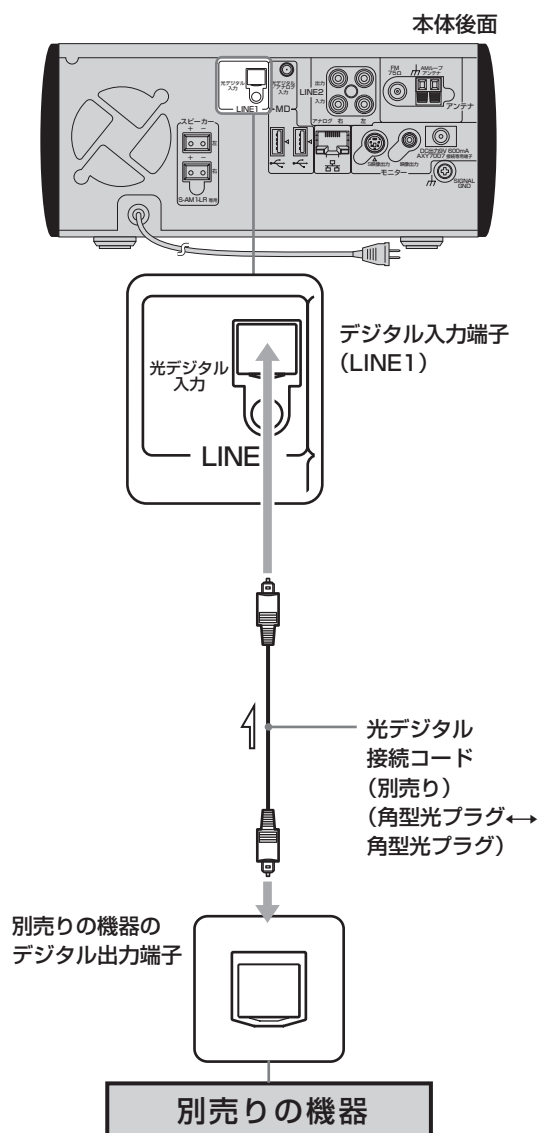
外部入力

（LINE1／LINE2）

この章では、別売りの機器をつないで、本機で音声を聞いたり本機のHDDに録音する方法を説明します。

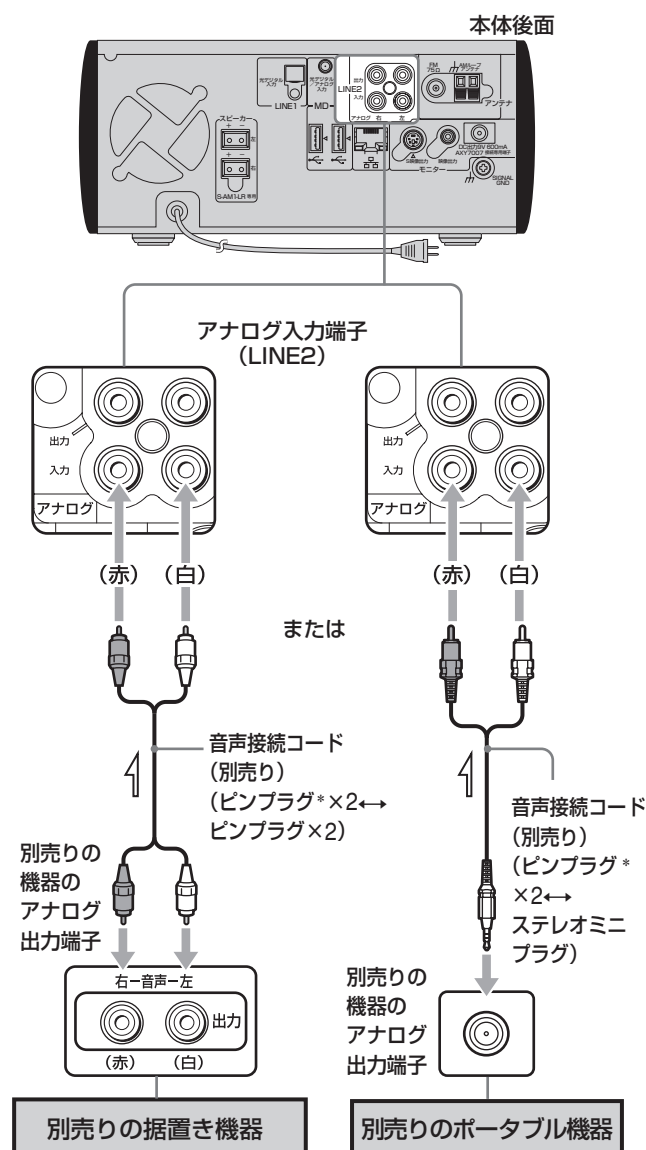
別売りの機器をつなぐ

デジタル入力（LINE1）に別売りの機器をつなぐ

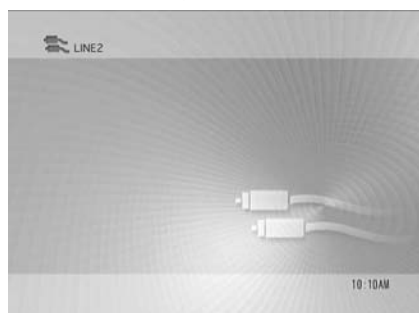
本機のデジタル入力端子と別売りの機器のデジタル出力端子を光デジタル接続コード（角型光、別売り）でつなぎます。
つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。

⟶: 音声信号の流れ

アナログ入力（LINE2）につなぐ

本機のアナログ入力端子と別売りの機器のアナログ出力端子を音声接続コード（別売り）でつなぎます。
白（L）端子には白プラグを、赤（R）端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。

ちょっと一言
本機のアナログ出力端子と別売りのオーディオ機器のアナログ入力端子をつなぐことができます。詳しくは、「別売りの機器をつなぐ」（26ページ）をご覧ください。

* 白（L）端子には白プラグを、赤（R）端子には赤プラグをつなぎます。

別売りの機器の音声を聞く

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［LINE1］または［LINE2］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **本機につないだ別売りの機器を再生する。**
本機から音声が出力されます。
詳しくは、別売りの機器の取扱説明書をご覧ください。

その他の操作をする

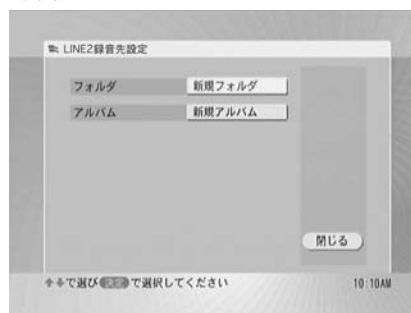
こんなときは	操作
消音する	消音ボタンを押す。
音量を調節する	音量＋/－ボタン（音量つまみ）を調整する。

別売りの機器の音声を録音する

本機のLINE1端子につないだBS/CSチューナーなどのデジタル音声を本機のHDDに録音できます。
また、本機のLINE2端子につないだMDデッキやテープデッキなどのアナログ音声を本機のHDDに録音できます。

あらかじめ、録音したい音声の頭出しをしておいてください。

1 **ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［LINE1］または［LINE2］を選び、決定ボタンを押す。**
メイン画面が表示されます。

2 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［録音先設定］を選び、決定ボタンを押す。**
録音先設定画面が表示されます。

3 **↑/↓ボタンで［フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。

4 **↑/↓ボタンで録音したいフォルダを選び、決定ボタンを押す。**
新しくフォルダを作り、その中に録音するには［新規フォルダ］を選びます。

5 **↑/↓ボタンで［アルバム］を選び、決定ボタンを押す。**
プルダウンメニューが表示されます。

外部入力（LINE1／LINE2）

次のページにつづく

別売りの機器の音声を録音する（つづき）

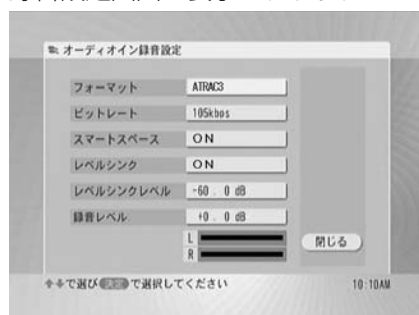
6 **↑/↓ボタンで録音したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

新しくアルバムを作り、その中に録音するには［新規アルバム］を選びます。

7 **→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。**

メイン画面に戻ります。

8 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［設定］－［録音設定］を選び、決定ボタンを押す。**

録音設定画面が表示されます。

9 1 **↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**

2 **↑/↓/←/→ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。**

（◆：お買い上げ時の設定）

- **フォーマット**

◆ATRAC3	データを10分の1以下に圧縮するので、PCMに比べて長時間の録音が可能です。
PCM	PCM音楽データを圧縮せずにそのまま本機に取り込みます。必要なハードディスクの容量が大きくなります。

- **ビットレート**

数字が大きいほど高音質で録音しますが、必要なハードディスクの容量が大きくなります（ATRAC3のときのみ有効）。

66kbps
105kbps
◆132kbps

- **スマートスペース**

◆ON*	3秒以上の無音部分（ブランク）を、自動的に3秒にします。無音部分のレベル検出は、レベルシンクレベルの値で行います。
OFF	スマートスペース機能を使いません。

* スマートスペースONのときは、オートカット機能が働き、約30秒の無音部分が続いたときに録音一時停止状態になります。このとき、曲間の約3秒を残して、あとの無音部分は自動的に消去されます。オートカット機能による録音一時停止状態が約10分間続くと、録音は自動的に停止します。

- **レベルシンク**

◆ON	録音中に1.5秒以上の無音部分があると、自動的に曲番を1つ追加して、次の曲として録音します。
OFF	レベルシンク機能を使いません。

- **レベルシンクレベル**

入力信号の検出レベルが調節できます。
－96dB～0dBの範囲で調節します。雑音が多く曲番がつきにくいときは設定レベルを上げると曲番がつきやすくなります。
お買い上げ時は－60.0dBに設定されています。ただし、LINE1の場合は－84.0dBの設定から変更できません。

- **録音レベル**

録音するときに、録音される音の大きさをお好みで調節できます。
－96dB～＋18dBの範囲で調節します。
お買い上げ時は0.0dBに設定されています。

ご注意

スマートスペース、レベルシンクは、音声の有音部分が15秒以上の場合だけ有効になります。

10 **→ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

録音設定画面が閉じます。

11 HDD録音開始●ボタンを押す。

録音が始まります。

12 録音が終わったら、本機のHDD録音停止■ボタンを押す。

録音を止める

HDD録音停止■ボタンを押す。

録音を一時停止する

HDD録音一時停止❚❚ボタンを押す。

録音中に好きなところに曲番をつける

HDD録音開始●ボタンを押す。
曲番をつける間隔は、最小15秒、最大30分です。

HDDに録音した曲を確認する

1 ファンクションボタンを押し、↑/↓ボタンで［HDD］を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓/←/→ボタンで録音した曲を選び、共通▷ボタンを押す。
曲の選びかたなど詳しくは、「HDD」の章の「曲を聞く」（49ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

HDD録音開始●ボタンを押すと、一時停止せずに、すぐに録音を開始できます。

ご注意

- 録音できる1 曲の長さは、最大30 分です。30 分を超えた場合は、自動的に次の曲番がつきます。
  ただし、CDまたはMD機器をデジタル入力端子につないで使う場合、本機のスマートスペースやレベルシンクの設定にかかわらず、録音元の曲番がつきます。
- 録音中、録音一時停止中には、録音先設定および録音設定できません。録音停止中に設定してください。
- 本機のデジタル入力端子は、サンプリング周波数32kHz 、44.1kHz 、48kHz のリニアPCM のみ対応しています。これ以外の場合は、大きな雑音や音途切れがすることがあります。
- 録音したい音声によっては、著作権保護されているなどの理由で、デジタル入力端子から録音できません。このときは、アナログ入力端子につないで録音してください。
- HDDの容量が少なくなると、メッセージが表示されます。このときは、HDDファンクションで不要な曲の削除などを行い、HDDの残容量を増やしてください。

タイマーメニュー／設定メニュー／システムソフトの更新／音質調整

この章では、タイマーを使った機能、各種設定、インターネット経由でのシステムソフトの更新、音質調整について説明します。

タイマーメニュー

設定メニュー

システムソフトの更新

音質調整

タイマーを使う

タイマーを使って、10 件までの録音、および3 件までのウェイクアップタイマーを設定できます。また、タイマーは電源が入っている／いないにかかわらず動作します。他のファンクションを使っていても、タイマーで設定した時間になると、そのファンクションに切り換わります。タイマー動作中はタイマーランプが点滅します。

ご注意

タイマー開始時間の約1 分前から、一部の操作ができなくなります。

タイマー録音する

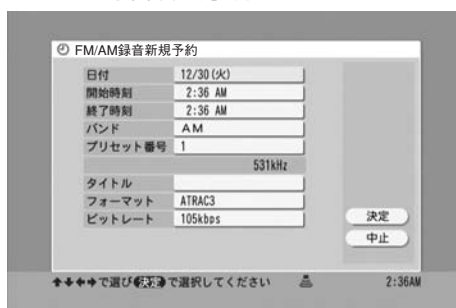
本機のチューナー、またはデジタル入力端子（LINE1）につないだ機器の音声をタイマー録音できます。あらかじめ時計を合わせておいてください（25ページ）。チューナーをタイマー録音するときは、ラジオの放送局も設定しておいてください（114 ページ）。

1 **タイマーボタンを押す。**

予約一覧画面が表示されます。

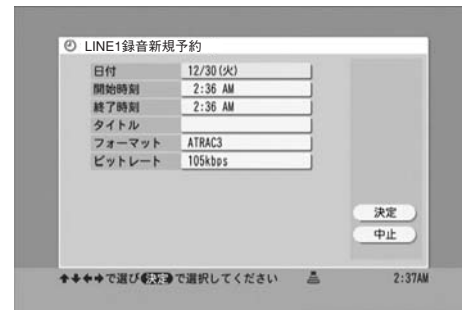
2 **FM/AMの場合**

ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［新規予約］－［FM/AM録音］を選び、決定ボタンを押す。

FM/AM録音新規予約画面が表示されます。

デジタル入力端子につないだ機器の場合

ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［新規予約］－［LINE1録音］を選び、決定ボタンを押す。

LINE1録音新規予約画面が表示されます。

3

1 **↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**

2 **↑/↓/←/→ボタンで設定し、決定ボタンを押す。または、文字を入力し、決定ボタンを押す。**

- **日付**

↑/↓ボタンで月日を選び、決定ボタンを押す。以下のように4 週間先まで選べます。

今 日 … 4 週間先までの月日 ↔ 毎 日
↕ ↕
毎（土）… 毎（日）↔月－金↔月－土

- **開始時刻**

←/→ボタンで時／分を選び、↑/↓ボタンで時、分を順に合わせ、決定ボタンを押す。

- **終了時刻**

←/→ボタンで時／分を選び、↑/↓ボタンで時、分を順に合わせ、決定ボタンを押す。

- **バンド**

↑/↓ボタンでFMまたはAMを選び、決定ボタンを押す。

- **プリセット番号**

↑/↓ボタンでプリセット番号を選び、決定ボタンを押す。

その下の欄に、プリセット番号に相当する放送局名／周波数が自動的に表示されます。

- **タイトル**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

（◆：お買い上げ時の設定）

• フォーマット

◆ATRAC3	データを10分の1以下に圧縮するので、PCMに比べて長時間の録音が可能です。
PCM	音楽データを圧縮せずにそのまま本機に取り込みます。必要なハードディスクの容量が大きくなります。

• ビットレート

数字が大きいほど高音質で録音しますが、必要なハードディスクの容量が大きくなります（ATRAC3のときのみ有効）。

66kbps
105kbps
◆132kbps

4 **↑/↓/←/→ボタンで［決定］を選び、決定ボタンを押す。**

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

5 **タイマーまたは戻るボタンを押す。**

手順1以前に選んでいたファンクションの画面が表示されます。

タイマーが設定され、タイマーランプが点灯します。

手順の途中でやめる

手順3から4の間で↑/↓/←/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

ちょっと一言

• タイトルに何も入力しないときは、自動的に設定内容が入ります。ただし、タイマー録音後、設定内容を変更してもタイトルには反映されません。
• 本機付属のLCDモニター（AXY7007）をお使いのときは、次のようになります。
  ー本機の電源が入っているとき：
  予約予約時間になってもLCDモニターの電源は切れません。
  ー本機の電源が入っていないとき：
  予約録音時は、予約時間になってもLCDモニターの電源は切れたままです。このとき、リモコンまたは本体のいずれかのボタンを押すと、LCDモニターの電源が入ります。

ご注意

タイマー録音中は消音状態になっているため、音が出ません。音を出すには、消音ボタン、または音量＋/－ボタンを押して、消音状態を解除してください。

ウェイクアップタイマーを使う

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、自動的に切れるように設定できます。音楽の自動再生が可能です。あらかじめ時計を合わせておいてください（25ページ）。

1 **CDなどの音源を準備する。**

・CD（ミュージック）
CDを入れる。

・HDD
聞きたいフォルダまたはアルバム、曲を選ぶ（49ページ）。好きな順番に再生したいときは、再生する範囲を選ぶ（49ページ）。

・"メモリースティック"（ミュージック）
"メモリースティック"を挿入する。

・FM/AM
ラジオの放送局を受信する（112ページ）。

・MD
Net MD 機器*にMD を入れる。

* Net MD機器によっては、自動的に電源が入りません。詳しくは、Net MD機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **タイマーボタンを押す。**

予約一覧画面が表示されます。

3 **ツールボタンを押し、↑/↓/→ボタンで［新規予約］－［ウェイクアップ再生］を選び、決定ボタンを押す。**

ウェイクアップ再生新規予約画面が表示されます。

次のページにつづく

4

1 ↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓/←/→ボタンで設定し、決定ボタンを押す。

• 日付

↑/↓ボタンで月日を選び、決定ボタンを押す。
以下のように4 週間先まで選べます。
今 日 … 4 週間先までの月日 ↔ 毎 日
↕ ↕
毎（土）… 毎（日）↔月－金↔月－土

• 開始時刻

←/→ボタンで時／分を選び、↑/↓ボタンで時、分を順に合わせ、決定ボタンを押す。

• 終了時刻

←/→ボタンで時／分を選び、↑/↓ボタンで時、分を順に合わせ、決定ボタンを押す。

（◆：お買い上げ時の設定）

• ファンクション

HDD	HDDファンクション
◆CD	CD（ミュージック）ファンクション
メモリースティック	“メモリースティック”（ミュージック）ファンクション
FM/AM	FM/AMファンクション
MD	MDファンクション

• 音量

↑/↓ボタンで音量を選び、決定ボタンを押す。
音量は MIN → 1 → 2 … 30 → MAX の32段階で設定できます。

5 ↑/↓/←/→ボタンで［決定］を選び、決定ボタンを押す。

予約が登録され、予約一覧画面に表示されます。

6 タイマーまたは戻るボタンを押す。

手順1以前に選んでいたファンクションの画面が表示されます。
タイマーが設定され、タイマーランプが点灯します。

設定を途中でやめる

手順4から5の間で↑/↓/←/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

タイマー動作中にキャンセルする

タイマー録音およびウェイクアップタイマー動作中に、タイマーをキャンセルすることができます。終了時刻になっても、録音、再生は継続されます。

タイマー録音、ウェイクアップタイマー動作中に、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［タイマーキャンセル］を選び、決定ボタンを押す。

タイマーを確認／削除／変更／保留する

確認する

タイマーボタンを押す。
予約一覧画面が表示されます。

1 2 3 4 5

1 以下のアイコンが表示されます。
- 録音：
- ウェイクアップ：

2 タイトル
予約のタイトル名が表示されます。

3 日付
予約日が表示されます。

4 時刻
タイマー録音の開始時刻と終了時刻が表示されます。

5 以下のアイコンが表示されます。
- 待機中 ：（青）
- 動作中 ：（赤）
- 保留 ：（グレー）
- 失敗* ：✕

* 停電などにより録音ができなかった場合に表示されます。ただし、毎日または毎週などくり返し予約する設定の場合は表示されません。失敗した予約内容は残りますので、削除してください（下記）。

確認をやめる

タイマーボタンを押す。

削除する

1 タイマーボタンを押す。
予約一覧画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで削除したい予約情報を選ぶ。

3 削除ボタンを押す。または、ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［削除］を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

4 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。
選んだ予約情報が予約一覧画面から削除されます。

5 タイマーまたは戻るボタンを押す。
手順1以前に選んでいたファンクションの画面が表示されます。

手順の途中でやめる

手順4で［いいえ］を選ぶ。または、戻るボタンを押す。

変更する

1 「削除する」の手順2で変更したい予約情報を選んだあと、決定ボタンを押す。
予約変更画面が表示されます。

ちょっと一言
ツールメニューでも同じ操作ができます。

2 ↑/↓ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

3 登録内容を変更し、決定ボタンを押す。

4 手順2から3をくり返す。

5 ↑/↓/←/→ボタンで［決定］を選び、決定ボタンを押す。
変更した予約情報が上書きされ、予約一覧画面に表示されます。

6 タイマーまたは戻るボタンを押す。
手順1以前に選んでいたファンクションの画面が表示されます。

次のページにつづく

手順の途中でやめる

手順2から5の間で↑/↓/←/→ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

保留する

予約を保留すると、保留した予約時間中に他の予約を入れることができます。

1 **「削除する」の手順2で保留したい予約情報を選んだあと、決定ボタンを押す。**
予約変更の画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで［この予約を］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓ボタンで［保留にする］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓/←/→ボタンで［決定］を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ予約情報が保留され、選択中の予約情報のアイコンが ●（グレー）になります。

5 **タイマーまたは戻るボタンを押す。**
手順1以前に選んでいたファンクションの画面が表示されます。

手順の途中でやめる

戻るボタンを押す。

保留を解除する

「保留する」の手順3で［この予約を］を［有効にする］に設定する。
選択中の予約情報のアイコンが ●（青）になります。

スリープタイマーを使う

本機の電源が自動的に切れるまでの時間を30分単位で決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

スリープボタンを押す。
ボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

OFF → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → OFF …

設定したい時間を表示させるだけで登録は完了です。
スリープタイマー中は、画面に時計アイコンが表示されます。

ちょっと一言

- 次に設定されているタイマー予約開始時刻まで、時間設定が可能です（180分以下の表示になる場合があります）。
- スリープタイマー実行中にスリープボタンを押すと、残り時間が表示され、あと何分で切れるかを確認することができます。さらに続けて押すと、スリープ時間が変更されます。
（例）残り時間72分のときにスリープボタンを押す。
72 → 90 → 120 → 150 → 180 → OFF → 30 …
と表示されます。

ご注意

タイマーの動作中は、スリープタイマーの設定は取り消されます。

設定メニュー

好みの音質に調整する（USER EQ）

「音量を選ぶ／調整する（グラフィックイコライザー）」（194ページ）をご覧ください。

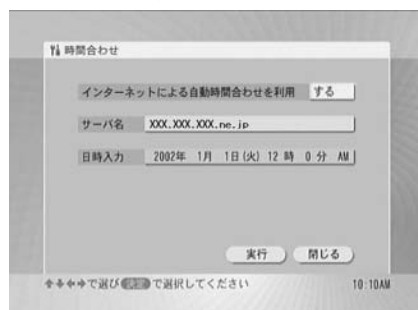
ネットワークの設定／確認をする（ネットワーク）

「インターネットの接続と準備」の章の「準備2：ネットワークの設定をする」（33ページ）をご覧ください。

時計を合わせる（時間合わせ）

本機の機能を正しく使うには、時計を正しく合わせておく必要があります。時計を合わせる方法は、手動で合わせる方法とインターネットに接続して自動で合わせる方法の2種類あります。

手動で合わせる

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［時間合わせ］を選び、決定ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで［インターネットによる自動時間合わせを利用］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓ボタンで［しない］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓ボタンで［日時入力］を選び、決定ボタンを押す。**

5 **←/→ボタンで年／月／日を選び、↑/↓ボタンで日にちを合わせる。**
年、月、日の順に合わせます。

6 **←/→ボタンで時／分を選び、↑/↓ボタンで時刻を合わせ、決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓ボタンで［実行］を選び、手順6で合わせた時刻になったら決定ボタンを押す。**
時計が設定され、手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻ります。

設定を途中でやめる

手順2から6の間で↑/↓ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

インターネットに接続して合わせる（NTP）

インターネットのNTP*サーバに接続すると、時刻を正確に合わせられます。
あらかじめネットワークの設定／確認を行ってください（33ページ）。
* NTPはNetwork Time Protocolの略です。

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［時間合わせ］を選び、決定ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで［インターネットによる自動時間合わせを利用］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓ボタンで［する］を選び、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

時計を合わせる（時間合わせ）（つづき）

4 **⬆/⬇ボタンで［サーバ名］を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。
お買い上げ時は「NtpServer」と表示されます。「NtpServer」と表示されている場合は、パイオニアが提供するNTPサーバに接続します。
サーバ名を変更しない場合は、手順6に進んでください。

5 **サーバ名を入力し、決定ボタンを押す。**

文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。

6 **⬆/⬇ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**

時計が自動的に設定され、手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順2から6の間で⬆/⬇ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

サーバ名をお買い上げ時の設定に戻す

手順5で「NtpServer」と入力し、決定ボタンを押す。

ご注意

- 「インターネット設定」が正しく設定されていないと、NTPサーバへ接続できない場合があります。
- プロキシサーバを使っているときは、ご利用のプロキシサーバがNTP サーバへの通信を中継しない場合がありますので、ISPなどにご確認ください。

スクリーンセーバーを設定する

（スクリーンセーバー）

何も操作しない状態が続くと、パソコンのようにスクリーンセーバーが働くように設定できます。

1 **設定ボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［スクリーンセーバー］を選び、決定ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで［スクリーンセーバー］を選び、決定ボタンを押す。**

プルダウンメニューが表示されます。

3 **⬆/⬇ボタンで［ON］を選び、決定ボタンを押す。**

（◆：お買い上げ時の設定）

◆ON	何もボタンを押さない状態で15分経過すると、スクリーンセーバーが起動します。
OFF	スクリーンセーバーが起動しません。

4 **⬆/⬇ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。**

手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻ります。

設定を途中でやめる

手順2から3の間で⬆/⬇ボタンを押して［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

スクリーンセーバーの設定を解除する

手順3で［OFF］を選ぶ。

ちょっと一言

- 操作すると、スクリーンセーバーが解除され、通常の画面に戻ります。
- フォトアルバム、CD フォト、“メモリースティック”（フォト）のスライドショー中は、一時停止中を除いてスクリーンセーバーは働きません。

データをバックアップ／復元する 音楽データを有効化する

（バックアップ）

本機に保存した以下のデータを、ネットワーク上のWindows共有フォルダや本機に接続したUSBハードディスクに一括コピーしてバックアップしたり、バックアップしたデータを本機に復元することができます。

- HDDに登録された音楽
- フォトアルバムに登録された静止画
- メールの受信簿および送信簿
- ブラウザのお気に入り設定値
- ネットワーク設定値
- 文字入力で学習、登録された語句

また、前回のバックアップデータがある場合、その差分のみをバックアップすることで、バックアップにかかる時間を短縮することができます。

なお、バックアップしたデータを本機に復元したあと、音楽データだけはそのままの状態で再生することができません。再生するためには、音楽データの有効化が必要です。音楽データの有効化をするには、インターネット経由での認証が必要になるため、音楽データを不正に複製することができないようなしくみになっています。

データがある程度たまってきたら、万一に備えてデータをバックアップしておくことをおすすめします。

ご注意

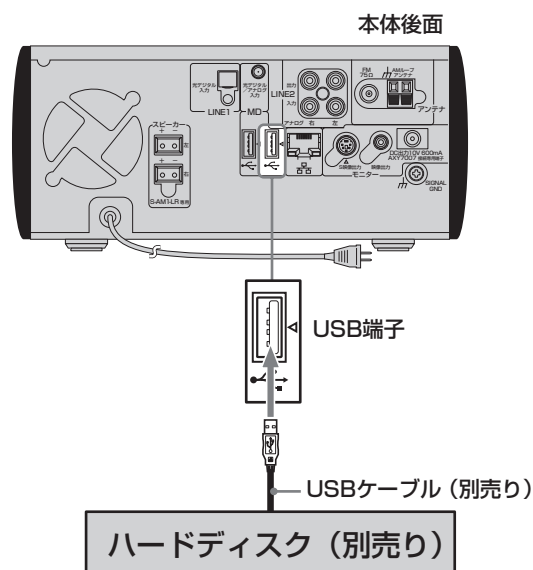
- 本機に保存されているデータ量やUSBハードディスク、パソコン、ネットワークの状態により、バックアップには長時間（最長数十時間）かかることがあります。
- バックアップしたデータは、本機以外（パソコンなど）にコピーして利用することはできません。

USBハードディスクにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽や静止画などのデータをUSBハードディスク（別売り）に保存（バックアップ）します。

ご注意

- 本機のデータをバックアップするためには、FAT32形式でフォーマットされた容量40GB以上のUSBハードディスクが必要です。
  －USB ハードディスクをパソコンなどで既にFAT32形式でフォーマット済みの場合、第一パーティションにバックアップします。このパーティションに必要な空き容量がない場合はバックアップできません。お使いのパソコン等でパーティションを変更して、40GBの空き容量を確保してください。
  －USBハードディスクをフォーマットしていない場合、本機で第一パーティションをFAT32形式でフォーマットしたあと（189ページ）、バックアップしてください。
- 本機に同時に2台以上のUSBハードディスクを接続してバックアップすることはできません。
- USBハブは使用できません。
- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はできません。
- バックアップ中またはデータの復元中にUSBケーブルやイーサネットケーブルを引き抜いたり、機器の電源を切らないでください。故障の原因となります。

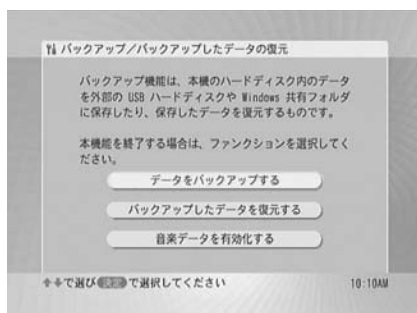
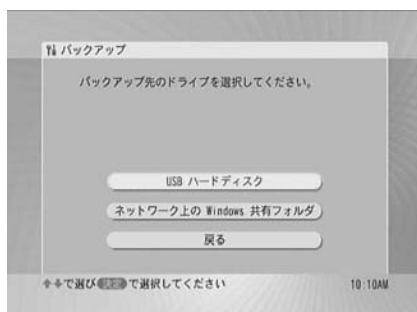
1 USBケーブルを使って本体のUSB端子にハードディスクをつなぐ。

ご注意

- 外付けハードディスク側のUSB端子の形状は機種によって異なります。
- 本機で使用できるUSBハードディスクの機種は、本機専用のホームページ（152ページ）をご覧ください。
- 本機に対応していないUSBハードディスクをつなぐと故障の原因となることがあります。

次のページにつづく

データをバックアップ／復元する音楽データを有効化する（バックアップ）（つづき）

2 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

3 **↑/↓ボタンで［データをバックアップする］を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓ボタンで［USBハードディスク］を選び、決定ボタンを押す。**

5 **過去のバックアップデータがあるときは**

手順6に進む。

初めてバックアップをとるときは

手順8に進む。

6 **↑/↓ボタンで［フルバックアップ］または［差分バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。**

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存します。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存します。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻ります。

7 **フルバックアップを選んだときは**

↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

差分バックアップを選んだときは

手順8に進む。

8 **↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**

バックアップが始まります。
バックアップが終わると、「バックアップが完了しました。」と表示されます。
手順2で選んでいたファンクションのメイン画面に戻るには、決定ボタンを押します。

設定を途中でやめる

戻るボタンを押す。

バックアップを途中でやめる

1 手順8 のバックアップ中に決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

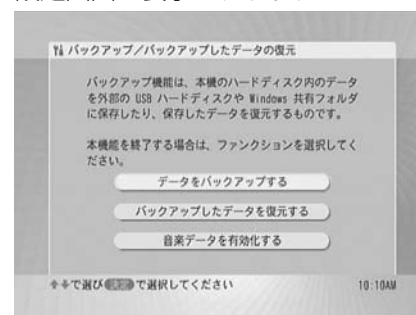
2 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

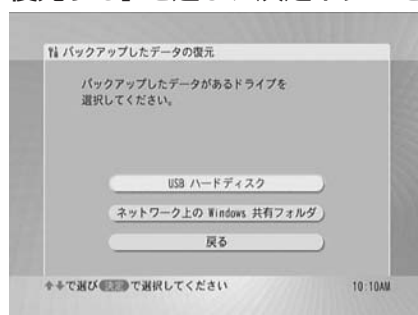
ご注意

バックアップを途中でやめると、バックアップ先のデータが不完全になり、そのデータを復元することができなくなります。その場合は、もう一度最初からフルバックアップしてください。

バックアップしたデータを復元する

外付けのUSBハードディスクにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

2 ↑/↓ボタンで［バックアップしたデータを復元する］を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓ボタンで［USBハードディスク］を選び、決定ボタンを押す。

復元の確認画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

復元時間の確認画面が表示されます。

5 ↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

6 ↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

復元が始まります。
復元が終わると、「データの復元が完了しました。」と表示されます。
手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻るには、決定ボタンを押します。

設定を途中でやめる

手順3から6の間で↑/↓ボタンを押して、［いいえ］または［戻る］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

復元を途中でやめる

手順6の復元中に決定ボタンを押す。

ご注意

バックアップしたデータの復元を途中でやめると、本機のハードディスクのデータが不完全になり、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、バックアップしたデータをもう一度最初から復元してください。

USBハードディスクをフォーマットする

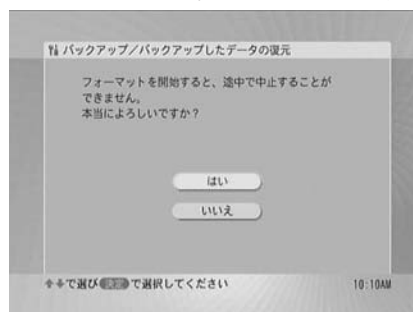
1 設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

2 ツールボタンを押し、↑/↓ボタンで［USBハードディスクのフォーマット］を選び、決定ボタンを押す。

USBハードディスクのフォーマット画面が表示されます。

3 ↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

フォーマットを確認する画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

USBハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットが完了すると、「フォーマットが完了しました」というメッセージが表示されます。

5 決定ボタンを押す。

設定画面に戻ります。

手順の途中でやめる

手順3から4の間で↑/↓ボタンを押して［いいえ］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

次のページにつづく

ご注意

- フォーマット開始後、途中で中止することはできません。
- 本機は、USBハードディスクの第一パーティションをFAT32形式でフォーマットします。
- フォーマットするためには、USBハードディスクの第一パーティションの容量が40GB以上必要です。このパーティションに40GB以上の容量がない場合はフォーマットできません。お使いのパソコン等でパーティションを変更して、40GBの空き容量を確保してください。

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽や静止画などのデータをお手持ちのパソコンのハードディスクに保存（バックアップ）します。
あらかじめ、パソコンでバックアップ先にしたいフォルダを共有フォルダに設定しておいてください。詳しくは、お使いのWindowsの取扱説明書、ヘルプをご覧ください。
以下に一例として、Windows XP Home Editionでの操作を説明します。

1 マイコンピュータ上で、バックアップ先にしたいフォルダを右クリックし、［共有とセキュリティ］を選ぶ。
　フォルダのプロパティの［共有］タブが表示されます。
2 ［ネットワーク上でこのフォルダを共有する］および［ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する］をクリックしてチェックする。

3 ［OK］をクリックしてフォルダのプロパティを閉じる。

ご注意

- ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。
- 本機のバックアップ機能に対応するパソコンは、以下のバージョンのWindowsが標準インストールされている必要があります。
  日本語 Microsoft Windows® 2000 Professional
  日本語 Microsoft Windows® XP Home Edition
  日本語 Microsoft Windows® XP Professional
- Macintoshにはバックアップできません。

1 設定ボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで［データをバックアップする］を選び、決定ボタンを押す。

3 ⬆/⬇ボタンで［ネットワーク上のWindows共有フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。

4

1 **⬆/⬇ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**
2 **文字を入力し、決定ボタンを押す。**
　文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。入力できる文字は、半角英数字のみです。
3 **⬆/⬇ボタンで［確認］を選び、決定ボタンを押す。**

- **コンピュータ名（またはIPアドレス）***
- **共有名**
- **ユーザー名****
- **パスワード****

* スタートメニューから［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］を選び、「システムのプロパティ」画面の［コンピュータ名］タブをクリックすると、コンピュータ名が「フルコンピュータ名」の欄に表示されます。
** 共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要です。

5 **過去のバックアップデータがあるときは**
手順6に進む。

過去のバックアップデータがないときは
手順8に進む。

6 **↑/↓ボタンで［フルバックアップ］または［差分バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。**

フルバックアップ	既存のデータに上書き保存します。
差分バックアップ	既存のデータ以外のデータを保存します。
戻る	バックアップを中止し、前の画面に戻ります。

7 **［フルバックアップ］を選んだときは**
↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

［差分バックアップ］を選んだときは
手順8に進む。

8 **↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
バックアップが始まります。
バックアップが終わると、「バックアップが完了しました。」と表示されます。
手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻るには、決定ボタンを押します。

設定を途中でやめる

手順4から8の間で↑/↓ボタンを押して、［いいえ］または［戻る］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

バックアップを途中でやめる

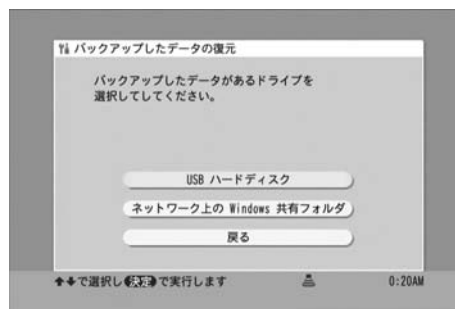
1 手順8のバックアップ中に決定ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
2 ←/→ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。

ご注意
バックアップを途中でやめるとバックアップ先のデータが不完全になり、そのデータを復元することができなくなります。その場合は、もう一度最初からフルバックアップしてください。

バックアップしたデータを復元する

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで［バックアップしたデータを復元する］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓ボタンで［ネットワーク上のWindows共有フォルダ］を選び、決定ボタンを押す。**

4 1 **↑/↓ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。**
2 **文字を入力し、決定ボタンを押す。**
文字入力のしかたについては、「文字を入力する」（37ページ）をご覧ください。
3 **↑/↓ボタンで［確認］を選び、決定ボタンを押す。**

- **コンピュータ名（またはIPアドレス）**
- **共有名**
- **ユーザー名**＊＊
- **パスワード**＊＊

＊ スタートメニューから［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］を選び、「システムのプロパティ」画面の［コンピュータ名］タブをクリックすると、コンピュータ名が「フルコンピュータ名」の欄に表示されます。
＊＊ 共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要です。

5 **↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
復元の確認画面が表示されます。

次のページにつづく

データをバックアップ／復元する音楽データを有効化する（バックアップ）（つづき）

6 **↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

7 **↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
復元が始まります。
復元が終わると、「データの復元が完了しました。」と表示されます。
手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻るには、決定ボタンを押します。

設定を途中でやめる

手順4から7の間で↑/↓ボタンを押して［中止］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

復元を途中でやめる

手順7の復元中に決定ボタンを押す。

ご注意

バックアップしたデータの復元を途中でやめると、本機のハードディスクのデータが不完全になり、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、バックアップしたデータをもう一度最初から復元してください。

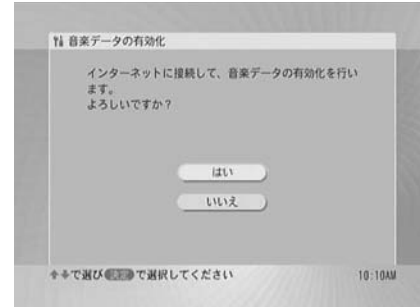
音楽データを有効化する

本機であつかう音楽データは、著作権保護のため暗号化されています。そのため、通常のバックアップ／復元だけでは暗号化された音楽データを再生することができません。再生できるようにするためには、インターネット上のサーバに認証してもらい、暗号化解除の許可をもらう必要があります。

ご注意

- 音楽データを有効化する前に、バックアップしたデータの復元を行ってください。
- 音楽データを有効化するためには、インターネットへの接続が必要です。
- 音楽データの有効化の際、プロキシサーバ経由でインターネットへ接続する場合は、必ず「ブラウザ設定をする」の手順15（35ページ）でプロキシサーバの設定をし、インターネットへ接続できることを確認してください。

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［バックアップ］を選び、決定ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **↑/↓ボタンで［音楽データを有効化する］を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓ボタンで［はい］を選び、決定ボタンを押す。**
音楽データの有効化が始まります（途中でやめることはできません）。
音楽データの有効化が終わると、「音楽データの有効化が完了しました。」と表示されます。
手順1で選んでいたファンクションのメイン画面に戻るには、決定ボタンを押します。

設定を途中でやめる

手順3で↑/↓ボタンを押して［いいえ］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。

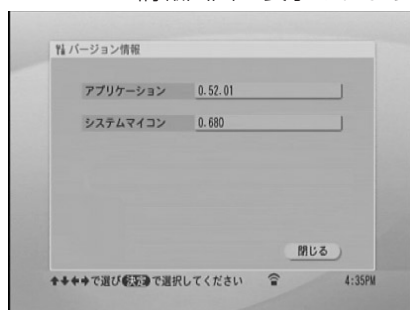
ご注意

音楽データの復元中に次のメッセージが表示されることがあります。
「OpenMGで著作権保護されているコンテンツのバックアップ・リストアについて
ただいまお客様がリストア（データの復元）を行われたバックアップファイルは、すでに複数回のリストアが行われております。コンテンツの著作権に配慮し、一定回数以上のリストアを制限させていただく場合がありますので、リストアが複数回行われているバックアップファイルのご使用に際しては、本注意メッセージを表示させていただいております。」
このメッセージが表示された場合、以下のように対処してください。

1) お使いの周辺機器による不具合がくり返されるか、製品が著しく不安定なために、リストアしたデータが利用できなくなる場合。
   → お客様ご相談センター（裏表紙）、または販売店にお問い合わせください。
2) 何度音楽データの有効化を試みても、最終的に失敗する場合。
   → バックアップデータを記録したパソコンや、ドライブが破損・損傷していないか確認してください。

バージョン情報を確認する

本機のシステムソフト（アプリケーション）のバージョンと、システムマイコンのバージョンを確認することができます。

設定ボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［バージョン情報］を選び、決定ボタンを押す。
バージョン情報画面が表示されます。

バージョン情報画面を閉じる

決定または戻るボタンを押す。

システムソフトの更新

システムソフトを更新する

システムソフトをダウンロードすることで、新しい機能が追加されるなど、本機をより便利にお使いいただけるようになります。
システムソフトの更新が可能な場合、本機がインターネットにつながっていると、画面の右下に［!］が表示されます。また、電源を入れたときに画面にメッセージが表示され、更新ができることをお知らせします。

1 **ファンクションボタンを押し、⬆/⬇ボタンで［WEBブラウザ］を選び、決定ボタンを押す。**
本機専用のホームページが表示されます。

2 **⬆/⬇ボタンで［システムソフトの更新］を選び、決定ボタンを押す。**
システムソフトの更新画面が表示されます。

3 **画面の指示にしたがって操作する。**
システムソフトの更新が始まります。更新には数十分かかることがあります。

ご注意
- 更新中は電源を切らないでください。
- 更新終了後、自動的に再起動する場合があります。

音質を選ぶ／調整する

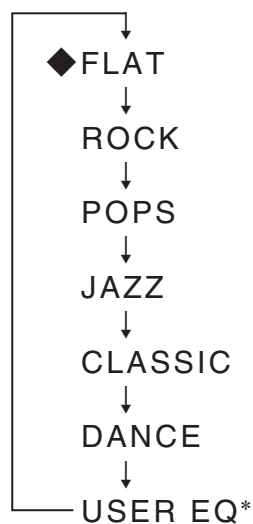
（グラフィックイコライザー）

本機では、あらかじめ設定されている6種類のプリセットEQと、お好みで調整できるUSER EQから最適な音質を選んで楽しめます。

音質を選ぶ（プリセットEQ）

イコライザーボタンをくり返し押す。

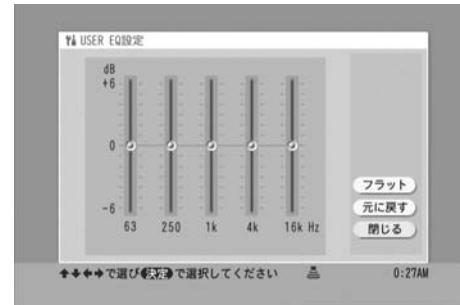
ボタンを押すたびにプリセットEQが以下の順番で切り換わります。
選ばれているプリセットEQは、画面下部に表示されます。

プリセットEQ名

（◆：お買い上げ時の設定）

* USER EQについては、右記の「好みの音質に調整する（USER EQ）」をご覧ください。

好みの音質に調整する（USER EQ）

1 **設定ボタンを押し、↑/↓ボタンで［USER EQ設定］を選び、決定ボタンを押す。**

USER EQ 設定画面が表示されます。
プリセットEQ がUSER EQ に切り換わり、画面下部に「USER EQ 」と表示されます。

2 **←/→ボタンで周波数を選び、↑/↓ボタンでレベルを調節する。**

この手順をくり返して各周波数のレベルを調節します。

3 **←/→/↑/↓ボタンで［閉じる］を選び、決定ボタンを押す。または、戻るボタンを押す。**

設定を途中で元に戻す

手順2から3の間で←/→/↑/↓ボタンで［元に戻す］を選び、決定ボタンを押す。

設定をフラットにする

手順2から3の間で←/→/↑/↓ボタンで［フラット］を選び、決定ボタンを押す。

低音を強調する
（P.BASS）

本機のP.BASS機能を使って、重低音を強調した再生が楽しめます。

P.BASSボタンを押す。

ボタンを押すたびに、P.BASSの「ON」（低音強調）と「OFF」が切り換わります。

P.BASSが「ON」のときは、画面下部にマークが表示されます。「OFF」のときは、マークが消えます。

（◆：お買い上げ時の設定）

• P.BASS

◆ON
OFF

その他

使用上のご注意

設置場所について

以下のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当たる所、温度が高い所
- 極端に寒い所
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。）

通風孔をふさがないでください。本機は、ハイパワーアンプを搭載しています。そのため、本体後面の通気孔をふさぐと、機械内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。物を置くなどして、後面の通気孔を絶対にふさがないでください。

設置場所を変えるときは

ディスクや"メモリースティック"を入れたまま、本機を動かさないでください。
ディスクや"メモリースティック"を入れたまま動かすと、ディスクや"メモリースティック"を傷めることがあります。

テレビの色むらについて

本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカシステムです。設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分から30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラを発生するような場合には、スピーカを更に離してご使用ください。近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

ディスクの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出していたり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。
- 市販のCDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いので、長時間録音やすばやい頭出し再生を楽しめます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱い性質があります。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、以下の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- コンセントをさしたまま本機を動かさないでください。
- 録音や再生中は、コンセントを抜かないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設はできません。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

データのバックアップについて

修理時に、本機のハードディスクに保存されていた音楽データ、メールのデータ、静止画データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した静止画データや音楽データ、メールなどは、バックアップ機能（「データをバックアップ／復元する音楽データを有効化する」（187ページ））を使用して、外部に接続したUSBハードディスク、またはWindowsのファイル共有にコピーしてください。
ハードディスクに記録されたデータは、通常の使用においても壊れる可能性があります。お客様が保存したデータは、定期的にバックアップをとるようにしてください。
弊社の修理、また通常の使用において、万一データが消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

"メモリースティック"についてのご注意

メモリースティックスロットに金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
本機を持ち運んだり、保管する際は、"メモリースティック"を取り出してください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

電源コードを抜くときのご注意

本機がスタンバイモード（スタンバイ/オンランプが赤色のとき）になっていることを確認して、電源コードを抜いてください。本機動作中（スタンバイ/オンランプが赤色以外のとき）に電源コードを抜くと、内部データの消失や故障の原因となります。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますのでご了承ください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センターにご相談ください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードを本体と電源コンセントにしっかり差し込む。

➡ 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう一度コンセントに電源プラグを差し込み、I/⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

➡ スタンバイ/オンランプがオレンジのときはI/⏻（電源）ボタンが効きません。赤になるまでお待ちください。

電源プラグを差し込み電源を入れると、「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」「設定後、自動的に電源が切れます」と表示され、電源が切れる。

➡ I/⏻（電源）ボタンをもう一度押すと電源が入る。本機は、電源プラグを差して電源を入れると内部の設定を行いスタンバイモードに入るので、異常ではありません。

上記のメッセージが表示されたまま電源が切れるまで時間がかかる。

➡ 本体に大量の静止画や曲が保存されている場合、電源が切れるまで時間がかかることがあります。

LCDモニター（AXY7007）の電源が入らない。

➡ タイマー録音時はLCDモニター（AXY7007）の電源は入りません。

➡ LCDモニター（AXY7007）の電源ランプが赤色の場合は、LCDモニターのI/⏻（電源）ボタンを押す。

電源を入れて「ただいま起動中です」「しばらくお待ちください」と表示されてから、起動するまで時間がかかる。

➡ ブロードバンドルーターのない環境で本機をお使いになる場合、電源を入れたあと、本機のIPアドレスを自動的に取得して本機が起動するまで、約30秒かかることがあります。

➡ 本機のIPアドレスが他の機器で使用している数値になっている。
他の機器と異なるIPアドレスに設定し直してください。

電源が切れない。

➡ 初期設定中や起動中には、I/⏻（電源）ボタンが効かないことがあります。

画像

画像が出ない。

➡ ビデオ接続コードをしっかり差し込む。

➡ ビデオ接続コードが断線している可能性があるため、新しいコードに交換する。

➡ 本体の出力端子とLCDモニターの入力端子をビデオ接続コードで正しくつなぐ（22ページ）。

➡ テレビとつないでいる場合、テレビの電源を入れて、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。

➡ 本体またはリモコンのいずれかのボタンを押す。
タイマー録音時は、LCDモニター（AXY7007）の電源は入りません。

画像が乱れる。

➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

➡ ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

音声

音が出ない。

➡ 音声接続コードをしっかり差し込む。

➡ 音声接続コードが断線している可能性があるため、新しいコードに交換する。

➡ 一時停止を解除する。

➡ ヘッドホンをはずす。

➡ 消音機能を解除する。

➡ 音量を確認する。

➡ サンプリング周波数が32kHz 、44.1kHz 、48kHz 以外の信号が、デジタル入力端子に入力されている。

➡ 消音ボタン、または音量＋/－ボタンを押して、消音状態を解除する。

タイマー録音中は、消音状態になっています。

左右の音のバランスが悪い、または逆転している。

➡ スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

ハム音またはノイズがひどい。

➡ スピーカーおよび各機器を正しく接続しているか確認する。

➡ 音声接続コードをLCDモニターや蛍光灯、その他の機器から離してみる。

➡ LCDモニターやテレビを他のオーディオ機器から離して設置する。

➡ プラグや端子が汚れているときは、アルコールで少し湿らせた布で拭き取る。

➡ ディスクに汚れ、傷がある。

CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる。

➡ スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

ANY MUSIC

"エニーミュージック"に接続できない。

➡ ネットワーク設定が間違っている。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。

➡ 設定メニューの［ネットワーク設定］で［ネットワーク状態確認］を行い、現在のネットワーク状態を確認する。

➡ 時計を合わせる（185ページ）。

➡ ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。
ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください（別紙「接続／設定ガイド」参照）。

➡ "エニーミュージック"に問い合わせる。

CD（ミュージック）

再生が始まらない。

➡ ディスクが入っているか確認する。

➡ ディスクの再生面を下にする。

➡ ディスクが斜めにずれて入っているときは、正しく入れ直す。

➡ CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（72ページ）。

➡ 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再びディスクを入れる（198ページ）。

MP3が再生できない。

➡ ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠していないMP3音声が記録されている。

➡ 拡張子が「.MP3」になっていない。

➡ 拡張子は「.MP3」だが、MPEG-1 Audio Layer3以外のデータ形式になっている。

CD（フォト）

静止画の表示ができない。

➡ ディスクが入っているか確認する。

➡ ディスクの再生面を下にする。

➡ ディスクが斜めにずれて入っているときは、正しく入れ直す。

➡ CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（80ページ）。

➡ 画像の入っていないCD-R/RWを入れている。

➡ ファイナライズ処理をしていないCD-R/RWを入れている。

➡ 静止画のファイル形式が本機に対応していない。

➡ 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再びディスクを入れる（196ページ）。

"メモリースティック"（ミュージック）

再生が始まらない。

➡ "メモリースティック"が入っているか確認する。

➡ 本機で再生できない"メモリースティック"を入れている（88ページ）。

➡ 結露している。"メモリースティック"を取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再び"メモリースティック"を入れる（198ページ）。

MP3が再生できない。

➡ 拡張子が「.MP3」になっていない。

➡ 拡張子は「.MP3」だが、MPEG-1 Audio Layer3以外のデータ形式になっている。

"メモリースティック"（フォト）

静止画の表示ができない。

➡ "メモリースティック"が入っているか確認する。

➡ 画像の入っていない"メモリースティック"を入れている。

➡ 静止画のファイル形式が本機に対応していない。

➡ 結露している。"メモリースティック"を取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再び"メモリースティック"を入れる（198ページ）。

FM/AM（ラジオ）

放送が受信できない。

➡ アンテナを正しく接続する。

➡ アンテナの向きなどを調節する。

➡ 屋外アンテナを使用する。

MD

本機から操作できない。

➡ Net MD機器をつなぐ（122ページ）。
本機にNet MD以外のMD機器をつないでも、本機からは操作できません。

➡ 本機につないだNet MD機器を使用できる状態にする。
Net MD 機器によっては、電源を入れてNet MDボタンなどを押しておく必要があります。

本機のHDDから転送（チェックアウト）して作成したMDを、他のMD機器で再生できない。

➡ MDLP 非対応機器で再生する場合、転送（チェックアウト）時にMD 録音モードを［ステレオ録音］にする。［LP ステレオ録音］で転送した場合、MDLP 非対応機器では再生できません。

WEBブラウザ（インターネット）

インターネットに接続できない。

➡ ネットワーク設定が間違っている。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。

➡ 設定メニューの［ネットワーク設定］で［ネットワーク状態確認］を行い、現在のネットワーク状態を確認する。

➡ ブロードバンドルーターを正しく設定し直す。
ブロードバンドルーターの設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書、プロバイダの資料をご覧ください（別紙「接続／設定ガイド」参照）。

➡ ネットワークケーブルをしっかりつなぐ（28ページ）。

➡ 正しいネットワークケーブルを使って接続する（別紙「接続／設定ガイド」参照）。

➡ 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。

➡ ご利用の回線事業者、またはプロバイダに問い合わせる。

ADSLで接続している場合

➡ スプリッターのDSLポートとTEL（TELEPHONE）ポートを間違えている。

➡ ADSL モデムやブロードバンドルーターのランプが正しく点灯しているか確認する。各機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームページが正しく表示されない。正しくカーソルを移動できない。

➡ そのホームページで使用されている機能が、本機でサポートしていない。

メール

メールの送受信ができない。

➡ メールの設定が間違っている（34ページ）。

➡ 多数のアドレスにメールを送るときは、メールを何回かに分けて送る。

➡ 設定メニューの［ネットワーク設定］で［ネットワーク状態確認］を行い、現在のネットワーク状態を確認する。

➡ ネットワーク設定、メール設定が間違っている（33、34ページ）。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。

➡ インターネットの接続が間違っている（28ページ）。

受信メールの文字が正しく表示されない。

➡ 受信したメールに特殊な文字が使用されている。

タイマー録音

タイマー録音されていない。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（25ページ）。

➡ 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれた。

➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

➡ タイマー録音したい機器がデジタル入力端子につながっていなかった。

外部入力からのタイマー録音は、デジタル入力端子につないだ機器のみしかできません。

➡ サンプリング周波数が32kHz 、44.1kHz 、48kHz 以外の信号がデジタル入力端子から入力されている。

ウェイクアップタイマーで予約した音楽が再生されない。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（25ページ）。

➡ 予約待機中に停電があったか、電源コードが抜かれた。

➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

タイマー録音した内容が途中で切れている。先頭、途中が抜けている。

➡ 日付や時刻を正しく設定する（25ページ）。

➡ タイマー録音中に停電があったか、電源コードが抜かれた。

➡ タイマー録音スタート時間に、編集などの操作を行っていた。

➡ 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

その他

本機が動作しない。

➡ 画面に警告メッセージが出ている。

このときは、メッセージにしたがってください。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響を受けている。このときは、本体のI/⏻（電源）ボタンを押して電源を切り、再び電源を入れる。それでも正常に動作しないときは、リセットする（202ページ）。

画面に5桁のアルファベットと数字が表示されている。

➡ 自己診断機能が働いている。202ページをご覧ください。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

スタンバイ/オンランプが赤／緑に交互点灯する。

➡ スピーカープロテクト機能が働いている。電源コードをコンセントからはずし、スピーカーケーブルの接続を確認する。ショートなどの異常がなければ、スタンバイ/オンランプが消灯したことを確認してから、電源コードをコンセントにつなぐ。

リモコンが働かない。

➡ 乾電池が消耗している（25ページ）。

➡ 乾電池が入っていない（25ページ）。

➡ リモコンを本体に向けて操作する（25ページ）。

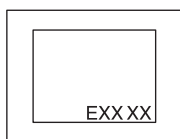
➡ 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。
本機を蛍光灯から離して設置する。

画面に「オーディオデータが壊れています。」と表示される。

➡ ［修復］ボタンを選択し、決定ボタンを押す。

自己診断機能について

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：E 00 11）を表示します。

表示が出たら、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのときにはサービス番号の5桁すべてをお知らせください。

本機のリセット方法について

通常は本機をリセットする必要はありません。しかし、まれに本体が異常終了して、ボタンや画面上の操作に反応しなくなってしまうことがあります。このような場合は、本体の■ボタン（共通停止ボタン）を押しながら本体のI/⏻（電源）ボタンを押して、本機をリセットしてください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げの販売店にご連絡ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、裏表紙の修理受付センターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではネットワークオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいたうえで回収させていただきますので、ご協力ください。

修理について（ハードディスク）

修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータファイルを確認したり、プログラムを起動することがあります。ただし、それらのファイル、プログラムをパイオニア側で複製・保存することはありません。

ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。

なお初期化により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが全て消去されますので、あらかじめお客様にてバックアップ等保存につき必要な対応をされるようお願いいたします。

お客様ご相談センターのご案内

お買い上げいただいたネットワークオーディオシステムは、お客様ご相談センターでも保証サービスを行っております。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、まず、裏表紙の電話番号にお問い合わせください。
また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

あらかじめ以下のことをお調べいただくと、対応が円滑に進むこともあります。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名：X-AM1
- 故障の状態： できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- ご契約されているインターネットサービスプロバイダの名前とサービス（コース）の種類
- お使いのブロードバンドルーターやハブのメーカー名と型名
- つないでいるディスプレイやテレビのメーカーと型名（付属のLCDモニターはAXY7007）

今後とも、パイオニア製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力

35 W+35 W（6Ω、JEITA*）

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

システム（CD部）

音声特性

周波数特性	20 Hz～20 kHz（±1.0 dB）
全高調波ひずみ率	0.03%以下
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001% W PEAK）以下

システム（HDD部）

容量	40 GB（フォトアルバム、メールと共有）
コーディング	アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング 3 (ATRAC3) PCM
最大録音時間	約1,170時間（35.5 GB）
最大アルバム数	2,000
最大曲数	20,000

FMチューナー部

回路方式	PLLデジタル周波数シンセサイザー クォーツロック方式
受信周波数	76.0～90.0 MHz
アンテナ	ワイヤーアンテナ 75 Ω、不平衡型

AMチューナー部

回路方式	PLLデジタル周波数シンセサイザー クォーツロック方式
受信周波数	531 kHz～1,602 kHz
アンテナ	ループアンテナ

システム（フォトアルバム部）

アルバム対応ファイル

JPEG、TIFF、PNG、GIF、BMP

最大アルバム数	900
最大画像数	5,000*

* ハードディスク残容量や画像フォーマット、画像サイズにより5,000枚未満の場合もあります。

次のページにつづく

主な仕様（つづき）

システム（WEBブラウザ部）

HTML	HTML 4.0、フレーム対応、JavaScript、SSL（V2/3）
イメージファイル	GIF、JPEG、PNG
漢字コード	JIS、シフトJIS、EUC
Flash	Ver. 5.0

システム（メール部）

送信プロトコル	SMTP
受信プロトコル	POP3

入・出力端子

アンテナ入出力	FM：75 Ω不平衡型 AM：外部アンテナ端子
映像出力	モニター出力の1系統、ピンジャック、1 Vp-p（75 Ω不平衡）
S映像出力	モニター出力の1系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1 Vp-p（75 Ω不平衡） 色信号：0.286 Vp-p（75 Ω不平衡）
音声デジタル入力	デジタル入力の1系統、光入力コネクター
音声入力	アナログの1系統、ピンジャック（左、右） 入力レベル：1.75 V （入力インピーダンス：47 kΩ以上）
音声出力	アナログの1系統、ピンジャック（左、右） 出力レベル：500 mV （出力インピーダンス：10k Ω以下）
音声入力（光デジタル／アナログ兼用）	MD入力の1系統、ステレオミニジャック 入力レベル（標準：0.70 V 、低：1.75 V）
ネットワーク	モジュラージャック 10BASE-T/100BASE-TX
USB端子	USB-A 2系統
PHONES端子	ステレオ ミニジャック
DC出力端子	LCDモニター（AXY7007）接続専用

スピーカー

型式	バスレフ式ブックシェルフ型、防磁設計（JEITA）
使用スピーカー（2ウェイ方式）	
低音用（ウーファー）	13cm（コーン型）
高音用（トゥイーター）	26mm（セミドーム型）
公称インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	50〜60.000 Hz
最大入力	75 W（EIAJ）
外形寸法	165×280×270mm （幅／高さ／奥行き）
本体質量	4.0 kg

電源、その他

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	65 W
待機消費電力	0.3 W以下
時計方式	クォーツクロック
最大外形寸法	235×119×330 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約5.6 kg
許容動作温度	5〜35℃
許容動作湿度	25〜80%

LCDモニター

画面サイズ	5型（対角12.7 cm）
LCDパネル	TFTカラー液晶
表示画素数	320×240ドット
カラー方式	NTSC
視野角	左右 45°／上30°／下10°
ビデオ入力	
Sビデオ入力端子	Y/C ミニDIN4ピン×1系統
ビデオ入力端子	コンポジット ピン端子×1系統
電源	DC 9 V
使用温度条件	0〜40 ℃
最大外形寸法	152×148×120 mm （幅／高さ／奥行き、最大突起部含む）
質量	約450 g

付属品

- 専用電源（DC）コード（1）
- リモコン（1）と単3形（R6）乾電池（2）
- スピーカーコード（1.5 m×2）
- イーサネットケーブル（1）
- S映像ケーブル（1）
- AMループアンテナ（1）
- FMワイヤーアンテナ（1）
- スピーカー（2）
- 取扱説明書（1 ）
- 接続／設定ガイド（1 ）
- エニーミュージックご案内（1 ）
- ソフトウェアに関する重要なお知らせ（1 ）
- ソフトウェア使用許諾契約書（1 ）
- パイオニアご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

区点コード表

区点コードの見かた

文字の左側の3桁の数に、文字の上側の1桁の数を組み合わせた4桁の数が、その文字の区点コード番号になります。例えば「⑫」の区点コード番号は、「131」のうしろに「2」をつけて「1312」となります。

半角カタカナや機種依存文字についてのご注意

- 次の場合は、半角カタカナや13 区（区点コード1301 ～1392 ）、および89 区～92 区（区点コード8901 ～9294 ）の文字を入力すると、文字化けする（正しく表示されない）ことがあります。
  –メールファンクションでこの文字を入力してメールを送信した場合（メールを受信した機種による）
  –WEB ブラウザファンクションで、インターネット上の文字を入力するページ（検索エンジンなど）にこの文字を入力した場合
- MDファンクションでは、MDに書き込めない文字（13区の一部および 89区～92区（区点コード8901～9294））は、全角スペースに変換されて書き込まれます。

ご注意

この区点コード表に記載されている文字と本機で表示される文字の詳細が異なる場合があります。

区点	区点 4 桁目									
1～3 桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010			、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι

区点	区点 4 桁目									
1～3 桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									

区点	区点 4 桁目									
1～3 桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居

次のページにつづく

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ〜の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る～れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄

区点	区点４桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹

区点	区点４桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					

区点	区点４桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
890		纊	褜	鍈	銈	蓜	俉	炻	昱	棈
891	鋹	曻	彅	丨	仡	仼	伀	伃	伹	佖
892	侒	侊	侚	侔	俍	偀	倢	俿	倞	偆
893	偰	偂	傔	僴	僘	兊	兤	冝	冾	凬
894	刕	劜	劦	勀	勛	匀	匇	匤	卲	厓
895	厲	叝	﨎	咜	咊	咩	哿	喆	坙	坥
896	垬	埈	埇	﨏	塚	增	墲	夋	奓	奛
897	奝	奣	妤	妺	孖	寀	甯	寘	寬	尞
898	岦	岺	峵	崧	嵓	﨑	嵂	嵭	嶸	嶹
899	巐	弡	弴	彧	德					
900		忞	恝	悅	悊	惞	惕	愠	惲	愑
901	愷	愰	憘	戓	抦	揵	摠	撝	擎	敎
902	昀	昕	昻	昉	昮	昞	昤	晥	晗	晙
903	晴	晳	暙	暠	暲	暿	曺	朎	朗	杦
904	枻	桒	柀	栁	桄	棏	﨓	楨	﨔	榘
905	槢	樰	橫	橆	橳	橾	櫢	櫤	毖	氿
906	汜	沆	汯	泚	洄	涇	浯	涖	涬	淏
907	淸	淲	淼	渹	湜	渧	渼	溿	澈	澵
908	濵	瀅	瀇	瀨	炅	炫	焏	焄	煜	煆
909	煇	凞	燁	燾	犱					
910		犾	猤	猪	獷	玽	珉	珖	珣	珒
911	琇	珵	琦	琪	琩	琮	瑢	璉	璟	甁
912	畯	皂	皜	皞	皛	皦	益	睆	劯	砡
913	硎	硤	硺	礰	礼	神	祥	禔	福	禛
914	竑	竧	靖	竫	箞	精	絈	絜	綷	綠
915	緖	繒	罇	羡	羽	茁	荢	荿	菇	菶
916	葈	蒴	蕓	蕙	蕫	﨟	薰	蘒	﨡	蠇
917	裵	訒	訷	詹	誧	誾	諟	諸	諶	譓
918	譿	賰	賴	贒	赶	﨣	軏	﨤	逸	遧
919	郞	都	鄕	鄧	釚					
920		釗	釞	釭	釮	釤	釥	鈆	鈐	鈊
921	鈺	鉀	鈼	鉎	鉙	鉑	鈹	鉧	銧	鉷
922	鉸	鋧	鋗	鋙	鋐	﨧	鋕	鋠	鋓	錥
923	錡	鋻	﨨	錞	鋿	錝	錂	鍰	鍗	鎤
924	鏆	鏞	鏸	鐱	鑅	鑈	閒	隆	﨩	隝
925	隯	霳	霻	靃	靍	靏	靑	靕	顗	顥
926	飯	飼	餧	館	馞	驎	髙	髜	魵	魲
927	鮏	鮱	鮻	鰀	鵰	鵫	鶴	鸙	黑	
928		ⅰ	ⅱ	ⅲ	ⅳ	ⅴ	ⅵ	ⅶ	ⅷ	ⅸ
929	ⅹ	￢	￤	＇	＂					

用語解説

五十音順

あ

アドレス帳
メールアドレスを登録しておくところ。

イーサネット
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク（LAN）のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及している。

インターネット
世界中のコンピュータが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できる。

引用符（>）
届いたメールの本文を返信の中に含めるときに行頭に付く記号。相手の質問に対する返事というように区別できる。

か

区点コード
日本工業規格（JIS）が一般に使用する文字に定めたコード番号。

結露（露つき）
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機内部に水滴が付くこと。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置する。

ゲートウェイ
ネットワークの中で、異なる方式を使用している機器間の接続を可能にするしくみ。

さ

サブネットマスク
IPアドレスの一部で、サブネットを特定するもの。

サンプリング周波数
音声などをアナログデータからデジタルデータへ変換するとき、数字に置き換える必要がある。この作業をサンプリングと呼び、1秒間に記録する回数をサンプリング周波数という。音楽CDの場合、1秒間に44,100回記録しており、サンプリング周波数を44.1kHzと表す。一般的には、サンプリング周波数が高いほど、記録された音声は高音質になる。

シフトJIS（シフトジス）コード
全角文字と半角文字を混在して使う場合に対応できるようにするため、JISコードを元に番号を割り振り直した文字コード。通常のパソコンやソフトなどでは、このシフトJISが主流になっている。

受信簿
受信メールが保存されているところ。

署名
メールの本文の末尾にあって、名前や連絡先、メールアドレスなどを記述するメッセージ。

送信簿
すでに送ったメールが保存されているところ。

た

題名
メールの内容を示すためにつけるタイトル。受信したメールに返信するときは、冒頭に「RE:」が追加され、受信したメールに対する返事であることが分かる。受信したメールを他の人に転送するときは、冒頭に「FW:」が追加され、届いたメールを転送していることが分かる。

転送（チェックイン/チェックアウト）
ハードディスク上で著作権保護技術「OpenMG」対応ソフトウェアで管理している音楽データを、Net MDなどの外部機器・メディアに転送することを「チェックアウト」といい、チェックアウトした音楽データを元のハードディスクに戻すことを「チェックイン」という。著作権保護技術「OpenMG」により、暗号化してハードディスクに記録されるため、不正な使用や配信などを防止できる。
一度チェックアウトしたデータをチェックインによりハードディスクに戻したあと、再びチェックアウトすることも可能。ただし、チェックアウトしたデータを、他のハードディスクにチェックインすることはできない。

転送（メール）
届いたメールを別の人に送ること。題名に転送であることを示す「FW:」が追加される。

添付
メールの本文と一緒に画像ファイルなどを送ること。

は

バイト
パソコンなどのデジタルデータを表す基本的な単位のひとつ。デジタルデータは、「0か1か」で表されるが、このデータひとつが1ビット、8ビットで1バイトという単位になる。半角文字は1バイトで表すため1バイト文字、全角文字は2バイトで表すため2バイト文字という。

次のページにつづく

用語解説（つづき）

パスワード
プロバイダと契約したり、メールを送受信するときに入力する暗証番号。

ハードディスク
パソコン などに使われている大容量データ記憶装置の1つ。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

半角
全角文字を、横方向に半分の大きさにした文字の種類。

プロキシ
ファイアウォール（外部からの不正侵入防御壁）内にいるコンピュータが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバ。

ブロードバンド
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、FTTHなどがある。

ブロードバンドルーター
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使うが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使う。

プロバイダ
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言う。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

返信
届いたメールに返事を書くこと。題名に返信であることを示す「RE:」が、文面の行頭には「>」（引用符）が追加される。

ホームページ
組織や個人が一般に情報を公開しているインターネットのページ。このページにリンクが張られている場合、リンクを選ぶと、あらかじめ指定された別のホームページを表示することができる。

ホームページアドレス
ホームページの場所（住所）。URLで指定する（URL の項もご覧ください）。

ま

メールアドレス
「Eメールアドレス」や「電子メールアドレス」とも言う。
メールの送信先や受信先の住所。@（アットマーク）を間にはさんだアルファベットと数字記号の組み合わせで表わされる。このアドレスを入力することで、相手にメールを送信できる。

や

予測候補
予測変換機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。

予測変換機能
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できる。

ら

リニアPCM
非圧縮のデジタル音声データ形式。本機では、音楽CDと同じくサンプリング周波数44.1kHz, 16bitで記録される。

リンク
表示しているホームページに関連のあるページのアドレスが埋め込まれているところ。

ルーター
ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行う。
最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルータや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルータもある。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともある。

アルファベット順

A

ADSL
非対称デジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriber Line）の略。ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用するが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能。上り方向（ユーザーの端末から送信する方向）の通信速度に対して下り方向（電話局からユーザーの端末へ流す方向）の通信速度が高速なため「非対称」の名前がついている。通信速度は契約しているサービスにより異なる。

ATRAC3
「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術。音声データをCDの約1/10に圧縮できるため、メディア容量の小型化が可能になる。

B

BCC
Blind Carbon Copyの略。メールの受取人を表わす言葉。「宛先」や「CC」に表示されている受取人が、送られるメールにこのメールの受取人として明示されるのに対し、「BCC」に表示された受取人は明示されない。「宛先」や「CC」に表示されている受取人に分からないように、他の人にも同じメールを送りたい場合に利用する。

BMP
点の集まりで画像データを表現する方式。拡張子BMP。最も一般的なフォーマットで、Windowsでも標準サポートしているもののひとつ。ほとんどのグラフィックソフトで読めるが、ファイル容量が大きくなる。

C

CC
Carbon Copyの略。メールの受取人を表わす言葉。メッセージの主たる宛先を「To（本機では「宛先」）」に表示するのに対して、「CC」に表示する受取人は、そのメッセージに対して「2次的」な意味あいがある。

D、E、F

DCF
主としてデジタルカメラの画像ファイルを関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として制定された、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格「Design rule for Camera File system」の略称。

DHCP
動的ホスト構成プロトコル（Dynamic Host Configuration Protocol）の略。インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるためのしくみ。

DNS
Domain Name Systemの略。マシン名からIPアドレスへ、またIPアドレスからマシン名への置き換えを行うサーバで、IPアドレスで特定されている。「DNSサーバ」などとも言う。

EUC
Extended Unix Code の略。主にユニックスOSで使われている文字コード。

Flash(フラッシュ)
ホームページ上でイラストやアニメーションを動かしたり、効果音を出したり、簡単なゲームができたりするソフトのひとつ。

G、H

GIF
Graphics Interchange Formatの略。拡張子「GIF」。256色までしかあつかえないが、可逆圧縮であるため、変換前の画像と同一品質の画像が得られる。インターネットのWeb上の画像として使用されることが多い。

I

IPアドレス
TCP/IP（伝送制御プロトコル／インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁までの数字4組を点で区切ったもの（192.168.239.1など）。ネットワーク上のマシンには、必ずこのアドレスが付いている。

J、K

JavaScript（ジャバスクリプト）
ホームページを作成するための言語の中のひとつ。ホームページを作るためのHTMLファイルの中にJavaScriptを使って書き込み、そのホームページをJavaScript に対応したブラウザで開くと、指定した内容が実行される。

JIS（ジス）コード
文書を別の環境（パソコンやソフト）に移しても保持されるよう、日本工業規格（JIS）が定めた文字コード。たとえば日本語の文字は、パソコンでは4桁の数字（一部アルファベット）として扱われ、何番にどの文字を割り振るか決められている。

JPEG
Joint Photographic Experts Groupの略。拡張子「JPEG」または「JPG」。インターネットやデジタルカメラで多く使われるフォーマット。不可逆圧縮のため、変換後の画像は元の画像と同一にはならないが、データ量を1/2～1/100まで圧縮できる。

L

LAN
ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略。オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピュータやプリンタ、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

M、N、O

MP3
「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。音声データをCDの約1/10に圧縮できる。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダーやデコーダーが存在する。パソコンの世界で広く普及している。

P、Q、R

PNG
Portable Network Graphicsの略。拡張子「PNG」。インターネットのWeb上で広く使われることを目指して開発された画像フォーマット。フルカラーの自然画像を、劣化させることなく圧縮することができる。

POBox
Predictive Operation Based On eXampleの略。携帯電話などにも使われている予測変換機能のこと。

POP3
Post Office Protocol version 3の略。メールを受け取るときに必要なプロトコル。

次のページにつづく

用語解説（つづき）

S

SMTP
Simple Mail Transfer Protocolの略。メールを送るときに必要なプロトコル。

SSL
Secure Socket Layerの略。インターネット上で情報を安全にやり取りするための規格。クレジットカードなどの情報をやり取りするようなホームページでよく使用される。SSLには、ホームページ作成者の身元を確認する機能と安全に情報をやりとりするために、情報を暗号化する機能がある。本機ではSSLの情報を確認できる。

T

TIFF
Tagged Image File Formatの略。Aldus社とMicrosoft社によって開発された画像データのフォーマット。拡張子「TIFF」または「TIF」。1枚の画像データを、解像度や色数、符号化方式の異なるいろいろな形式で1つのファイルにまとめて格納できるため、比較的アプリケーションソフトに依存しない画像フォーマットである。

U、V、W、X、Y、Z

URL
Uniform Resource Locatorの略。インターネット上の情報（ホームページ）のアドレス。WEBブラウザでアドレスを入力すると、特定のホームページを表示できる。ただし、1文字でも間違えると、閲覧したいホームページは表示されない。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

商標などについて

- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）および、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、POBox、Net MD、ATRAC、ATRAC3、OpenMG、S-Masterおよびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- Built with Linter Database.
Copyright © 2000-2003, RelexUS, Inc.
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDBｨ Music Recognition Service^{SM}. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.
CD and music-related data from Gracenote CDDBｨ Music Recognition Service^{SM}© 2000, 2001, 2002 Gracenote. Gracenote CDDB Client Softwareｩ 2000, 2001, 2002 Gracenote. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.
CDDB is a registered trademark of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo and logotype, and the “Powered by Gracenote CDDB” logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、 Gracenote Database、 Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、 Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、 Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、 Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、 Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、 Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote Componentまたはいかなるgracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。
Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

- 待機時消費電力0.3W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません
- システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません
- 袋に、焼却時、環境に有害な物質の発生を抑制する効果のある特殊酸化鉄を配合

ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を１度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

●ホームページ　商品に関する「よくあるお問い合せ」FAQのご案内　http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１７：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口	フリーフォン ００７０－８００－８１８１－１１
一般電話	【一般電話】０３－５４９６－８０１６
●家庭用オーディオ／ビジュアル製品（PDP・DVDなど）のご相談窓口	フリーフォン ００７０－８００－８１８１－２２
一般電話	【一般電話】０３－５４９６－２９８６
●カタログのご請求窓口	フリーフォン ００７０－８００－８１８１－３３
カタログ請求とメールサービス登録のご案内	http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html
●ファックス受付	０３－３４９０－５７１８

家庭用電話機に関するご相談窓口
受付　月曜～土曜・日曜・祝日 ９：３０～１７：３０（弊社休業日は除く）
●パイオニアコミュニケーションズ（株）　お客様相談室
東日本地区（埼玉県所沢市）０４－２９４９－５１３１　西日本地区（大阪市）０６－６５３３－００９９　ファックス　０４－２９４９－５５０１

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０９５　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０９６
一般電話　０５３８－４３－１１６１

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～２０：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２８（ゴーパイオニア）　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２９
一般電話　０３－５４９６－２０２３

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話　０９８－８７９－１９１０　ファックス　０９８－８７９－１３５２

平成１６年２月現在　(ARY-1127-A)

高調波ガイドライン適合品　D50-5-10-1_Ja

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<04C00001>　<ARA7193-A>